

資料編

第1章 寄附行為および理事・監事・評議員・選考委員

1. 寄附行為

表1-1-1に旭化学工業奨励会の、表1-1-2に旭硝子工業技術奨励会の、表1-1-3に旭硝子財団の寄附行為を示した。

表1-1-1 寄附行為 (旭化学工業奨励會)

財團法人 旭化学工業奨励會設立趣旨
<p>本會ハ昭和八年十二月十一日旭硝子株式會社ノ創立二十五周年ニ際シ記念トシテ同日了産考 同社ヨリ金五拾萬圓ノ寄附ヲ受ケ設立セラレタル財團法区裁判所ニ設立ノ登記ヲ完 主務官廳ヨリ法人設立ノ許可ヲ得同年二月十三日東京區裁金五拾萬圓ノ寄附ヲ受 シ次テ昭和九年五月二十五日旭硝子株式會社ヨリ更ニ金五拾萬圓ノ寄附ヲ受 總額金壹百萬圓トナリタルモノニシテ本邦ニ於ケル化學工業ノ調査研究又ハ發明考 案ヲ助成シ其ノ進歩發達ヲ計リ以テ国力ノ充實運ノ發達ニ資スルヲ以テ目的トス</p>

財團法人 旭化学工業奨励會寄附行為	
第一章 總則	
第一條	本財團ハ旭硝子株式會社ノ出捐ニ係ル金五拾萬圓ヲ以テ之ヲ設立ス
第二章 目的及事業	
第二條	本財團ハ化學工業ノ進歩發達ニ資スルヲ以テ目的トス
第三條	本財團ハ前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ
一	化學工業ニ關スル調査及研究ヲ助成スルコト
二	化學工業ニ關スル發明及考案ヲ助成スルコト
三	其ノ他本財團ノ目的ヲ遂行スル爲必要ナル事項
第三章 名稱及事務所	
第四條	本財團ハ財團法人旭化学工業奨励會ト稱ス
第五條	本財團ノ事務所ハ東京都中央区銀座四丁目壹番地旭硝子株式會社内ニ置ク
第四章 資産及會計	
第六條	本財團ノ資産左ノ如シ
一	基金
イ	金壹百萬圓 (第一條及ヒ第六條第二號ノ寄附金)
ロ	第二號及第三號ノ收入ヨリ評議員會ノ決議ニ依リ基金ニ繰入レタル財
	産
二	将来設立者及有志ヨリ受クルコトアルヘキ寄附金
三	第一號及第二號ノ財産ヨリ生スル果實及其ノ他ノ雜收入
第七條	基金ハ國債證券其ノ他確實ナル證券ヲ買入レ又ハ確實ナル銀行若クハ
	信託會社ニ預入レ保管スルモノトス
第八條	第六條第二號及第三號ノ財産ハ確實ナル銀行ニ預入レ管理スルモノト
	ス
第九條	基金ハ評議員會ノ決議ヲ經ルニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス
第十條	本財團ノ經費ハ第六條第三號ノ收入ヲ以テ之ニ充テ尚剩餘金アリタル
	本財團ハ會計ニ繰越シ又ハ基金ニ繰入ルルモノトス
第十一條	本財團ノ年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
第十二條	本財團ノ豫算ハ毎年度開始前理事會ノ決議ヲ經テ之ヲ定メ決算ハ其ノ
	年度終了後監事ノ監査ヲ受ケ評議員會ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

第五章 役員

- 第十三條 本財團ニ左ノ役員ヲ置ク
理事 七名乃至十一名
監事 二十名乃至二十五名
- 第十四條 評議員及監事ハ理事トシテ選任ス
理事トシテ選任ス
- 第十五條 理事ノ中ヨリ理事長一名ヲ互選ス
理事長ハ本財團ヲ代表シテ統轄ス
- 第十六條 常任理事ハ理事長ヲ補佐シ本財團ノ常務ヲ掌理シ理事長事故アルトキ
監事ハ本財團ノ資産状況及理事ノ業務執行状況ヲ監査ス
- 第十七條 評議員ハ本財團ノ決議ニ依リテ選任ス
- 第十八條 評議員ハ本財團ノ重要ナル事項ヲ審議ス
- 第十九條 評議員ノ任期ハ三年トシ監事ノ任期ハ二年トス但シ再選ヲ妨ケス
- 第二十一條 補缺又ハ増員ノ爲選任セラレタル役員ノ任期ハ現在同役員ノ殘任期間トス
役員ノ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第六章 理事會及評議員會

- 第二十二條 理事會ハ理事ヲ以テ組織シ左ノ事項ヲ決議ス
第二十三條 理事會ハ理事ヲ以テ組織シ左ノ事項ヲ決議ス
第二十四條 評議員會ハ理事ヲ以テ組織シ左ノ事項ヲ決議ス
第二十五條 評議員會ハ理事ヲ以テ組織シ左ノ事項ヲ決議ス
第二十六條 評議員會ハ理事ヲ以テ組織シ左ノ事項ヲ決議ス
第二十七條 評議員會ハ理事ヲ以テ組織シ左ノ事項ヲ決議ス

第七章 寄附行爲ノ變更及解散

- 第二十八條 本寄附行爲ヲ變更セントスルハ評議員會ニ於テ評議員四分ノ三以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
- 第二十九條 本財團ノ許可ヲ受ケルコトヲ要ス
前項ノ場合ニ於テ殘餘財産アルトキハ本財團ノ目的ニ類する目的ノ爲ニ之ヲ處分スルモノトス

附 則

第三十條 本財團設立當初ノ會計年度ハ設立許可ノ日ヲ以テ始マル
 第三十一條 本財團設立當初ノ理事監事及評議員ハ設立者ニ於テ之ヲ委嘱ス

表1-1-2 寄附行為 (旭硝子工業技術奨励会)

第一章	総 則
第一条	本財團は旭硝子株式会社の出捐に係る金五拾万円を以て之を設立す
第二章	目的及事業
第二条	本財團は工業並びに工業技術の進歩發達に資するを以て目的とす
第三条	本財團は前条の目的を達する為左の事業を行う
一	工業並びに工業技術に関する調査及研究を助成すること
二	工業並びに工業技術に関する發明及考案を助成すること
三	工業並びに工業技術に関する調査、研究施設の設置及拡充を助成すること
四	其の他財團の目的を遂行する為必要なる事項
第三章	名称及事務所
第四条	本財團は財團法人旭硝子工業技術奨励会と称す
第五条	本財團の事務所は東京都千代田区丸の内二丁目一番二号旭硝子株式会社内に置く
第四章	資産及會計
第六条	本財團の資産左の如し
一	基金
イ	金壹百万円(第一条及第六条第二号の寄附金)
ロ	第二号及第三号の収入より評議員会の決議に依り基金に繰入れたる財産
二	将来設立者及び有志より受くることあるべき寄附金
三	第一号第二号の財産より生ずる果実及其の他の雑収入
七	基金は国債証券の他確實なる証券を買入れ又は確實なる銀行若しくは信託会社に預入れ保管するものとす
八	第六条第二号及第三号の財産は確實なる銀行に預入れ管理するものとす
九	基金は評議員会の決議を経るに非ざれば之を処分することを得ず
十	本財團の経費は第六条第三号の収入を以て之に充てしむる尚剰余金ありたるときは翌年度に繰越し又は基金に繰入るものとす
十一	本財團の會計年度は毎年四月一日始まり翌年三月三十一日に終る
十二	本財團の予算は毎年度開始前理事会の決議を経ることを要す 本財團終了後監事の監査を受け評議員会の承認を経ることを要す
第五章	役 員
十三	本財團に左の役員を置く
一	理事 十名及至十五名
二	監事 二名
三	評議員 十五名及至二十五名
十四	理事及監事は評議員会に於て之を選任す
十五	理事と監事とは兼ねることを得ず
十六	理事の中より理事長一名常任理事一名を互選す
十七	理事長は本財團を代表し之を統轄す
十八	常任理事は理事長を補佐し本財團の常務を掌理し理事長事故あるときは之を代理す
十九	監事は本財團の資産状況及理事の業務執行状況を監査す
二十	評議員は評議員会の決議に依り之を選任す
二十一	評議員は本財團の重要なる事項を審議す

第二十条	理事及び評議員の任期は三年とし監事の任期は二年とす但し再選を妨げず
第二十一条	補欠又は増員の為選任せられたる役員の任期は現在同役員の残任期間とす 役員任期満了後と雖も後任者の就任する迄仍其の職務を行ふものとす
第六章	理事会及評議員会
第二十二條	理事會は理事を以て組織し左の事項を決議す
一	第二十三條第一号乃至第三号に掲ぐる事項にして急施を要するもの但し此の場合には其の直後の評議員会に報告して承認を求むることを要す
二	評議員に提出すべき事項
三	事務の任及給与に關する事項
四	其の他理事に於て必要と認めたる事項
第二十三條	評議員は評議員を以て組織し左の事項を決議す
一	評議員の業務遂行の方針に關する重要事項
二	資産の管理及処分に關する重要事項
三	寄附金の受諾
四	予算及決算の承認
五	理事及監事の選任及解任
六	評議員の推薦
七	寄附行為の変更及本財団の解散
第二十四條	通常評議員会は毎年四月之を開く 臨時評議員会は左の場合之を開く
一	理事長必要と認めたる時
二	監事第十五條に依り必要と認めたる時
三	評議員五分の一以上より評議員会開催の請求ありたる時
第二十五條	理事會及評議員會は理事長之を招集す 理事長及評議員會の議長となる理事長事故あるときは常任理事を代理す 常任理事共に事故あるときは出席理事又は出席評議員の互選に依り臨時議長を定む
第二十六條	理事會及評議員會は二分の一以上出席するに非ざれば議事を開くこと得ず 議事は可決同数なるときは議長之を決す
第二十七條	理事會及評議員會は書面を以て他の役員に其の代理を委任することを得此の場合には之を出席と看做す
第七章	寄附行為の変更及解散
第二十八條	本寄附行為を変更せんとするときは評議員会に於て評議員四分の三以上の同意を以て主務官庁の許可を受くることを要す
第二十九條	本財団を解散せんとするときは評議員四分の三以上の同意を得主務官庁の許可を受くることを要す 前項の場合に於て残余財産あるときは本財団の目的に類せる目的の爲に之を処分するものとす
附 則	
第三十條	本財団設立当初の會計年度は設立許可の日を以て始まる
第三十一條	本財団設立当初の理事監事及評議員は設立者に於て之を依嘱す

表1-1-3 寄附行為 (旭硝子財団)

財団法人 旭硝子財団への名称変更及び目的変更の趣旨

本財団は昭和8年に設立後、昭和36年に財団法人旭硝子工業技術奨励会と改称され、半世紀以上の長きにわたり化学工業分野の研究・開発に対する助成を行って参りました。

人類はいまや新しい世紀を迎え、その前途には挑戦と解決を必要とする学問的・技

術的な課題が多数存在しています。

このような時代の要求に応え、人類の当面するこれらの課題の解決に寄与することが本財団の目的であります。このため自然科学および人文・社会科学の全分野に助成の対象を拡大し、次の時代をきり拓く科学と技術に対する助成を行うとともに、新たに顕彰制度を設け、人類のグローバルな課題に対する科学的・技術的な貢献を広く顕彰することと致します。

本財団は、これにより、科学・技術の進歩を通じて社会の進歩と人類の幸福に寄与できることを願うものであります。

財団法人 旭硝子財団寄付行為

第1章 総 則

(名称)

第1条 本財団は、財団法人旭硝子財団(英文名The Asahi Glass Foundation)と称する。

(事務所)

第2条 本財団は、主たる事務所を東京都千代田区に置く。

第2章 目的および事業

(目的)

第3条 本財団は、次の時代を拓く科学・技術に関する研究等に対する助成、人類がグローバルに解決を求められている科学・技術的な課題等への貢献に対する顕彰等を通じて、産業、経済及び社会の進歩、向上を図り、もって人類が真の豊かさを享受できる新たな社会及び文明の創造に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本財団は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 次の時代を拓く科学・技術に関する研究者、研究機関等に対する助成
- (2) 次の時代を拓く科学・技術に関する国際会議、シンポジウム等の助成及び開催
- (3) 次の時代を拓く科学・技術に関する情報の収集及び提供
- (4) 人類がグローバルに解決を求められている科学・技術的な課題等に関し、顕著な業績のあった個人、機関等に対する顕彰
- (5) 前各号に掲げるもののほか、本財団の目的を達成するために必要な事業

第3章 資産及び会計

(資産の構成)

第5条 本財団の資産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された財産
- (2) 設立後寄附された財産
- (3) 資産から生ずる収入
- (4) 事業に伴う収入
- (5) その他

(資産の種別)

第6条 本財団の資産は、基本財産及び運用財産とする。

- 2 基本財産は、次に掲げる財産をもって構成する。
 - (1) 設立に際し基本財産として寄附された財産
 - (2) 設立後基本財産として寄附された財産
 - (3) 設立後理事会の議決により基本財産に繰り入れられた財産
- 3 運用財産は、基本財産以外の財産とする。

(資産の管理)

第7条 本財団の資産は、理事長が管理し、その管理の方法は、理事会の議決による。ただし、その用途又は管理の方法を指定して寄附された財産についてはその指定に従わなければならない。

- 2 基本財産のうち、現金は、郵便官署その他確実な金融機関に預け入れ、若しくは信託会社に信託し、又は国公債等確実な有価証券にかえて保管しなければならない。

(基本財産の処分)

第8条 基本財産は、これを処分し、又は担保に供してはならない。ただし、本財団の目的達成上特に必要があると認められる場合において、評議会の審議を経た上、理事会において理事現在数の3分の2以上の議決を得、かつ、通商産業大臣の承認を受けた後、その一部を処分し、又は担保に供するときは、この限りではない。

(経費の支弁)

第9条 本財団の経費は、運用財産をもって支弁する。

(事業年度)

第10条 本財団の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(事業計画及び収支予算)

第11条 本財産の事業計画書及び収支予算書は、理事長が作成し、毎事業年度開始前に評議員会の審議及び理事会の議決を得なければならない。
2 前項の議決を得た事業計画書及び収支予算書は、当該事業年度開始後3月以内に通商産業大臣に提出しなければならない。
3 第1項の議決を得た事業計画書及び収支予算書の変更は、理事会の定めるところによりこれを行い、速やかに通商産業大臣に提出しなければならない。

(事業報告及び収支決算)

第12条 本財団の事業報告書、収支決算書及び財産目録は、理事長が毎事業年度終了後遅滞なく作成し、監事の監査を経た上、理事会の議決を得た後、評議員会に報告しなければならない。
2 前項の議決を得た事業報告書、収支決算書及び財産目録は、当該事業年度終了後3月以内に通商産業大臣に提出しなければならない。

(収支差額の処分)

第13条 本財団の収支決算に差額が生じたときは、理事会の議決を得て、その全部又は一部を基本財産に繰り入れ、又は翌事業年度に繰り越すものとする。

(借入金)

第14条 本財団は、資金の借入をしようとするときは、その事業年度の収入額を上限とする借入金であって返済期間が1年以内のものを除き、評議員会の審議を経た上、理事会において理事現在数の3分の2以上の議決を得、かつ、通商産業大臣の承認を受けるものとする。

第4章 役員及び評議員

(種類及び定数)

第15条 本財団に、次の役員を置く。

(1) 理事 10人以上20人以内

(2) 監事 2人

2 理事のうち、1人を理事長とする。

3 理事のうち、1人を専務理事とする。

4 理事のうち、2人以内を常務理事とすることができる。

5 理事のうち、必要に応じて1人を副理事長とすることができる。

(選任)

第16条 理事及び監事は、評議員会において選任する。

2 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事は、理事会において理事の互選により定める。

3 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。

(職務)

第17条 理事は、理事会を構成し、業務の執行を決定する。

2 理事長は、本財団を代表し、業務を統轄する。

3 副理事長は、理事長を補佐して業務を掌理し、理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、その職務を代行する。

4 専務理事は、理事長及び副理事長を補佐して、業務を総括し、理事長及び副理事長に事故があるとき又は理事長及び副理事長が共に欠けたときは、その職務を代行する。

5 常務理事は、専務理事を補佐して、業務を処理する。専務理事に事故があるとき又は専務理事が欠けたときは、理事会においてあらかじめ定めた順序によりその職務を代行する。

6 監事は、民法第59条の職務を行う。

(任期)

第18条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠により選任された役員任期は、前項の規定にかかわらず、前任者の残任期間とする。

3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、

その職務を行わなければならない。

(解任)

- 第19条 役員が次の各号の一に該当するときは、理事会及び評議会においてそれぞれ理事及び評議員の現在数の3分の2以上の議決を得て、当該役員を解任することができる。
- (1) 心身の故障のため職務の執行に堪えないと認められるとき。
 - (2) 職務上の義務違反その他役員たるにふさわしくない行為があると認められるとき。
- 2 前項第2号の規定により解任する場合は、当該役員にあらかじめ通知するとともに、解任の議決を行う理事会及び評議員会において、当該役員に弁明の機会を与えなければならない。

(報酬)

第20条 役員は、無報酬とする。ただし、常勤の役員については、理事会の同意を得て、報酬を支給することができる。

(評議員)

- 第21条 本財団に、評議員10人以上25人以内を置く。
- 2 評議員は、理事長が理事会の同意を得て委嘱する。
 - 3 第18条及び第19条の規定は、評議員について準用する。この場合において、第18条中「役員」とあるのは「評議員」と、第19条中「役員」とあるのは「評議員」と、「理事会及び評議員会」とあるのは「理事会」と、「それぞれ理事及び評議員」とあるのは「理事」と読み替えるものとする。

(兼任の禁止)

第22条 役員及び評議員は、相互に兼ねることができない。

第5章 理事会及び評議員会

(理事会の構成)

- 第23条 本財団に、理事会を置く。
- 2 理事会は、理事をもって構成する。
 - 3 監事は、理事会に出席して意見を述べることができる。

(理事会の権能)

第24条 理事会は、この寄附行為に別に定めるもののほか、本財団の運営に関する重要事項を議決する。

(理事会の開催及び招集)

- 第25条 理事会は、通常理事会及び臨時理事会とする。
- 2 通常理事会は、毎年2回開催する。
 - 3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。
 - (1) 理事会が必要と認めたととき。
 - (2) 理事現在数の3分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求があったとき。
 - (3) 監事の全員から会議の目的たる事項を示して請求があったとき。
 - (4) 前3号に掲げる場合のほか、理事長が特に必要があると認めたととき。
 - 4 理事会は、理事長が招集する。
 - 5 理事会の招集は、日時及び場所並びに会議の目的たる事項及びその内容を示した書面をもって、開会の日の7日前までに通知しなければならない。ただし、議事が緊急を要する場合において、あらかじめ理事会において定めた方法により招集するときは、この限りでない。
 - 6 第3項第2号又は第3号の請求があったときは、理事長は、速やかに理事会を招集しなければならない。

(理事会の議長)

第26条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。ただし、前条第3項第3号の請求があった場合において、臨時理事会を開催したときは、出席理事の互選により議長を定める。

(理事会の定足数及び議決方法)

- 第27条 理事会は、理事現在数の3分の2以上の出席をもって成立する。
- 2 理事会の議事は、この寄附行為に別に定める場合を除くほか、出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
 - 3 理事会は、第25条第5項の規定によりあらかじめ通知された事項についてのみ議決することができる。ただし、議事が緊急を要するもので、出席理事の3分の2以上の議決があった場合は、この限りでない。
 - 4 議決すべき事項につき特別な利害関係を有する理事は、当該事項について表決権を行使することができない。

(理事会の書面表決等)

- 第28条 やむを得ない理由のため、理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について、書面又は代理人をもって表決権を行使することができる。
- 2 前項の代理人は、代理権を証する書面を会議ごとに議長に提出しなければならない。
- 3 第1項の規定により表決権を行使する理事は、前条第1項及び第2項の規定の適用については出席したものとみなす。

(理事会の議事録)

- 第29条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。
- (1) 日時及び場所
- (2) 理事の現在数
- (3) 出席した理事の数及び氏名(書面表決者及び表決委任者を含む。)
- (4) 議決事項
- (5) 議事の経過の概要
- (6) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、議長及び出席した理事のうちから理事会において選任された議事録署名人2人以上が署名押印しなければならない。

(評議員会の構成)

- 第30条 本財団に、評議員会を置く。
- 2 評議員会は、評議員をもって構成する。

(評議員会の権能)

- 第31条 評議員会は、この寄附行為に別に定める場合を除くほか、本財団の事業運営に関する重要事項について、理事長の諮問に応じて審議し、又は意見を具申する。

(評議員会の招集等)

- 第32条 評議員会は、理事長が招集する。
- 2 評議員会の議長は、出席評議員の互選による。
- 3 第25条第5項、第27条第1項、第28条及び第29条の規定は、評議員会について準用する。この場合において、これらの規定中「理事会」とあるのは「評議員会」と、「理事」とあるのは「評議員」と読み替えるものとする。

第6章 委員会

(委員会)

- 第33条 本財団は、事業の円滑な遂行を図るため、委員会を設けることができる。
- 2 委員会は、その目的とする事項について、調査し、研究し、又は審議する。
- 3 委員会の組織及び運営に関して必要な事項は、理事会の議決を得て、理事長が別に定める。

(助成及び顕彰委員会)

- 第34条 第4条第1号及び第4号の事業を推進するため、助成委員会と顕彰委員会を置く。
- 2 前項の委員会は理事7人以内をもって組織する。
- 3 助成及び顕彰委員会に関して必要な事項は、理事会の議決を得て、理事長が別に定める。

(選考委員会)

- 第35条 第4条第1号及び第4号の事業の対象になるものを選考するため、必要に応じて、助成及び顕彰別に選考委員会を置く。
- 2 選考委員会は、専門別の分野毎に置くことができる。
- 3 各選考委員会は、3人以上9人以内の委員をもって組織する。
- 4 前項の委員は、学識経験のある者のうちから理事会で選出し、理事長が委嘱する。
- 5 選考委員会に関して必要な事項は、理事会の議決を得て、理事長が別に定める。

第7章 寄付行為の変更、解散等

(寄付行為の変更)

- 第36条 この寄付行為は、評議員会の審議を経た上、理事会において理事現在数の4分の3以上の議決を得、かつ、通商産業大臣の認可を受けなければ変更することができない。

(解散)

- 第37条 本財団は、民法第68条第1項第2号から第4号までの規定に基づき解散する。
- 2 民法第68条第1項第2号の規定に基づき解散する場合は、評議員会の審議を経た上、理事会において理事現在数の4分の3以上の議決を得、かつ、通商産業大臣の認可を受けなければならない。

(残余財産の処分)

- 第38条 本財団が解散する際に有する残余財産は、評議員会の審議を経た上、理事会において理事現在数の4分の3以上の議決を得、かつ、通商産業大臣の許可を受けて、本財団と類似の目的を有する他の法人又は団体に寄附するものとする。

第8章 補 則

(事務局)

- 第39条 本財団に、事務を処理するための事務局を置く。
- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長は、理事会の同意を得て理事長が委嘱し、職員は、理事長が任免する。

(実施細則)

- 第40条 この寄附行為の実施に関して必要な事項は、理事会の議決を得て、理事長が別に定める。

附 則

- 1 本財団設立当初の会計年度は設立許可の日を以て始まる
- 2 本財団設立当初の理事監事及評議員は設立者を以て之を委嘱す

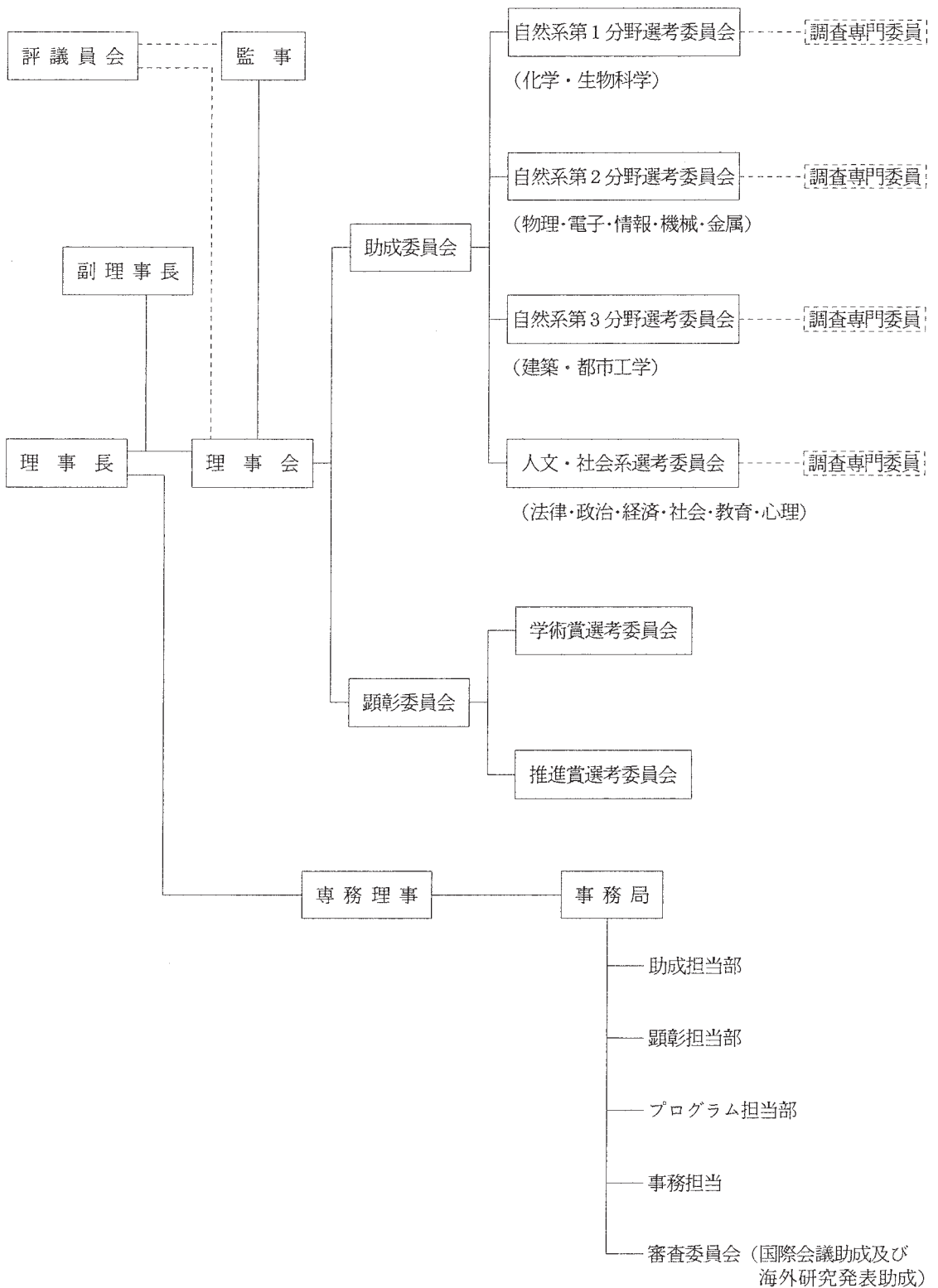
附 則（平成2年4月2日）

- 1 この変更規定は、通商産業大臣の認可のあった日から施行する。
- 2 第22条については、平成3年度の最初の理事会の日から適用する。

附 則（平成3年6月1日）

- 1 この変更規定は、通商産業大臣の認可のあった日から施行する。

図1 組織図 (旭硝子財団)



2. 理事・監事・評議員

表1-2-1に昭和8年度から昭和35年度に至る旭化学工業奨励会の、表1-2-2に昭和36年度から平成元年度に至る旭硝子工業技術奨励会の、表1-2-3に平成2年度から5年度までの旭硝子財団の理事、監事、評議員一覧を示した。

なお、昭和8年度から平成元年度までは理事・監事の全員が評議員を兼任したが、平成3年度以降、理事と評議員はそれぞれ専任となった。平成2年度は一部の理事が評議員を兼任した。兼任の場合には専任の評議員のみを記載し、兼任者は記載を省略した。

また、表1-3-1に昭和54年度から平成元年度に至る旭硝子工業技術奨励会、表1-3-2に平成2年度から5年度までの旭硝子財団の選考委員一覧を示した。

表1-2-1 理事・監事・評議員一覧（旭化学工業奨励会）

注）理事・監事・評議員は各年度末現在で、五十音順に表示した。

昭和8年度

理事・監事	評議員
理事長 山田三次郎 常任理事 大野政吉 理事 大河内正敏 小寺房治郎 莊司市太郎 西川 席吉 監事 翁長良保 松井元太郎	朝奈泰彦 安藤一雄 近藤清治 斯波孝四郎 田中芳雄 難波中沢夫 原龍三 福丸井沢角 三松常愛

田中芳雄 西川 席吉 監事 翁長良保 松井元太郎	原龍三 福丸井沢角 三松常愛 田中沢夫
-----------------------------------	------------------------------

昭和9年度

理事・監事	評議員
理事長 山田三次郎 常任理事 大野政吉 理事 大河内正敏 小寺房治郎 莊司市太郎 田中芳雄 西川 席吉 監事 翁長良保 松井元太郎	朝奈泰彦 安藤一雄 近藤清治 斯波孝四郎 田中芳雄 難波中沢夫 原龍三 福丸井沢角 三松常愛

昭和11年度

理事・監事	評議員
理事長 山田三次郎 常任理事 大野政吉 理事 大河内正敏 小寺房治郎 莊司市太郎 田中芳雄 西川 席吉 監事 翁長良保 松井元太郎	朝奈泰彦 安藤一雄 近藤清治 斯波孝四郎 田中芳雄 難波中沢夫 原龍三 福丸井沢角 三松常愛

昭和10年度

理事・監事	評議員
理事長 山田三次郎 常任理事 大野政吉 理事 大河内正敏 小寺房治郎 莊司市太郎	朝奈泰彦 安藤一雄 近藤清治 斯波孝四郎 田中芳雄 難波中沢夫 原龍三 福丸井沢角 三松常愛

昭和12年度

理事・監事	評議員
理事長 山田三次郎 常任理事 大野政吉 理事 大河内正敏 小寺房治郎 莊司市太郎 田中芳雄 西川 席吉 監事 翁長良保 松井元太郎	朝奈泰彦 安藤一雄 近藤清治 斯波孝四郎 田中芳雄 難波中沢夫 原龍三 福丸井沢角 三松常愛

昭和13年度

理事・監事	評議員
理事 長 三 次 郎 任 山 野 政 吉 常 大 野 政 吉 理 事 大 河 内 敏 郎 小 寺 房 正 治 郎 小 林 市 久 平 郎 田 司 市 太 雄 吉 西 中 川 芳 席 吉 監 事 西 中 川 芳 席 吉 翁 長 良 保	彦 雄 男 治 郎 夫 三 郎 弘 郎 雄 奈 一 秀 壯 清 四 良 省 太 元 三 松 比 藤 井 田 藤 波 沢 原 市 龍 波 井 朝 安 岩 内 近 斯 中 中 鉛 難 原 福

昭和14年度

理事・監事	評議員
理事 長 野 政 吉 任 大 野 元 弘 常 大 野 元 弘 理 事 大 河 内 敏 郎 小 寺 房 正 治 郎 小 林 市 久 平 郎 田 司 市 太 雄 吉 西 中 川 芳 席 吉 監 事 西 中 川 芳 席 吉 翁 長 良 保	彦 雄 男 治 郎 夫 三 郎 弘 郎 雄 奈 一 秀 壯 清 四 良 省 太 元 三 松 比 藤 井 田 藤 波 沢 原 市 龍 波 井 規 矩 朝 安 岩 内 近 斯 中 中 鉛 難 原 福 森

昭和15年度

理事・監事	評議員
理事 長 野 政 吉 任 大 野 元 弘 常 大 野 元 弘 理 事 大 河 内 敏 郎 小 寺 房 正 治 郎 小 林 市 久 平 郎 田 司 市 太 雄 吉 西 中 川 芳 席 吉 監 事 西 中 川 芳 席 吉 翁 長 良 保	彦 雄 男 治 郎 夫 三 郎 弘 郎 雄 奈 一 秀 壯 清 四 良 省 太 元 三 松 比 藤 井 田 藤 波 沢 原 市 龍 波 井 規 矩 朝 安 岩 内 近 斯 中 中 鉛 難 原 福 森

昭和16年度

理事・監事	評議員
理事 長 野 政 吉 任 大 野 元 弘 常 大 野 元 弘 理 事 大 河 内 敏 郎 小 寺 房 正 治 郎 小 林 市 久 平 郎 田 司 市 太 雄 吉	彦 雄 男 治 郎 夫 三 郎 弘 郎 雄 奈 一 秀 壯 清 四 良 省 太 元 三 松 比 藤 井 田 藤 波 沢 原 市 龍 波 井 規 矩 朝 安 岩 内 近 斯 中 中 鉛 難 原 福 森

田 中 雄 吉 西 川 芳 席 保 夫 事 長 沢 良 夫 監 翁 中	原 龍 三 郎 福 井 本 代 森 八
--	---------------------------

昭和17年度

理事・監事	評議員
理事 長 野 政 吉 任 大 野 元 弘 常 大 野 元 弘 理 事 大 河 内 敏 郎 小 寺 房 正 治 郎 小 林 市 久 平 郎 田 司 市 太 雄 吉 西 中 川 芳 席 吉 監 事 西 中 川 芳 席 吉 翁 長 良 保	彦 基 雄 男 郎 助 郎 三 郎 郎 雄 一 奈 勝 一 秀 壯 太 之 四 省 太 三 松 實 保 比 藤 井 田 協 崎 波 原 市 龍 井 本 代 朝 厚 安 岩 内 北 篠 斯 中 鉛 原 福 森 八

昭和18年度

理事・監事	評議員
理事 長 野 政 吉 任 大 野 元 弘 常 大 野 元 弘 理 事 大 河 内 敏 郎 小 寺 房 正 治 郎 小 林 市 久 平 郎 田 司 市 太 雄 吉 西 中 川 芳 席 吉 監 事 西 中 川 芳 席 吉 翁 長 良 保	彦 基 雄 男 郎 助 郎 三 郎 郎 雄 一 奈 勝 一 秀 壯 太 之 四 省 太 三 松 實 保 比 藤 井 田 協 崎 波 原 市 龍 井 本 代 朝 厚 安 岩 内 北 篠 斯 中 鉛 原 福 森 八

昭和19年度～20年度

理事・監事	評議員
理事 長 野 政 吉 任 大 野 元 弘 常 大 野 元 弘 理 事 大 河 内 敏 郎 小 寺 房 正 治 郎 小 林 市 久 平 郎 田 司 市 太 雄 吉 西 中 川 芳 席 吉 監 事 西 中 川 芳 席 吉 翁 長 良 保	彦 基 雄 男 郎 助 郎 三 郎 郎 雄 一 奈 勝 一 秀 壯 太 之 四 省 太 三 松 實 保 比 藤 井 田 協 崎 波 原 市 龍 井 本 代 朝 厚 安 岩 内 北 篠 斯 中 鉛 原 福 森 八

昭和21年度～25年度

理事・監事	評議員
財団活動休止による理事・監事・評議員の空白期間	

昭和26年度～29年度

理事・監事	評議員
理事 長本 貫一 常任理事 森田 元治 理事 倉野 稔 理事 野村 須平 理事 木高 中一郎 理事 中原 龍三 監事 中沢 良夫 監事 山下 秀明	岩崎 足江 植村 四郎 尾崎 晃一郎 中尾 平八郎 福宮 文平 吉木 文平

昭和30年度～31年度

理事・監事	評議員
理事 長本 貫一 常任理事 森野 稔 理事 倉田 元治 理事 高畑 省三 理事 中沢 良夫 理事 中原 龍三 監事 宮崎 龍一 監事 村上下 正夫 監事 山 秀明	岩崎 足江 植村 四郎 高倉 勇司 牧浦 愛文 吉木 文平

昭和32年度～33年度

理事・監事	評議員
理事 長本 貫一 常任理事 森野 稔 理事 植村 四郎 理事 倉田 元治 理事 高畑 省三 理事 中沢 良夫 監事 中原 龍三 監事 村上下 正夫 監事 山 秀明	岩崎 足江 越智 明司 牧松 愛三 吉木 文平

昭和34年度

理事・監事	評議員
理事 長本 貫一 常任理事 森野 稔 理事 植村 四郎 理事 倉田 元治 理事 坂本 美夫 理事 中原 龍三 理事 福沢 平八郎 監事 村上下 正夫 監事 山 秀明	岩崎 足江 越智 明司 牧松 愛三 吉木 文平

昭和35年度

理事・監事	評議員
理事 長本 貫一 常任理事 森野 稔 理事 植村 四郎 理事 倉田 元治 理事 坂本 美夫 理事 中原 龍三 理事 福沢 平八郎 監事 村上下 正夫 監事 山 秀明	岩崎 足江 越智 明司 牧松 愛三 吉木 文平

表1-2-2 理事・監事・評議員一覧（旭硝子工業技術奨励会）

昭和36年度

理事・監事	評議員
理事 長本 貫一 常任理事 森田 元治 倉事 植村 四郎 事 坂本 美夫 理 高倉 良三 中 沢 龍平 原 福 八 福 沢 正 松 崎 三 山 和 樹 監 事 村 上 夫 山 下 秀 明	越智 明 郎 末利 志 正 船岡 正 愛 牧浦 文 平 吉木

昭和41年度

理事・監事	評議員
理事 長本 貫一 常任理事 森田 元治 倉事 植村 四郎 事 坂本 美夫 理 高倉 良三 中 沢 龍平 原 福 八 福 沢 正 松 崎 三 山 和 樹 監 事 村 上 夫 山 下 秀 明	岡利 治 郎 末浦 志 正 吉木 愛 文 平

昭和37年度

理事・監事	評議員
理事 長本 貫一 常任理事 森田 元治 倉事 植村 四郎 事 坂本 美夫 理 高倉 良三 中 沢 龍平 原 福 八 福 沢 正 松 崎 三 山 和 樹 監 事 村 上 夫 山 下 秀 明	末利 志 正 船岡 正 愛 牧浦 文 平 吉木

昭和42年度

理事・監事	評議員
理事 長本 貫一 常任理事 森田 元治 倉事 植村 四郎 事 坂本 美夫 理 高倉 良三 中 沢 龍平 原 福 八 福 沢 正 松 崎 三 山 和 樹 監 事 村 上 夫 山 下 秀 明	岡利 治 郎 末浦 志 正 吉木 愛 文 平

昭和38年度～40年度

理事・監事	評議員
理事 長本 貫一 常任理事 森田 元治 倉事 植村 四郎 事 坂本 美夫 理 高倉 良三 中 沢 龍平 原 福 八 福 沢 正 松 崎 三 山 和 樹 監 事 村 上 夫 山 下 秀 明	岡利 志 郎 末浦 志 正 吉木 愛 文 平

昭和43年度

理事・監事	評議員
理事 長本 貫一 常任理事 森田 元治 倉事 植村 四郎 事 坂本 美夫 理 高倉 良三 中 沢 龍平 原 福 八 福 沢 正 松 崎 三 山 和 樹 監 事 村 上 夫 山 下 秀 明	末利 志 郎 福沢 志 正 牧山 愛 文 吉木 平

昭和44年度

理事・監事	評議員
理事 長田元治 常任理事 倉田三 空席 村野郎 理事 植野雄 尾島勳 高岡正 船倉象 牧山俊 山内四 吉本四 吉田四 村上下 山正夫 監事 柴野士 吉富衛	吉夫裕一 政茂部矩貫 野谷規 大小森本野

昭和49年度～50年度

理事・監事	評議員
理事 長田元治 常任理事 倉田四郎 吉田勇 尾野茂夫 小金英三 辻敏正 船倉象 牧山俊 山内四 山本四 山吉四 柴野士 吉富衛	吉夫一 建正實 綱島本 森永

昭和45年度～47年度

理事・監事	評議員
理事 長田元治 常任理事 倉田三 松崎錠三 理事 村野郎 植野雄 尾島勳 船倉正 牧山象 山内俊 山本四 吉田四 吉本四 村上下 山正夫 監事 柴野士 吉富衛	嗣夫裕一 元茂部貫 洞野谷本 奥小島森

昭和51年度～52年度

理事・監事	評議員
理事 長田元治 常任理事 倉田勇 尾野夫 理事 野井三 小金英三 辻敏正 戸村喜 永牧正 馬原俊 山下秀 山内四 山吉四 柴野士 吉富衛	吉一 建一 綱島本 森山領

昭和48年度

理事・監事	評議員
理事 長田元治 常任理事 倉田三 松崎錠三 理事 野野雄 尾島勳 船倉正 牧山象 安山宣 山内俊 山本四 山吉四 吉田四 柴野士 吉富衛	嗣夫裕一 元茂部貫 洞野本 奥小森

昭和53年度

理事・監事	評議員
理事 長田元治 常任理事 倉田勇 尾野夫 理事 野井三 小金英三 辻敏正 戸村喜 永牧正 馬原俊 山下秀 山内四 山吉四 柴野士 吉富衛	吉一 建一 綱島本 森山領

昭和54年度

理事・監事	評議員
理事 長田元治 常任理事 倉任野勇雄 尾野三哉夫 理事 井村英喜 金村正淳 古川四象 前田資俊 牧島秀四 馬原明郎 村山下吉明 山内進 山次夫 吉事荒川 事柴崎 監事 柴崎進 富士夫	島岩綱 山平綱 山領綱 吉男一郎 建榮一

昭和58年度～59年度

理事・監事	評議員
理事 長田元治 常任理事 倉任野勇雄 尾野三哉夫 理事 井村英喜 金村正淳 古川四象 前田資俊 牧島秀四 馬原明郎 村山下吉明 山内進 山次夫 吉事荒川 事柴崎 監事 柴崎進 富士夫	田島敬介 村正榮 永安義之 柴綱建 永原榮 安義之

昭和55年度～56年度

理事・監事	評議員
理事 長田元治 常任理事 倉任野勇雄 尾野三哉夫 理事 井村英喜 金村正淳 古川四象 前田資俊 牧島秀四 馬原明郎 村山下吉明 山内進 山次夫 吉事荒川 事柴崎 監事 柴崎進 富士夫	島岩綱 山平綱 山領綱 吉男一郎 建榮一

昭和60年度

理事・監事	評議員
理事 長田元治 常任理事 倉任野勇雄 尾野三哉夫 理事 井村英喜 金村正淳 古川四象 前田資俊 牧島秀四 馬原明郎 村山下吉明 山内進 山次夫 吉事荒川 事柴崎 監事 柴崎進 富士夫	田島敬介 村正榮 永安義之 柴綱建 永原榮 安義之

昭和57年度

理事・監事	評議員
理事 長田元治 常任理事 倉任野勇雄 尾野三哉夫 理事 井村英喜 金村正淳 古川四象 前田資俊 牧島秀四 馬原明郎 村山下吉明 山内進 山次夫 吉事荒川 事柴崎 監事 柴崎進 富士夫	島岩綱 山平綱 山領綱 吉男一郎 建榮一

昭和61年度

理事・監事	評議員
理事 長田元治 常任理事 倉任野勇雄 尾野三哉夫 理事 井村英喜 金村正淳 古川四象 前田資俊 牧島秀四 馬原明郎 村山下吉明 山内進 山次夫 吉事荒川 事柴崎 監事 柴崎進 富士夫	田島敬介 村正榮 永安義之 柴綱建 永原榮 安義之

監事 和泉沢弥太郎 柴崎富士夫

理事 倉田川本田島井橋沢 岩鎌古古前牧村諸吉事 義男二一郎郎二長六郎 淳次四象資晋四	監事 和泉沢弥太郎 柴崎富士夫
--	-----------------------

昭和62年度

理事・監事	評議員
理事 長田 元治 倉任理事 恒夫 常任理事 村 義男 理事 倉井岩 義三男 岩金平古川 英敏淳次郎 古前牧島井内 四象資俊秀四 村山下 沢弥太郎 山吉事 和泉沢弥太郎 監事 柴崎富士夫	柴田 敬介 綱島 建吉 原井 榮之

平成元年度

理事・監事	評議員
理事 山下 秀明 山任理事 淳 常任理事 倉田川本田島井橋沢 理事 岩鎌古古前牧村諸吉事 監事 和泉沢弥太郎 伊夫一雄	内野 哲也 原安井 榮之

昭和63年度

理事・監事	評議員
理事 長田 元治 倉任理事 恒夫 常任理事 村	原安井 榮之

表1-2-3 理事・監事・評議員一覧（旭硝子財団）

平成2年度

理事・監事		評議員
理事長 山下 秀明**	旭硝子(株)取締役相談役・元社長・元会長	石川 六郎
副理事長 岩崎 寿男	元三菱自動車工業(株)常務取締役	内野 哲也 大来佐武郎
常任理事 中山 淳**	旭硝子(株)参与	寺田 治郎 原村井 榮庸平之
理事 岩倉 義男**	東京大学名誉教授、成蹊大学名誉教授、明治大学名誉教授、東京大学名誉教授、元山形大学学部長、元山形大学学術会議議長、元日本学術会議会長、東京大学名誉教授、元NHK会長	
内田 祥哉	東京大学名誉教授、元NHK会長	
鎌田 仁**	九州産業大学名誉教授、九州大学名誉教授、(社)経済団体連合会会長、東京電力(株)会長	
木下 是雄	京都大学名誉教授	
近藤 次郎		
坂本 朝一		
高柳 素夫		
平岩 外四		
古川 淳二**		

古本 次郎** 前田 四郎** 諸橋 普六** 吉沢 普一郎** 監事 和泉 沢弥太郎 伊夫 伎一雄	旭硝子(株)取締役社長 東北大学名誉教授・元学長 三菱商事(株)取締役社長 京都大学名誉教授 元旭硝子(株)常務取締役・監査役 (株)三菱銀行頭取		
--	--	--	--

(** 評議員を兼任)

平成3年度

理 事 ・ 監 事		評 議 員	
理事長 山下 秀明	旭硝子(株)取締役相談役・元社長・元会長	石井 威望	慶応義塾大学環境情報学部教授、東京大学名誉教授
副理事長 岩崎 寿男	元三菱自動車工業(株)常務取締役	石川 忠雄	慶応義塾大学塾長、学術審議会副会長
専務理事 白神 修	旭ベンケミカル(株)取締役社長	石川 六郎	日本商工会議所会頭、鹿島建設(株)会長
理事 内田 祥哉	明治大学教授、東京大学名誉教授、内外政策研究会会長、元外務大臣	犬養 智子	評論家
大来 佐武郎	(財)山形県テクノポリス財団理事長、東京大学名誉教授、学習院大学名誉教授・元学長	内野 哲也	旭硝子(株)常務取締役、国際日本文化研究センター所長
鎌田 仁	(財)産業研究所顧問、前通産省事務次官	梅原 猛	旭硝子(株)取締役副社長、前独協学園理事長、元文部事務次官
木下 是雄	日本学術会議会長、東京大学名誉教授	神谷 和男	国立環境研究所所長、元立環境学名誉教授、東大工学部名誉教授、橋本建設(株)会長
児玉 幸治	NHK名誉顧問・元会長	木田 宏	東京工業大学名誉教授、東京芸術大学名誉教授
近藤 次郎	九州産業大学教授、九州大学名誉教授	小泉 明	東京大学名誉教授、元最高裁判所長、東大工学部名誉教授
坂本 朝一	九州国際文化会館理事長、元文部大臣	小島 清	東京工業大学名誉教授、東京芸術大学名誉教授
高柳 素夫	放送大学教授、東京大学名誉教授	清家 清	元最高裁判所長、東大工学部名誉教授
永井 道雄	(社)経済団体連合会会長、東京電力(株)会長	寺田 治郎	(財)民族学振興会理事長、東京大学名誉教授
奈須 紀幸	旭硝子(株)取締役社長	中根 千枝	基盤化学研究所所長、京都大学名誉教授
平岩 外四	旭硝子(株)取締役社長	福井 謙一	京都大学名誉教授、国際問題研究所理事長、日本国際問題研究所所長
古本 次郎	旭硝子(株)取締役社長	松永 信雄	外務省顧問、前駐米大使
向坊 隆普	旭硝子(株)取締役社長	三村 庸平	三菱商事(株)会長、三菱金曜会世話人代表
監事 和泉 沢弥太郎	元旭硝子(株)常務取締役・監査役	宮田 義二	松下経緯塾長、元松日本鉄鋼労働会会長
伊夫 伎一雄	(株)三菱銀行会長	武者 小路公秀	明治学院大学教授、元国連大学副学長

平成4年度

理 事 ・ 監 事		評 議 員	
理事長 山下 秀明	旭硝子(株)最高顧問・元社長・元会長	石井 威望	慶応義塾大学環境情報学部教授、東京大学名誉教授
副理事長 岩崎 寿男	元三菱自動車工業(株)常務取締役	石川 忠雄	慶応義塾大学塾長、学術審議会副会長
専務理事 白神 修	前旭ベンケミカル(株)取締役社長	石川 六郎	日本商工会議所会頭、鹿島建設(株)会長
理事 内田 祥哉	明治大学教授、東京大学名誉教授、(財)山形県テクノポリス財団理事長、東京大学名誉教授、学習院大学名誉教授・元学長	犬養 智子	評論家
鎌田 仁	日本学術会議会長、東京大学名誉教授	内野 哲也	旭硝子(株)専務取締役、国際日本文化研究センター所長
木下 是雄	NHK名誉顧問・元会長	梅原 猛	旭硝子(株)取締役副社長、元文部事務次官
	九州産業大学教授、九州大学名誉教授	神谷 和男	産業医科大学学長、東京大学名誉教授
	(財)産業研究所顧問、前通産省事務次官	木田 宏	
	日本学術会議会長、東京大学名誉教授	小泉 明	
	NHK名誉顧問・元会長		
	九州産業大学教授、九州大学名誉教授		
	九州国際文化会館理事長、元文部大臣		
	放送大学教授、東京大学名誉教授		
	(社)経済団体連合会会長、東京電力(株)会長		
	旭硝子(株)取締役社長		
	旭硝子(株)取締役社長		
	旭硝子(株)取締役社長		
	元旭硝子(株)常務取締役・監査役		
	(株)三菱銀行会長		

児玉 幸治	(財)産業研究所顧問、 前通商産業事務次官	小島 清	一橋大学名誉教授
近藤 次郎	日本大学東名義長、 東京大学東名義長	清家 清	東京大学名誉教授、 東京工業大学名誉教授
坂本 朝一	NHK名誉顧問・元会長	寺田 治郎	元最高裁判所長官
高柳 素夫	九州産業大学名誉教授、 九州大学名誉教授	中根 千枝	(財)民族学振興会理事長、 東京大学名誉教授
永井 道雄	(財)国際文化会館理事長、 元文部大臣	福井 謙一	基礎化学研究所所長、京都 大学名誉教授
奈須 紀幸	放送大学教授、 東京大学名誉教授	松永 信雄	(財)日本国際問題研究所理事 長兼所長、元駐米大使
平岩 外四	(社)経済団体連合会会長、 東京電力(株)相談役	三村 庸平	三菱商事(株)相談役
古本 次郎	旭硝子(株)取締役社長	宮田 庸二	松下政経塾塾長、 元日本鉄鋼労働連合会 長
向坊 隆	旭硝子(株)名誉教授・元総長	武者小路公秀	明治学院大学教授、 元国連大学副学長
諸橋 普六	三菱商事(株)取締役社長		
監事 和泉沢弥太郎	元旭硝子(株)常務取締役・監査 役		
伊夫伎一雄	(株)三菱銀行会長		

平成5年度

理事・監事		評議員	
理事長 山下 秀明	旭硝子(株)最高顧問・元社長 ・元会長	石井 威望	慶応義塾大学教授、 東京大学名誉教授
副理事長 岩崎 寿男	元三菱自動車工業(株)常務取締 業	石川 忠雄	東京都教育委員会委員長、 前慶応義塾大学学長
専務理事 白神 修	前旭ペンケミカル(株)取締役社 長	石川 六郎	日本商工会議所会長、 鹿島建設(株)会長
理事 内田 祥哉	明治大学教授、 東京大学名誉教授	犬養 智子	評論家
鎌田 仁	(財)山形県テクノポリス財団理 事長、東京大学名誉教授	内野 哲也	旭硝子(株)専務取締役 国際日本文化研究センター 所長
木下 是雄	学習院大学名誉教授・元学長	梅原 猛	旭硝子(株)取締役副社長
児玉 幸治	商工組合中央金庫理事長、 元通商産業事務次官	神谷 和男	(財)第二国立劇場運営財団 理事長、元文部事務次官
近藤 次郎	日本大学東名義長、 東京大学東名義長	木田 宏	産業医科学学長、東京大学 名誉教授
坂本 朝一	NHK名誉顧問・元会長	小泉 明	一橋大学名誉教授
高柳 素夫	九州産業大学名誉教授、 九州大学名誉教授	小島 清	東京工業大学・東京芸術大学 名誉教授
永井 道雄	(財)国際文化会館理事長、 元文部大臣	清家 清	元最高裁判所長官
奈須 紀幸	放送大学教授、 東京大学名誉教授	寺田 治郎	(財)民族学振興会理事長、 東京大学名誉教授
平岩 外四	(社)経済団体連合会会長、 東京電力(株)相談役	中根 千枝	基礎化学研究所所長、京都 大学名誉教授
古本 次郎	旭硝子(株)取締役社長	福井 謙一	大学名誉教授
向坊 隆	(社)日本原子力産業会議会長、 東京大学名誉教授	松永 信雄	(財)日本国際問題研究所理事 長兼所長、元駐米大使
諸橋 普六	三菱商事(株)取締役会長	三村 庸平	三菱商事(株)相談役
監事 飯野 地雄	元岩城硝子(株)取締役社長	宮田 庸二	松下政経塾塾長、高顧問
伊夫伎一雄	(株)三菱銀行会長、 三菱金曜会世話人代表	武者小路公秀	日本鉄鋼労働連合会 元国連大学副学長

3. 選考委員

表1-3-1 選考委員一覧 (旭硝子工業技術奨励会)

選考委員は各年度末時点で、五十音順で示す。

昭和54年度～56年度

委員長 山内 俊吉	東京工業大学名誉教授・ 元学長
委員 岩倉 義男 古川 淳二	成蹊大学教授 東京理科大学教授、京都 大学名誉教授
前田 四郎 牧島 象二 村井 資長 安井 義之 吉沢 四郎	東北大学名誉教授 東京理科大学名誉教授 早稲田大学前総長 旭硝子(株)医務顧問 京都大学教授

村井 資長	早稲田大学名誉教授・ 元総長
安井 義之 吉沢 四郎	旭硝子(株)医務顧問 京都大学名誉教授

昭和60年度

委員長 山内 俊吉	東京工業大学名誉教授・ 元学長
委員 岩倉 義男 古川 淳二	成蹊大学教授 東京理科大学教授、京都 大学名誉教授
前田 四郎 牧島 象二 村井 資長 安井 義之 吉沢 四郎	東北大学名誉教授 東京理科大学名誉教授 早稲田大学前総長 旭硝子(株)医務顧問 京都大学名誉教授

昭和57年度

委員長 山内 俊吉	東京工業大学名誉教授・ 元学長
委員 岩倉 義男 古川 淳二	成蹊大学教授 東京理科大学教授、京都 大学名誉教授
前田 四郎 牧島 象二 村井 資長 安井 義之 吉沢 四郎	東北大学名誉教授 東京理科大学名誉教授 早稲田大学前総長 旭硝子(株)医務顧問 京都大学教授

昭和61年度

委員長 牧島 象二	東京大学名誉教授
委員 岩倉 義男 大石 廉	成蹊大学教授 (財)旭硝子電子商品 開発所所長
鎌田 仁 古川 淳二 前田 四郎	東京大学名誉教授 京都大学名誉教授 東北大学名誉教授
村井 資長	早稲田大学名誉教授・ 元学長
安井 義之 山内 俊吉	旭硝子(株)医務顧問 東京工業大学名誉教授
吉沢 四郎	元学長 京都大学名誉教授

昭和58年度

委員長 山内 俊吉	東京工業大学名誉教授・ 元学長
委員 岩倉 義男 古川 淳二	成蹊大学教授 東京理科大学教授、京都 大学名誉教授
前田 四郎 牧島 象二 村井 資長 安井 義之 吉沢 四郎	東北大学名誉教授 東京理科大学名誉教授 早稲田大学前総長 旭硝子(株)医務顧問 京都大学名誉教授

昭和62年度

委員長 村井 資長	早稲田大学名誉教授・ 元総長
委員 岩倉 義男 大石 廉	成蹊大学教授 (財)旭硝子電子商品 開発所所長
鎌田 仁 古川 淳二 前田 四郎	東京大学名誉教授 京都大学名誉教授 東北大学名誉教授
牧島 象二 安井 義之 山内 俊吉	元学長 東京大学名誉教授 旭硝子(株)医務顧問 東京工業大学名誉教授
吉沢 四郎	元学長 京都大学名誉教授

昭和59年度

委員長 山内 俊吉	東京工業大学名誉教授・ 元学長
委員 岩倉 義男 古川 淳二	成蹊大学教授 東京理科大学教授、京都 大学名誉教授
前田 四郎 牧島 象二	東北大学名誉教授・ 元学長 東京大学名誉教授

昭和63年度

委員長 古川 淳二	京都大学名誉教授
委員 岩倉 義男	成蹊大学教授
大石 巖	(財)旭硝子電子商品 開発研究所長
鎌田 仁	東京大学名誉教授、 九州産業大学名誉教授、 九州大学名誉教授
高柳 素夫	九州産業大学名誉教授
前田 四郎	東京大学名誉教授
牧島 象二	東京大学名誉教授
村井 象資	早稲田大学名誉教授
安井 義之	旭硝子(株)医務顧問
吉沢 義之	京都大学名誉教授

平成元年度

委員長 岩倉 義男	東京大学名誉教授・ 成蹊大学名誉教授
委員 大石 巖	(財)旭硝子電子商品 開発研究所長
鎌田 仁	東京大学名誉教授、 元山形大学工学部長
高柳 素夫	九州産業大学名誉教授、 九州大学名誉教授
古川 淳二	東京大学名誉教授
前田 四郎	東京大学名誉教授
牧島 象二	東京大学名誉教授
村井 象資	早稲田大学名誉教授
安井 義之	旭硝子(株)医務顧問
吉沢 義之	京都大学名誉教授

表1-3-2 選考委員一覧(旭硝子財団)

注) 選考委員は年度末現在で、五十音順に表示した。

平成2年度

第1分野		第2分野	
委員長 前田 四郎	東北大名誉教授・ 元学長	委員長 木下 是雄	学習院大学名誉教授・ 元学長
委員 岩倉 義男	東京大学名誉教授、 成蹊大学名誉教授、元	委員 大石 巖	前旭硝子(株)開発本部 技師長
鎌田 仁	東京大学工学部長	近角 総信	東京大学名誉教授
高柳 素夫	山形大学工学部長	長尾 真	京都大学教授、民族博 物館併任教授
田丸 謙二	九州産業大学名誉教授、 東京理科大学名誉教授、 東京大学名誉教授	矢沢 彬	宮城工業専門学校 校長、東北大名誉教授
福井 三郎	(財)旭硝子(株)協会 会長、京都大学名誉 教授	第3分野	
古川 淳二	京都大学名誉教授	委員長 内田 祥哉	明治大学教授、東京大 学名誉教授
安井 義之	旭硝子(株)参事	委員 川崎 清迪夫	京都大学教授 東京工業大学教授
吉沢 義之	京都大学名誉教授		

注) 自然科学系第1分野: 工・理・農・薬・医学部の化学系、生物化学系
自然科学系第2分野: 工学部の物理・電子・情報・金属・機械系、理学部の物理・情報系
自然科学系第3分野: 工学部の建築・都市工学系

平成3~5年度

第1分野		人文・社会科学系	
委員長 鎌田 仁	東京大学名誉教授、元 山形大学工学部長	委員長 坂本 朝一	NHK名誉顧問・元会長
委員 曾我 直弘	京都大学工学部教授	委員 麻生 誠	大阪大学人間科学部教 授、放送大学客員教授
高柳 素夫	九州産業大学名誉教授、 九州大学名誉教授	岡野 行秀	創価大学教授 東京大 学名誉教授
田丸 謙二	東京理科大学名誉教授、 東京大学名誉教授	高橋潤二郎	慶応義塾大学環境情報 学部教授、(財)地域開 発研究所長
福井 三郎	(財)旭硝子(株)協会		

宮地 重遠	会長、京都大学名誉教授 (株)海洋バイオテクノロジー総合研究所長 、前東京大学応用微生物研究所長	武田 建 堀江 湛 森島 明夫	西学院大学社会学部教授・前学部長 ・前学部長 ・義塾大学法学部教授 ・学部長 ・古屋大学法学部教授 ・前学部長
村松 正実 山本 明夫	東京大学医学部教授、東京大学客員教授、早稲田大学名誉教授、東京工業大学名誉教授、東京資源化学研究所長		
第 2 分 野			
委員長 木下 是雄	学習院大学名誉教授・元学長		
委員 大石 巖	前旭硝子(株)開発本部技師長		
近角 総信 長尾 真	東京大学名誉教授、京都大学教授、民族博物館併任教授		
矢沢 彬	宮城工業高等専門学校長、東北大学名誉教授		
第 3 分 野			
委員長 内田 祥哉	明治大学教授、東京大学名誉教授		
委員 川崎 清 小池 迪夫	京都大学教授 東京工業大学教授		

第2章 財務関係の推移

1. 基本財産および運用財産

表2-1-1に昭和8年度から昭和35年度に至る旭化学工業奨励会の、表2-1-2に昭和36年度から平成元年に至る旭硝子工業技術奨励会の、表2-1-3に平成2年度から平成4年度までの旭硝子財団の基本財産および運用財産の推移を示した。

表2-1-1 基本金および剰余金（旭化学工業奨励会）

円

年度	基本金	剰余金	合計
昭和			
8年度(1933)	500,000	6,432.50	506,432.50
9年度(1934)	1,000,000	22,859.94	1,022,859.94
10年度(1935)	1,000,000	24,803.11	1,024,803.11
11年度(1936)	1,000,000	20,932.82	1,020,932.82
12年度(1937)	1,000,000	28,596.61	1,028,596.61
13年度(1938)	1,000,000	36,516.49	1,036,516.49
14年度(1939)	1,000,000	48,814.82	1,048,814.82
15年度(1940)	1,000,000	51,249.79	1,051,249.79
16年度(1941)	1,000,000	56,219.06	1,056,219.06
17年度(1942)	1,000,000	72,814.57	1,072,814.57
18年度(1943)	1,000,000	90,329.23	1,090,329.23
19年度(1944)			
20年度(1945)			
21年度(1946)			
22年度(1947)			
23年度(1948)	1,000,000	△847,902.45	152,097.55
24年度(1949)	1,000,000	△839,672.77	160,327.23
25年度(1950)	1,000,000	△833,761.28	166,238.72
26年度(1951)	1,000,000	251,743	1,251,743
27年度(1952)	1,000,000	2,195,216	2,195,216
28年度(1953)	1,000,000	7,068,054	8,068,054
29年度(1954)	1,000,000	10,185,286	11,185,286
30年度(1955)	1,000,000	24,081,012	25,081,012
31年度(1956)	1,000,000	37,605,452	38,605,452
32年度(1957)	1,000,000	74,651,194	75,651,194
33年度(1958)	1,000,000	100,528,322	101,528,322
34年度(1959)	100,000,000	30,373,027	130,373,027
35年度(1960)	100,000,000	290,849,439	390,849,439

注) 昭和19年度から22年度までは原数値不明。

表2-1-2 基本財産および運用財産（旭硝子工業技術奨励会）

円

年度	基本金	剰余金	合計
昭和			
36年度(1961)	100,000,000	329,698,547	429,698,547
37年度(1962)	100,000,000	361,326,999	461,326,999
38年度(1963)	100,000,000	398,522,316	498,522,316
39年度(1964)	300,000,000	238,619,782	538,619,782
40年度(1965)	500,000,000	97,275,091	597,275,091
41年度(1966)	500,000,000	161,331,230	661,331,230
42年度(1967)	500,000,000	225,936,886	725,936,886
43年度(1968)	500,000,000	290,064,515	790,064,515
44年度(1969)	500,000,000	372,587,485	872,587,485

45年度(1970)	500,000,000	670,263,412	1,170,263,412
46年度(1971)	500,000,000	783,614,904	1,283,614,904
47年度(1972)	500,000,000	889,009,023	1,389,009,023
48年度(1973)	500,000,000	990,085,282	1,490,085,282
49年度(1974)	500,000,000	1,083,580,150	1,583,580,150
50年度(1975)	500,000,000	1,180,119,023	1,680,119,023
51年度(1976)	500,000,000	1,267,957,009	1,767,957,009
52年度(1977)	500,000,000	1,379,433,102	1,879,433,102
53年度(1978)	1,500,000,000	444,502,417	1,944,502,417
54年度(1979)	1,500,000,000	506,492,706	2,006,492,706
55年度(1980)	1,500,000,000	592,196,515	2,092,196,515
56年度(1981)	1,500,000,000	709,856,526	2,209,856,526
57年度(1982)	1,500,000,000	818,929,510	2,318,929,510
58年度(1983)	1,500,000,000	945,280,277	2,445,280,277
59年度(1984)	2,000,000,000	573,469,023	2,573,469,023
60年度(1985)	2,000,000,000	697,387,508	2,697,387,508
61年度(1986)	2,000,000,000	803,447,177	2,803,447,177
年度	基本財産	運用財産	合計
昭和/平成			
62年度(1987)	2,000,000,000	869,106,542	2,869,106,542
63年度(1988)	2,000,000,000	936,537,464	2,936,537,464
元年度(1989)	3,200,000,000	1,002,659,642	4,202,659,642

表2-1-3 基本財産および運用財産（旭硝子財団）

円

年度	基本財産	運用財産	合計
平成			
2年度(1990)	3,200,000,000	1,006,692,338	4,206,692,338
3年度(1991)	3,200,000,000	968,456,210	4,168,456,210
4年度(1992)	5,000,000,000	1,029,049,769	6,029,049,769
5年度(1993)	5,000,000,000	—	—

注) 公益法人会計基準の改正に伴い、62年度以降項目名称を変更。

2. 収支計算書および貸借対照表

表2-2-1、表2-2-2に旭化学工業奨励会の、表2-2-4、表2-2-5に旭硝子工業技術奨励会の、表2-2-6、表2-2-7に旭硝子財団の収支計算書、貸借対照表を示した。また、表2-2-3に旭化学工業奨励会の財産目録を示した。

表2-2-1 収支計算書（旭化学工業奨励会）

(1) 昭和8年度～18年度

円

昭和 年度	収入の部							支出の部			当期 剰余金
	朝鮮殖産 債権利子	興業債権 利子	満鉄社債 利子	信託預金 利子	銀行預金 利子	雑 収入	合計	研 究 補助金	事務費	合計	
8			6,455			—	6,455	—	22	22	6,433
9	2,559	1,654	406	20,880	4,904	—	30,403	12,485	1,491	13,976	16,427
10	8,639	5,807	2,150	24,406	704	—	41,706	38,400	1,363	39,763	1,943
11	8,600	5,805	2,150	23,196	126	—	39,877	41,730	2,017	43,747	△3,870
12	8,600	5,805	2,150	23,364	156	—	40,075	28,170	4,241	32,411	7,664
13								27,390			7,919
14	8,557	5,805	2,150	23,408	401	—	40,321	23,330	4,693	28,023	12,298

15	8,557	5,805	2,150	26,482	523	14	43,531	29,650	11,446	41,096	2,435
16	8,234	5,805	2,150	23,408	722	48	40,367	25,900	9,498	35,398	4,969
17	8,027	5,805	2,150	23,408	1,062	53	40,505	17,400	6,510	23,910	16,595
18	7,740	5,805	2,150	24,555	1,106	—	41,356	14,620	9,222	23,842	17,514

注) 昭和13年度の空欄は原数値不明。

(2) 昭和23年度

円

収入の部	金額	支出の部	金額
銀行預金利子	334.30	雑損失	950,230.83
金銭信託収益金	6,391.22		
興業債券利札	418.50		
収入計	7,144.02		
当期損失金	943,086.81		
合計	950,230.83	合計	950,230.83

注) 雑損失は、①金融再建整備法第24条による切捨額 741,199.13円、その内訳は、富士信託東京支店金銭信託586,941.25円(切捨率90%)千代田銀行丸ノ内支店第二封鎖預金 46,257.88円(70%)、千代田銀行保護預け興業債券 108,000.00円(80%)である。②在外財産雑損失計上額 209,031.70円、その内訳は、第145回朝鮮殖産債券 159,156.70円、第43回南滿州鉄道株式会社公債 49,875.00円である。

(3) 昭和30年度～35年度

千円

年度	収入の部				支出の部				当期 剰余金
	株式配当	預金 利子	その他	合計	研究 補助金	借入金 利子	事務費	合計	
30	30,000	40	52	30,092	800	15,264	132	16,196	13,896
31	31,517	48	59	31,624	1,850	15,890	360	18,100	13,524
32	55,200	62	217	55,479	2,980	15,260	193	18,433	37,046
33	43,200	71	91	43,362	3,350	13,944	191	17,485	25,877
34	43,200	68	—	43,268	4,260	9,695	468	14,423	28,845
35	56,594	92	232,554	289,240	4,900	22,425	1,439	28,764	260,476

注) 株式配当金は旭硝子のもの。収入欄のその他は第二封鎖預金分配金、旧債券および金銭信託調整勘定利益配分金などである。なお、35年度のその他は株式売却金である。支出欄の借入金利子は旭硝子借入金に対するもの。事務費は、保護預け手数料、評議員会出席費用、研究報告発行費、雑費などである。

表2-2-2 貸借対照表(旭化学工業奨励会)

(1) 昭和8年度～18年度

円

昭和 年度	借 方							貸 方			
	有価証券	信託預金	特別 当座預金	備品	仮払金	未収入 金	合計	基本金	繰越金	未払金	合計
8	—	300,000	200,000	—	—	6,455	506,455	500,000	6,433	22	506,455
9	383,165	567,469	29,107	74	30,500	12,545	1,022,860	1,000,000	22,860	—	1,022,860
10	383,165	591,553	8,562 ^{*1)}	74	27,400	14,049	1,024,803	1,000,000	24,803	—	1,024,803
11	383,165	614,848	4,899	74	24,370	13,761	1,041,117	1,000,000	20,933	20,184 ^{*2)}	1,041,117
12	383,165	614,848	15,544	1,203	—	13,837	1,028,597	1,000,000	28,597	—	1,028,597
13							1,036,516	1,000,000	36,516	—	1,036,516
14	382,165	616,000	35,816	902	—	13,932	1,048,815	1,000,000	48,815	—	1,048,815
15	382,165	616,000	38,755	902	—	13,986	1,051,808	1,000,000	51,250	558	1,051,808
16	373,213	616,000	52,402	902	—	13,953	1,056,470	1,000,000	56,219	251	1,056,470

17	363,266	616,000	77,643	902	-	15,004	1,072,815	1,000,000	72,815	-	1,072,815
18	363,266	650,000	67,515 ^{*)}	902	-	9,105	1,090,788	1,000,000	90,329	459	1,090,788

注) 昭和13年度の空欄は原数値不明。

*1) 昭和10年度の特別当座預金には、当座預金62円を含む。

*2) 昭和11年度の未払金には、仮預金20,000円を含む。

*3) 昭和18年度の特別当座預金には、通知預金50,000円を含む。

(2) 昭和30年度～35年度

千円

昭和 年度	借 方			貸 方				
	銀行預金	有価証券	合 計	基本金	借入金	前期繰越金	当期剰余金	合 計
30	2,723	321,358	324,081	1,000	299,000	10,185	13,896	324,081
31	247	366,358	366,605	1,000	328,000	24,081	13,524	366,605
32	4,293	366,358	370,651	1,000	295,000	37,605	37,046	370,651
33	4,170	366,358	370,528	1,000	269,000	74,651	25,877	370,528
34	8,015	366,359	374,373	100,000	244,000	1,528	28,845	374,373
35	15,471	395,379	410,849	100,000	20,000	30,373	260,476	410,849

注) 各数値は四捨五入のため合計と一致しないことがある。

銀行預金は三菱銀行丸ノ内支店普通預金、有価証券は旭硝子株式、借入金は旭硝子借入金である。

表2-2-3 財産目録 (旭化学工業奨励会)

昭和23年度

円

摘 要	金 額	備 考
有 価 証 券	26,340.00	額面 135,000.00
第176回興業債券	26,340.00	
金 銭 信 託	102,729.27	
富士信託京橋支店	102,729.27	
銀 行 預 金	22,199.88	
千代田銀行丸ノ内支店	20,981.11	
三和銀行京橋支店	1,218.77	
備 品	730.00	
電 話	522.00	
書類棚、机、椅子 その他	208.00	
仮 払 金	98.40	
小口現金	98.40	
合 計	152,097.55	

表2-2-4 収支計算書 (旭硝子工業技術奨励会)

(1) 昭和36年度～平成元年度

千円

年度	収 入 の 部					支 出 の 部				
	株 式 配当金	預 金 利子	貸付信 託利子	そ の 他 収 入	収入合計	助成事業 支出総計	その他の 事務雑費	借入金 利子	固定資産 取得支出	支出合計
昭和										
36	52,000	146	-	-	52,146	11,570	1,119	608	-	13,297
37	73,323	642	-	-	73,965	28,050	2,429	11,857	-	42,336
38	87,750	608	-	-	88,358	34,200	2,771	14,192	-	51,163
39	90,137	846	-	-	90,983	30,445	2,961	17,480	-	50,886
40	122,850	699	-	-	123,549	33,010	3,323	28,561	-	64,894
41	122,850	934	-	-	123,784	31,250	3,711	24,767	-	59,728

42	122,850	1,638	-	-	124,488	34,590	4,589	20,704	-	59,882
43	144,454	1,556	-	-	146,010	42,140	4,048	35,694	-	81,882
44	163,800	1,462	-	-	165,262	47,080	5,296	30,363	-	82,739
45	172,000	1,309	-	188,338	361,646	50,530	6,724	6,716	-	63,970
46	172,000	910	-	-	172,910	52,050	7,508	-	-	59,558
47	172,000	7,732	2,275	-	182,007	64,150	12,463	-	-	76,613
48	172,000	11,975	6,747	1,072	191,794	76,562	14,155	-	-	90,717
49	172,000	10,749	13,140	1,590	197,479	87,250	16,734	-	-	103,984
50	165,550	16,770	19,170	1,655	203,145	89,210	17,396	-	-	106,606
51	165,550	13,422	25,591	3,155	207,718	99,350	20,530	-	-	119,880
52	198,660	15,918	31,056	3,091	248,725	110,426	26,823	-	-	137,249
53	191,210	8,812	31,404	3,055	234,482	124,400	45,012	-	-	169,412
54	191,210	1,918	37,562	3,222	243,912	126,800	55,122	-	-	181,922
55	204,858	8,342	50,180	3,399	266,789	124,550	56,535	-	-	190,260
56	229,452	5,856	52,228	4,553	302,089	124,858	59,571	-	-	184,429
57	229,452	10,197	57,677	10,901	308,226	135,350	63,803	-	-	199,153
58	236,085	3,122	66,070	16,204	321,480	133,038	62,091	-	-	195,129
59	241,843	4,413	66,374	24,677	337,307	142,710	66,408	-	-	209,118
60	241,843	3,037	65,432	22,615	332,929	140,958	68,052	-	-	209,011
61	241,843	4,889	61,907	23,544	332,183	153,100	73,023	-	-	226,123
62	247,890	4,125	51,595	117,877	421,487	171,786	83,542	-	160,000	415,328
63	253,935	8,360	59,331	230,838	552,464	193,347	82,108	-	260,000	535,455
平成 元	285,677	9,073	70,037	1,325,781	1,690,568	240,397	77,163	-	1,330,000	1,659,959

注) 各数値は四捨五入のため合計と一致しないことがある。

昭和45年度のその他収入は株式売却差益である。

公益法人会計基準の改正にともない、62年度以降のその他収入には、固定資産売却収入、その他を含む。すなわち、62年度は固定資産売却収入100,000千円、63年度には固定資産売却収入218,600千円及び雑収入24.8千円、平成元年度には固定資産売却収入1,315,178千円（このうち株式売却収入1,235,178千円）及び借入金収入7,400千円を含む。

助成事業支出総計は、研究補助、調査助成金、寄付金（施設助成）の合計である。

その他の事務雑費は、研究報告発行費と事務雑費の合計である。

55年度の支出合計には、差入保証金9,175千円を含む。平成元年度の支出合計には長期貸付金支出12,400千円を含む。

表2-2-5 貸借対照表（旭硝子工業技術奨励会）

(1) 昭和36年度～46年度

千円

昭和 年度	借 方			貸 方					
	銀行預金	有価証券(旭硝子株式)	合 計	基本金	借入金	剰余金	(前期繰越剰余金)	(当期剰余金)	合 計
36	34,320	395,379	429,699	100,000	-	329,699	290,849	38,849	429,699
37	21,948	629,379	651,327	100,000	190,000	361,327	329,699	31,628	651,327
38	29,143	629,379	658,522	100,000	160,000	398,522	361,327	37,195	658,522
39	34,241	921,879	956,120	300,000	417,500	238,620	198,522	40,098	956,120
40	47,896	921,879	969,775	500,000	372,500	97,275	38,620	58,655	969,775
41	56,452	921,879	978,331	500,000	317,000	161,331	97,275	64,056	978,331
42	64,058	921,879	985,937	500,000	260,000	225,937	161,331	64,606	985,937
43	64,936	1,185,129	1,250,065	500,000	460,000	290,065	225,937	64,128	1,250,065
44	67,458	1,185,129	1,252,587	500,000	380,000	372,587	290,064	82,523	1,252,587
45	81,369	1,088,894	1,170,263	500,000	-	670,263	372,587	297,676	1,170,263
46	194,721	1,088,894	1,283,615	500,000	-	783,615	670,263	113,352	1,283,615

(2) 昭和47年度～平成元年度

千円

年度	資 産 の 部						資産合計
	銀行預金	株 式	貸付信託	轉換社債	国 債	その他 資 産	
昭和							
47	240,115	1,088,894	60,000	-	-	-	1,389,009
48	251,192	1,088,984	120,000	30,000	-	-	1,490,085
49	264,687	1,088,894	200,000	30,000	-	-	1,583,580
50	280,363	1,088,894	270,000	30,000	10,863	-	1,680,119
51	267,511	1,088,894	360,000	30,000	10,863	10,690	1,767,957
52	288,467	1,088,894	450,000	30,000	10,863	11,210	1,879,433
53	283,068	1,088,894	520,000	30,000	10,863	11,790	1,944,614
54	274,334	1,088,894	590,000	30,000	10,863	12,540	2,006,630
55	250,018	1,088,894	690,000	30,000	10,863	22,635	2,092,409
56	292,067	1,088,894	720,000	30,000	59,940	19,175	2,210,076
57	66,045	1,088,894	820,000	30,000	59,940	254,292	2,319,171
58	60,370	1,188,893	920,000	-	59,940	286,339	2,455,543
59	61,008	1,118,893	1,000,000	-	59,940	334,074	2,573,916
60	61,498	1,118,893	1,011,000	-	49,078	457,175	2,697,645
61	85,926	1,118,893	1,111,000	-	49,078	439,175	2,804,072
62	162,557	1,118,893	1,211,000	60,000	49,078	274,175	2,875,703
63	262,887	1,118,893	1,411,000	60,000	-	85,175	2,937,955
平成 元	1,546,431	1,098,907	1,431,000	60,000	-	81,575	4,217,913

千円

年度	負 債 の 部				負債合計
	基 本 金	流動 負債	固定 負債	余 剰 金	
昭和					
47	500,000	-	-	889,009	1,389,009
48	500,000	-	-	990,085	1,490,085
49	500,000	-	-	1,083,580	1,583,580
50	500,000	-	-	1,180,119	1,680,119
51	500,000	-	-	1,267,957	1,767,957
52	500,000	-	-	1,379,433	1,879,433
53	1,500,000	112	-	444,502	1,944,614
54	1,500,000	137	-	506,493	2,006,630
55	1,500,000	213	-	592,197	2,092,409
56	1,500,000	220	-	709,856	2,210,076
57	1,500,000	241	-	818,930	2,319,171
58	1,500,000	263	-	945,280	2,445,543
59	2,000,000	447	-	573,469	2,573,916
60	2,000,000	257	-	697,387	2,697,644
61	2,000,000	625	-	803,447	2,804,072
62	2,000,000	6,096	500	869,106	2,875,703
63	2,000,000	418	1,000	936,537	2,937,955
平成 元	3,200,000	7,353	7,900	1,002,660	4,217,913

注) 各数値は四捨五入のため、合計は一致しないことがある。昭和62年度以降は、公益法人会計基準の改正にともない各項目の表示が変更されたが、ここでは便宜上従来の項目で算出している。

表2-2-6 収支計算書（旭硝子財団）

平成2年度～4年度

千円

科 目	平成2年度	平成3年度	平成4年度
収入の部			
基本財産運用収入	415,772	413,436	393,773
固定資産売却収入	—	—	2,308,750
雑収入	75,935	76,263	65,897
その他収入	6,600	24,000	—
当期収入合計(A)	498,307	513,699	2,768,420
前期繰越収支差額	289,078	287,811	268,575
収入合計(B)	787,385	801,510	3,036,995
支出の部			
事業費	262,566	368,988	666,576
管理費	225,108	158,947	158,413
固定資産取得支出	—	—	1,875,975
その他支出	11,900	5,000	5,000
当期支出合計(C)	499,574	532,935	2,705,964
当期収支差額(A)-(C)	△1,267	△19,236	62,456
次期繰越収支差額(B)-(C)	287,811	268,575	331,031

注) 支出の部の事業費には、出版費（研究報告等印刷費）、寄付金等を含む。
資料：事業報告書

表2-2-7 貸借対照表（旭硝子財団）

平成2年度～4年度

千円

科 目	平成2年度	平成3年度	平成4年度
資産の部			
流動資産	288,065	268,746	331,113
固定資産	3,933,381	3,909,381	5,702,519
基本財産	3,200,000	3,200,000	5,000,000
その他の固定資産	733,381	709,381	702,519
資産合計	4,221,446	4,178,127	6,033,632
負債の部			
流動負債	254	171	82
固定負債	14,500	9,500	4,500
負債合計	14,754	9,671	4,582
正味財産の部			
正味財産	4,206,692	4,168,456	6,029,050
(うち基本金)	(3,200,000)	(3,200,000)	(5,000,000)
(うち当期正味財産増加額)	(4,032)	(△38,236)	(1,860,594)
負債及び正味財産合計	4,221,446	4,178,127	6,033,632

第3章 事業等の推移

1. 研究助成事業の件数、金額の推移

表3-1-1、表3-1-2、表3-1-3に研究助成、海外研究助成、国際会議助成および海外研究発表助成を合わせた助成事業全体の件数、金額の推移を、表3-2-1、表3-2-2、表3-2-3に助成事業のうちの研究助成の件数、金額の推移を示した。表3-3-1、表3-3-2、表3-3-3に研究助成の種別毎の助成件数、金額の推移を示した。また、図3-1に研究助成の件数、金額の、図3-2に申請件数の推移を示した。

上記助成以外に、「冠講座助成」1件、36,880千円（平成元年度20,000千円、2年度16,880千円に分割して助成）、「材料ナノ普及助成」42件、24,063,250円（平成3年度に実施）がある。

なお、研究助成の名称の変遷について述べると、昭和9～35年度間は「補助費」、「研究費補助金」、「研究補助」、昭和36年度からは、「研究助成費」、「研究助成金」、現在は「研究助成」が用いられている（主に会計報告中の名称による）。

表3-1-1 助成事業の件数、金額（旭化学工業奨励会）

年度	研究助成		国際会議助成	海外研究発表助成	計	
	総数	海外分(内数)			件	円
昭和	件	円			件	円
9年度(1934)	10	12,485			10	12,485
10年度(1935)	21	38,400			21	38,400
11年度(1936)	21	41,730			21	41,730
12年度(1937)	19	28,170			19	28,170
13年度(1938)	17	27,390			17	27,390
14年度(1939)	15	23,330			15	23,330
15年度(1940)	17	29,650			17	29,650
16年度(1941)	19	25,900			19	25,900
17年度(1942)	14	17,400			14	17,400
18年度(1943)	10	14,620			10	14,620
19年度(1944)	13	27,550			13	27,550
20年度(1945)	11	28,050			11	28,050
昭和9～20年度 小計	187	314,675			187	314,675
昭和	千円				千円	
30年度(1955)	8	800			8	800
31年度(1956)	18	1,850			18	1,850
32年度(1957)	16	2,980			16	2,980
33年度(1958)	21	3,350			21	3,350
34年度(1959)	24	4,260			24	4,260
35年度(1960)	27	4,900			27	4,900
累計	301	18,455			301	18,455

表3-1-2 助成事業の件数、金額（旭硝子工業技術奨励会）

千円

年度	研究助成		国際会議助成	海外研究発表助成	計	
	総数	海外分(内数)			件	金額
36年度(1961)	38	10,820	2	250	44	11,570

37年度(1962)	48	13,300			3	13,500	9	1,200	60	28,000
38年度(1963)	47	13,750			4	20,000	4	450	55	34,200
39年度(1964)	61	20,795			7	8,250	11	1,400	79	30,445
40年度(1965)	74	25,410			5	6,100	9	1,500	88	33,010
41年度(1966)	73	26,300			3	3,000	10	1,450	86	30,750
42年度(1967)	75	31,800			3	1,540	4	1,250	82	34,590
43年度(1968)	78	36,770			6	4,050	7	1,320	91	42,140
44年度(1969)	80	41,030			2	5,500	4	550	86	47,080
45年度(1970)	76	41,030			5	9,100	2	400	83	50,530
46年度(1971)	83	50,600			3	1,200	2	250	88	52,050
47年度(1972)	95	63,500			1	300	2	350	98	64,150
48年度(1973)	98	75,250			2	500	4	750	104	76,500
49年度(1974)	99	86,850			1	100	2	300	102	87,250
50年度(1975)	93	86,760			2	1,650	4	800	99	89,210
51年度(1976)	92	93,100			5	5,800	4	650	101	99,550
52年度(1977)	95	101,920			8	7,250	7	1,256	110	110,426
53年度(1978)	107	116,800			5	5,500	11	2,100	123	124,400
54年度(1979)	110	118,750			6	6,050	8	2,000	124	126,800
55年度(1980)	105	117,200			4	5,450	7	1,900	116	124,550
56年度(1981)	107	119,800			7	1,390	11	3,668	125	124,858
57年度(1982)	114	128,600	2	5,000	13	2,550	11	4,200	138	135,350
58年度(1983)	115	129,200	1	3,000	9	2,000	7	1,831	131	133,031
59年度(1984)	120	136,610	2	4,710	7	1,850	11	4,250	138	142,710
60年度(1985)	122	137,900	3	5,000	9	2,520	12	3,960	143	144,380
61年度(1986)	133	144,300	3	5,000	9	3,000	13	5,000	155	152,300
62年度(1987)	150	159,600	3	5,000	11	4,205	15	5,850	176	169,655
63年度(1988)	163	183,400	6	7,000	14	4,387	20	7,400	197	195,187
元年度(1989)	170	188,000	7	7,000	14	2,550	21	8,000	205	198,550
累 計	2,821	2,499,145	27	41,710	170	129,542	236	64,535	3,227	2,693,222

表3-1-3 助成事業の件数、金額（旭硝子財団）

千円

年度	研究助成				国際会議助成		海外研究発表助成		計	
	総 数		海外分(内数)							
2年度(1990)	168	212,400	6	9,000	24	5,872	12	4,427	204	222,699
3年度(1991)	147	296,400	8	11,000	28	8,550	17	5,800	192	310,750
4年度(1992)	173	361,800	10	13,000	22	8,800	4	1,450	199	372,050
5年度(1993)	218	381,300	11	13,000	—	—	—	—	218	381,300
累 計	706	1,251,900	35	46,000	74	23,222	33	11,677	813	1,286,799

表3-1-4 助成事業の件数、金額（合計）

千円

	研究助成				国際会議助成 *a		海外研究発表 助成 *b		計	
	総 数		海外分(内数)							
合 計	3,828	3,769,500	62	87,710	244	152,764	269	76,212	4,341	3,998,476

*a) 昭和36～52年度の名称は「寄付金」、昭和53～平成元年度は「施設助成」、平成2年度からは「国際会議助成」。

*b) 昭和36～53年度の名称は「海外調査費」、昭和54～平成2年度は「調査助成」、平成3年度からは「海外研究発表助成」。

表3-2-1 研究助成の件数、金額 (旭化学工業奨励会)

年度	申請件数				採択件数および金額						
	新規分	継続分	計	海外分 (内数)	新規分		継続分		計	海外分 (内数)	
昭和						円		円		円	
9年度	10	—	10		10	12,485	—	—	10	12,485	
10年度	17	9	26		12	26,900	9	11,500	21	38,400	
11年度	10	12	22		9	20,830	12	20,900	21	41,730	
12年度	15	8	23		11	18,470	8	9,700	19	28,170	
13年度	10	11	21		6	6,740	11	20,650	17	27,390	
14年度	13	6	19		9	15,980	6	7,350	15	23,330	
15年度	12	7	19		10	15,780	7	13,870	17	29,650	
16年度	14	12	26		7	10,800	12	15,100	19	25,900	
17年度	13	7	20		7	10,100	7	7,300	14	17,400	
18年度	9	4	13		6	9,550	4	5,070	10	14,620	
19年度	9	5	14		8	16,400	5	11,150	13	27,550	
20年度	5	6	11		5	12,050	6	16,000	11	28,050	
小計	137	87	224		100	176,085	87	138,590	187	314,675	
昭和						千円		千円		千円	
30年度	8	—	8		8	800	—	—	8	800	
31年度	13	7	20		11	1,150	7	700	18	1,850	
32年度	12	8	20		10	1,950	6	1,030	16	2,980	
33年度	16	10	26		12	1,650	9	1,700	21	3,350	
34年度	15	12	27		12	2,080	12	2,180	24	4,260	
35年度	19	12	31		15	2,500	12	2,400	27	4,900	
小計	83	49	132		46	10,130	46	8,010	114	18,140	
累計	220	136	356		168	10,306	133	8,149	301	18,455	

表3-2-2 研究助成の件数、金額 (旭硝子工業技術奨励会)

千円

年度	申請件数				採択件数および金額						
	新規分	継続分	計	海外分 (内数)	新規分		継続分		計	海外分 (内数)	
昭和											
36年度	27	13	40		25	7,080	13	3,740	38	10,820	
37年度	27	24	51		24	6,550	24	6,750	48	13,300	
38年度	27	23	50		24	7,050	23	6,700	47	13,750	
39年度	41	22	63		39	13,120	22	7,675	61	20,795	
40年度	39	38	77		36	12,000	38	13,410	74	25,410	
41年度	39	35	74		38	14,050	35	12,250	73	26,300	
42年度	37	38	75		37	16,350	38	15,450	75	31,800	
43年度	42	36	78		42	19,470	36	17,300	78	36,770	
44年度	40	40	80		40	22,030	40	19,000	80	41,030	
45年度	44	39	83		37	20,960	39	20,070	76	41,030	
46年度	47	36	83		47	29,800	36	20,800	83	50,600	
47年度	48	47	95		48	33,250	47	30,250	95	63,500	
48年度	50	48	98		50	38,100	48	37,150	98	75,250	
49年度	50	52	102		47	39,520	52	47,330	99	86,850	
50年度	47	50	97		43	33,860	50	52,900	93	86,760	
51年度	52	46	98		46	47,150	46	45,950	92	93,100	
52年度	53	45	98		50	57,120	45	44,800	95	101,920	
53年度	60	53	113		54	57,050	53	59,750	107	116,800	

54年度	68	55	123		55	63,900	55	54,850	110	118,750		
55年度	65	55	120		50	60,300	55	56,900	105	117,200		
56年度	70	53	123		54	64,000	53	55,800	107	119,800		
57年度	84	57	141	2	57	73,000	57	55,600	114	128,600	2	5,000
58年度	77	59	136	1	56	70,500	59	58,700	115	129,200	1	3,000
59年度	88	60	148	2	60	75,710	60	60,900	120	136,610	2	4,710
60年度	87	62	149	3	60	75,000	62	62,900	122	137,900	3	5,000
61年度	106	60	166	3	73	84,500	60	59,800	133	144,300	3	5,000
62年度	112	74	186	3	76	89,000	74	70,600	150	159,600	3	5,000
63年度	116	77	193	6	86	105,500	77	77,900	163	183,400	6	7,000
平成 元年度	129	84	213	7	86	102,500	84	85,500	170	188,000	7	7,000
累計	1,772	1381	3153	27	1,440	1,338,420	1,381	1,160,725	2,821	2,499,145	27	41,710

表3-2-3 研究助成の件数、金額（旭硝子財団）

千円

年度	申請件数				採択件数および金額							
	新規分	継続分	計	海外分 (内数)	新規分		継続分		計		海外分 (内数)	
平成 2年度	162	85	247	6	83	136,000	85	76,400	168	212,400	6	9,000
3年度	213	82	295	8	65	204,400	82	92,000	147	296,400	8	11,000
4年度	509	67	576	17	106	265,100	67	96,700	173	361,800	10	13,000
5年度	512	114	626	21	104	238,300	114	143,000	218	381,300	11	13,000
累計	1,396	348	1,744	52	358	843,800	348	408,100	706	1,251,900	35	46,000

表3-2-4 研究助成の件数、金額（合計）

千円

	申請件数				採択件数および金額							
	新規分	継続分	計	海外分 (内数)	新規分		継続分		計		海外分 (内数)	
合計	3,388	1,865	5,253	79	1,966	2,192,526	1,862	1,576,974	3,828	3,769,500	62	87,710

表3-3-1 研究助成種別毎の助成件数、金額（旭化学工業奨励会）

年度	普通研究助成					
	新規分		継続分		計	
昭和		円		円		円
9年度(1934)	10	12,485	—	—	10	12,485
10年度(1935)	12	26,900	9	11,500	21	38,400
11年度(1936)	9	20,830	12	20,900	21	41,730
12年度(1937)	11	18,470	8	9,700	19	28,170
13年度(1938)	6	6,740	11	20,650	17	27,390
14年度(1939)	9	15,980	6	7,350	15	23,330
15年度(1940)	10	15,780	7	13,870	17	29,650
16年度(1941)	7	10,800	12	15,100	19	25,900
17年度(1942)	7	10,100	7	7,300	14	17,400
18年度(1943)	6	9,550	4	5,070	10	14,620

19年度(1944)	8	16,400	5	11,150	13	27,550
20年度(1945)	5	12,050	6	16,000	11	28,050
昭和9～20年度 小計	100	176,085	87	138,590	187	314,675
昭和		千円		千円		千円
30年度(1955)	8	800	—	—	8	800
31年度(1956)	11	1,150	7	700	18	1,850
32年度(1957)	10	1,950	6	1,030	16	2,980
33年度(1958)	12	1,650	9	1,700	21	3,350
34年度(1959)	12	2,080	12	2,180	24	4,260
35年度(1960)	15	2,500	12	2,400	27	4,900
計	168	10,306	133	8,149	301	18,455

表3-3-2 研究助成種別毎の助成件数、金額（旭硝子工業技術奨励会）

（普通研究助成）

千円

年 度	普通研究助成					
	新規分		継続分		計	
昭和/平成						
36年度(1961)	25	7,080	13	3,740	38	10,820
37年度(1962)	24	6,550	24	6,750	48	13,300
38年度(1963)	24	7,050	23	6,700	47	13,750
39年度(1964)	39	13,120	22	7,675	61	20,795
40年度(1965)	36	12,000	38	13,410	74	25,410
41年度(1966)	38	14,050	35	12,250	73	26,300
42年度(1967)	37	16,350	38	15,450	75	31,800
43年度(1968)	42	19,470	36	17,300	78	36,770
44年度(1969)	40	22,030	40	19,000	80	41,030
45年度(1970)	36	19,360	39	20,070	75	39,430
46年度(1971)	45	23,800	35	18,700	80	42,500
47年度(1972)	45	24,450	44	24,000	89	48,450
48年度(1973)	47	28,800	44	25,450	91	54,250
49年度(1974)	44	30,500	47	33,130	91	63,630
50年度(1975)	43	33,860	44	35,250	87	69,110
51年度(1976)	43	36,450	43	37,050	86	73,500
52年度(1977)	46	42,120	42	34,800	88	76,920
53年度(1978)	51	48,050	46	42,450	97	90,500
54年度(1979)	50	47,400	50	47,350	100	94,750
55年度(1980)	47	46,800	50	47,400	97	94,200
56年度(1981)	50	50,000	47	43,800	97	93,800
57年度(1982)	50	50,000	50	43,200	100	93,200
58年度(1983)	51	51,000	50	44,100	101	95,100
59年度(1984)	53	53,000	51	46,900	104	99,900
60年度(1985)	52	52,000	53	45,900	105	97,900
61年度(1986)	60	60,000	52	45,800	112	105,800
62年度(1987)	59	59,000	60	51,600	119	110,600
63年度(1988)	61	61,000	59	53,400	120	114,400
元年度(1989)	60	60,000	61	56,000	121	116,000
計	1,298	995,298	1,236	898,625	2,534	1,893,915

(特別研究助成および海外研究助成)

千円

年度	特別研究助成						海外研究助成 (すべて新規分)	
	新規分		継続分		計			
昭和/平成								
45年度(1970)	1	1,600	—	—	1	1,600		
46年度(1971)	2	6,000	1	2,100	3	8,100		
47年度(1972)	3	8,800	3	6,250	6	15,050		
48年度(1973)	3	9,300	4	11,700	7	21,000		
49年度(1974)	3	9,020	5	14,200	8	23,220		
50年度(1975)	—	—	6	17,650	6	17,650		
51年度(1976)	3	10,700	3	8,900	6	19,600		
52年度(1977)	4	15,000	3	10,000	7	25,000		
53年度(1978)	3	9,000	7	17,300	10	26,300		
54年度(1979)	5	16,500	5	7,500	10	24,000		
55年度(1980)	3	13,500	5	9,500	8	23,000		
56年度(1981)	4	14,000	6	12,000	10	26,000		
57年度(1982)	5	18,000	7	12,400	12	30,400	2	5,000
58年度(1983)	4	16,500	9	14,600	13	31,100	1	3,000
59年度(1984)	5	18,000	9	14,000	14	32,000	2	4,710
60年度(1985)	5	18,000	9	17,000	14	35,000	3	5,000
61年度(1986)	4	13,500	8	14,000	12	27,500	3	5,000
62年度(1987)	5	16,000	8	13,000	13	29,000	3	5,000
63年度(1988)	7	25,500	9	15,500	16	41,000	6	7,000
元年度(1989)	6	22,500	11	17,500	17	40,000	7	7,000
計	75	261,420	118	235,100	193	496,520	27	41,710

(奨励研究助成)

千円

年度	奨励研究助成					
	新規分		継続分		計	
昭和/平成						
61年度(1986)	6	6,000	—	—	6	6,000
62年度(1987)	9	9,000	6	6,000	15	15,000
63年度(1988)	12	12,000	9	9,000	21	21,000
元年度(1989)	13	13,000	12	12,000	25	25,000
計	40	40,000	27	27,000	67	67,000

表3-3-3 研究助成種別毎の助成件数、金額 (旭硝子財団)

(普通研究助成)

千円

年度	普通研究助成					
	新規分		継続分		計	
平成						
2年度(1990)	56	56,000	60	47,400	116	103,400
3年度(1991)	—	—	56	45,000	56	45,000
計	56	56,000	116	92,400	172	148,400

〈特別研究助成および海外研究助成〉

千円

年 度	特別研究助成						海外研究助成 (すべて新規分)	
	新規分		継続分		計			
平成								
2年度(1990)	6	24,500	12	16,000	18	40,500	6	9,000
3年度(1991)	—	—	11	19,000	11	19,000	8	11,000
4年度(1992)	—	—	6	0	6	0	10	13,000
5年度(1993)	—	—	—	—	—	—	11	13,000
計	6	24,500	29	35,000	35	59,500	35	46,000

〈課題研究助成〉

千円

年 度	課題研究助成					
	新規分		継続分		計	
平成						
2年度(1990)	3	17,500	—	—	3	17,500
3年度(1991)	11	95,000	3	8,000	14	103,000
4年度(1992)	12	85,600	14	36,000	26	121,600
5年度(1993)	9	60,900	22	45,900	31	106,800
計	35	259,000	39	89,900	74	348,900

〈特定研究助成〉

千円

年 度	特定研究助成					
	新規分		継続分		計	
平成						
3年度(1991)	7	33,200	—	—	7	33,200
4年度(1992)	14	62,200	7	16,500	21	78,700
5年度(1993)	16	62,500	21	29,000	37	91,500
計	37	157,900	28	45,500	65	203,400

〈奨励研究助成〉

千円

年 度	奨励研究助成					
	新規分		継続分		計	
平成						
2年度(1990)	11	11,000	13	13,000	24	24,000
3年度(1991)	37	37,000	11	11,000	48	48,000
4年度(1992)	50	54,300	37	28,600	87	82,900
5年度(1993)	49	48,800	50	39,300	99	88,100
計	147	151,100	111	91,900	258	243,000

(総合研究助成)

千円

年 度	総 合 研 究 助 成					
	新 規 分		継 続 分		計	
平成						
2年度(1990)	1	18,000	—	—	1	18,000
3年度(1991)	2	28,200	1	9,000	3	37,200
4年度(1992)	4	32,100	3	15,600	7	47,700
5年度(1993)	4	36,200	5	13,000	9	49,200
計	11	114,500	9	37,600	20	152,100

(人文・社会系研究助成)

千円

年 度	人 文 ・ 社 会 系 研 究 助 成					
	新 規 分		継 続 分		計	
平成						
4年度(1992)	16	17,900	—	—	16	17,900
5年度(1993)	15	16,900	16	15,800	31	32,700
計	31	34,800	16	15,800	47	50,600

図3-1 研究助成の件数、金額の推移

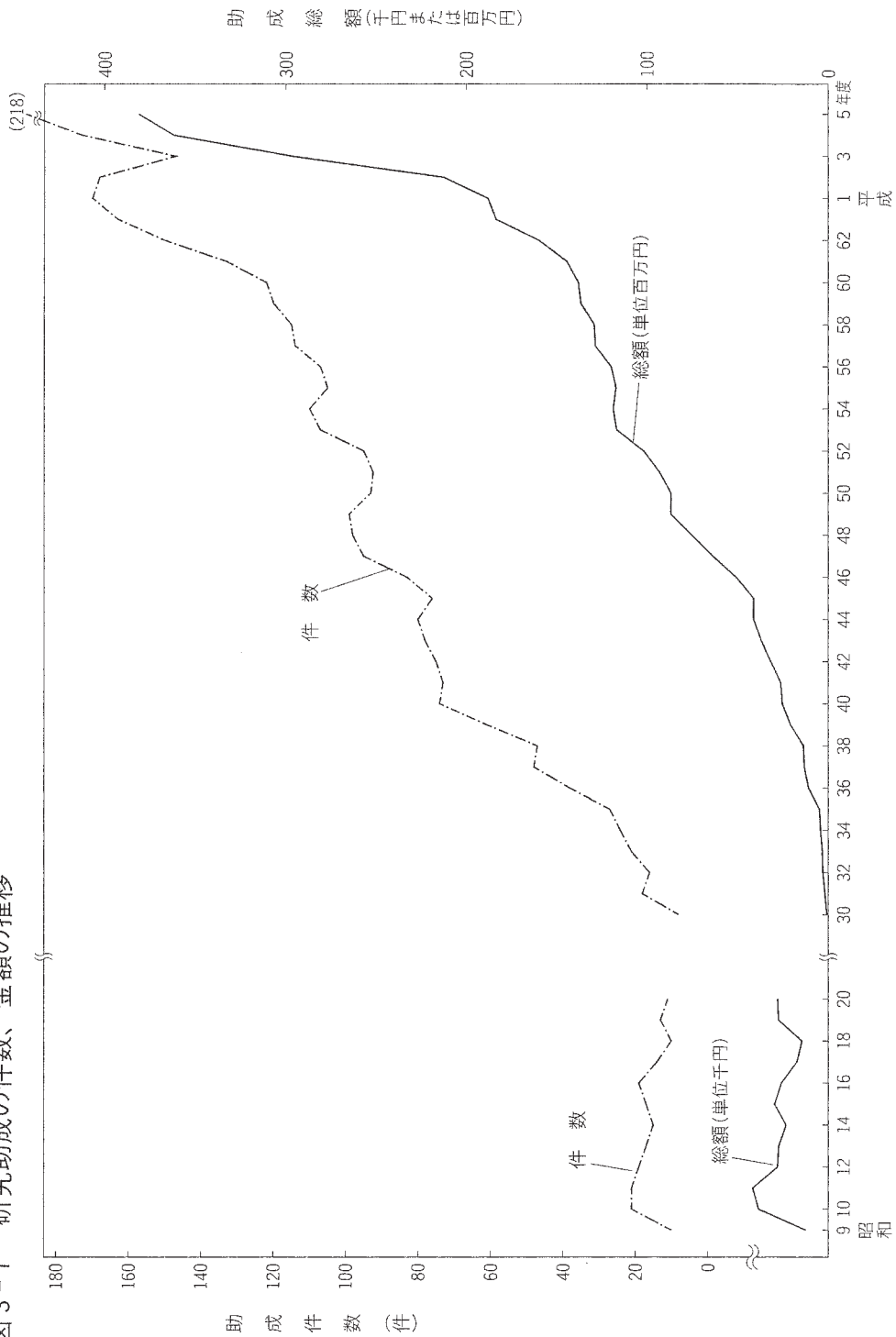
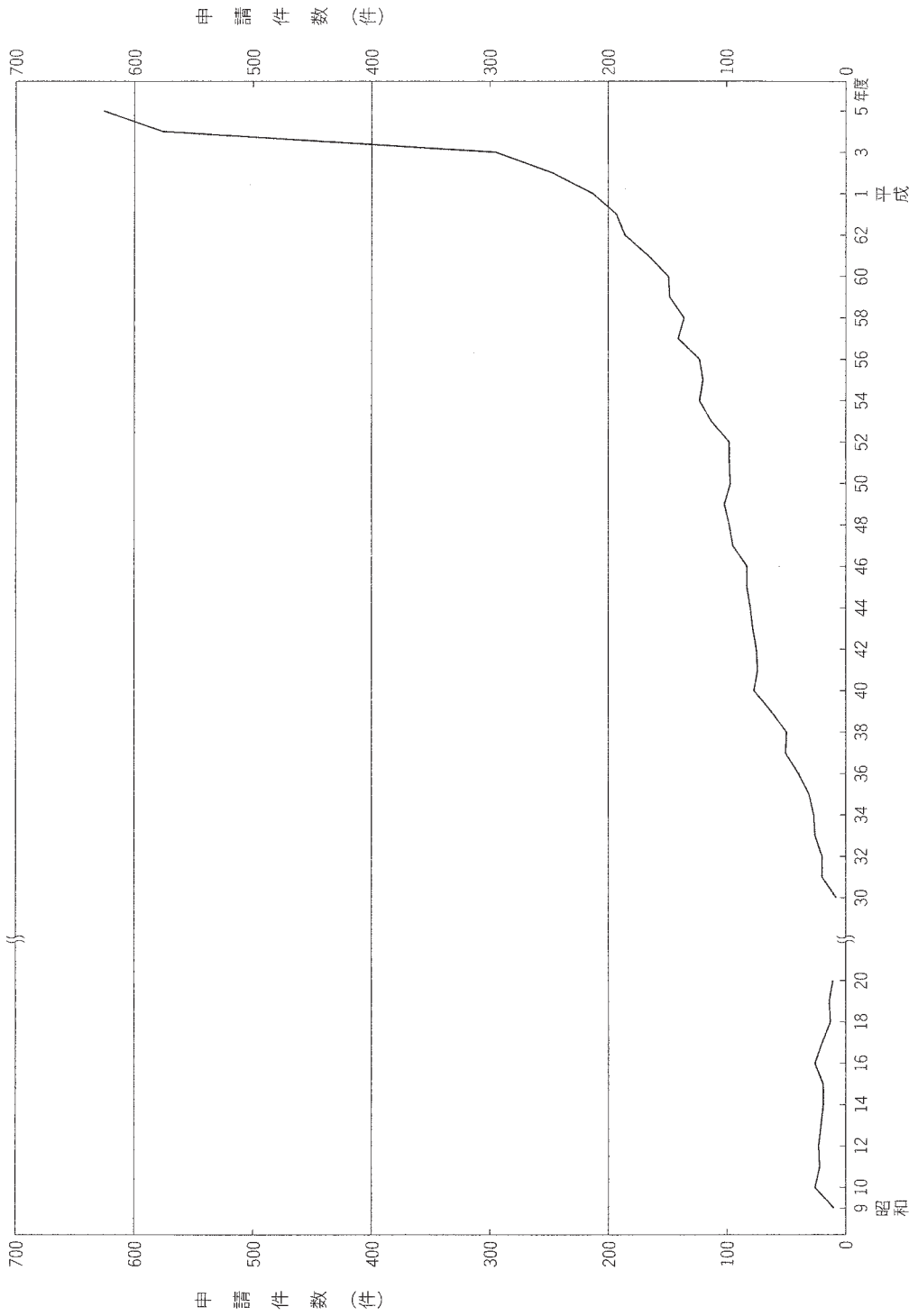


図3-2 研究助成の申請件数の推移



2. 研究助成テーマ等の推移

表3-4-1、表3-4-2、表3-4-3に研究助成の種別の変遷を、表3-5-1、表3-5-2、表3-5-3に研究助成一覧を示した。また、図3-3に研究助成テーマの分野別分布を、図3-4に研究助成金の所属別分布を、図3-5に研究助成金受領者の職名別分布を示した。

表3-4-1 研究助成の種別（旭化学工業奨励会）

対象分野は応用化学系

年 度	研究助成の種別
昭和9年度 } 35年度	特になし

表3-4-2 研究助成の種別（旭硝子工業技術奨励会）

対象分野は応用化学系

年 度	研究助成の種別
昭和36年度 } 44年度	特になし
45年度 } 46年度	普通研究助成 多額研究助成

年 度	研究助成の種別
昭和47年度 } 56年度	普通研究助成 特別研究助成
57年度 } 60年度	普通研究助成 特別研究助成 海外研究助成
61年度 } 平成元年度	普通研究助成 特別研究助成 奨励研究助成 海外研究助成

表3-4-3 研究助成の種別（旭硝子財団）

対象分野は応用化学系から次の第1、第2、第3分野に拡大。

第1分野：工・理・農・薬・医学部の化学系、生物化学系

第2分野：工学部の物理・電子・情報・金属・機械系、理学部の物理・情報系

第3分野：工学部の建築・都市工学系

年 度	研究助成の種別	対象分野、その他
平成2年度	【個別研究助成】 普通研究助成 特別研究助成 奨励研究助成 課題研究助成 【総合研究助成】	応用化学系を対象。従来の継続種別。 同上 応用化学系以外も対象。従来の継続種別。 応用化学系を対象。新規の種別。 財団が出題する課題に沿った研究。 1500万円/件以内。 応用化学系以外も対象。新規の種別。異分野間、 国際間の共同研究。テーマは「地球環境問題」。 3000万円/件以内。

	【海外研究助成】	応用化学系以外、物理・電子・建築系にも拡大。
平成3年度	【個別研究助成】 〔キーテーマ〕材料、 課題研究助成 特定研究助成 奨励研究助成 【総合研究助成】 【海外研究助成】	生命、情報、環境、エネルギー 第1分野、第2分野、第3分野と対象を拡大。 財団が出題する課題に沿った研究。テーマは毎年一部を更新。 1500万円/件以内。 平成3年度は第1分野のみを対象。 自由課題の優れた研究。 第1分野、第2分野、第3分野に拡大。 自由課題の若手研究者の優れた研究。 200万円/件以内。 前年度と同じ。 前年度と同じ。
平成4年度	【自然科学系 個別研究助成】 〔キーテーマ〕 課題研究助成 特定研究助成 奨励研究助成 【人文・社会科学系 個別研究助成】 〔キーテーマ〕「人間の環境と行動」 【総合研究助成】 【海外研究助成】	前年度と同じ。 前年度と同じ。テーマは一部更新。 第1分野、第2分野、第3分野に拡大。 自由課題の優れた研究で、研究の新規開始、あるいは国際的研究の推進等の理由により、研究費が特に必要な研究。 200～1000万円/件。 前年度と同じ。 自由課題の優れた研究。 100～300万円/件。 従来通り。 従来通り。
平成5年度	【自然科学系 個別研究助成】 〔キーテーマ〕物質・ 課題研究助成 特定研究助成 奨励研究助成 【人文・社会科学系 個別研究助成】 〔キーテーマ〕「環境・組織・人間」 特定研究助成 奨励研究助成 【総合研究助成】 【海外研究助成】	材料、ライフサイエンス、情報、環境、エネルギー 従来通り。テーマは一部更新。 前年度と同じ。 従来通り。 ビジョン段階の研究、異分野間、国際間の共同研究 50～300万円/件 若手研究者の優れた研究。 50～200万円/件 従来通り。 従来通り。

表3-5-1 研究助成一覧 (旭化学工業奨励会)

昭和9年度

No.	受領者		研究テーマ	研究費補助金 (円)								
	所属	職名・氏名		9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	計	
1	東北帝国大学	助教 八田四郎次	液体に依る瓦斯の吸収速度並に吸収装置の研究	1,000	2,500	1,000						4,500
2	東京帝国大学	教授 永井彰一郎	混合以外の研究	700	800							1,500
3	東京工業大学	教授 内田俊一	蒸留に関する研究	2,200	1,400	1,500						5,100
4	東京工業大学	教授 松本元太郎	連続分析に関する研究	1,000	1,000	1,500	900					3,500
5	東京工業大学	助教 野田裕吉	無機化合物の高温に於ける結晶現象に関する研究	2,000	600							3,500
6	東京工業大学	教授 田端耕造	カク質高抵抗体に関する研究	1,185	2,000	2,300		1,000				4,185
7	東京工業大学	助教 近藤清治	油に因る素地の反曲に就て	1,200								3,500
8	東京工業大学	助教 河島一尋	酸化ハロゲン・70ヶ種酸系の研究	1,200	1,000	3,100						2,200
9	大阪帝国大学	教授 榎本修二郎	70ヶ種酸及びその直接電解合金製造に関する研究	1,500	1,800			10,000		5,000		23,900
10	九州帝国大学	助教 石野俊夫	重晶石或は硫酸バリウムの還元より苦汁の利用に及ぶ	500	400							900
計	本年度新規分	10件		12,485	11,500	9,400	900	11,000	2,500	5,000		52,785

昭和10年度

No.	受領者		研究テーマ	研究費補助金 (円)						
	所属	職名・氏名		10年度	11年度	12年度	13年度	計		
1	東北帝国大学	教授 拓山四郎	海水を蒸気汽罐に使用せんとする予備研究	2,500	2,500	2,500				7,500
2	東京工業大学	教授 原龍三郎	接触式硫酸製造に関する調査研究	1,000	2,500					3,500
3	東京工業大学	助教 松井元平	絹の加熱式染料に関する研究	1,700	1,200	1,000				2,900
4	東京工業大学	助教 秦山誠	靱皮理論の研究	1,500	1,500	1,500	800			5,300
5	東京工業大学	助教 近藤清治	滑石磁器の研究	2,000						2,000
6	東京工業大学	助教 鈴木信一	芳香族有機化合物の定量に関する研究	1,000	1,200					2,200
7	理化学研究所	教授 上野龍蔵	電熱式直接還元法に依るメタノール製造法の研究	4,700						4,700
8	京都帝国大学	助教 尾間繁彦	電池の固体減極利に就ての研究	1,200	1,200	1,200				2,400

9	京都帝国大学	教授	中沢 良夫	酸化物電極材料の研究	2,100					2,100
10	京都高等工藝学校	助教授	岡田 辰三	熔融硫酸塩の結晶速度に関する研究	1,500	900				2,400
11	京都高等工業学校	教授	岡田 武雄	硫酸塩類の水熱式焼成法に関する研究	1,700	1,700				3,400
12	大阪帝国大学	助教授	青賀 多義	硫酸金属の製造並に加工に関する研究	7,000	7,000				7,000
計	本年度新規分	12件			26,900	11,500	6,200	800		45,400

昭和11年度

No.	受領者		研究テーマ	研究費補助金(円)							計	
	所属	職名・氏名		11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度		
1	東京工業大学	教授	田端 耕造	電気用ガラスの劣化に関する研究	2,000							2,000
2	東京工業大学	助教授	榎本 修二	釉の硬度に及ぼす化学組成の影響に就て	1,200	500						1,700
3	東京工業大学	教授	金丸 寛	繊維素溶液紡糸に関する研究	5,000	1,500	1,000					7,500
4	早稲田大学	講師	祖父江 桂一	カルセライトの製造に関する研究	1,000							1,000
5	京都帝国大学	助教授	沢井 郁太郎	高濃度に於ける硝子の比重と組成との関係	1,900							1,900
6	京都帝国大学	教授	中沢 良夫	有機化合物製造の研究	1,200	600	1,000					2,800
7	大阪帝国大学	助教授	岡田 義和	甘蔗搾槽に関する研究	2,000							2,000
8	九州帝国大学	助教授	八兵衛 正雄	発光蛍光体による海水の定性及定量分析法の研究	3,330		550	550	550	200		5,380
9	九州帝国大学	教授	栗山 捨三	フェルトソ可溶性繊維状醋酸纖維素の製造	3,200							3,200
計	本年度新規分	9件			20,830	2,600	2,550	550	200	200		27,480

昭和12年度

No.	受領者		研究テーマ	研究費補助金(円)					計		
	所属	職名・氏名		12年度	13年度	14年度	15年度	16年度			
1	東北帝国大学	教授	伏屋 義一郎	弗化物浴法による菱苦土鉱よりのマカニウム製造の研究	1,000	1,000					2,000
2	東京帝国大学	助教授	佐々木 龍三	交流電解に依る酸化及還元機構の研究	2,420						2,420
3	東京帝国大学	研究員	亀山 直人	日本稀有害金属分析及X線分光法研究	1,200	600					1,800
4	東京帝国大学	教授	井川 耕造	水中のカルシウム及び水分に関する研究	3,750						3,750
5	東京工業大学	教授	田端 清治	断熱材の研究	2,550	2,500					5,050

6	金沢高等工業学校	教授	上田 嘉助	染色用タンニ材に関する研究	1,000	1,200		2,200
7	京都高等工業学校	教授	武雄 一	鑿工酸以外の合成機構に関する研究	1,450			1,450
8	大阪帝国大学	教授	青久保 誠	7カキソ染料の研究	2,000			2,000
9	大阪帝国大学	教授	船野 俊郎	油脂高压化学に関する研究	1,500	1,500	1,500	7,000
10	九州帝国大学	助教授	興野 今	液体アセトンに於ける無機塩類の電解の研究	1,900			900
11	九州帝国大学	大学院	房雄	超音波の化学変化に及ぼす影響の研究	700			700
計	本年度新規分	11件			18,470	6,300	1,500	29,270

昭和13年度

No.	受領者			研究テーマ	研究費補助金(円)			計
	所属	職名・氏名			13年度	14年度	15年度	
1	東北帝国大学	助教授	菊池 二郎	液体アセトン溶液の物理化学的恒数の測定	800	800	900	2,500
2	東京工業大学	教授	安藤 一	染料溶液の膠質学的研究	1,000			1,000
3	東京工業大学	助教授	榎本 義	而酸含鉛顔料の研究	1,200	1,000		2,200
4	早稲田大学	教授	小田 内	硝酸雷酸纖維素の調整及び其の性質に関する研究	1,640	1,000		2,640
5	長崎高等工業学校	助教授	沢井 都太郎	アセトンの合成に関する研究	1,600			1,600
6	京都帝国大学	助教授	都太郎	二相より成る硝子の研究	1,500			1,500
計	本年度新規分	6件			6,740	2,800	900	10,440

昭和14年度

No.	受領者			研究テーマ	研究費補助金(円)			計
	所属	職名・氏名			14年度	15年度	16年度	
1	秋田鉱山専門学校	教授	二宮 保孝	泥炭及其の水素添加に関する研究	1,700	1,200	1,200	4,100
2	東京工業大学	教授	栗原 三郎	稲藁、落花生殻、バガ等のペントリノの利用	1,000			1,000
3	東京工業大学	教授	内田 耕造	カミカミの乳濁化現象の研究	3,000			3,000
4	東京工業大学	教授	田端 清治	粘土質耐火材料の研究	2,000			2,000
5	長崎高等工業学校	教授	近藤 清	酸化鋁電極の研究	3,000	3,000	2,000	8,000
6	京都帝国大学	教授	岡田 辰三	噴霧乾燥の適用せる苛性曹達電解槽の半工業的研究	1,880	1,720		3,600
7	京都帝国大学	助教授	岡中 俊	金属電析の過電圧に関する研究	1,200			1,200
8	京都帝国大学	助教授	岡田 俊平	金属電析の過電圧に及ぼす磷化合物促進作用	1,000			1,000
9	旅順工科大学	教授	岡田 俊平	珪石鉱化剤の研究	1,200			1,200
計	本年度新規分	9件			15,980	5,920	3,200	25,100

昭和15年度

No.	受領者		研究テーマ	研究費補助金(円)		
	所属	職名・氏名		15年度	16年度	17年度
1	東京帝国大学	田中 芳雄 教授	頁岩油の窒素及酸素化合物の成分及其の利用	1,560	1,300	2,860
2	東京工業大学	桑田 清治 助教授	耐熱磁器の水蒸気収着に関する研究	2,500	1,000	2,500
3	東京工業大学	近藤 藤二 助教授	染色繊維のトリファクトポイントに関する研究	1,200	1,000	2,200
4	東京工業大学	安積 本吉 助教授	研削砥石の屈折率測定装置製作	1,700	1,300	3,000
5	東京工業大学	榎本 未野 助教授	温度変化法屈折率並に比誘電器に関する研究	1,300	1,500	1,300
6	早稲田大学	秋山 昌平 助教授	70℃の結晶の凍結に関する研究	2,000	1,500	3,500
7	早稲田大学	宇野 飯島俊 助教授	無機凝膠体の凍結に関する研究	1,500	1,500	4,200
8	理化学研究所	堀江 昌一 助教授	70℃酸化触媒の研究	1,020	1,000	2,020
9	京都帝国大学	中沢 良三 助教授	特殊金属の電解電析に関する研究	1,500	1,300	2,800
10	九州帝国大学	岡田 興野 助教授	酸化マンガノ及酸化鉄触媒の理論並に工業的研究	1,500	1,300	4,100
計	本年度新規分	10件		15,780	10,200	28,480

昭和16年度

No.	受領者		研究テーマ	研究費補助金(円)		
	所属	職名・氏名		16年度	17年度	18年度
1	東北帝国大学	原 龍三郎 教授	臨界点上下に於けるガス反応に就て	1,200	1,000	3,200
2	東京工業大学	鳥海 達郎 助教授	鉄鋼の表面硬化浴の研究	2,500	800	2,500
3	東京工業大学	河上 益夫 助教授	70℃及高圧下での石油物の研究	1,300	800	1,300
4	明治専門学校	山内 吉一 助教授	油脂抽出工業に関する物理化学的研究	800	1,000	2,000
5	理化学研究所	宮崎 盛野 助教授	国産砂鉄シリコンより酸化シリコンの製法	2,000	1,000	2,000
6	大阪帝国大学	石川 俊夫 助教授	炭石の浮遊選鉱法	1,000	1,800	2,000
7	九州帝国大学	西川 興野 助教授	各海洋海水組成の研究	2,000	1,800	3,800
計	本年度新規分	7件		10,800	4,600	17,400

昭和17年度

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	研究費補助金 (円)			
	所 属	職名・氏名		17年度	18年度	19年度	計
1	東京帝国大学	名誉教授 田中 芳雄	石油より芳香族炭化水素の製造研究 非ニハル系触媒時に銅触媒を用ふる有機化合物の高圧接触還元に関する研究 写真増感因子の研究 鉛石よりカハル抽出精製せんとする研究 合成カニンに関する研究 電導測定に依る珪酸及礬土の定量 炭化水素燃焼及アガガガガの分光学的研究	1,600	2,270	2,400	6,270
2	東京工業大学	助教授 小林良之助		1,500		2,500	4,000
3	理化学研究所	教授 尾形輝太郎		2,000			2,000
4	理化学研究所	教授 北島省三		1,500			1,500
5	金沢高等工業学校	教授 上田嘉助		1,800	800		1,800
6	京都帝国大学	教授 岡西辰三		1,500			1,500
7	広島高等工業学校	教授 村道可和		1,000			1,000
計	本年度新規分 7件		10,100	3,070	4,900	18,070	

昭和18年度

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	研究費補助金 (円)			
	所 属	職名・氏名		18年度	19年度	20年度	計
1	東京工業大学	教授 斯波 忠夫	炭酸ガスと水素とより蟻酸合成法の研究 金属中のガス分析に関する研究 触媒充填管に於ける伝熱問題の研究 高性能潤滑油の合成に関する研究 其重合体の構造化学的研究 窒化トリウム製造の基礎的研究	2,500			2,500
2	理化学研究所	教授 本多光太郎		2,000			2,000
3	京都帝国大学	助教授 菅原信次郎		1,650	1,950		3,600
4	大阪帝国大学	教授 上野 祐吉		1,000	2,000	2,500	5,500
5	大阪帝国大学	教授 奥野 俊郎		1,500	2,300		3,800
6	九州帝国大学	助教授 坂井 渡		900			900
計	本年度新規分 6件		9,550	6,250	2,500	18,300	

昭和19年度

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	研究費補助金 (円)		
	所 属	職名・氏名		19年度	20年度	計
1	東北帝国大学 金属材料研究所	青木猪三郎		2,200	3,000	5,200

2	理化学研究所	瑞穂	軟質70%ニカミ軽合金殊に航空機用鋁材の研究	2,500	3,000	5,500
3	理化学研究所	武雄	電気絶縁物としての高分子有機珪素化合物に関する研究	1,500	1,000	1,500
4	金沢高等工業学校	嘉助	電気絶縁物の探求及応用研究	1,200	3,000	2,200
5	京都帝国大学	三郎	瓦斯材料分離の研究	3,000	3,500	6,500
6	京都帝国大学	慶三	触媒の金相学的研究	1,500	3,000	4,500
7	九州帝国大学	俊郎	耐腐蝕性一酸化炭素吸着剤の研究	2,000	2,000	2,000
8	台北帝国大学	一雄	エチルアルコールを原料とする高級燃料の製造研究	2,500	2,500	2,500
計	本年度新規分	山下正太郎		16,400	13,500	29,900

昭和20年度

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ	研究費補助金(円)	
					20年度	計
1	仙台高等工業学校	教授	政基	不飽和脂肪酸の酸化分解に関する研究	1,800	1,800
2	東京帝国大学	教授	高野	ワニ可塑性製造の研究	3,000	3,000
3	東京帝国大学	教授	厚木	特殊陶磁器に関する研究	3,250	3,250
4	大阪帝国大学	教授	河島	高級アルコールの工業的製造並に其利用に関する研究	2,000	2,000
5	九州帝国大学	助教授	田中	合成コークの重合とそのX線による解明	2,000	2,000
計	本年度新規分				12,050	12,050

昭和30年度

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)	
					本年度	次年度
1	北海道大学	教授	剛	γナソリウム触媒担体用珪酸質に関する研究	100	100
2	東北大学	助教授	四郎	液体ナソリウムの研究	100	100
3	東京大学	教授	孝一	重水製造用触媒の研究	100	200
4	東京大学	教授	季彦	化学分析操作の自動化の研究	100	200
5	東京工業大学	助教授	永井	ハロ付付の利用に関する基礎研究	100	200
6	横滨国立大学	教授	素木	過磷酸石灰肥料のγ放射に関する研究	100	200
7	京都工芸繊維大学	教授	上井彰	シリコーン耐火物に関する研究	100	200
計					700	1000

8	九州大学	教授	嶺 正男	珪酸塩系熱電池現象の研究	100	100	200
計	本年度新規分	8件			800	700	1,500

昭和31年度

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)	
	所 属	職 名・氏 名		本 年 度	次 年 度
1	北海道大学	教授	腐蝕金属の表面状態の電気化学的研究	100	200
2	北海道大学	教授	非水溶液と7HfLgを利用する芳香族化合物の合成に関する研究	100	200
3	東京大学	教授	伝導硝子に関する光学的研究	100	—
4	東京大学	教授	バルク平衡の研究	100	—
5	東京工業大学	助教授	先懸態の流量測定法に関する研究	100	100
6	東京工業大学	助教授	連続沈澱槽における沈降促進法の研究	100	—
7	白鴉国立大学	教授	硝子の均質化に関する研究	100	250
8	京都大学	教授	硝子の均質化に関する研究	100	—
9	京都大学	教授	硝子乾燥機における精製7HfLgの自動管理の研究	100	—
10	九州工業大学	教授	食塩乾燥機に関する研究	100	150
11	九州工業大学	教授	回転乾燥機に関する研究	100	180
計	本年度新規分	11件	石炭灰の溶融性の改善とその利用に関する調査および研究	1,150	1,030
計				2,180	2,180

昭和32年度

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)	
	所 属	職 名・氏 名		本 年 度	次 年 度
1	北海道大学	助教授	コロイド珪酸に関する基礎的研究	200	200
2	北海道大学	教授	触媒の研究	200	400
3	東京大学	教授	工業に關した原料、中間物、製品中鉍物の迅速X線定量分析法の研究	200	400
4	東京大学	教授	示差熱分析用試料容器および加熱炉の研究	200	400
5	早稲田大学	教授	カドミウム材料の応用に関する研究	150	150
6	横濱国立大学	教授	同位元素の分離および定量	150	300
7	名古屋大学	教授	乾電池の材料に関する研究——電解二酸化マカソ(γ型)加熱による塩類の種類と電解槽の工学的關係を主とした研究	150	—
8	京都大学	教授	電解槽の工学的研究	300	200
9	京都工業繊維大学	教授	特殊耐火物の耐蝕性の研究	200	400
10	大阪大学	教授	石灰の有効成分の分離精製とその完全利用に関する研究	200	200
11	九州大学	教授	酸素酸塩の高温化学反応の研究	200	200
計	本年度新規分	10件		1,950	1,700
計				3,650	3,650

昭和33年度

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)	
	所属	職名・氏名		本年度	次年度
1	北海道大学	小林 晴夫 教授	半導体触媒に関する研究 液体亜硫酸を主とした溶液系合成繊維用染料の合成に関する研究 フリレンの利用に関する研究 合成粘剤に関する研究 浮遊による無機塩類の分離に関する研究 人造黒鉛製電極の結晶性とその性質 熔融金属の蒸気中の黒鉛の研究 燐素法による微粉体の粒度測定に関する研究 放射線照射による無機塩類の製法とその特性に関する研究 放射線式Vレ-塔の特性に関する研究 —— その一、水柱式Vレ-塔による空気中のフロンCFC-11の吸収 石炭の酸化生成物の利用に関する研究	200	200
2	北海道大学	柳 義男 助教授		200	200
3	東京大学	浅野 信八郎 助教授		200	200
4	東京大学	加藤 功 助教授		100	100
5	東京大学	石原 徹三 助教授		150	150
6	京都大学	藤原 吉吉 助教授		150	150
7	京都大学	北川 耀彦 助教授		100	200
8	京都大学	田村 篤太郎 助教授		100	200
9	京都大学	水野 進 助教授		100	200
10	京都大学	興田 英久 助教授		100	280
11	九州大学	篠原 一郎 助教授		150	200
12	九州工業大学	平尾 一郎 助教授		100	150
計	本年度新規分	12件	1,650	2,180	3,830

昭和34年度

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)	
	所属	職名・氏名		本年度	次年度
1	北海道大学	高 敬夫 教授	工業废水处理に対する電気化学的管理方法に関する研究 分配平衡法に関する基礎的研究 木材より結晶化糖の製造に関する研究 固一液間物質移動操作に関する研究 放射線照射による無機塩類の製造に関する研究 放射線照射による無機塩類の製造に関する研究 放射線照射による無機塩類の製造に関する研究 放射線照射による無機塩類の製造に関する研究 放射線照射による無機塩類の製造に関する研究 放射線照射による無機塩類の製造に関する研究 放射線照射による無機塩類の製造に関する研究 放射線照射による無機塩類の製造に関する研究	200	200
2	北海道大学	油井 隆純 助教授		200	200
3	東京大学	向井 芳一 助教授		200	200
4	東京大学	山口 城下 助教授		100	100
5	東京大学	塚本 倉吉 助教授		100	200
6	京都大学	木下 雅夫 助教授		200	200
7	京都大学	沢村 弘一 助教授		100	150
8	京都大学	沢村 雅夫 助教授		200	250
9	京都大学	野山 功一 助教授		200	250
10	京都大学	石川 中 助教授		200	250
11	九州大学	岩田 俊一 助教授		200	250
12	九州工業大学	森 誠 助教授		180	150
計	本年度新規分	12件	2,080	2,400	4,480

昭和35年度

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)	
	所属	職名・氏名		本年度	次年度
1	北海道大学	菅 孝男	酸化亜鉛の光触媒性に関する研究	250	300
2	東北大学	前田 泰四郎	単一気泡の運動について	200	300
3	東京大学	御園生 晃	炭化水素カハの高温高速分解反応の研究	200	350
4	東京大学	延田 強夫	高温示差熱分析の利用に関する研究	200	300
5	東京大学	加藤 由弘	高温示差熱分析の研究	100	250
6	早稲田大学	加藤 由弘	高温示差熱分析の研究	200	300
7	早稲田大学	加藤 由弘	高温示差熱分析の研究	100	300
8	早稲田大学	加藤 由弘	高温示差熱分析の研究	100	300
9	早稲田大学	加藤 由弘	高温示差熱分析の研究	150	300
10	早稲田大学	加藤 由弘	高温示差熱分析の研究	150	—
11	早稲田大学	加藤 由弘	高温示差熱分析の研究	200	280
12	早稲田大学	加藤 由弘	高温示差熱分析の研究	100	—
13	早稲田大学	加藤 由弘	高温示差熱分析の研究	200	300
14	早稲田大学	加藤 由弘	高温示差熱分析の研究	150	280
15	早稲田大学	加藤 由弘	高温示差熱分析の研究	100	200
計	本年度新規分 15件			2,500	3,740
					6,240

表3-5-2 研究助成一覽 (旭硝子工業技術奨励会)

昭和36年度

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)	
	所属	職名・氏名		本年度	次年度
1	北海道大学	教授 相馬 純	マ	400	400
2	東北大学	教授 松本 保		250	200
3	東北大学	教授 萩原 善		300	400
4	秋田大学	教授 大橋 弘		250	250
5	山形大学	教授 篠崎 芳郎		300	300
6	東京大学	教授 森 功		280	300
7	東京大学	教授 斎藤 泰		250	250
8	東京大学	教授 藤井 進		250	380
9	慶応義塾大学	教授 川 健		200	200
10	早稲田大学	教授 藤原 壽一		250	250
11	横濱国立大学	教授 鈴木 美		200	250
12	新潟大学	教授 長 文		250	250
13	山梨大学	教授 健 隆		200	200
14	静岡大学	教授 丸 雅		200	200
15	京都大学	教授 功 水		200	150
16	京都大学	教授 水科 上		400	400
17	京都大学	教授 井 野		400	400
18	京都大学	教授 石 村		450	350
19	京都大学	教授 田 高		300	300
20	京都大学	教授 野 生		250	250
21	京都大学	教授 田 高		300	300
22	広島大学	教授 高 平		300	300
23	九州大学	教授 麻 生		300	300
24	九州大学	教授 野 生		200	200
25	熊本大学	教授 宮 一		250	250
計	本年度新規分	25件	7,080	6,750	13,830

昭和37年度

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)	
	所属	職名・氏名		本年度	次年度
1	北海道大学	教授 齋藤 賢	マ	450	450
2	東北大学	教授 外島 忍		350	350
計					900
					700

3	東北大学	教授	玉村大	康勝	水銀アガガム—非水溶液系における表面活性剤の吸着機構に関する研究	300	400	700
4	秋田大学	教授	木村大	行午	コバルトの制御に関する合成化学的研究	250	250	500
5	山形大学	教授	沢大	慶新	フタル酸誘導体の水添脱硫酸に関する研究 — 効果的制御方式の理論的研究とタリキス [®] ベタへの適用	300	300	600
6	東京大学	教授	安米	幸弘	石油重質分の水添脱硫酸に関する研究	250	250	500
7	東京工業大学	教授	田中	修	固体酸触媒の研究	300	300	600
8	東京工業大学	教授	鈴木	藤	シリコーン樹脂の合成に関する研究	250	350	600
9	慶応義塾大学	助教授	藤井	岩	芳香族化合物の脱加水素に関する研究	200	200	400
10	早稲田大学	助教授	中田	和	芳香族化合物の脱加水素に関する研究 — ギリウム、タングステン誘導体と白金との反応	200	200	400
11	早稲田大学	助教授	岩田	高	燃料電池の基礎的ならびに工業的研究	250	200	450
12	早稲田大学	助教授	中田	和	芳香族化合物におけるフミンとキノンの研究	250	250	500
13	早稲田大学	助教授	岩田	高	電場発光用硫化物に関する研究	200	300	500
14	早稲田大学	助教授	中田	和	電場発光用硫化物に関する研究	200	250	450
15	早稲田大学	助教授	岩田	高	芳香族化合物の脱加水素に関する研究	400	400	800
16	早稲田大学	助教授	中田	和	芳香族化合物の脱加水素に関する研究	300	400	700
17	早稲田大学	助教授	岩田	高	芳香族化合物の脱加水素に関する研究	200	—	200
18	早稲田大学	助教授	中田	和	芳香族化合物の脱加水素に関する研究	300	350	650
19	早稲田大学	助教授	岩田	高	芳香族化合物の脱加水素に関する研究	300	350	650
20	早稲田大学	助教授	中田	和	芳香族化合物の脱加水素に関する研究	300	300	600
21	早稲田大学	助教授	岩田	高	芳香族化合物の脱加水素に関する研究	300	300	600
22	早稲田大学	助教授	中田	和	芳香族化合物の脱加水素に関する研究	300	300	600
23	早稲田大学	助教授	岩田	高	芳香族化合物の脱加水素に関する研究	300	300	600
24	早稲田大学	助教授	中田	和	芳香族化合物の脱加水素に関する研究	200	200	400
計	本年度新規分	24件				6,550	6,700	13,250

昭和38年度

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ			助成金額(千円)	
				本年度	次年度	計		
1	北海道大学	助教授	夫次盛	異相系液相攪拌装置に関する研究	300	400	700	
2	東北大学	教授	藤大	高圧化の気体の物理化学的性質(圧縮率、粘性係数、拡散係数)に関する研究	350	400	750	
3	東北大学	助教授	野西	凝った粒状物質内における水分移動の機構に関する研究	350	400	750	
4	秋田大学	教授	大野	屋根風の耐寒性について	200	—	200	
5	山形大学	教授	本	固体メーサ-としてのAl ₂ O ₃ (M ⁺) + Cr ₃ ⁺	200	300	500	
6	山形大学	教授	尾	Be ₂ Al ₂ Si ₆ O ₁₈ (M ⁺) + Cr ₃ ⁺ の単結晶の合成と励起物質との関係について	300	350	650	
7	東京大学	教授	松崎	立体規則性高分子化合物の熱的性質に関する研究	300	400	700	
8	東京大学	教授	宮内	連続晶析装置における結晶の粒径分布とその制御に関する研究	400	500	900	
9	東京工業大学	助教授	野久	均密二元酸化物の化合形態と構造組織に関する研究	250	275	525	
10	東京工業大学	助教授	吉田	均密二元酸化物の化合形態と構造組織に関する研究	300	300	600	
11	早稲田大学	教授	柴	イビターの流動性の研究	250	300	550	
12	早稲田大学	教授	橋	導体と不導体との混合体に関する研究	250	200	450	
13	早稲田大学	助教授	磯	接触還元による脱ハロゲン化反応の研究	250	300	550	

14	福井大学	教授	山田 正盛	ポリマー系合成樹脂の製造研究	200	300	500
15	名古屋大学	教授	鶴岡 龍太郎	液状性流媒体による希元素の分離精製に関する研究	300	350	650
16	京都大学	教授	水刀 功	高粘性流媒体の熱伝達に関する研究	400	400	800
17	京都大学	教授	上野 来	炭化水素類の凝縮の研究	400	400	800
18	京都大学	教授	根 淳	非炭化水素類の凝固の研究	400	450	850
19	京都大学	教授	山田 健	炭化水素類の製造に関する研究	400	500	900
20	京都大学	教授	河野 賢太郎	炭化水素類の物理化学的研究	200	250	450
21	九州大学	教授	山田 賢太郎	土壌改良剤の液相触媒酸化反応	300	400	700
22	九州大学	教授	河野 賢太郎	有機金属化合物を利用する有機合成反応の研究	300	300	600
23	熊本大学	助教授	本里 義明	有機金属化合物を利用する有機合成反応の研究	250	—	250
24	熊本大学	助教授	本里 義明	ケルソール系を有する界面活性剤の合成	200	200	400
計	本年度新規分	24件			7,050	7,675	14,725

昭和39年度

No.	受 領 者		職名・氏名	研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)		計
	所 属	受 領 者			本年度	次年度	
1	北海道大学	教授	永山 政一郎	多価金属塩の加水分解機構に関する研究	350	400	750
2	北海道大学	教授	中川 鶴太郎	コロイドおよび高分子物質の研究	400	450	850
3	北海道大学	教授	山口 龍一	懸濁液の層流挙動に関する研究	350	350	700
4	北海道大学	教授	内崎 欣吉	環状ポリマー類の重合および共重合に関する研究	350	380	730
5	北海道大学	助教授	赤井 龍一	脂肪酸付加体反応を石油系潤滑油の精製に適用する一考察	300	300	600
6	北海道大学	助教授	高岩 龍一	流動性高分子に関する研究	300	400	700
7	北海道大学	助教授	吉外 龍一	硝酸のトリ化作用と酸化作用との関連性についての研究	400	150	550
8	北海道大学	助教授	桂 大仁	遊離基の基礎的研究	300	300	600
9	北海道大学	助教授	森 重富	遊離基の基礎的研究	350	400	750
10	北海道大学	助教授	国 謙	遊離基の基礎的研究	330	330	660
11	北海道大学	助教授	藤 慶	遊離基の基礎的研究	350	360	710
12	北海道大学	助教授	藤 慶	遊離基の基礎的研究	450	500	950
13	北海道大学	助教授	藤 慶	遊離基の基礎的研究	400	400	800
14	北海道大学	助教授	藤 慶	遊離基の基礎的研究	280	250	530
15	北海道大学	助教授	藤 慶	遊離基の基礎的研究	260	250	510
16	北海道大学	助教授	藤 慶	遊離基の基礎的研究	300	400	700
17	北海道大学	助教授	藤 慶	遊離基の基礎的研究	300	300	600
18	北海道大学	助教授	藤 慶	遊離基の基礎的研究	250	300	550
19	北海道大学	助教授	藤 慶	遊離基の基礎的研究	350	350	700
20	北海道大学	助教授	藤 慶	遊離基の基礎的研究	300	300	600
21	北海道大学	助教授	藤 慶	遊離基の基礎的研究	300	400	700
22	北海道大学	助教授	藤 慶	遊離基の基礎的研究	350	400	750
23	北海道大学	助教授	藤 慶	遊離基の基礎的研究	300	300	600
24	北海道大学	助教授	藤 慶	遊離基の基礎的研究	300	300	600

25	山梨大学	教授	國嶋 杉	工水晶育成の研究	300	300	600
26	静岡大学	教授	高橋 武	着色人顔料と多孔性ポリマーの毛管構造の研究	300	300	560
27	名古屋大学	教授	山内 良	反応担ともなう熱と物質の移動に関する研究	300	400	700
28	名古屋工業大学	教授	武蔵 福	アミノ酸を光源とする分光分析の研究	450	350	800
29	名古屋工業大学	教授	西吉 沢	立体特異性重合に関する研究	300	350	650
30	名古屋工業大学	教授	中村 田	立体内透に関する研究	300	300	600
31	京都大学	教授	吉沢 汎	活性炭の応用	400	450	850
32	京都大学	教授	吉沢 汎	希土型元素・水素燃料電池に関する研究	500	450	950
33	京都大学	教授	吉沢 汎	トロピカル炭の化学的処理による活性化とその応用に関する研究	450	480	940
34	大阪大学	助教授	中村 田	有機錫化合物の直接合成法の研究	300	350	650
35	大阪大学	助教授	中村 田	有機錫化合物の直接合成法の研究	400	400	800
36	九州大学	助教授	松本 祐	低圧条件下での芳香族化合物の脱炭素に関する研究	350	350	700
37	九州工業大学	助教授	松本 祐	石炭体中の未利用多環芳香族化合物の開発に関する研究	300	300	600
38	九州工業大学	助教授	松本 祐	石炭体中の未利用多環芳香族化合物の開発に関する研究	400	500	900
39	熊本大学	助教授	山本 健	炭素角散乱によるポリマー系縮合染料と吸染着の測定に関する研究	200	250	450
計	本年度新規分	39件			13,120	13,410	26,530

昭和40年度

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)		計
					本年度	次年度	
1	北海道大学	教授	武谷 豊	常圧および高圧示差熱分析による反応速度	450	450	900
2	北海道大学	教授	武谷 豊	粉粒体の水相に及ぼす流動量自動制御装置の試作研究	400	400	800
3	東北大学	助教授	田中 野	微小体の表面構造に対する圧力効果の研究	350	350	700
4	東北大学	助教授	松本 祐	チチアゲアゲヒトの合成	300	250	550
5	東北大学	助教授	松本 祐	液体亜硫酸中における単分散ポリマーの分子量分布について	300	250	550
6	東北大学	助教授	松本 祐	生成に関する研究	300	300	600
7	秋田大学	教授	堀 小	ナトリウムを用いたBouveault-Blanc還元法による高級アルコールの製造に関する研究	250	250	500
8	山形大学	教授	小山田 太一郎	射線重合に関する研究	400	400	800
9	東京大学	助教授	牧島 吉	金属錯体に配位した有機分子の反応性	300	300	600
10	東京大学	助教授	橋本 吉	分離装置の過渡応答に関する研究	400	400	800
11	東京大学	助教授	吉井 山	反応装置の過渡応答現象とその応用に関する研究	400	450	850
12	東京大学	助教授	吉井 山	荷重剤への応用を目的とする高分子の物性研究	400	500	900
13	東京工業大学	教授	畑 敏	有機添加剤の生成と分解反応の動力学的検討と過酸の有機化学工業への利用	300	300	600
14	東京工業大学	助教授	畑 敏	有機添加剤の生成と分解反応の動力学的検討と過酸の有機化学工業への利用	300	300	600
15	東京工業大学	助教授	畑 敏	有機添加剤の生成と分解反応の動力学的検討と過酸の有機化学工業への利用	300	300	600
16	東京工業大学	助教授	佐治 孝	縮合磷酸の電解生成に関する研究	250	250	500
17	東京工業大学	助教授	久保 田	乳剤重合反応操作に関する工学的研究	250	350	600
18	慶応義塾大学	教授	柳沢 三郎	乳剤重合反応研究用二段質量分析装置の製作研究	200	650	850

19	早稲田大学	教授	大石川	雄平	半融解構造を示す方法に関する研究	400	350	750
20	早稲田大学	教授	小川	義平	加圧空気透過に関する研究	300	200	500
21	横国大学	助教授	坂口	貞一	固体酸触媒による研究	300	350	650
22	新国大学	教授	木戸	雅一郎	Hangling Mercury Electrode の電気化学的研究	300	300	600
23	新国大学	教授	橋本	穂三郎	硫化物イオン光体製造の基礎的研究	350	350	700
24	福井大学	教授	九里	善一	シリコンの合成と物性に関する研究	200	200	400
25	山梨大学	教授	水科	三郎	放射線化学に関する研究	350	300	650
26	静岡大学	教授	功	篤	放射線冷却に関する研究	200	200	400
27	名古屋大学	教授	井野	雅	放射線化学に関する研究	200	350	550
28	京都大学	教授	上野	長	放射線冷却に関する研究	500	500	1,000
29	京都大学	教授	石須	利	放射線冷却に関する研究	500	500	1,000
30	京都大学	教授	須	俊	放射線冷却に関する研究	500	500	1,000
31	大阪大学	教授	上野	夫	熱線法による固体の熱伝導度の迅速測定	250	250	500
32	広島大学	教授	須	利	希土類元素の錯体に関する研究	350	350	700
33	九州大学	教授	上野	平	合成繊維の染色に関する研究	350	350	700
34	九州大学	教授	井堀	景武	有機性高分子の構造と弾性に関する基礎的研究ならびに利用面の開発	300	—	300
35	九州大学	教授	井堀	順	有機性高分子の構造と弾性に関する基礎的研究	300	—	300
36	熊本大学	教授	井堀	一夫	新製粉繊維の研究	250	200	450
計	本年度新規分	36件				12,000	12,250	24,250

No.	昭和41年度	受領者		職名・氏名	研究テーマ		助成金額(千円)	
		所属	受領者		本年度	次年度	計	
1	北海道大学	教授	緑川	林造	金属と溶融塩との相互反応の研究	500	500	1,000
2	北海道大学	教授	金子	元高	高純度平板ガラスの基礎的研究	450	450	900
3	東北大学	教授	会	達	液連続操作による脱塩水製造装置の研究	350	350	700
4	東北大学	助教授	鳥	弘	連続操作による脱塩水製造装置の研究	350	350	700
5	東北大学	助教授	仁	榮	連続操作による脱塩水製造装置の研究	200	200	400
6	東田大学	教授	鶴	石	連続操作による脱塩水製造装置の研究	350	350	700
7	東京大学	教授	浦	次	連続操作による脱塩水製造装置の研究	350	350	700
8	東京大学	教授	川	一	連続操作による脱塩水製造装置の研究	350	350	700
9	東京大学	教授	原	三	連続操作による脱塩水製造装置の研究	500	600	1,100
10	東京大学	教授	河	八	連続操作による脱塩水製造装置の研究	500	600	1,100
11	東京大学	教授	早	三	連続操作による脱塩水製造装置の研究	250	200	450
12	東京大学	教授	田	信	連続操作による脱塩水製造装置の研究	250	250	500
13	東京大学	教授	山	秀	連続操作による脱塩水製造装置の研究	250	250	500
14	東京大学	教授	井	美	連続操作による脱塩水製造装置の研究	250	400	650
15	東京大学	助教授	佐	昭	連続操作による脱塩水製造装置の研究	300	300	600
16	慶応義塾大学	教授	藤	美	連続操作による脱塩水製造装置の研究	200	300	500
17	早稲田大学	助教授	佐	昭	連続操作による脱塩水製造装置の研究	300	300	600

18	早稲田大学	教授	佐藤木	匡一	有機化合物の瞬間熱分解および光分解	250	300	550
19	国立大学	教授	山安	藤三郎	非活性界面活性剤水溶液の起泡安定性	400	400	800
20	横国大学	教授	川口	政五郎	化合物半導体薄膜の研究	300	450	750
21	新潟大学	教授	金	品好	気液混相流の制御に関する研究	400	400	800
22	福山大学	教授	小宮	彦三郎	熱硬化性樹脂の硬化過程の研究	300	300	600
23	山梨大学	教授	藤井	義文	シリカの光崩壊機構および光化学的架橋の研究	200	200	400
24	名古屋大学	教授	石白	年	熱移動を伴うカプセル吸収の研究	300	700	1,000
25	名古屋大学	教授	古川	平	第4族有機金属化合物を用いる開環反応の研究	400	500	900
26	名古屋大学	教授	古川	義文	シリカ層有孔膜の性能改善の研究	500	500	1,000
27	名古屋大学	教授	古川	義文	炭化水素の固液平衡の熱力学的研究	400	500	900
28	京都大学	教授	石白	年	堆積塩融融体よりの石英晶出の研究	350	400	750
29	京都大学	教授	吉西	隆四郎	熔融 LiCl-KCl 系の電解研究	600	600	1,200
30	京都大学	教授	中川	泰一	熔融 LiCl-KCl 系の電解研究	450	600	1,050
31	京都大学	教授	川口	明	焙焼 CaO の耐火物食品食機構の基礎的研究	500	500	1,000
32	京都大学	教授	山崎	八郎	CaO の完全利用研究	500	500	1,000
33	京都大学	教授	川口	明	温和不飽和硫化剤と硫酸化の研究	250	250	500
34	九州大学	教授	石白	年	LiAlH ₄ ・THF 電解浴からの金属電着の研究	400	400	800
35	九州大学	教授	石白	年	高分子による伝熱研究	450	450	900
36	九州大学	教授	石白	年	還元によるカルボキシル基の成長	300	300	600
37	熊本大学	教授	相田	貞蔵	赤外線吸収用の赤外線透過材料の研究	250	300	550
38	熊本大学	教授	相田	貞蔵	赤外線吸収用の赤外線透過材料の研究	250	300	550
計						14,050	15,450	29,500

昭和42年度

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)		計	
					本年度	次年度		
1	北海道大学	教授	岡田	研究テーマ	550	650	1,200	
2	北海道大学	教授	外島		鉄鋼の耐食性表面皮膜に関する電気化学的研究	450	450	900
3	北海道大学	教授	斎藤		金属硫化物と電解還元に関する速度論的研究	450	500	950
4	東北大学	教授	斎藤		石油系酸化水素における抽出蒸留器の選定について	350	450	800
5	東北大学	教授	斎藤		炭化水素類の熱分解に対する反応器壁の影響の研究	600	600	1,200
6	東北大学	教授	斎藤		炭化水素類の熱分解に対する反応器壁の影響の研究	300	300	600
7	秋田大学	教授	内松		微量金属の濃縮分離とその研究	250	200	450
8	秋田大学	教授	山口		酸化水素の還元に関する研究	400	600	1,000
9	東京大学	教授	森		高分子溶液間の抽出蒸留器の選定について	450	600	1,050
10	東京大学	教授	浅野		高分子溶液間の抽出蒸留器の選定について	550	550	1,100
11	東京大学	教授	武蔵		高分子溶液間の抽出蒸留器の選定について	550	550	1,100
12	東京大学	教授	武蔵		高分子溶液間の抽出蒸留器の選定について	450	450	900
13	東京大学	教授	境野		高分子溶液間の抽出蒸留器の選定について	350	350	700
14	東京大学	教授	宇田		高分子溶液間の抽出蒸留器の選定について	350	400	750
15	東京大学	教授	植松		高分子溶液間の抽出蒸留器の選定について	300	300	600

16	工業大学	手師	浅野	康一	凝縮および蒸発装置に関する基礎研究	300	—	300
17	早稲田大学	講師	土平	英	酸化物の脱水に関する化学的研究	400	550	950
18	横濱国立大学	教授	友友	彰	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	350	350	700
19	横濱国立大学	教授	真山	朝美	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	500	600	1,100
20	新潟大学	助教授	向山	耕	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	550	700	1,250
21	新潟大学	教授	榎山	朝美	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	350	400	750
22	新潟大学	教授	高成	周	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	400	600	1,000
23	新潟大学	教授	成功	武	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	300	300	600
24	新潟大学	教授	山成	保	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	550	550	1,100
25	新潟大学	教授	高成	有	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	600	600	1,200
26	名古屋大学	教授	成功	雅	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	500	500	1,000
27	名古屋大学	教授	井水	鋼	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	600	700	1,300
28	京都大学	教授	上田	朝	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	550	600	1,150
29	京都大学	教授	松上	英	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	600	600	1,200
30	京都大学	教授	松上	住	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	600	600	1,200
31	京都大学	教授	松上	和	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	500	500	1,000
32	京都大学	教授	松上	雄	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	400	400	800
33	京都大学	教授	松上	住	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	450	450	900
34	大阪大学	教授	佐松	和	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	450	450	900
35	広島大学	教授	佐松	渡	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	400	400	800
36	九州大学	助教授	佐松	宏	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	400	400	800
37	熊本大学	教授	谷平	秀	高純度工業材料中の微量成分の検索ならびに定量方法開発の研究	300	300	600
計	本年度新規分	37件				16,350	17,300	33,650

昭和43年度

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ		
				本年度	次年度	計
1	北海道大学	教授	高田	450	450	900
2	北海道大学	教授	住田	400	—	400
3	北海道大学	教授	木村	400	350	750
4	秋山大学	教授	油川	450	—	450
5	山形大学	教授	大谷	500	500	1,000
6	東北大学	教授	山崎	450	450	900
7	東北大学	教授	岩谷	350	400	750
8	東北大学	教授	御園	400	400	800
9	東京大学	助教授	飛田	300	350	650
10	東京大学	教授	中内	500	500	1,000
11	東京大学	教授	野崎	600	600	1,200
12	東京大学	教授	越後	600	650	1,250
13	東京工業大学	教授	谷悦郎	400	400	800

14	工業大学	教授	清浦 敏	多孔性材料へのガス、ミスト、微粒子および溶質の吸着吸収機構について	450	500	950
15	工業大学	助教授	飯野 啓	高分子の熱的性質と拡散	300	400	700
16	工業大学	教授	河野 純	繊維高分子材料のX線小角散乱	300	350	650
17	工業大学	教授	梅河 加	環式脂肪酸の合成	500	500	1,000
18	慶応大学	教授	加藤 大	ベンゾカスリン及び無機質耐熱繊維を補強材とする樹脂複合材料に関する基礎的研究	200	400	600
19	早稲田大学	教授	吉田 大	分子篩効果による有機物の分離	500	500	1,000
20	早稲田大学	助教授	大垣 松	新しい無機材料の合成	500	500	1,000
21	立教大学	教授	松政 加	環境流動性を高める材料の研究	400	400	800
22	立教大学	教授	尾田 内	流動性を高める材料の研究	400	500	900
23	立教大学	助教授	松政 加	流動性を高める材料の研究	550	300	850
24	立教大学	教授	松政 加	流動性を高める材料の研究	300	450	750
25	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	300	400	700
26	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	400	400	800
27	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	350	350	700
28	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	600	600	1,200
29	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	450	500	950
30	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	600	500	1,100
31	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	500	400	900
32	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	600	700	1,300
33	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	650	700	1,350
34	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	650	750	1,400
35	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	650	600	1,250
36	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	650	630	1,280
37	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	600	550	1,150
38	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	550	400	950
39	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	450	400	850
40	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	500	500	1,000
41	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	420	420	840
42	立教大学	教授	加藤 大	流動性を高める材料の研究	350	350	700
計					19,470	19,000	38,470

昭和44年度

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ		助成金額(千円)	
				本年度	次年度	本年度	計
1	北海道大学	教授	和夫	金属化合物の製造条件とその物性に関する研究	400	450	850
2	北海道大学	教授	見一郎	光照射重合に関する研究	400	500	900
3	東北大学	教授	次男	低濃度窒素酸化物の分析化学的研究	350	400	750
4	東北大学	教授	梅村 久	粉体圧縮成形法に関する研究	460	460	920
5	東北大学	教授	村山 隆	ポリマーおよびポリマー高分子の動的粘弾性	380	440	820
6	秋田大学	教授	堀 隆	ポリマーおよびポリマー重合体へのグラフト重合体の合成に関する研究	300	400	700
7	山形大学	教授	佐藤 誠	二酸化チタンの電解析出機構に関する研究	250	250	500

8	東京大学	教授	河内一夫	炭素繊維の焼結に関する工業物理解化学的研究	300	470	770
9	東京大学	教授	隆泰	貴金属触媒による液相自動酸化反応	700	700	1,400
10	東京大学	教授	大蔵光	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	400	600	1,000
11	東京大学	教授	鈴木誠	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	650	650	1,300
12	東京大学	教授	加藤雄軌	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	850	600	1,450
13	東京大学	教授	藤野健武	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	350	—	350
14	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	340	430	770
15	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	400	700	1,100
16	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	350	570	920
17	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	300	350	650
18	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	500	600	1,000
19	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	400	350	750
20	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	2,700	600	3,300
21	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	600	750	1,350
22	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	600	500	1,100
23	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	400	300	700
24	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	350	400	750
25	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	600	500	1,100
26	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	600	400	1,000
27	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	450	450	900
28	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	600	600	1,200
29	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	400	500	900
30	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	750	750	1,500
31	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	750	700	1,450
32	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	700	600	1,300
33	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	650	650	1,300
34	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	650	650	1,300
35	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	600	600	1,200
36	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	600	300	900
37	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	500	500	1,000
38	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	500	500	1,000
39	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	600	600	1,200
40	東京大学	教授	野村正	金属錯体を触媒とする液相自動酸化反応	350	400	750
計					22,030	20,070	42,100

昭和45年度
(多額研究助成)

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)		
	所属	職名・氏名		本年度	次年度	第3年度
1	東京工業大学	助教 宇田川重和	高温77°Kにおける試作とそれによる固相反応の研究	1,600	2,100	250
計	本年度新規分 1件			1,600	2,100	250
				計 3,950		

(普通研究助成)

No.	所属	受領者	研究テーマ	助成金額(千円)	
				本年度	次年度
2	北海道大学	教授 藤田 隆	エリツトリンによる金属材料の耐食性向上に関する研究	500	650
3	北海道大学	助教 佐藤 隆	反応状態における反応活性に関する研究	600	600
4	東北大学	助教 岡部 貞	金属の腐蝕防止膜に関する研究	500	480
5	東北大学	助教 野井 昌	金属酸化物の還元に関する基礎的研究	450	450
6	東北大学	助教 赤井 昌三	α-アミノ酸・金属錯体の不整選択触媒作用に関する研究	980	220
7	秋田大学	助教 八島 隆	高速油留重下におけるiso-ハフリンの尿素付加性	450	450
8	山形大学	助教 右橋 隆	高速油留重下における油粒子の破碎	400	600
9	群馬大学	助教 山本 隆	加圧反応の合成化学的研究	600	600
10	群馬大学	助教 山本 隆	異種付着の質量分析計による分子の構造および反応機構の研究	500	500
11	東京大学	助教 正敬 桂	マトリックス重合に関する研究	500	600
12	東京大学	助教 佐藤 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	300	600
13	東京大学	助教 浅野 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	500	750
14	東京大学	助教 西原 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	600	600
15	東京工業大学	助教 鈴木 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	500	500
16	東京工業大学	助教 佐野 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	500	500
17	東京工業大学	助教 鈴木 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	500	500
18	東京工業大学	助教 鈴木 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	600	600
19	東京工業大学	助教 鈴木 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	400	500
20	慶応義塾大学	助教 鈴木 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	400	400
21	早稲田大学	助教 鈴木 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	350	350
22	早稲田大学	助教 鈴木 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	600	500
23	早稲田大学	助教 鈴木 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	500	500
24	早稲田大学	助教 鈴木 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	550	550
25	早稲田大学	助教 鈴木 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	450	450
26	静岡大学	助教 鈴木 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	400	400
27	静岡大学	助教 鈴木 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	600	550
28	静岡大学	助教 鈴木 隆	マトリックス重合とコロイドの加水分解	500	500

29	京都大学	教授	吉沢 四郎	電解重合に関する研究	800	—	800
30	京都大学	教授	信太 淳	7-メチル水素を含む系系の分光学的および熱的測定に関する研究	650	800	1,450
31	京都大学	教授	明大 進	超カチオン系を製造および分離に関する研究	700	700	1,400
32	京都大学	教授	奥田 明	ポリ-金属系複合体の焼結とその電気的性質に関する研究	680	600	1,280
33	京大工科大学	教授	堀川 仁	溶媒抽出法によるLi-Be-Fluの分離	650	650	1,300
34	大阪大学	教授	戸倉 茂男	加助付、酸無水物よりアリル酸誘導体の合成	550	550	1,100
35	九州工業大学	教授	尾川 邦	結晶性高分子材料の高分子構造に関する研究	500	500	1,000
36	熊本大学	教授	岡田 正秀	結晶性高分子の電析機構の研究	600	600	1,200
37	熊本大学	教授	岡田 正秀	エチレンの接触脱水素反応	500	500	1,000
計	本年度新規分	36件			19,360	18,700	38,060

昭和48年度
(多額研究助成)

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)		
					本年度	次年度	第3年度
1	東京大学	教授	植二 健	3,000	3,000	—	6,000
2	京都大学	教授	鶴田 吉	3,000	3,000	3,000	9,000
計	本年度新規分	2件		6,000	6,000	3,000	15,000

(普通研究助成)

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)		
					本年度	次年度	計
3	北海道大学	助教授	鈴木 彦	450	700	1,150	
4	北海道大学	助教授	米野 徳	500	600	1,100	
5	東北大学	教授	森 義定	500	600	1,100	
6	東北大学	教授	橋本 春	350	600	950	
7	東北大学	助教授	松本 弘保	500	450	950	
8	秋田大学	教授	大橋 晃	400	300	700	
9	山形大学	教授	笠原 文	400	600	1,000	
10	山形大学	教授	森 弘	550	500	1,050	
11	群馬大学	教授	飯井 英	500	500	1,000	
12	東京大学	助教授	平 安	600	700	1,300	
13	東京大学	助教授	内 秋	600	600	1,200	
14	東京大学	助教授	秋 一	450	450	900	

15	東京大学	助教授	西村 和	コバルトの形態分析と最適計画に関する7°X線学的研究	600	600	1,200
16	東京大学	助教授	肇 亦	重性高分子化合物の合成と物性	500	500	1,200
17	東京工業大学	教授	河内 連	重合に伴うβ相の結晶の生成ならびにその物性に関する研究	400	400	800
18	東京工業大学	教授	近藤 木	多孔体の組織構造の測定	500	500	1,000
19	東京工業大学	助教授	溝呂 木	有機ニッケル錯体 — 三ツ化砒素二成分系触媒によるβ相の共二量化反応に関する研究	500	500	1,000
20	東京工業大学	助教授	今井 久	合成と行内の構造と化学吸着特性に関する研究	600	600	1,200
21	東京工業大学	教授	野田 昭	β相を含有する気液平衡関係	500	700	1,200
22	東京都立大学	教授	保 光	水素を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	650	700	1,350
23	東京都立大学	教授	塚本 啓	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	500	500	1,000
24	慶応義塾大学	教授	加藤 三郎	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	600	600	1,100
25	早稲田大学	教授	晴 男	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	400	500	900
26	早稲田大学	助教授	賢 三	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	700	500	1,200
27	早稲田大学	助教授	朗 三	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	400	450	850
28	早稲田大学	助教授	新 久	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	700	800	1,500
29	早稲田大学	助教授	橋 本	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	450	550	1,000
30	早稲田大学	助教授	嶋 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	350	350	700
31	早稲田大学	助教授	新 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	350	400	750
32	早稲田大学	助教授	山 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	450	550	1,000
33	早稲田大学	助教授	静 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	600	500	1,100
34	早稲田大学	助教授	名 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	600	650	1,250
35	早稲田大学	助教授	名 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	800	550	1,350
36	早稲田大学	助教授	京 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	800	800	1,600
37	早稲田大学	助教授	京 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	750	700	1,450
38	早稲田大学	助教授	京 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	700	700	1,400
39	早稲田大学	助教授	京 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	650	650	1,300
40	早稲田大学	助教授	京 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	650	650	1,300
41	早稲田大学	助教授	京 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	500	600	1,100
42	早稲田大学	助教授	京 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	600	600	1,200
43	早稲田大学	助教授	京 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	500	500	1,000
44	早稲田大学	助教授	京 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	450	450	900
45	早稲田大学	助教授	京 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	450	450	900
46	早稲田大学	助教授	京 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	350	350	700
47	早稲田大学	助教授	京 古	β相を含有する重合体の主成分とβ相に関する研究	450	450	900
計					23,800	24,000	47,800

昭和47年度
(特別研究助成)

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)		
	所属	職名・氏名		本年度	次年度	第3年度
1	東京大学	宮内 昭勝	有機物による混合物分離に関する研究 有機遷移金属錯体による二酸化炭素の固定 力学的性質の優れたガラス-セラミックス誘導体の開発	3,600	3,000	-
2	東京工業大学	山本 明夫		2,200	2,700	2,800
3	京都大学	功刀 雅長		3,000	3,000	2,000
計	本年度新規分 3件			8,800	8,700	4,800
				22,300		

(普通研究助成)

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)		
	所属	職名・氏名		本年度	次年度	計
4	北海道大学	竹沢 暢	金属酸化物上の有機化合物の分解反応の中間体の研究 7-メチルカテコールの結晶構造に関する研究 二酸化炭素の活性化に関する研究 高機能触媒の活性化に関する研究 有機液体の微粒子の重合に関する研究 有機光付加反応の重合の除去ならびに回収 産業廃液中の重金属類の除去ならびに回収 有機相流動層における粒子の分級ならびに染料廃水処理などにおける活性炭再生への応用	500	500	1,000
5	北海道大学	林 佑助		600	600	1,200
6	北海道大学	天野 卓		400	400	800
7	東北大学	前田 四郎		700	700	1,350
8	東北大学	宇田 敏一		600	600	1,050
9	東北大学	藤野 宏		500	500	1,000
10	秋田大学	藤野 加藤		500	500	1,000
11	群馬大学	加藤 邦夫		350	350	700
12	千葉大学	小嶋 邦晴		500	500	1,000
13	千葉大学	和雄 一夫		450	450	900
14	東京大学	和雄 一夫		450	450	900
15	東京大学	幸野 真行	600	600	1,200	
16	東京大学	吉本 正	700	700	1,400	
17	東京大学	米浦 向	700	700	1,400	
18	東京大学	小嶋 邦晴	500	500	1,000	
19	東京大学	高橋 栄	500	500	1,000	
20	東京大学	佐藤 光登	550	550	1,100	
21	東京大学	神田 木	600	600	1,200	
22	東京大学	佐藤 木	650	650	1,300	
23	慶応義塾大学	藤島 七郎	500	500	1,000	
24	慶応義塾大学	藤島 七郎	500	500	1,000	
25	成蹊大学	藤島 七郎	300	300	600	
26	早稲田大学	藤島 七郎	600	600	1,200	
27	横滨国立大学	健太郎 義平	550	550	1,100	

28	横国大学	教授	内 弘	極性溶媒中での重合反応に関する研究	500	700	1,200
29	新潟大学	教授	田 弘	気・固相間反応における反応速度と結晶化	500	700	1,200
30	金沢大学	教授	田 博	光学活性ポリ交換樹脂の合成とそれによる液晶体の光学分割	500	500	1,000
31	福井大学	教授	相 早	N-置換アミド類の共重合とその応用に関する研究	450	450	900
32	山梨大学	教授	田 川	低融点溶融塩の開発	500	500	1,000
33	静岡大学	教授	早 山	ワグネル・ワグネルとハルノーブの直接的低重合反応に関する研究	500	500	1,000
34	名古屋大学	教授	田 下	共重合に関する研究	500	500	1,000
35	名古屋大学	教授	山 中	珪酸塩の迅速分析並びにシリカゲルに関する研究	700	750	1,450
36	名古屋大学	教授	石 井	珪酸塩の迅速分析並びにシリカゲルに関する研究	500	500	1,000
37	京都大学	教授	小 玉	有機錯体を触媒とする新しい有機合成反応の開発	650	650	1,300
38	京都大学	教授	熊 田	有機錯体および有機化合物の電解酸化反応に関する研究	600	650	1,250
39	京都大学	教授	渡 井	独立栄養性微生物および非炭水化物利用性微生物を用いる有用物質生産に関する基礎研究ならびに応用研究	650	650	1,300
40	京都大学	教授	西 朋	超高温溶融の基礎研究	700	700	1,400
41	京都工芸繊維大学	教授	寺 清	超高温溶融の基礎研究	600	750	1,350
42	大阪大学	教授	塩 川	遷移金属元素のジエー酸錯体の光分解	600	650	1,250
43	大阪大学	教授	戸 倉	液体金属元素の硫酸中で得られる芳香族加合物の電解反応	600	700	1,300
44	広島大学	教授	津 田	放射線化学と放電化学の比較研究 —— 低分子炭化水素の放射線および放電分解反応	600	550	1,150
45	九州大学	教授	佐 藤	気液二相並流固定触媒反応装置の基礎研究	600	650	1,250
46	九州大学	教授	竹 下	アミドを溶媒とする芳香族加合物の電解反応	500	500	1,000
47	九州工業大学	助教授	大 田	加圧用シミュレーション装置の開発とそれによるKolbe-Schmitt反応機構解明	600	700	1,300
48	熊本大学	教授	本 里	ケルン浸透トリップ用の充填剤の研究	450	450	900
計	本年度新規分	45件			24,450	25,450	49,900

昭和48年度
(特別研究助成)

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)		
	所 属	職 名・氏 名		本 年 度	次 年 度	第 3 年 度
1	東京大学	教授	化学反応系の動的な分析化学的研究 立体規則性重合体の反応工学的研究 —— とくに無溶媒気相重合方式の最適反応操作の検討 Spray Quenching に関する実験的研究	3,300	3,420	3,190
2	東京工業大学	教授		3,000	2,950	2,500
3	京都大学	教授		3,000	3,030	3,000
計	本年度新規分	3件		9,300	9,400	8,690
						27,390

(普通研究助成)

No.	所属	受 領 者	職名・氏名	研 究 テ ー マ	助成金額(千円)	
					本年度	次年度
4	北海道大学	教授	山科 俊郎	ガマ表面の熱処理過程に関する物理化学的研究	460	950
5	北海道大学	教授	相馬 純	ESRによる弗業樹脂の機械的破壊で生じた有機基に関する研究	720	700
6	東北大学	教授	油井 正三	膜を利用する水浄化の研究	1,300	800
7	東北大学	教授	承藤 吉樹	重金屬汚染の化学工業的合成研究	750	750
8	東北大学	教授	吉村 豊根	天然有機物に起因する界面特性に関する触媒作用	520	540
9	東北大学	教授	木村 豊根	第一級物に起因する界面特性に関する触媒作用	700	750
10	山形大学	助教授	関口 豊	酸によるガマ核の低分子重合	450	600
11	群馬大学	教授	自然 四郎	芳香族化合物の求核置換反応の動力学的研究ならびに反応中間体の単離に関する研究	500	570
12	千葉大学	教授	植田 隆	融解温度ならびに無機高分子融体の物性の測定	500	800
13	千葉大学	教授	高崎 永夫	C-13NMR法を用いた高分子化合物の構造に関する研究	700	800
14	東京大学	助教授	藤田 芳博	とわく担持物の移動に関する基礎的研究	720	750
15	東京大学	教授	高田 芳博	酵素触媒の反応に関する基礎的研究	800	850
16	東京大学	教授	森 河太郎	高分子成形加工に関する基礎的研究	700	800
17	東京大学	教授	小松 和夫	酸化性触媒における表面拡散に関する研究	700	900
18	東京大学	教授	星 野	酸化性触媒における表面拡散に関する研究	580	700
19	東京工業大学	助教授	芳夫	黒鉛抵抗加熱法を試料原子化の手段として用いる超微量原子分析法とその材料局所分析への応用に関する研究	600	400
20	東京工業大学	教授	中条 利一	核磁気共鳴法を用いた電子バグリルによる高分子の微細構造の研究	600	600
21	東京工業大学	助教授	小坂 文彦	軟性石を原料とした数種の粘土鉱物の水熱合成の研究	500	650
22	東京工業大学	教授	山崎 本野	ヒガシ環境を有する金属成膜に関する研究	700	980
23	慶応義塾大学	教授	橋本 眞健	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	700	750
24	慶応義塾大学	助教授	佐野 美	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	400	400
25	慶応義塾大学	教授	島田 次郎	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	500	600
26	慶応義塾大学	教授	佐野 美	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	600	800
27	慶応義塾大学	教授	樋口 西	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	850	850
28	慶応義塾大学	教授	佐野 美	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	550	750
29	慶応義塾大学	教授	樋口 西	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	700	740
30	慶応義塾大学	教授	北平 加	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	1,300	1,440
31	慶応義塾大学	教授	加納 英二	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	600	1,300
32	慶応義塾大学	教授	深村 力	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	550	650
33	慶応義塾大学	教授	加納 英二	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	650	1,200
34	慶応義塾大学	教授	深村 力	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	350	1,350
35	慶応義塾大学	教授	加納 英二	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	800	1,300
36	慶応義塾大学	教授	加納 英二	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	800	1,550
37	慶応義塾大学	教授	加納 英二	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	500	1,000
38	慶応義塾大学	教授	加納 英二	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	650	1,500
39	慶応義塾大学	教授	加納 英二	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	750	1,600
40	慶応義塾大学	教授	加納 英二	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	700	1,450
41	慶応義塾大学	教授	加納 英二	大気中浮遊粒子の金属成膜に関する研究	500	1,300

42	京都工芸繊維大学	教授	寺西 彰一	高圧一酸化炭素と有機化合物の反応に関する研究	600	650	1,250
43	大阪大学	教授	田村 雄彦	環境汚染物質の環境反応に関する研究 —— 共役ジエン類の有効利用に関する研究	700	650	1,350
44	大阪大学	教授	藤村 康夫	電極反応に関する研究	600	650	1,250
45	広島大学	教授	加藤 康彦	界面攪乱の研究	600	600	1,200
46	九州大学	教授	松田 勲	反応性炭素の界面攪乱の研究	550	500	1,050
47	九州大学	教授	原 植彦	一般炭素系下における、活性炭の触媒作用	550	550	1,100
48	九州工業大学	教授	原 大	一極性炭素系下における、活性炭の触媒作用	600	700	1,300
49	熊本大学	講師	原 大	一極性炭素系下における、活性炭の触媒作用	600	800	1,400
50	熊本大学	教授	原 大	反応条件の制御による金属錯体の合成と金属の回収法に関する研究	550	600	1,150
計	本年度新規分	47件			28,800	83,130	61,930

昭和49年度
(特別研究助成)

No.	所属	受 領 者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)		
					本年度	次年度	第3年度
1	東京大学	教授	山口 悟郎	3,020	2,960	2,900	8,880
2	東京工業大学	教授	堀野 照雄	3,000	3,000	3,000	9,000
3	京都大学	教授	福井 三郎	3,000	3,000	3,000	9,000
計	本年度新規分	3件		9,020	8,960	8,900	26,880

(普通研究助成)

No.	所属	受 領 者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)		
					本年度	次年度	計
4	北海道大学	教授	三 惠	800	1,000	1,800	
5	北海道大学	教授	吉田 大	450	550	1,000	
6	東北大学	教授	大 茂	600	1,000	1,600	
7	東北大学	教授	藤 太郎	600	800	1,400	
8	東北大学	助教授	山形 良	700	1,000	1,700	
9	群馬大学	教授	藤田 純	600	600	1,200	
10	千葉大学	教授	佐利 次	700	800	1,500	
11	東京大学	教授	毛 仁	600	800	1,400	
12	東京大学	助教授	長 哲郎	750	900	1,650	

13	東京大学	助教授	神谷 国	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	700	1,000	1,700
14	東京大学	教授	大加 藤	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	800	950	1,650
15	東京大学	教授	小中 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	700	700	1,620
16	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	920	850	1,700
17	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	850	850	1,700
18	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	600	600	1,200
19	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	600	750	1,350
20	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	800	1,000	1,800
21	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	600	800	1,400
22	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	600	600	1,200
23	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	800	1,000	1,800
24	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	800	900	1,700
25	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	900	1,000	1,900
26	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	880	1,700	1,380
27	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	800	800	1,600
28	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	500	600	1,100
29	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	590	750	1,340
30	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	650	800	1,450
31	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	700	650	1,350
32	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	500	500	1,000
33	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	700	750	1,450
34	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	650	650	1,300
35	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	800	800	1,600
36	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	700	800	1,500
37	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	750	850	1,600
38	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	750	750	1,500
39	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	700	700	1,400
40	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	800	1,000	1,800
41	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	750	750	1,450
42	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	700	750	1,450
43	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	700	700	1,400
44	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	700	700	1,400
45	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	500	750	1,250
46	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	800	950	1,750
47	東京大学	教授	須田 浩	有機化合物の酸化反応と循環流動層系の研究	600	850	1,450
計	本年度新規分	44件			30,500	35,250	65,750

昭和50年度
(普通研究助成)

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)	
					本年度	次年度 計
1	北海道大学	教授	石井 忠雄	酸化アルミナの反応性に対する調整履歴、不純物の影響	1,000	900
2	北海道大学	教授	小島 忍	光照射による加コナソトカガスの構造変化	900	1,000
3	東北大学	教授	外島 義定	酸素電極としての活性炭の製造およびその電気化学的特性に関する研究	600	1,650
4	東北大学	教授	荻野 義一	カチオンの有効利用に関する触媒化学的研究	700	800
5	東北大学	教授	石井 義一	有機記録による微量成分定量に関する研究 —— 水アミノ類を用いる超微量成分の吸光度定量に関する研究	950	850
6	秋田大学	教授	佐原 良太郎	シリコーン-ガラスの焼結における液相の役割	900	1,900
7	山形大学	教授	山形 重次郎	接触反応の吸光および滴定分析への応用に関する研究	800	1,700
8	群馬大学	教授	大次郎 善次郎	金属錯体を用いた重合反応に関する研究	700	800
9	東京大学	教授	須賀 善一	有機金属触媒を用いた、 $\text{C}=\text{C}$ により形成された化合物の合成	800	1,600
10	東京大学	教授	吉川 不雄	有機金属触媒のL-2-アミノ酸への転換	900	1,850
11	東京大学	教授	井上 精愛	ルソクホドンの研究	800	1,600
12	東京大学	教授	高橋 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	750	1,550
13	東京大学	教授	春山 博愛	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
14	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	750	1,550
15	東京大学	教授	山田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
16	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
17	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
18	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
19	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
20	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
21	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
22	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
23	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
24	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
25	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
26	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
27	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
28	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
29	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
30	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
31	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
32	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
33	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
34	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
35	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550
36	東京大学	教授	池田 博志	触媒膜を用いた接触反応器の工学的研究	800	1,550

37	京都工芸繊維大学	教授	山下晋三	無機物質と1-7,10-7,10-7,10-7,10-7の反応および得られた複合材料の物性に関する研究	700	950	1,650
38	大阪大学	講師	野村正勝	石炭の水素化に關する基礎研究	750	1,050	1,800
39	大阪大学	助手	岩倉千秋	脂肪酸化合物上の酸素電極反応に関する研究	800	1,000	1,800
40	九州大学	教授	由中武英	主鎖に酸素官能性基を有する高分子の合成とその応用に関する研究	900	750	1,650
41	九州大学	教授	竹下泰誠	骨格炭化の伴生する脂環式ルリル類の光増感酸化反応	800	850	1,650
42	九州工業大学	助教授	桑原江川	骨格炭化法によるポリシラン薄膜の組成と物性に關する基礎的研究	900	1,000	1,900
43	熊本大学	助教授	江川誠博	硫黄を含む高分子の合成とその利用に関する研究	600	850	1,450
計	本年度新規分	43件			33,860	37,050	70,910

昭和51年度
(特別研究助成)

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)		
					本年度	次年度	第3年度
1	東北大学	教授	茂盛	結晶時の熱および物質移動に関する研究	4,000	3,000	3,000
2	慶応義塾大学	教授	哲夫	生物活性をもつアミノ酸誘導体の合成	3,200	3,500	3,300
3	大阪大学	教授	二郎	二価の1,2,4-三iazinを含む複合酸化物の合成とその物性に関する研究	3,500	3,500	3,000
計	本年度新規分	3件			10,700	10,000	9,300

(普通研究助成)

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)		
					本年度	次年度	計
4	北海道大学	教授	田中時昭	金属化合物と水素の高温反応に関する基礎的研究	900	900	1,800
5	北海道大学	助教授	藤口清勝	金属の局部腐食に關する偏光反射解析的研究	760	800	1,560
6	東北大学	教授	山崎格	二重台反応を利用する新しいワロコポリマーの合成	900	850	1,750
7	東北大学	教授	池田真	接触還元反応の立体選択性に関する研究	750	750	1,500
8	東北大学	助教授	鬼頭正	反応中間体有機リチウムの研究	850	700	1,550
9	群馬大学	教授	長久保	多孔質材料の合成とその物性に関する研究	950	900	1,850
10	千葉大学	教授	柳井久	ポリリンを側鎖に持つ機能性高分子の研究	300	800	1,100
11	千葉大学	助教授	山田正	多孔質材料の合成とその物性に関する研究	850	850	1,700
12	東京大学	助教授	井上久	炭酸水素を原料とする新合成反応の研究	800	800	1,600
13	東京大学	助教授	米村久	化学的触媒の統計解析に関する研究	950	850	1,800
14	東京大学	教授	浦口三	液相配向性材料の合成とその物性に関する研究	600	900	1,500
15	東京大学	助教授	妹尾真学	分子配向性材料の合成と機能開発に関する研究	900	800	1,700

16	東京工業大学	教授	近藤 山	藤 山	一 専	耐熱繊維の系複合材料の研究	850	1,650
17	東京工業大学	助教授	山岡 鈴	崎 木	二 助	炭酸カスの化学反応に関する研究	1,000	1,900
18	東京工業大学	教授	小林 永	田 永	三 教	溶融塩の向流電気泳動による同位体の分離	1,100	1,950
19	東京工業大学	教授	井田 尾	田 尾	四 教	生物電気化学の動向に関する基礎研究	900	1,800
20	東京工業大学	教授	井田 尾	田 尾	五 教	フラスカ内の衝撃破壊挙動と微細構造との相関関係に関する研究	900	1,600
21	東京工業大学	助教授	尾田 尾	田 尾	六 助	カクシ酸ナトリウムの電気化学的合成に関する研究	850	1,750
22	慶応義塾大学	教授	尾田 尾	田 尾	七 教	多量に遷移金属酸化物を含有するガラスの特異電気伝導に関する研究	700	1,450
23	慶応義塾大学	助教授	尾田 尾	田 尾	八 助	XCa ₂ Mn ₄ O ₁₂ (X=Ca, Cd)の合成と安定領域の決定	850	900
24	成蹊大学	教授	尾田 尾	田 尾	九 教	加コク、AlH ₂ Et ₂ 浴の研究	1,000	800
25	早稲田大学	助教授	尾田 尾	田 尾	一〇 助	一酸化炭素の水素化によるC ₂ ~C ₆ 炭化水素の合成	900	1,800
26	早稲田大学	教授	尾田 尾	田 尾	一一 教	非金属化合物活性剤の利用に関する研究	900	1,900
27	横国国立大学	教授	尾田 尾	田 尾	一二 教	無機顔料(化リゾリ)の基礎的研究	900	1,700
28	横国国立大学	助教授	尾田 尾	田 尾	一三 助	固定化微生物を用いた廃水処理操作に関する研究	900	1,700
29	新井大学	教授	尾田 尾	田 尾	一四 教	無水アルシ酸の光重合	500	1,000
30	福井大学	教授	尾田 尾	田 尾	一五 教	固定相相溶の輸送現象に関する研究	500	1,200
31	福井大学	教授	尾田 尾	田 尾	一六 教	液体および色素モノマーの合成	950	1,900
32	名古屋工業大学	教授	尾田 尾	田 尾	一七 教	ハノフトのX線構造解析によるカハカリ質構造ハノフトの精密決定	800	1,600
33	名古屋工業大学	教授	尾田 尾	田 尾	一八 教	カクシ酸ナトリウムによる合成高分子の微細構造解析に関する研究	750	1,700
34	名古屋工業大学	教授	尾田 尾	田 尾	一九 教	カクシ酸ナトリウムによる合成高分子の性質——光感応性人工膜の開発のため	800	1,700
35	名古屋工業大学	教授	尾田 尾	田 尾	二〇 教	マイコンエーサーによる分光学的性質に関する研究	1,000	1,800
36	京都大学	教授	尾田 尾	田 尾	二一 教	フラスコからの結晶析出に関する研究	900	1,900
37	京都大学	助教授	尾田 尾	田 尾	二二 助	フラスコからの組成と結晶析出に関する研究	800	1,600
38	京都大学	教授	尾田 尾	田 尾	二三 教	排水水の組成と結晶析出に関する研究	750	1,500
39	京都大学	教授	尾田 尾	田 尾	二四 教	排水水の組成と結晶析出に関する研究	1,000	1,900
40	京都大学	助手	尾田 尾	田 尾	二五 助	排水水の組成と結晶析出に関する研究	1,040	1,980
41	大阪大学	助手	尾田 尾	田 尾	二六 助	排水水の組成と結晶析出に関する研究	800	1,600
42	大阪大学	教授	尾田 尾	田 尾	二七 教	排水水の組成と結晶析出に関する研究	950	1,750
43	広島大学	教授	尾田 尾	田 尾	二八 教	排水水の組成と結晶析出に関する研究	850	1,350
44	九州大学	教授	尾田 尾	田 尾	二九 教	排水水の組成と結晶析出に関する研究	830	800
45	九州大学	教授	尾田 尾	田 尾	三〇 教	排水水の組成と結晶析出に関する研究	800	750
46	熊本大学	教授	尾田 尾	田 尾	三一 教	排水水の組成と結晶析出に関する研究	950	1,900
計	本年度新規分	43件					36,450	71,250

昭和52年度
(特別研究助成)

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ			助成金額(千円)		
				本年度	次年度	第3年度	本年度	次年度	計
1	東北大学	教授	石井 一	5,000	2,500	2,000	9,500		

2	東京大学	教授	仁木 丸野	栄次 哲量	半導体結晶を感応素子とする有機選択性電極の研究	4,000	2,500	1,500	8,000
3	山梨大学	教授	本居 丸野	哲量	水素燃料電池・水電解兼用電槽の開発研究	3,000	1,500	-	4,500
4	名古屋工業大学	助教授	丸野	哲量	感光性加工剤の反応の研究と開発	3,000	1,500	-	4,500
計	本年度新規分	4件				15,000	8,000	3,500	26,500

(普通研究助成)

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)		計
					本年度	次年度	
5	北海道大学	教授	小林 晴夫	カチオン交換樹脂の触媒に関する研究	1,000	1,000	2,000
6	北海道大学	助教授	田中 三郎	シリコン酸化物の合成に関する研究	850	900	1,750
7	東北大学	教授	斎藤 泰三	有機物合成における速度および温度分布に関する研究	1,000	1,000	2,000
8	東北大学	教授	瀬戸 篤	有機物合成における酵素の利用に関する基礎的研究	900	900	1,800
9	東北大学	教授	大塚 王	流通系光触媒装置設計に関する研究	850	850	1,700
10	秋田大学	教授	山形 王	活性酸素の反応に関する研究	300	800	1,100
11	群馬大学	教授	山形 王	多鎖および脂環型炭化水素疎水部をもつ非対称面活性物質の性質と応用に関する研究	700	1,000	1,700
12	群馬大学	教授	山形 王	酸化カルコゲンおよびその混合触媒に関する研究	900	1,000	1,900
13	千葉大学	教授	野崎 誠	未燃焼CO ₂ (煤)の捕集機構とその効率に関する研究	900	900	1,800
14	千葉大学	教授	野崎 誠	赤外線分光法の工業分析化学への応用に関する研究	1,000	1,000	2,000
15	東京大学	教授	国田 健	赤外線分光法の工業分析化学への応用に関する研究	1,000	1,000	2,000
16	東京大学	教授	吉野 泰	危険物の評価に関する研究	900	900	1,800
17	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	1,000	900	1,900
18	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	1,050	800	1,850
19	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	1,000	1,000	2,000
20	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	1,000	1,000	2,000
21	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	1,000	1,000	2,000
22	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	900	900	1,800
23	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	950	1,000	1,950
24	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	900	900	1,800
25	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	900	900	1,800
26	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	920	900	1,820
27	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	950	1,000	1,950
28	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	950	1,000	1,950
29	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	700	1,700	2,400
30	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	1,000	1,000	2,000
31	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	1,000	1,000	2,000
32	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	800	1,000	1,800
33	東京大学	助教授	藤田 英	危険物の評価に関する研究	800	800	1,600
34	静岡大学	教授	酒井 健二	酸化カルコゲンの生成反応とその物性	1,000	900	1,900
35	静岡大学	助教授	酒井 健二	酸化カルコゲンの生成反応とその物性	800	800	1,600

36	名古屋大学	教授	高木 豊一孝	微少比熱容量の測定による溶液構造の研究	900	900	1,800
37	名古屋工業大学	教授	鈴木 功	Stuffed Irigymite 型構造を有する $M^{2+}Al_2O_4$ 化合物の固溶関係と水溶性に関する研究	800	900	1,700
38	京都大学	教授	神野 雅長	転移温度領域におけるガスの体積変化とガス構造との関連に関する研究	900	950	1,850
39	京都大学	教授	野原 博一	燃焼温度の理論効率に関する研究	1,050	1,000	2,050
40	京都大学	助教授	竹西 善	小型高密度水系電池の開発に関する研究	1,000	1,000	2,000
41	京都大学	助教授	安西 典	気液相平衡に対する塩効果の研究	950	950	1,900
42	京都工業繊維大学	助教授	最 彬	安定な有機体カチオンを用いた化学的アミノアトリによる選択的有機合成反応に関する研究	850	900	1,750
43	大阪大学	教授	一 彰	石炭液化に関連した発展的技術の開発	1,000	1,000	2,000
44	大阪大学	助教授	吉川 治	石炭液化に被覆した半導体電極を用いた温式光電池に関する研究	1,000	1,000	2,000
45	大阪大学	教授	河村 浩士	回転式おひき気泡式攪拌槽に関する研究	1,950	1,950	3,900
46	九州大学	教授	山田 俊	芳香族化合物の選択的合成に関する研究	800	800	1,600
47	九州大学	教授	河村 浩士	芳香族化合物の選択的合成に関する研究	950	900	1,850
48	九州工業大学	教授	山口 幸	芳香族化合物の選択的合成に関する研究	950	900	1,850
49	九州工業大学	助教授	村上 泰	芳香族化合物の選択的合成に関する研究	950	900	1,850
50	熊本大学	助教授	藤本 直	芳香族化合物の選択的合成に関する研究	950	800	1,750
計	本年度新規分	46件			42,120	42,450	84,570

昭和53年度
(特別研究助成)

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)			
	所 属	職 名・氏 名		本 年 度	次 年 度	第 3 年 度	
1	東京工業大学	教授	近藤 連一	3,000	1,000	-	4,000
2	東京工業大学	教授	山崎 昇	3,000	1,000	-	4,000
3	横浜国立大学	教授	篠田 耕三	3,000	2,000	-	5,000
計	本年度新規分	3件		9,000	4,000	-	13,000

(普通研究助成)

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)		
	所 属	職 名・氏 名		本 年 度	次 年 度	計
4	北海道大学	教授	高田 善之	1,200	800	2,000
5	北海道大学	助教授	永井 忠雄	700	900	1,600

6	教授	梅屋山	教授	新種不定形耐火物の開発研究	900	1,100	2,000
7	講師	西横	教授	光化学反応器内の光吸収速度に関する研究	1,000	900	1,900
8	助教授	橋平	教授	遷移金属錯体を触媒とする不飽和化合物のトポミ化反応の研究	950	900	1,850
9	助教授	内西	教授	熱分解による酸化物の生成	1,000	1,000	1,900
10	助教授	木村	教授	転移金属錯体におけるソルゲルの規制	1,000	1,000	2,000
11	助教授	佐野	教授	酸化触媒のキチン・キチノールによる鉄や銅を含んだ材料表面のキチン化反応の研究	1,000	900	2,000
12	助教授	木村	教授	限外濾過法におけるカラムの特性に関する研究	1,000	900	1,800
13	助教授	佐野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,200	800	1,900
14	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
15	助教授	佐野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
16	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
17	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
18	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
19	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
20	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
21	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
22	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
23	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
24	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
25	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
26	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
27	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
28	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
29	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
30	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
31	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
32	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
33	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
34	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
35	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
36	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
37	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
38	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
39	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
40	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
41	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
42	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
43	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
44	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
45	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
46	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
47	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
48	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000
49	助教授	河野	教授	白血球の増殖促進剤の製造に関する研究	1,100	900	2,000

九州大学	教授	高柳 素夫	剛直連鎖を含む高分子重合体の無定形構造と機能発現に関する研究	950	1,000	1,950
九州大学	教授	松尾 拓行	光触媒の化学的変換と異相界面の利用に関する研究	1,000	950	1,950
九州大学	助教授	大石 正秀	溶融状態の輸送現象に関する研究	950	900	1,800
九州工業大学	教授	坂田 正秀	大環状ポリマー鎖を配位子とする遷移金属錯体の触媒化学的研究	950	950	1,900
熊本大学	教授	岡田 正秀	フェニル触媒に関する研究	900	800	1,700
計	本年度新規分	51件		48,150	47,350	95,500

昭和54年度
(特別研究助成)

No.	所属	受領者	研究テーマ	助成金額(千円)		
				本年度	次年度	第3年度
1	東京大学	教授	研究テーマ 光電極反応を用いる太陽電池-変換の研究 小型高密度非水系電池の開発に関する研究 コンクリート/流体および非フェニル流体系固液混合物の濾過・圧搾に関する工学的研究 コンクリートに対するカーボン繊維の補強増進法とその応用に関する研究 芳香族ポリマー誘導体の選択的合成法の開発	3,500	2,000	1,500
2	京都大学	助教授		3,000	1,500	-
3	名古屋大学	教授		3,500	2,000	1,500
4	京都工業繊維大学	教授		4,000	2,500	1,500
5	九州大学	教授		2,500	1,500	-
計	本年度新規分	5件		16,500	9,500	30,500

(普通研究助成)

No.	所属	受領者	研究テーマ	助成金額(千円)		
				本年度	次年度	計
6	北海道大学	教授	研究テーマ 石油の水素化脱硫用新触媒の開発に関する研究 シリル化合物を用いるシリル類およびシリル類およびシリル類の新しい合成法に関する研究 有機合成反応を利用する重金属類の分離技術の開発とその応用 沸騰における不均一核発生に関する研究 遷移金属錯体を含む電荷移動錯体とそれに関する研究 遷移金属錯体と分散性に関する研究 (M)および(M, n)の錯体の合成に関する研究 光学活性Mg(II)トリフェニルホスフィンからH ₂ からCH ₂ Oおよびその誘導体の合成 遷移金属錯体の難燃機構とその研究 固体電解質の触媒に関する研究 高分子材料の媒体流動分解による軽質油生成反応の研究 重質原油の媒体流動分解による軽質油生成反応の研究	1,000	1,000	2,000
7	北海道大学	教授		1,000	1,000	2,000
8	北海道大学	教授		900	1,000	1,900
9	東北大学	助教授		1,000	1,000	2,000
10	東北大学	教授		1,000	1,000	2,000
11	東北大学	教授		1,000	1,000	2,000
12	山形大学	助教授		1,900	900	1,800
13	千葉大学	教授		900	1,000	1,900
14	東京大学	助教授		1,000	1,000	2,000
15	東京大学	助教授		900	900	1,800
16	東京大学	教授		900	900	1,800
17	東京大学	教授		900	900	1,800

18	東京大学	教授	白 石	健一郎	振一郎	難燃性高分子化合物の合成研究	900	900	1,800
19	東京大学	助教授	鈴木	一雄	高田	高純点酸化物の非晶質化とイオン導電性の研究	1,000	1,000	2,000
20	東京大学	教授	山口	雅安	二系遷移金属硫化物の合成と利用に関する研究	1,000	1,000	2,000	
21	東京大学	教授	加藤	孝彦	電圧写真用酸化亜鉛系感光材料の新製法に関する研究	1,900	900	1,900	
22	東京大学	教授	金久	浩	低酸素アゾ化合物の合成と応用に関する研究	1,000	1,000	1,900	
23	東京大学	教授	山崎	義典	カチオンローブによる酵素反応の活性化に対する温度の効果	1,000	1,000	2,000	
24	東京大学	教授	久野	文雄	結合用粉末のキャパシタンスの分離膜の開発研究	1,000	1,000	2,000	
25	慶応義塾大学	教授	方田	成男	化学的性質分析法の基礎および応用に関する研究	1,000	1,000	2,000	
26	慶応義塾大学	教授	原本	雄男	逆洗による競争可溶性と触媒担体作用に関する研究	1,000	1,000	2,000	
27	成蹊大学	教授	鈴野	正司	多糖類分子鎖間包接錯体の製造および利用に関する基礎的研究	1,800	800	1,600	
28	東京理科大学	教授	豊田	正司	かかはん槽内の二次核発生速度	1,000	1,000	2,000	
29	東京理科大学	教授	佐藤	正司	新しい環形成法による大環状ポリマーの合成研究	1,000	1,000	2,000	
30	早稲田大学	教授	佐藤	正司	接触水酸化反応における選択性に関する研究	1,000	1,000	2,000	
31	早稲田大学	教授	豊田	正司	反応速度法による吸光光度法による動植物試料や大気粉じんなど環境試料の分析	1,800	900	1,700	
32	早稲田大学	教授	佐藤	正司	化学プロセスの最適周期制御	900	900	1,800	
33	早稲田大学	教授	松原	正一	ハルゲン化反応による新規分子骨格の合成と化学変換	1,100	900	2,000	
34	早稲田大学	教授	佐々木	正一	低温カチオン中での加ハルゲンの挙動に関する研究	1,000	600	1,600	
35	名古屋大学	教授	伊藤	三郎	界面動電現象を伴うカチオン高速液体クロマトグラフィー用検出器の開発研究	1,000	1,000	2,000	
36	名古屋大学	教授	佐藤	三郎	カチオンの強度と応力降食に関する研究	1,000	1,000	2,000	
37	名古屋大学	教授	安藤	三郎	カチオン材料のマトリックスによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,900	
38	名古屋大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
39	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
40	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
41	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
42	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
43	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
44	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
45	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
46	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
47	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
48	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
49	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
50	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
51	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
52	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
53	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
54	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
55	京都大学	教授	菅山	三郎	金属分銅を用いたフローシステムによる新しい有機合成反応に関する研究	1,000	900	1,800	
計						47,400	47,400	94,800	

本年度新規分 50件

昭和55年度
(特別研究助成)

No.	受 領 者		研究テーマ	助 成 金 額 (千円)		
	所 属	職名・氏名		本年度	次年度	第3年度
1	東北大学	教授 梅屋 勲	新種不定形耐火物の開発研究 7α,10β,17α,20α類からの含7α,9α,17α,20αの合成 7α,10β,17α,20αの組成と結晶構造に関する研究	5,000	2,500	1,500
2	東京工業大学	教授 石川 渡辺		3,500	2,500	1,000
3	京都大学	教授 渡辺 信淳		5,000	2,500	1,500
計	本年度新規分 3件		13,500	7,500	4,000	25,000

(普通研究助成)

No.	受 領 者		研究テーマ	助 成 金 額 (千円)		
	所 属	職名・氏名		本年度	次年度	計
4	北海道大学	教授 佐藤 教	分光LiF・NaF・KBrによる金属表面不動態皮膜に関する研究 高周波・UV・X線を用いた有機合成反応に関する研究 金属材料を用いた新有機合成法の開発 金属-有機化合物の表面流動と物質移動に関する研究 金属-有機化合物の表面流動と物質移動に関する研究 電気伝導性材料の結晶構造に関する研究 有機高分子の熱伝導性に関する研究 有機高分子の熱伝導性に関する研究 有機高分子の熱伝導性に関する研究 有機高分子の熱伝導性に関する研究 有機高分子の熱伝導性に関する研究 有機高分子の熱伝導性に関する研究 有機高分子の熱伝導性に関する研究 有機高分子の熱伝導性に関する研究	1,100	800	1,900
5	北海道大学	助教授 藤田 徳		1,000	900	1,900
6	北海道大学	教授 橋本 藤		900	800	1,700
7	東北大学	教授 藤田 徳		1,000	800	1,800
8	東北大学	助教授 藤田 徳		900	800	1,700
9	山形大学	教授 藤田 徳		1,100	900	2,000
10	群馬大学	教授 藤田 徳		1,100	900	2,000
11	東京大学	教授 藤田 徳		900	800	1,700
12	東京大学	教授 藤田 徳		1,000	900	1,900
13	東京大学	教授 藤田 徳		900	800	1,700
14	東京大学	助教授 藤田 徳		1,000	900	1,900
15	東京大学	助教授 藤田 徳		900	800	1,700
16	東京工業大学	助教授 藤田 徳		1,100	900	2,000
17	東京工業大学	助教授 藤田 徳		1,000	900	1,900
18	東京工業大学	教授 藤田 徳	1,000	1,000	2,000	
19	東京工業大学	教授 藤田 徳	1,000	900	1,900	
20	東京工業大学	教授 藤田 徳	1,000	900	1,900	
21	東京都立大学	教授 藤田 徳	1,000	900	1,900	
22	慶応義塾大学	教授 藤田 徳	900	1,000	1,900	
23	慶応義塾大学	教授 藤田 徳	1,100	900	2,000	
24	上智大学	教授 藤田 徳	1,000	1,000	2,000	
25	成蹊大学	教授 藤田 徳	1,100	900	2,000	

26	早稲田大学	教授	宇佐美昭次	化学無機独立栄養性細菌の生化学的機能と利用に関する研究	1,100	900	2,000
27	早稲田大学	教授	義春	流動層燃焼に関する基礎研究	1,000	1,000	2,000
28	横国大学	助教授	中山	高濃度汚染水の微生物処理に及ぼす重金元素と有機物質の影響の解明と合理的処理法の開発	1,100	1,000	2,000
29	金沢大学	教授	沢田	70- γ 線法によるCo ⁶⁰ ・Ti ⁶⁰ 系化合物単結晶の育成	1,000	1,000	2,000
30	山梨大学	助教授	島田	二重管型気泡塔における気液間物質移動	1,000	1,000	2,000
31	静岡大学	教授	小島	固体相間触媒反応の速度ならびに反応操作に関する研究	1,100	900	2,000
32	名古屋大学	教授	手塚	不飽和炭化水素の酸化に関する研究	1,000	900	1,900
33	名古屋大学	教授	泉	金属法による原子吸光法による有用生体活性化合物の新合成法	1,000	1,000	2,000
34	三重大学	教授	鈴木	高度活性新重鉛化合物を触媒とする有機遷移金属錯体による電子運搬作用に関する研究	1,000	900	1,900
35	京都大学	教授	今西	吸収による平衡の偏向を伴うハイブリッドの開発	900	1,000	1,900
36	京都大学	助教授	剛	金属錯体の分解能を有する機能性分子に関する研究	1,000	1,000	2,000
37	京都大学	助教授	健	配向性液晶性多結晶体の製造研究	900	1,000	1,900
38	京都大学	助教授	保	有機電解質の還元雰囲気による新しい光体の合成と物性に関する研究	1,000	900	1,900
39	京都大学	助教授	若松	有機電解質の還元雰囲気による新しい光体の合成と物性に関する研究	1,000	900	1,900
40	京都大学	助教授	若松	有機電解質の還元雰囲気による新しい光体の合成と物性に関する研究	1,000	900	1,900
41	京都大学	助教授	若松	有機電解質の還元雰囲気による新しい光体の合成と物性に関する研究	1,000	900	1,900
42	大阪大学	助手	川	有機電解質の還元雰囲気による新しい光体の合成と物性に関する研究	900	1,000	1,900
43	大阪大学	教授	黒	酸化触媒の付加反応について	1,000	900	1,900
44	大阪大学	教授	木	染色における糊剤の果たす役割についての分子論的研究	1,000	1,000	2,000
45	神戸大学	教授	鳥居	ヨナと亜鉛の複合において、ナリ酸、ハロゲン、硫黄、セレン等への、ハロ原子結合の電解直接生成に関する研究	1,000	1,000	2,000
46	広島大学	助教授	松村	イロ・ヨロ・ゾロ機構の解明	1,000	900	1,900
47	九州大学	教授	中	乳剤型液体膜による金属イオンの選択的分離濃縮に関する研究	1,000	1,000	1,900
48	九州大学	教授	山	共沸蒸留におけるエントロピーの系統的な選択方法の開発	1,000	900	1,900
49	九州工業大学	講師	松	ZnCl ₂ ・NaCl 複合溶融塩中の電気化学反応に関する基礎研究	900	1,000	1,900
50	鹿児島大学	教授	元	光化学反応を利用したハロ環新骨格化合物の合成研究	1,000	1,000	2,000
計	本年度新規分	47件			46,800	43,800	90,600

昭和56年度
(特別研究助成)

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ			助成金額 (千円)	
				本年度	次年度	第3年度	計	
1	東京大学	教授	英史	3,500	2,100	1,400	7,000	
2	東京大学	教授	中	3,500	2,100	1,400	7,000	
3	早稲田大学	教授	篠原	3,500	2,100	1,400	7,000	
4	関西大学	教授	山手	3,500	2,100	1,400	7,000	

	の作業温度付近の粘度特性に及ぼす各種希土類酸化物添加の影響について			
計	本年度新規分 4件	14,000	8,400	5,600
				28,000

(普通研究助成)

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)	
	所属	職名・氏名		本年度	次年度
5	北海道大学	東三郎	硫化水素-水素雰囲気中でのチタニウム鋼の硫化腐食と防食に関する基礎的研究	1,000	900
6	東北大学	西田天	化学蒸気析出反応器に関する基礎的研究	1,000	900
7	東北大学	野高木	Molecular Reactor の試作とその有機硫黄化合物の分離への応用	1,000	900
8	東北大学	高松	水-エトランジオール-タリ三成分系における高圧気液平衡	1,000	900
9	山形大学	滝口	酸化-エトランジオール-タリ三成分系における高圧気液平衡	1,000	900
10	群馬大学	小嶋	新しい特性と機能を有する有機元素マ-およびハ-の合成に関する工業的見地の基礎的研究	1,000	800
11	千葉大学	邦晴	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	800
12	東京大学	陽一男	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	800
13	東京大学	博愛	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	700
14	東京大学	藤野	固定床赤外線吸収法に関する基礎的研究	1,000	800
15	東京大学	赤井	固定床赤外線吸収法に関する基礎的研究	1,000	800
16	東京大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	800
17	東京大学	神井	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	800
18	東京大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	1,000
19	東京大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	900
20	東京大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	900
21	東京大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	900
22	東京大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	800
23	東京大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	800
24	慶応義塾大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	1,800
25	慶応義塾大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	900
26	慶応義塾大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	900
27	慶応義塾大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	2,000
28	慶応義塾大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	2,000
29	慶応義塾大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	2,000
30	慶応義塾大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	1,900
31	慶応義塾大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	1,900
32	慶応義塾大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	900
33	慶応義塾大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	700
34	慶応義塾大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	800
35	慶応義塾大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	800
36	慶応義塾大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	900
37	慶応義塾大学	藤野	高分分解能X線分光法による状態分布	1,000	800

38	京都大学	教授	野崎 良	有機化学。7β-ニコチン化合物を用いる選択的合成	1,000	800	1,800
39	京都大学	教授	桐栄 見	食品の噴霧乾燥における芳香成分の散失と品質劣変の解析と防止	1,000	900	1,900
40	京都大学	助教授	坂久 真	SPP法を用いた有機電解合成	1,000	900	1,900
41	京都大学	教授	西川 理	ヒト・動物と環境との相互作用の高温変形と破壊	1,000	900	1,900
42	京都大学	教授	中島 原	新規カチオン化合物の合成およびその物性	1,000	900	1,900
43	同志社大学	教授	岩倉 川	塩素発生反応に対する光触媒作用	1,000	900	1,900
44	大阪大学	教授	津野 新	金属錯体の光触媒作用とその光触媒の利用	1,000	800	1,800
45	大阪大学	助教授	時武 太	金属錯体の光触媒作用とその光触媒の利用	1,000	900	1,900
46	関西大学	教授	田田 藤	有機合成反応におけるα-アルドール反応の研究	1,000	900	1,900
47	関西大学	教授	加藤 小	有機合成反応におけるα-アルドール反応の研究	1,000	900	1,900
48	神戸大学	教授	山田 林	有機合成反応におけるα-アルドール反応の研究	1,000	900	1,900
49	岡山大学	教授	山田 林	有機合成反応におけるα-アルドール反応の研究	1,000	900	1,900
50	徳島大学	教授	山田 林	有機合成反応におけるα-アルドール反応の研究	1,000	900	1,900
51	九州大学	教授	山田 林	有機合成反応におけるα-アルドール反応の研究	1,000	900	1,900
52	九州大学	教授	山田 林	有機合成反応におけるα-アルドール反応の研究	1,000	900	1,900
53	九州大学	教授	山田 林	有機合成反応におけるα-アルドール反応の研究	1,000	900	1,900
54	熊本大学	教授	山田 林	有機合成反応におけるα-アルドール反応の研究	1,000	900	1,900
計	本年度新規分	50件			50,000	43,200	93,200

昭和57年度
(特別研究助成)

No.	所属	受 領 者	職 名・氏 名	研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)		
					本年度	次年度	第3年度
1	千葉大学	助教授	小倉 二郎	不斉α,β-イソチオキサンチン誘導体の合成	2,000	1,000	4,000
2	東京工業大学	教授	辻 安	界面動電現象を利用した高速液体クロマトグラフィー用検出器の開発研究	4,000	2,000	7,000
3	京都大学	教授	藤 中	超分子伝導体の開発と伝導機構	4,000	2,000	7,000
4	大阪府立大学	教授	田 高	珪酸塩等カチオン液体における各種イオンの挙動に関する研究	4,000	2,000	7,000
5	岡山大学	教授	高橋 克明	珪酸塩等カチオン液体における各種イオンの挙動に関する研究	4,000	2,000	7,000
計	本年度新規分	5件			18,000	9,000	32,000

(普通研究助成)

No.	所属	受 領 者	職 名・氏 名	研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)		
					本年度	次年度	計
6	北海道大学	教授	石井 忠雄	調整履歴の異なる金属酸化物粉末の高温反応状態下における反応性と表面挙動	1,000	900	1,900

7	北海道大学	教授	井野村 御園生	光男	ヒロ-ズ性A、イタアの酵素糖化に関する基礎的研究	1,000	800	1,800
8	東北大学	教授	小倉 井間生	定三 一郎	担持した触媒による一酸化炭素の吸着(冷房)脱臭の研究	1,000	900	1,900
9	東北大学	教授	井野村 御園生	義協 幸二	一酸化炭素の物理化学的性質の新規合成法に関する研究	1,000	800	1,800
10	東北大学	教授	井野村 御園生	協 幸二	新規高分子解乳化剤の開発と応用に関する研究	1,000	800	1,800
11	東北大学	教授	井野村 御園生	協 幸二	新規高分子解乳化剤の開発と応用に関する研究	1,000	800	1,800
12	山形大学	教授	吉田 吉	邦夫	単一/スルによる衝突粉砕に関する研究	1,000	1,000	2,000
13	山形大学	教授	吉田 吉	誠 一郎	研究	1,000	1,800	1,800
14	東京大学	教授	吉田 吉	志博	度熱機関用高性能流動体の開発	1,000	800	1,800
15	東京大学	教授	鈴木 森	之 志	金属錯体の合成とその構造決定	1,000	900	1,900
16	東京大学	教授	鈴木 森	基 稔	配糖温度を利用する有機化合物の酸化反応の基礎的研究	1,000	900	1,900
17	東京大学	教授	鈴木 森	稔 利	酢酸カ(Ⅲ)による有機化合物の酸化反応の基礎的研究	1,000	900	1,900
18	東京大学	教授	鈴木 森	稔 利	カ(Ⅲ)による微量元素の定量化	1,000	900	1,900
19	東京大学	教授	鈴木 森	稔 利	カ(Ⅲ)による微量元素の定量化	1,000	900	1,900
20	東京大学	教授	鈴木 森	稔 利	カ(Ⅲ)による微量元素の定量化	1,000	900	1,900
21	東京大学	教授	鈴木 森	稔 利	カ(Ⅲ)による微量元素の定量化	1,000	900	1,900
22	東京大学	教授	鈴木 森	稔 利	カ(Ⅲ)による微量元素の定量化	1,000	900	1,900
23	東京大学	教授	鈴木 森	稔 利	カ(Ⅲ)による微量元素の定量化	1,000	900	1,900
24	慶応義塾大学	教授	鈴木 森	稔 利	カ(Ⅲ)による微量元素の定量化	1,000	900	1,900
25	慶応義塾大学	教授	鈴木 森	稔 利	カ(Ⅲ)による微量元素の定量化	1,000	900	1,900
26	慶応義塾大学	教授	鈴木 森	稔 利	カ(Ⅲ)による微量元素の定量化	1,000	900	1,900
27	成蹊大学	教授	鈴木 森	稔 利	カ(Ⅲ)による微量元素の定量化	1,000	900	1,900
28	成蹊大学	教授	鈴木 森	稔 利	カ(Ⅲ)による微量元素の定量化	1,000	900	1,900
29	成蹊大学	教授	鈴木 森	稔 利	カ(Ⅲ)による微量元素の定量化	1,000	900	1,900
30	成蹊大学	教授	鈴木 森	稔 利	カ(Ⅲ)による微量元素の定量化	1,000	900	1,900
31	成蹊大学	教授	鈴木 森	稔 利	カ(Ⅲ)による微量元素の定量化	1,000	900	1,900
32	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	助之 美	多相性有機化合物の合成と燃料電池用触媒および固体電解質としての応用	1,000	1,000	2,000
33	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	美 三	多孔質材料の合成と燃料電池用触媒および固体電解質としての応用	1,000	800	1,800
34	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	三 樹	布土類金属化合物の合成と燃料電池用触媒および固体電解質としての応用	1,000	800	1,800
35	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	樹 省	新有機電導体における音波照射の効果	1,000	800	1,800
36	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	省 則	水溶液電解における電力単位低減に関する研究	1,000	800	1,800
37	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	則 夫	極低温電解における音波照射の効果	1,000	800	1,800
38	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	夫 朗	有機双化合物の反応特性を利用した新しい合成法の開発	1,000	900	1,900
39	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	朗 泰	有機双化合物の反応特性を利用した新しい合成法の開発	1,000	900	1,900
40	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	泰 止	有機双化合物の反応特性を利用した新しい合成法の開発	1,000	900	1,900
41	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	止 英	有機双化合物の反応特性を利用した新しい合成法の開発	1,000	900	1,900
42	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	英 雅	有機双化合物の反応特性を利用した新しい合成法の開発	1,000	900	1,900
43	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	雅 幸	有機双化合物の反応特性を利用した新しい合成法の開発	1,000	900	1,900
44	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	幸 文	有機双化合物の反応特性を利用した新しい合成法の開発	1,000	900	1,900
45	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	文 直	有機双化合物の反応特性を利用した新しい合成法の開発	1,000	900	1,900
46	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	直 有	有機双化合物の反応特性を利用した新しい合成法の開発	1,000	900	1,900
47	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	有 二	有機双化合物の反応特性を利用した新しい合成法の開発	1,000	900	1,900
48	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	二 安	有機双化合物の反応特性を利用した新しい合成法の開発	1,000	900	1,900
49	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	安 武	有機双化合物の反応特性を利用した新しい合成法の開発	1,000	900	1,900
50	長岡技術科学大学	教授	横田 隆	武 博	有機双化合物の反応特性を利用した新しい合成法の開発	1,000	900	1,900

51	九州大学	教授	国武 豊弘	カチオン型分子膜の合成とその応用	1,000	800	1,800
52	九州大学	教授	村上 泰弘	高粘度系溶取り型薄膜蒸留装置の流動特性	1,000	900	1,900
53	九州大学	教授	山添 昇一	接触酸化におけるPtの可逆性	1,000	800	1,800
54	熊本大学	教授	安河内 一夫	安定ホウメチル修飾電極の作製とその電極触媒機能に関する研究	1,000	900	1,900
55	鹿児島大学	教授	竹下 寿雄	金属キレート界面活性剤に関する研究	1,000	900	1,900
計	本年度新規分	50件			50,000	44,100	94,100

(海外研究助成)

タイ Chulalongkorn University.

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)	
	所 属	職 名・氏 名		本 年 度	計
56	Dept. of Chemical Eng.	Assist Prof. Piyasan Prasertthdam	スチウの合成	2,900	2,900
57	Dept. of Chemical Eng.	Assist Prof. Wiwut Panthapanichakoon	天然ガスの改質・合成反応に関する研究	1,250	1,250
計	本年度分	2件		5,000	5,000

昭和58年度

(特別研究助成)

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千 円)		
	所 属	職 名・氏 名		本 年 度	次 年 度	第 3 年 度
1	北海道大学	教授 佐藤 教男	分光赤外線による金属表面不動態皮膜に関する研究	2,500	1,500	1,000
2	東京大学	教授 長谷川正木	有機化合物の結晶状態における光化学反応の研究	4,000	2,500	1,000
3	京都大学	教授 豊我 直弘	天然ガスの改質・合成反応に関する研究	6,000	2,500	1,500
4	京都大学	教授 庄野 達哉	有用生理活性性化合物の新合成法	4,000	2,500	1,000
計	本年度新規分	4件		16,500	9,000	4,500
						30,000

(普通研究助成)

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)	
					本年度	次年度
5	北海道大学	教授	杉野目 浩	共役官能基を有する縮合環化合物を基質とする合成上意義のある光誘起反応に関する研究	1,000	800
6	北海道大学	教授	宏三郎	ハルチオリスによる電子線ラジスト材料中の短寿命中間体の研究	1,000	800
7	北海道大学	教授	田部 泰正	トコロシシの製造に関する研究	1,000	1,000
8	東北大学	教授	吉田 謙二	ホモポリマーの相分離構造を用いた有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	1,000
9	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
10	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
11	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
12	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
13	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
14	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
15	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
16	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
17	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
18	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
19	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
20	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
21	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
22	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
23	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
24	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
25	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
26	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
27	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
28	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
29	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
30	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
31	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
32	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
33	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
34	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
35	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
36	東北大学	教授	藤村 盛	有機電活性高分子複合体の合成と物性	1,000	800
37	三重大学	教授	保博	光合成の系による太陽光エネルギーの化学的電気エネルギーへの変換	1,000	1,000
38	三重大学	教授	保博	光合成の系による太陽光エネルギーの化学的電気エネルギーへの変換	1,000	1,000
39	京都大学	教授	藤田 功	新導電性炭素材料の電子特性に関する基礎的研究	1,000	1,000
40	京都大学	教授	山田 武	高分子式化学プロセスの電算機援用設計および操作に関する研究	1,000	1,000
41	京都大学	助手	高橋 本	高分子式化学プロセスの電算機援用設計および操作に関する研究	1,000	800

42	京都大学	教授	岡野 正弥	元素および酸化触媒を触媒とする炭化水素化合物の新規液相酸化法の開発	1,000	1,000	2,000
43	京都大学	教授	寺本 正明	シリカ膜による分離、濃縮に関する研究	1,000	1,000	2,000
44	同志社大学	講師	日高川 重助	粉末圧縮成形体の粒子密度分布の音響法による推定	1,000	1,000	2,000
45	大阪大学	助教授	野村 正勝	希土類元素複合化物のセラミクス材料への応用に関する研究	1,000	1,000	2,000
46	大阪大学	助教授	岩崎 正芳	重質油系に含まれる770 ^g 中の多環芳香族骨格およびヘテロ原子の形態と結合様式	1,700	1,700	1,700
47	関西大学	教授	森分 正俊	非共役ポリリンの環化重合に関する研究	1,000	1,000	2,000
48	岡山大学	教授	増村 光雄	新方式の合成法の開発に関する研究	1,000	1,000	1,700
49	徳島大学	教授	小川 慎一	新しい多光子付着を利用した超高度分析の開発	1,000	1,800	2,000
50	徳島大学	教授	石橋 信彦	770 ^g 金属イオン選択性電極とその迅速高感度・同時分析への応用に関する研究	1,000	1,000	1,800
51	九州大学	教授	高野 信憲	ホウリン酸系樹脂を用いる半導体770 ^g の設計	1,000	1,000	2,000
52	九州大学	助教授	西野 憲和	両親媒性ハフニドの合成と性質	1,000	1,000	2,000
53	九州工業大学	教授	大久保 健敏	非凝縮性メチルエーテルの合成と性質	1,000	1,000	2,000
54	熊本大学	教授	上村 浩	光学活性性アミンの合成と性質	1,000	1,000	1,900
55	鹿児島大学	助教授		非凝縮性メチルエーテルの合成と性質	1,000	1,000	2,000
計	本年度新規分	51件			51,000	46,900	97,900

(海外研究助成)

タイ Chulalongkorn University.

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)	
	所属	職名・氏名		本年度	計
56	Dept. of Chemical Eng. Assoc. Prof. Wiwut Tanthapanichakoon		天然ガスの改質・合成反応に関する研究	3,000	3,000
計	本年度分	1件		3,000	3,000

昭和59年度

(特別研究助成)

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)		
	所属	職名・氏名		本年度	次年度	第3年度
1	東京工業大学	教授	錯状分子の分子内自由度の解析	3,000	2,500	-
2	東京工業大学	教授	錯状分子の分子内自由度の解析	3,500	2,500	1,000
3	名古屋大学	教授	錯状分子の分子内自由度の解析	3,500	2,500	1,000
4	京都大学	教授	錯状分子の分子内自由度の解析	4,500	2,500	-
5	岡山大学	教授	錯状分子の分子内自由度の解析	3,500	2,500	1,000
計				3,000	2,500	1,000
				3,500	2,500	5,500
				3,500	2,500	7,000
				4,500	2,500	7,000
				3,500	2,500	7,000

接合成とその工業化学的応用に関する基礎的研究

計	本年度新規分 5件	18,000	12,500	3,000	33,500
---	-----------	--------	--------	-------	--------

(普通研究助成)

No.	所属	受 領 者	職名・氏名	研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)	
					本年度	次年度
6	北海道大学	助教	小平 加納	フッ素雲母-7ツ素白雲母系ガラスセラミックスの作製とその性質	1,000	800
7	室蘭工業大学	教授	久徳昭彦	シリカの接触分解に関する研究	1,000	700
8	岩手大学	教授	田代昌彰	シリカ操作における二次核の発生、成長および凝集に関する研究	1,000	1,000
9	東北大学	教授	大島 豊	乾燥過程における石炭層の熱物性値測定	1,000	1,000
10	東北大学	教授	島田 野	シリカの熱分解による石炭層の熱物性値測定	1,000	1,000
11	東北大学	教授	豊 収	シリカの熱分解による石炭層の熱物性値測定	1,000	1,000
12	秋田大学	教授	野 収	シリカの熱分解による石炭層の熱物性値測定	1,000	1,000
13	群馬大学	教授	右田 鈴	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	700
14	群馬大学	教授	木浦 野	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	800
15	群馬大学	教授	野井 具	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
16	群馬大学	教授	田嶋 隆	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
17	群馬大学	教授	上田 富	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
18	群馬大学	教授	家出 上	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
19	群馬大学	教授	木井 田	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
20	群馬大学	教授	下 山	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
21	群馬大学	教授	本 山	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
22	群馬大学	教授	山 本	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
23	群馬大学	教授	山 本	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
24	群馬大学	教授	山 本	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
25	群馬大学	教授	山 本	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
26	群馬大学	教授	山 本	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
27	群馬大学	教授	山 本	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
28	群馬大学	教授	山 本	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
29	群馬大学	教授	山 本	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
30	群馬大学	教授	山 本	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
31	群馬大学	教授	山 本	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
32	群馬大学	教授	山 本	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
33	群馬大学	教授	山 本	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
34	群馬大学	教授	山 本	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
35	群馬大学	教授	山 本	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
36	群馬大学	教授	山 本	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
37	群馬大学	教授	山 本	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	900
38	三重大学	教授	山 本 治	有機珪化合物を反応剤とする合成反応	1,000	1,000

39	京都大学	助教授	林江口	秀弥	金属酸化物の溶融塩中における電極材料への応用	1,000	900	1,900
40	京都大学	教授	乾伊勢	智典	希少金属元素の溶媒抽出分離の研究	1,000	900	1,900
41	京都大学	教授	井原	夫夫	新規溶媒抽出分離の合成とその触媒性能の開発に関する研究	1,000	1,000	2,000
42	京都大学	教授	加納	航吉	希薄溶液における懸濁液粒子の親和付着	1,000	1,000	2,000
43	京都大学	教授	平嶋	克光	低濃度成膜プロセスにおける物質および構造の比較研究	1,000	1,000	2,000
44	京都大学	助教授	小笠原	一昭	初期結晶をけい光プロセスに用いるシリコンの可溶化能に関する研究	1,000	1,000	2,000
45	京都大学	助教授	大井	隆男	高圧力電成膜を用いる希土類元素の分離	1,000	800	1,800
46	大阪大学	教授	井藤	吉一	光誘起電子移動を伴する高選択的有機光化学反応の評価	1,000	800	1,800
47	大阪大学	教授	松高	照作	水素起電力を有する複素環化合物の還元剤としての利用に関する研究	1,000	700	1,700
48	大阪大学	助教授	高橋	恒	塗布型電極膜のバインダーに関する高分子界面化学的研究	1,000	800	1,800
49	関西大学	教授	持田	作敏	泡末層頂部における気泡群の崩壊並びに飛沫同伴に関する実験的研究	1,000	1,000	2,000
50	神戸大学	教授	荒井	康彦	生化学的変態法による有機質原料の有機質原料化に関する研究	1,000	800	1,800
51	岡山大学	教授	高木	誠	大環状金属錯体-固体酸化物複合系における化学的相互作用の解明とその機能に関する研究	1,000	900	1,900
52	岡山大学	教授	細川	邦典	揮発性炭化水素の溶解度の測定ならびに推算	1,000	800	1,800
53	九州大学	教授	島田	順三	700℃以上の金属付着の濃度緩衝溶液のための新規シリコン試薬の開発	1,000	900	1,900
54	九州大学	教授	荒井	康彦	電解法による糖質からのアミノ・ブチロールの製法に関する研究	1,000	800	1,800
55	九州大学	助教授	高木	誠	合成ガスからのメタロール合成	1,000	800	1,800
56	九州工業大学	教授	細川	邦典		1,000	1,000	2,000
57	長崎大学	教授	砂島	順三		1,000	1,000	2,000
58	鹿児島大学	教授	島田	順三		1,000	800	1,800
計	本年度新規分	53件				53,000	45,900	98,900

(海外研究助成)

タイ Chulalongkorn University.

No.	所属	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)	
		職名・氏名	本年度		計	
59	Dept. of Chemical Eng.	Assoc. Prof.	蘇瓦塔那潘哈功	発酵法による糖質からのアミノ・ブチロールの製法に関する研究 合成ガスからのメタロール合成	*	
60	Dept. of Chemical Eng.	Assoc. Prof.	ウィウトタンタパニチャコン		4,710	4,710
計	本年度分	2件			4,710	4,710

*) 4,709,550円

昭和60年度
(特別研究助成)

No.	受領者		研究テーマ	助成金額 (千円)			
	所属	職名・氏名		本年度	次年度	第3年度	計
1	東京大学	教授	高分解能X線分析法による状態分析	3,500	2,000	1,500	7,000
2	東京工業大学	教授	遷移金属錯体を触媒とする有機素化合物の合成に関する基礎的研究	3,000	2,000	1,000	6,000
3	名古屋工業大学	教授	水溶液電分解における電力原単位低減に関する研究 —— 高温操作時のエネルギー収支	4,500	2,500	-	7,000
4	京都大学	助教	選択的輸送能、電導能ならびに可視光増感触媒能を有する機能分子	3,500	2,000	1,000	6,500
5	九州大学	教授	7-メチル-2-ナフトール二分子膜の合成とその応用	3,500	2,500	1,000	7,000
計	本年度新規分	5件		18,000	11,000	4,500	33,500

(普通研究助成)

No.	受領者		研究テーマ	助成金額 (千円)			
	所属	職名・氏名		本年度	次年度	計	
6	北海道大学	教授	放射線による高分子材料劣化の分子過程に関する研究	1,000	1,000	800	1,800
7	岩手大学	教授	7-メチル-2-ナフトール中の高分子材料劣化の分子過程に関する研究	1,000	1,000	1,000	2,000
8	東北大学	助教	新しい不斉配位子の合成とその不斉合成および光学分割への応用	1,000	1,000	900	1,900
9	東北大学	教授	移動層媒による炭素の多成分混合物の分離濃縮	1,000	900	900	1,900
10	東北大学	教授	気合液二相流における石炭の常温抽出	1,000	1,000	1,000	2,000
11	秋田大学	教授	炭素固定の化学 —— 分子状窒素からの含窒素有機化合物の直接合成	1,000	1,000	800	1,800
12	東京大学	助教	生体分子における光化学反応の研究	1,000	800	800	1,800
13	東京大学	講師	高速液相クロマトグラフィーの性状に関する研究	1,000	1,000	800	1,800
14	東京大学	助教	新しい重縮合反応の開発と液晶性高分子の合成への応用に関する研究	1,000	900	900	1,900
15	東京大学	講師	ジクロロ放射線角散乱法による合金の構造解析	1,000	1,000	900	1,900
16	東京大学	教授	エリトラン外の全合成	1,000	1,000	800	1,800
17	東京工業大学	教授	有機塩が融体の構造と関連物性の分子動力学法による解析	1,000	1,000	1,000	2,000
18	東京工業大学	助教	有機塩が融体の構造と関連物性の分子動力学法による解析	1,000	900	900	1,900
19	東京工業大学	助教	有機塩が融体の構造と関連物性の分子動力学法による解析	1,000	1,000	1,000	2,000
20	東京工業大学	教授	有機塩が融体の構造と関連物性の分子動力学法による解析	1,000	1,000	900	1,900
21	東京工業大学	助教	有機塩が融体の構造と関連物性の分子動力学法による解析	1,000	1,000	900	1,900
22	慶応義塾大学	教授	有機塩が融体の構造と関連物性の分子動力学法による解析	1,000	900	800	1,900
23	慶応義塾大学	助教	有機塩が融体の構造と関連物性の分子動力学法による解析	1,000	900	800	1,900
24	慶応義塾大学	助教	有機塩が融体の構造と関連物性の分子動力学法による解析	1,000	900	800	1,900
25	慶応義塾大学	助教	有機塩が融体の構造と関連物性の分子動力学法による解析	1,000	900	800	1,900
26	慶応義塾大学	助教	有機塩が融体の構造と関連物性の分子動力学法による解析	1,000	900	800	1,900
27	早稲田大学	教授	新規重縮合法による新しい無機材料の組成および微量不純物の精密定量法の開発	1,000	900	900	1,900

28	早稲田大学	教授	高橋 三郎	時間分解共鳴マソノアおよびCARS分光法によるホトロンミルの機構の研究	1,000	900	1,900
29	横国大学	教授	榎 耕三	シリカの挙動	1,000	800	1,800
30	横国大学	教授	榎 正之	シリカの挙動	1,000	800	1,800
31	金沢大学	助教授	島 俊	誘導体の化学	1,000	1,000	2,000
32	福井大学	助教授	小 平	高圧による固液混合物の高度分離に関する研究	1,000	1,000	1,900
33	山梨大学	助教授	深 沢	抗腫瘍活性を有する高分子の合成	1,000	1,000	2,000
34	名古屋大学	助教授	村 瀬	反応速度測定による化学分析法の応用	1,000	900	1,900
35	名古屋大学	教授	敏 道	圧縮による固液混合物の高度分離に関する研究	1,000	800	1,800
36	名古屋大学	教授	大 武	臨界点付近での二酸化炭素を移動相とするシフトリクエーション	1,000	1,000	2,000
37	豊橋技術科学大学	教授	史 浩	シフトリクエーション法の応用	1,000	1,000	2,000
38	三重大学	教授	梶 章	シフトリクエーション法の応用	1,000	1,000	1,900
39	京都大学	教授	輝 男	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	900	1,900
40	京都大学	教授	宋 三	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	900	1,900
41	京都大学	教授	安 倉	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	900	1,900
42	京都大学	教授	信 隆	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	900	1,900
43	京都大学	教授	三 之	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	800	1,800
44	同志社大学	教授	信 隆	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	800	1,800
45	同志社大学	教授	信 隆	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	800	1,800
46	大阪大学	教授	剛 治	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	800	1,800
47	大阪大学	教授	文 一	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	800	1,800
48	大阪府立大学	教授	茂 邦	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	800	1,800
49	神戸大学	助教授	成 光	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	1,000	2,000
50	岡山大学	教授	文 一	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	800	1,800
51	徳島大学	教授	達 也	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	1,000	2,000
52	九州大学	助教授	祐 三	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	800	1,800
53	九州大学	教授	幸 弘	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	800	1,800
54	九州大学	教授	村 謙	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	800	1,800
55	長崎大学	教授	上 井	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	900	1,900
56	熊本大学	教授	藤 江	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	800	1,800
57	鹿児島大学	教授	山 田	新規酵素の合成と重合挙動に関する研究	1,000	900	1,900
計					52,000	45,800	97,800

(海外研究助成)

タイ Chulalongkorn University

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)	
	所属	職名・氏名		本年度	計
58	Dept. of Chemical Eng.	Assoc. Prof. Wiwut Janthapani chakoon	ブリンからイブリンの合成 アトリータール生産—二段連続発酵法による CO ₂ から固定層吸着による低濃度炭化水素の合成	5,000	5,000
59	Dept. of Chemical Eng.	Assoc. Prof. Chirakarn Muangnapoh			
60	Dept. of Chemical Eng.	Assoc. Prof. Woraphat Arthayukti			
計	本年度分 3件			5,000	5,000

昭和61年度

(特別研究助成)

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)		
	所属	職名・氏名		本年度	次年度	第3年度
1	東北大学	教授	生化学的手法による生理活性物質の新規合成法開発に関する研究 新触媒による分子量の制御された高分子の合成 二分子膜被覆技術を用いた人工細胞膜の開発 永冷トナを用いる誘導結合ガラス質量分析法の開発	3,000	2,000	1,000
2	東京工業大学	教授		3,000	2,000	1,500
3	東京工業大学	助教授		3,500	2,000	1,500
4	名古屋大学	教授		4,000	2,500	1,500
計	本年度新規分 4件			13,500	8,500	5,500
						27,500

(普通研究助成)

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)		
	所属	職名・氏名		本年度	次年度	計
5	北海道大学	助教授	重油燃焼利用觸媒の高濃度臭素に関する研究 環化重合による化学種認識機能をもつポリマーの合成に関する研究 移動層反応装置による固気接触操作の熱的不安定性に及ぼす諸操作因子の影響 環状化合物から発生する活性種を用いる複素環化合物の合成	1,000	1,000	2,000
6	北海道大学	教授		1,000	1,000	2,000
7	至福工業大学	助教授		1,000	1,000	2,000
8	岩手大学	教授		1,000	1,000	2,000

9	東北大学	教授	柳隆夫	選択分解分離方式による超微量金属イオンの高速液体クロマトグラフィー	1,000	1,000	2,000
10	東北大学	助教授	豊弘昌夫	分布定数系の制御に関する研究	1,000	800	1,800
11	山形大学	教授	野瀬英秀	放電を利用した行熱促進	1,000	700	1,700
12	山形大学	教授	野瀬英秀	コゲ放電を利用した行熱促進	1,000	1,000	2,000
13	筑波大学	教授	木瀬君赤上	ポリ材料の合成と導電性	1,000	900	1,900
14	筑波大学	教授	木瀬君赤上	協同抽出を利用した超微量元素の選択的予備濃縮	1,000	700	1,700
15	群馬大学	教授	赤上松田	多相相相互作用を用いた金属錯体による多機能触媒の設計	1,000	800	1,800
16	東京大学	教授	柳田利正	肝臓がん患者の燃焼爆発反応過程との有機合成への活用	1,000	1,000	2,000
17	東京大学	助教授	松分宏	CARS分光法による燃焼爆発反応過程の研究	1,000	800	1,800
18	東京大学	助教授	松分宏	有機化学反応過程の研究	1,000	800	1,800
19	東京大学	助教授	小宮山	幾何学的配置状態による選択性制御	1,000	800	1,800
20	東京大学	教授	妹尾秋山	酵素の安定化機構の研究	1,000	700	1,700
21	東京大学	教授	妹尾秋山	N-ヒトキシミド類の研究	1,000	800	1,800
22	東京大学	教授	森中村福次郎	金属酸化物の光活性に関する触媒化学的研究	1,000	900	1,900
23	東京大学	教授	森中村福次郎	金属酸化物の光活性に関する触媒化学的研究	1,000	800	1,800
24	東京大学	教授	森中村福次郎	金属酸化物の光活性に関する触媒化学的研究	1,000	700	1,700
25	東京大学	教授	高木隆三	陽電子消滅を利用した熔融金属-培系中の電子状態の測定	1,000	800	1,800
26	慶応義塾大学	教授	比野真一	非ニュートン流体にばらびら懸濁液中の気泡の挙動	1,000	900	1,900
27	慶応義塾大学	教授	比野真一	気相触媒反応のマイクロ波分光による研究	1,000	1,000	2,000
28	成蹊大学	教授	栗田豊	ポリリガンドを有する非置換性高分子	1,000	1,000	1,900
29	成蹊大学	教授	栗田豊	ポリリガンドを有する非置換性高分子	1,000	900	1,900
30	早稲田大学	教授	阿部豊	微小結晶懸濁液による窒素化合物の分子設計	1,000	1,000	2,000
31	早稲田大学	教授	阿部豊	微小結晶懸濁液による窒素化合物の分子設計	1,000	900	1,900
32	早稲田大学	教授	阿部豊	微小結晶懸濁液による窒素化合物の分子設計	1,000	700	1,700
33	早稲田大学	教授	阿部豊	微小結晶懸濁液による窒素化合物の分子設計	1,000	900	1,900
34	早稲田大学	教授	阿部豊	微小結晶懸濁液による窒素化合物の分子設計	1,000	1,000	2,000
35	早稲田大学	教授	阿部豊	微小結晶懸濁液による窒素化合物の分子設計	1,000	800	1,800
36	早稲田大学	教授	阿部豊	微小結晶懸濁液による窒素化合物の分子設計	1,000	900	1,900
37	早稲田大学	教授	阿部豊	微小結晶懸濁液による窒素化合物の分子設計	1,000	700	1,700
38	早稲田大学	教授	阿部豊	微小結晶懸濁液による窒素化合物の分子設計	1,000	800	1,800
39	三重大学	教授	神谷一延	光による界面電子過程の研究	1,000	1,000	2,000
40	三重大学	教授	神谷一延	光による界面電子過程の研究	1,000	800	1,800
41	三重大学	教授	神谷一延	光による界面電子過程の研究	1,000	800	1,800
42	三重大学	教授	神谷一延	光による界面電子過程の研究	1,000	800	1,800
43	京都大学	教授	本村吉	非晶質金属を材料とすする新規金属触媒の開発	1,000	800	1,800
44	京都大学	教授	本村吉	非晶質金属を材料とすする新規金属触媒の開発	1,000	1,000	2,000
45	京都大学	教授	本村吉	非晶質金属を材料とすする新規金属触媒の開発	1,000	800	1,800
46	京都大学	教授	本村吉	非晶質金属を材料とすする新規金属触媒の開発	1,000	1,000	2,000
47	京都大学	教授	本村吉	非晶質金属を材料とすする新規金属触媒の開発	1,000	800	1,800
48	大阪大学	教授	池田功宏	固定化酵素を用いた高感度センサの開発と分析化学的応用	1,000	800	1,800
49	大阪大学	教授	池田功宏	固定化酵素を用いた高感度センサの開発と分析化学的応用	1,000	800	1,800
50	大阪大学	教授	池田功宏	固定化酵素を用いた高感度センサの開発と分析化学的応用	1,000	900	1,900

51	神戸大学	教授	北条中二	卓可也	無機固体を触媒とする高選択的有機合成諸反応の開発	1,000	800	1,800
52	鳥取大学	教授	岡山	嘉弘	芳香族ニトロ化合物に関する研究	1,000	800	1,800
53	岡山大学	教授	外堀	和守	超臨界流体による高沸点物質の抽出	1,000	900	1,900
54	広島大学	教授	梶山	里彦	液晶複合薄膜の分子篩機能に関する研究	1,000	900	1,900
55	九州大学	教授	津建	乙彦	動物細胞の大量培養による有用物質生産に関する研究	1,000	900	1,900
56	九州大学	教授	船橋	雅真	新しいN-17Dの開発と複素環合成への展開	1,000	800	1,800
57	九州工業大学	教授	山本	修和	有機カル、BF ₃ 合成試剤の開発とPolyketide型生合成類似反応の研究	1,000	800	1,800
58	九州工業大学	助教授	尾崎	和久	PLP補酵素(ピリドキシン類)のビニル化と有機合成に関する研究	1,000	900	1,900
59	佐賀大学	教授	方真嗣	修和	エタノール生産の高率化に関する研究	1,000	900	1,900
60	長崎大学	教授	園田	佑作	多孔質ガスの選択的接触合成と細孔内表面の化学修飾	1,000	900	1,900
61	熊本大学	教授	瀧田	清久	多孔質ガスの表面状態と細孔内表面の化学修飾	1,000	900	1,900
62	熊本大学	教授	今幡	泰雄	懸濁液内シリカ重合法によるマイクロ球の製造	1,000	900	1,900
63	宮崎大学	教授	手幡			1,000	900	1,900
64	鹿児島大学	助教授				1,000	900	1,900
計	本年度新規分	60件				60,000	51,600	111,600

〈奨励研究助成〉

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)		
					本年度	次年度	
65	東北大学	教授	千田	多孔質体における二相流れ	1,000	1,000	2,000
66	千葉大学	助教授	中平	光機能高分子材料とその複合化に関する研究	1,000	1,000	2,000
67	東京工業大学	教授	榎部	免疫センサー材料によるバイオセンの計測	1,000	1,000	2,000
68	自衛隊大学	教授	逢坂	無電解めっき機能薄膜に関する研究——特に磁気記録媒体への応用	1,000	1,000	2,000
69	愛知工業大学	講師	山田	無電解めっき機能薄膜に関する研究	1,000	1,000	2,000
70	岡山大学	講師	小槻	電池活性物質設計に関する基礎研究	1,000	1,000	2,000
計	本年度新規分	6件			6,000	6,000	12,000

〈海外研究助成〉

タイ Chulalongkorn University

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)	
					本年度	計
71	Dept. of Chemical Eng. Chirakarn Muangnaphon	Assoc. Prof.	Chirakarn Muangnaphon	1段階変換法によるキチンからアセトおよびビニルアルコールの製造	5,000	5,000
72	Dept. of Chemical Eng. Wiwut Tanthapanichakoon	Assoc. Prof.	Wiwut Tanthapanichakoon	各種ビニルを用いるn-アキンの接触分解	5,000	5,000

73	Dept. of Chemical Eng. Assoc. Prof. (未定)	Chairit Satayprasert]]
計	本年度分 3件		5,000	5,000

昭和62年度
〈特別研究助成〉

No.	所属	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)		
		職名・氏名			本年度	次年度	第3年度
1	東京大学	教授	三浦 謹一郎	3,000	2,000	1,000	6,000
2	名古屋大学	教授	中 重 治	3,000	2,000	-	5,000
3	名古屋工業大学	教授	阿部 良弘	3,000	2,000	1,000	6,000
4	京都大学	助教授	橋本 竹治	4,000	2,000	1,000	7,000
5	長崎大学	教授	砂本 順三	3,000	2,000	1,000	6,000
計	本年度新規分 5件			16,000	10,000	4,000	30,000

〈普通研究助成〉

No.	所属	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)		
		職名・氏名			本年度	次年度	計
6	北海道大学	助教授	田 啓司	1,000	900	1,900	
7	東北大学	教授	小林 四郎	1,000	900	1,900	
8	東北大学	教授	新井 邦夫	1,000	900	1,900	
9	東北大学	教授	松本 永 昭	1,000	900	1,900	
10	東北大学	教授	松立 利 寛	1,000	1,000	2,000	
11	秋田大学	助教授	内藤 久仁茂	1,000	1,000	2,000	
12	茨城大学	助教授	戸田 春 彦	1,000	1,000	2,000	
13	筑波大学	教授	関 金 彦	1,000	1,000	2,000	
14	群馬大学	教授	内 義 昭	1,000	1,000	2,000	
15	群馬大学	教授	関 金 彦	1,000	1,000	2,000	
16	群馬大学	教授	関 金 彦	1,000	1,000	2,000	
17	群馬大学	教授	関 金 彦	1,000	1,000	2,000	
18	東京大学	教授	関 金 彦	1,000	1,000	2,000	
19	東京大学	教授	関 金 彦	1,000	1,000	2,000	
20	東京大学	教授	関 金 彦	1,000	1,000	2,000	

計	本年度新規分 59件	59,000	53,400	112,400
---	------------	--------	--------	---------

(奨励研究助成)

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)	
	所属	職名・氏名		本年度	次年度
65	東北大学	教授 奥脇 昭嗣	石炭類の液相酸化におけるフェリ酸の生成機構 細胞工学的手法を用いたリソ球の機能発現機構の解明 —— 特に細胞内情報伝達因子の解明 有機半導体の光物性 ハット系ポリマーの加工に伴う残留応力による強度低下の基礎的研究 人工酵素の合成と応用 高効率・選択的酸化による電気化学的合成 金属の高機能化に関する電気化学的研究 ハット系ポリマーの化学構造と潜在機能に関する研究 ハット錯体による空中酸素の光化学的活性化	1,000	1,000
66	東京大学	助手 牧島 房夫		1,000	1,000
67	東京大学	助教授 十倉 好紀		1,000	1,000
68	東京工業大学	助教授 松尾 陽太郎		1,000	1,000
69	東京工業大学	助教授 服部 憲治郎		1,000	1,000
70	東京工業大学	講師 立木 久		1,000	1,000
71	愛知工業大学	技官 森谷 洋二		1,000	1,000
72	京都大学	助教授 河本 松尚		1,000	1,000
73	神戸大学	助教授 松田 義尚		1,000	1,000
計	本年度新規分 9件		9,000	9,000	18,000

(海外研究助成)

タイ Chulalongkorn University

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)	
	所属	職名・氏名		本年度	計
74	Dept. of Chemical Eng.	Assoc. Prof. Chairit Satayaprasert	数種のタイグのポリブレン上における(C ₁ -C ₄)アルコールの反応性に関する比較研究 各種のN-ブタジレブレン系の等温吸着能、吸着速度および有効拡散度 (1および2の分担研究)	5,000	5,000
75	Dept. of Chemical Eng.	Assoc. Prof. Wiwit Ianthapanichakoon			
76	Dept. of Chemical Eng.	Assoc. Prof. Sasithorn Boon-Long			
計	本年度分 3件			5,000	5,000

昭和63年度
(特別研究助成)

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)		
	所 属	職 名・氏 名		本 年 度	次 年 度	第 3 年 度
1	東京大学	教授 千嶋 真	研究化学の開拓 固定化学の構造と材料設計 窒素の構造と強力放射線による酸化物超伝導材料の高温結晶構造 と物性の研究 軽微糖質を含む生物活性化合物の合成 非晶質薄膜を用いる高速酸化反応 新機軸の方法による超微粒子の研究 電子伝導および光非線形機能をもつホム・リトルビニル系薄膜の設計	3,000	2,000	1,000
2	東京大学	助教授 安井 弘雄		5,000	2,000	1,000
3	東京工業大学	助教授 橋爪 誠一郎		3,000	2,000	1,000
4	慶応義塾大学	教授 小川 輝男		2,500	1,500	1,000
5	慶応義塾大学	教授 松浦 聡		4,000	2,000	-
6	同志社大学	教授 奥田 省吾		3,000	2,000	1,000
7	九州大学	教授 斎藤 省吾		5,000	2,000	1,000
計	本年度新規分 7件		25,500	13,500	6,000	45,000

(普通研究助成)

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)		
	所 属	職 名・氏 名		本 年 度	次 年 度	計
8	北海道大学	助教授 弘士 一郎	研究 β型鉄酸化物の合成とキャパシタンスに関する研究 粉体状酸化鉄(Fe ₂ O ₃)の調製とその固相反応挙動に関する研究 陽・陰性元素の銀、白金、カーボン中挙動と吸着酸素との相互作用に関する研究 高圧・高密度化学的研究 二次電池用正極活性物質としての二、三の金属元素の電気化学 的性質の研究 各種両性電解質の分離・精製 濃縮液に関する実験的、理論的研究 有機材料の表面改質に関する研究 食料・飼料の酸化防止剤に関する基礎的研究 高耐食性ポリマーの合成に関する基礎的研究 生体組織の傷害防止と化学発光法によるフラトニドの脂質過酸化 作用の検出と抑制 酸化化合物とその薄層の触媒特性 炭化元素の気相酸化反応の制御に関する研究 半導体および超伝導体の電子構造と導電機構に関する研究 化合物多孔隙性薄膜を正極とする高エネルギー密度二次電池の開発に関する基 礎的研究 耐熱性酵素生産用ガラスの情報の構造と機能に関する工学的研究	1,000	900	1,900
9	北海道大学	教授 大橋 隆三		1,000	1,000	2,000
10	京都大学	助教授 古川 明		1,000	1,000	2,000
11	京都大学	助教授 葛原 直昭		1,000	1,000	2,000
12	東北大学	教授 植力 光紀		1,000	1,000	2,000
13	東北大学	教授 岩沼 浩		1,000	800	1,800
14	東北大学	教授 関口 淳		1,000	1,000	2,000
15	群馬大学	教授 田村 博		1,000	1,000	2,000
16	埼玉大学	教授 三井 一		1,000	800	1,800
17	東京大学	教授 上木 敏夫		1,000	900	1,900
18	東京大学	教授 興原 博		1,000	1,000	2,000
19	東京大学	助教授 永野 義博		1,000	900	1,900
20	東京大学	教授 富永 義博		1,000	1,000	2,000
21	東京大学	講師 富川 義博		1,000	1,000	2,000
22	東京工業大学	助教授 脇原 義博		1,000	1,000	2,000
23	東京工業大学	助教授 太田 和久		1,000	1,000	2,000

24	東京工業大学	教授	奥山 徳一郎	高速収縮応答性繊維の合成	1,000	1,000	2,000
25	東京工業大学	教授	小相 益孝	水性高分子膜による気体分離の研究	1,000	1,900	1,900
26	東京工業大学	教授	川野 修	生体分子カテゴリーの設計とバイオ材料プロセスへの応用	1,000	800	1,800
27	東京工業大学	教授	西原 貞雄	シリコン系金属集合体による糖質の高選択的変換	1,000	1,000	2,000
28	東京工業大学	教授	原 隆英	高導電性半導体Cu ₂ SnS ₃ の電導度相転移に対する不純物置換の物性制御効果	1,000	1,000	2,000
29	慶応義塾大学	教授	土島 清	アルミナ質の加熱処理機構の解明	1,000	1,000	1,800
30	慶応義塾大学	教授	小川 隆	細菌の培養による材料の製造	1,000	800	1,800
31	上智大学	教授	阿部 博	Al ³⁺ イオン型二次電池の開発	1,000	800	1,800
32	成蹊大学	教授	田中 功雄	α-β型有機物を用いた新しい有機合成反応の開発	1,000	1,000	2,000
33	早稲田大学	教授	佐藤 規夫	有機化合物を用いた新しい有機合成反応の開発	1,000	800	1,800
34	早稲田大学	教授	友成 友夫	有機化合物を用いた新しい有機合成反応の開発	1,000	1,000	2,000
35	国立科学博物館	教授	山本 千鶴	高分子材料に対する四級アミン包接水和物の生成とその蓄熱材への応用	1,000	1,000	2,000
36	長岡工業科学大学	教授	岡村 弘	酸化カルシウム対β-イソプロピロリン酸生成物の深き分布の光音響分光測定法	1,000	1,000	2,000
37	富山大学	教授	中村 裕	粉粒体の連続形状分離装置の開発	1,000	1,000	2,000
38	富山大学	教授	金丸 弘	天然物の官能基を利用したRedox機能膜系の開発に関する研究	1,000	800	1,800
39	富山大学	教授	井田 二	ETPカプラーの官能基を利用したRedox機能膜系の開発に関する研究	1,000	800	1,800
40	福井大学	教授	神保 弘	CVD法によるエッジ・エリクセト膜の低温合成とその評価	1,000	1,000	2,000
41	福井大学	教授	野村 孝	放射線による液中微粒子の均一分散系高分子膜の合成	1,000	1,000	2,000
42	静岡大学	教授	古川 孝	媒体菌による液中微粒子の均一分散系高分子膜の合成	1,000	800	1,800
43	名古屋大学	教授	名取 孝	環境友好型系化合物の合成と物性に関する研究	1,000	1,000	2,000
44	名古屋大学	教授	豊田 孝	積層ナノ構造の定量的解析	1,000	800	1,800
45	名古屋大学	教授	橋本 孝	積層ナノ構造の定量的解析	1,000	1,000	2,000
46	名古屋大学	教授	西村 孝	物性分離のための混合流体に対する分子(集団)設計に関する研究	1,000	1,000	2,000
47	京都大学	教授	藤本 浩	遷移金属錯体の新規触媒機能の開発に関する研究	1,000	1,000	2,000
48	京都大学	教授	藤本 浩	遷移金属錯体の新規触媒機能の開発に関する研究	1,000	1,000	2,000
49	京都大学	教授	藤本 浩	遷移金属錯体の新規触媒機能の開発に関する研究	1,000	1,000	2,000
50	京都大学	教授	藤本 浩	遷移金属錯体の新規触媒機能の開発に関する研究	1,000	1,000	2,000
51	京都工業繊維大学	教授	若松 盈	自己公性マトロポ型両親水性プロペナーの合成とその分離薄膜への応用に関する研究	1,000	900	1,900
52	同志社大学	教授	東 信行	自己公性マトロポ型両親水性プロペナーの合成とその分離薄膜への応用に関する研究	1,000	1,000	2,000
53	大阪大学	助教	馬場 章夫	有機ケイリル化合物錯体を利用するゾル-ゲル、ミミコ-ルのエリスロ/スチオ体の簡便な分離およびその応用	1,000	1,000	2,000
54	大阪大学	助手	吉川 信一郎	新規な複金属錯体の合成と結晶構造および物性に関する研究	1,000	900	1,900
55	大阪府立大学	教授	北尾 実夫	新規な複金属錯体の合成と結晶構造および物性に関する研究	1,000	900	1,900
56	鳥取大学	教授	木地 健治	新規な複金属錯体の合成と結晶構造および物性に関する研究	1,000	900	1,900
57	岡山大学	教授	宇山 徹夫	有機材料の合成	1,000	800	1,800
58	岡山大学	助教	山根 徹夫	有機材料の合成	1,000	1,000	2,000
59	広島大学	教授	山口 徹夫	新規有機化合物の合成とその触媒機能の開発	1,000	1,000	2,000
60	広島大学	教授	佐藤 徹夫	新規有機化合物の合成とその触媒機能の開発	1,000	1,000	2,000
61	徳島大学	教授	尾藤 徹夫	新規有機化合物の合成とその触媒機能の開発	1,000	1,000	2,000
62	徳島大学	教授	尾藤 徹夫	新規有機化合物の合成とその触媒機能の開発	1,000	800	1,800
63	九州大学	教授	加藤 昭夫	新規有機化合物の合成とその触媒機能の開発	1,000	800	1,800
64	九州大学	教授	松尾 昭夫	新規有機化合物の合成とその触媒機能の開発	1,000	1,000	2,000

65	九州工業大学	講師	豊 克磨	マイク電極による金属腐食および溶接反応の研究	1,000	1,000	2,000
66	長崎大学	教授	津留 平	遷移金属錯体を用いる炭素-水素結合の直接活性化とその応用に関する研究	1,000	1,800	1,800
67	大分大学	講師	江頭 志摩	高分子修飾電極の体内応用	1,000	1,000	2,000
68	宮崎大学	教授	直 健介	光電子移動を利用した直接的メタリ化反応の含窒素環状化合物合成への応用	1,000	1,800	1,800
計	本年度新規分	61件			61,000	56,000	117,000

(奨励研究助成)

No.	所属	受 領 者		研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)		計
		職名・氏名	職名・氏名		本年度	次年度	
69	北海道大学	助手	長谷川 寿夫	寒地住宅の居住性能向上に関する研究	1,000	1,000	2,000
70	山形大学	助教授	尾形 健明	光音響検出磁気共鳴(ADMR)法の開発	1,000	1,000	2,000
71	群馬大学	教授	荒井 孝一	新しい磁気配列認識能を持つ、高い分離効率を有する核磁分離材の研究	1,000	1,000	2,000
72	東京大学	講師	荒木 宏	金属による糖質の特定部位認識の機構解明とその選択的酸化法への応用に関する研究	1,000	1,000	2,000
73	東京大学	助手	中山 宏	細胞工学的的手法による抗生物質の探索	1,000	1,000	2,000
74	東京工業大学	助教授	阿部 正紀	新しい酸化物質を利用した光学的活性有機フッ素化合物の合成	1,000	1,000	2,000
75	東京工業大学	助教授	北五郎	低温水蒸気改質反応と窒化・炭化反応に関する研究	1,000	1,000	2,000
76	東京学院大学	助教授	東田 重	液相イオン交換樹脂の合成と窒化・炭化反応に関する研究	1,000	1,000	2,000
77	早稲田大学	助教授	神垣 慎	燃料電池の電極触媒の開発	1,000	1,000	2,000
78	愛知工業大学	教授	竹村 英昭	高圧電機の実用化電極触媒の開発とその評価法の確立	1,000	1,000	2,000
79	同志社大学	助手	佐々木 孝友	高圧レーザー非線形光学結晶の育成	1,000	1,000	2,000
80	大阪大学	助教授			1,000	1,000	2,000
計	本年度新規分	12件			12,000	12,000	24,000

(海外研究助成)

No.	所属	受 領 者		研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)	
		職名・氏名	職名・氏名		本年度	計
タイ Chulalongkorn University						
81	Dept. of Chemical Eng.	Assoc. Prof.	Woraphat Arthayukti	空気からの酸素製造を目的とする単塔圧力変動吸着の研究		
82	Dept. of Chemical Eng.	Lecturer	Dhongchai Medhanawon	タンの部分酸化	5,000	5,000
83	Dept. of Chemical Eng.	Assoc. Prof.	Piyasan Prasertthdam	水素化ニッケル触媒におけるハロゲン化の効果		
84	Dept. of Chemical Eng.	Assoc. Prof.		ゼライト上でのタナーを用いるトリエンのメチル化によるハロゲンの選択生成		

Chairit Satayaprasert		Chairit Satayaprasert	
インドネシア Institute of Technology Bandung			
85	Dept. of Chemical Eng.	Dr. Subagio	Exploration of Suitable Catalyst for Natural Rubber Modification through Hydrogenation
86	Dept. of Chemical Eng.	Dr. S. Praptowidodo	Studies on the Ions Transport through Charged Cellulosic Membranes
計	本年度分	6件	7,000 } 2,000 } 2,000 } 7,000

平成元年度
(特別研究助成)

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)		
	所 属	職 名・氏 名		本 年 度	次 年 度	第 3 年 度
1	東京大学	教授 沢田 嗣郎	レーザ誘起超音波を利用する新しい化学計測 ポリイミド系材料の共重合体の合成と特性解析 無電解めっき機能薄膜に関する研究——特に磁気記録媒体への応用 光学素子用加付再結晶の水熱合成と評価 リカーナ法による機能性酸化物薄膜の低温合成およびそのキャラク セリゾフ 新規な多環性芳香族化合物の合成および工業的利用に関する研究	4,000	2,500	1,000
2	東京工業大学	教授 会井 俊夫		4,000	2,000	-
3	早稲田大学	教授 逢坂 哲弥		3,500	1,500	1,000
4	名古屋大学	教授 平野 真一		3,500	1,500	1,000
5	京都大学	教授 作花 清夫		4,000	1,500	1,000
6	九州工業大学	助教授 山口雅彦		3,500	1,500	1,000
計	本年度新規分	6件	22,500	10,000	5,000	37,500

(普通研究助成)

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)		
	所 属	職 名・氏 名		本 年 度	次 年 度	計
7	北海道大学	教授 大塚 俊明	低バロ・ギョウ・半導体のアノードハ・ツバ・ツボに関する研究 相面上における溶媒凝縮触媒伝達 立体および化学選択的触媒遷行に関する研究 方バ・酵素反応の電気化学的制御に基づく酵素素子の開発 新しい高選択的有機合成反応の開発と応用 分相法による機能性多孔質カプソルの製造とその応用に関する研究 化学薬理的リソト合成 含フッ素カルボン酸の陽極酸化反応と合成反応への応用	1,000	800	1,800
8	石手大学	教授 山川 紀夫		1,000	900	1,900
9	東北大学	教授 今泉 真一		1,000	700	1,700
10	東北大学	教授 末永 洋三		1,000	900	1,900
11	東北大学	教授 大嶋 尚		1,000	800	1,800
12	秋田大学	教授 上田 充		1,000	700	1,700
13	山形大学	教授 久保 田俊夫		1,000	800	1,800
14	茨城大学	助手		1,000	800	1,800
計				10,000	7,000	17,000

15	筑波大学	教授	雄次郎	光・電子機能の発見とそのための新規有機イオン系材料の創製	1,000	800	1,800
16	宇都宮大学	教授	武昭宏	水酸化ビニルニコトニカ膜を分離膜として利用するナノラビブリカター	1,000	700	1,700
17	千葉大学	教授	昭宏	好熱菌のハロゲン化合物の合成	1,000	800	1,800
18	東京大学	教授	和彦	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
19	東京大学	教授	大塚均	人工知能言語によるハロゲン化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
20	東京大学	教授	重英	人工知能言語によるハロゲン化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
21	東京大学	教授	成泰	人工知能言語によるハロゲン化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
22	東京大学	教授	耕寿	人工知能言語によるハロゲン化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
23	東京大学	教授	大塚均	人工知能言語によるハロゲン化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
24	東京大学	教授	成泰	人工知能言語によるハロゲン化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
25	東京大学	教授	耕寿	人工知能言語によるハロゲン化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
26	東京大学	教授	大塚均	人工知能言語によるハロゲン化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
27	東京大学	教授	成泰	人工知能言語によるハロゲン化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
28	東京大学	教授	耕寿	人工知能言語によるハロゲン化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
29	東京大学	教授	大塚均	人工知能言語によるハロゲン化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
30	東京大学	教授	成泰	人工知能言語によるハロゲン化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
31	東京大学	教授	耕寿	人工知能言語によるハロゲン化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
32	東京大学	教授	大塚均	人工知能言語によるハロゲン化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
33	東京大学	教授	成泰	人工知能言語によるハロゲン化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
34	東京大学	教授	耕寿	人工知能言語によるハロゲン化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
35	慶応義塾大学	教授	安真彰	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
36	慶応義塾大学	教授	真彰	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
37	早稲田大学	教授	藤田大	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
38	早稲田大学	教授	藤田大	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
39	早稲田大学	教授	藤田大	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
40	長崎大学	教授	信長	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
41	岐阜大学	教授	信長	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
42	名古屋大学	教授	信長	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
43	名古屋大学	教授	信長	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
44	名古屋大学	教授	信長	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
45	京都大学	教授	信長	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
46	京都大学	教授	信長	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
47	京都大学	教授	信長	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
48	京都大学	教授	信長	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
49	京都大学	教授	信長	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
50	京都大学	教授	信長	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
51	京都大学	教授	信長	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
52	京都大学	教授	信長	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
53	京都大学	教授	信長	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
54	京都大学	教授	信長	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
55	大阪府立大学	教授	敬徳	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
56	関西大学	教授	敬徳	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
57	関西大学	教授	敬徳	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
58	鳥取大学	教授	敬徳	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800
59	広島大学	教授	敬徳	超電導薄膜を用いた超電導薄膜の微細評価	1,000	800	1,800

60	徳島大学	教授	林 弘次	固定化相関移動触媒の合成設計と三相反散系の連続反応工程への応用	1,000	800	1,800
61	愛媛大学	教授	岡田 元雄	超音速ジェットノズル-分光法によるトポロジ類の分子内水素結合に関する研究	1,000	700	1,700
62	九州大学	教授	西村 正明	トポロジとDNAとの相互作用	1,000	800	1,800
63	佐賀大学	助教授	田端 誠	ナノ識別のための半導体デバイスシステムの開発	1,000	700	1,700
64	長崎大学	教授	江頭 充隆	微生物のADP/ATP駆動ADPナトリウムイオンポンプの生体濃縮および生体内変換を利用した環境元素の工業的除去法の研究	1,000	800	1,800
65	大分大学	教授	森口 前		1,000	800	1,800
66	鹿児島大学	教授	前田 滋		1,000	800	1,800
計	本年度新規分	60件			60,000	47,400	107,400

〈奨励研究助成〉

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)		
					本年度	次年度	
67	東北大学	教授	米本 年邦	植物細胞による有用物質生産のためのローリド型ハイブリッド型イリジウムに関する研究	1,000	1,000	2,000
68	東北大学	助教授	高橋 子	磁性薄膜材料の研究	1,000	1,000	2,000
69	東京大学	助教授	後藤 重昭	ナノカーボン重合体における立体規制とその機構解明	1,000	1,000	2,000
70	東京大学	講師	中野 和仁	分布型半導体レーザーの研究	1,000	1,000	2,000
71	東京大学	講師	横山 卓也	生化学および細胞化学技術を用いた神経伝達と軸索輸送に関する研究	1,000	1,000	2,000
72	東京工業大学	講師	上池 正和	生体内に注入されたH ₂ O ₂ の化学的挙動	1,000	1,000	2,000
73	東京理科大学	講師	菊松 三枝	YIG中に注入されたH ₂ O ₂ の化学的挙動	1,000	1,000	2,000
74	東京理科大学	講師	松本 敏	白金の錯体触媒とす水の可視光分解とH ₂ O ₂ -変換反応の開発	1,000	1,000	2,000
75	早稲田大学	助教授	三枝 康幸	多機能性の錯体触媒に関する研究	1,000	1,000	2,000
76	京都大学	助手	滝川 敏算	総合系ナノの合成とその特性	1,000	1,000	2,000
77	大阪大学	助手	山口 武	医用高分子材料の物性の基礎設計	1,000	1,000	2,000
78	岡山大学	助手	山下 真一	界面化学的手法を用いたシリカ粒子設計に関する基礎研究	1,000	1,000	2,000
79	九州大学	助手	下東 康幸	神経伝達物質系血圧降下剤のトポグラフィ	1,000	1,000	2,000
計	本年度新規分	13件			13,000	13,000	26,000

〈海外研究助成〉

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)	
					本年度	計
タイ Chulalongkorn University						
80	Dept. of Chemical Eng.	Assoc. Prof.	Piyasan Praserttham	ワイヤリング触媒へのコーカ推積に関する研究プロジェクト		
81					5,000	5,000
82						

83	Dept. of Chemical Eng.	Assoc. Prof. Wiwut Lanthapanichakoon	炭化水素のプロセッシングに関する研究プロジェクト 他2件]]
84					
85					
インドネシア Institute of Technology Bandung					
86	Dept. of Chemical Eng.	Dr. D. Ariono	荷電ポロマー膜のイオン輸送に関する研究	2,000	2,000
計	本年度分 7件			7,000	7,000

表3-5-3 研究助成一覧 (旭硝子財団)

平成2年度
(課題研究助成)

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)		
	所属	職名・氏名		本年度	次年度	第3年度
課題テーマ①新しい高分子						
1	早稲田大学	教授 土田 英俊	新しい有機酸化重合法の展開 — ジフェニルアミンの有機酸化重合によるポリアミンアミン合成	6,000	3,000	1,000
課題テーマ②新しい有機合成						
2	東北大学	教授 吉藤 正明	立体保護効果を利用した重周期典型元素化合物の新展開	6,000	3,000	1,000
課題テーマ③生体関連微量物質の新しい分離方法						
3	東北大学	教授 斎藤正三郎	動植物からの生理活性物質の超臨界流体抽出プロセスの開発	5,500	2,000	1,500
計	本年度新規分 3件			17,500	8,000	3,500

(総合研究助成)

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)		
	所属	職名・氏名		本年度	次年度	第3年度
4	鳥取大学 共同申請者 鳥取大学	教授 矢野 友久 教授 中島 路可	乾燥地における塩水の経済的脱塩方式の開発と農業的循環利用に関する研究	18,000	9,000	3,000
計	本年度新規分 1件			18,000	9,000	3,000

(特別研究助成)

No.	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)		
	所属	職名・氏名		本年度	次年度	第3年度
計						

5	東北大学	教授	篠野 昌弘	哺乳類Hsp-450によるアミノ酸類の位置選択的トキシ化反応 ——蛋白質の精密設計とその応用	4,000	2,500	0	6,500
6	東京大学	助教授	戸嶋 直樹	シロ環境場による金属超微粒子の機能化	4,000	2,500	0	6,500
7	東京工業大学	助教授	中村 栄一	金属触媒を用いた有機合成反応の機能化とその応用	5,500	2,000	0	7,500
8	名古屋大学	教授	柘植 新	機能性高分子材料の極限構造キャタリストの開発	3,000	2,000	0	5,000
9	名古屋工業大学	教授	高津 学	微組織制御したSiC、Si ₃ N ₄ の高温繰返し疲労特性	4,000	2,500	0	6,500
10	九州大学	助教授	辻 正治	半導体プロセスの気相反応の精密解析と励起種・レーザー-CVD法による機能性薄膜の合成	4,000	2,500	0	6,500
計	本年度新規分	6件			24,500	14,000	0	38,500

〈普通研究助成〉

No.	所属	受 領 者		研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)		
		職名・氏名			本年度	次年度	計
11	北海道大学	教授	武笠 幸一	新強磁性物質探索のための電子分光の研究	1,000	600	1,600
12	北海道大学	助教授	田畑 昌祥	分子配列法による強磁性高分子の合成と解析に関する研究	1,000	600	1,600
13	北海道大学	教授	延与三知夫	VIA族金属硫化物電極の相変化とIn situ X線回折法による電極構造の観察	1,000	1,000	2,000
14	室蘭工業大学	助教授	小幡 英二	固液流動層を用いた粒径分布測定法の開発	1,000	600	1,600
15	岩手大学	教授	森 邦夫	複合化を目的としたフッ素イオンの新架橋系の開発 —— Nitryl フォールとニトリウム塩による架橋	1,000	600	1,600
16	東北大学	教授	野沢 庸則	耐熱性光合成細菌に由来する光合成反応中心の構造解明と機能開発	1,000	800	1,800
17	東北大学	教授	小沢泉太郎	不均一触媒表面と単糖類分子との相互作用	1,000	800	1,800
18	東北大学	教授	石井 一	アミノ酸を用いた有機工業用抽出剤の開発に関する研究	1,000	800	1,800
19	茨城大学	助教授	百瀬 義広	アミン処理したシリカゲルに対する金属の接着性	1,000	600	1,600
20	筑波大学	助教授	小宮山 真	修飾シリカゲルを触媒とする選択的有機合成	1,000	800	1,800

21	東京大学	教授	斉藤 泰和	遷移金属錯体の脱水触媒作用に関する物理化学的研究	1,000	1,000	2,000
22	東京大学	教授	古崎新太郎	植物培養細胞による有用二次代謝産物生産のためのフォトバイオリアクターの構築	1,000	1,000	2,000
23	東京大学	助教	河本 邦仁	炭化元素セミアノキスのCVD合成と熱電エレクトロニクスへの応用	1,000	800	1,800
24	東京大学	助教	田村 昌三	ボリアーの燃焼からの長寿命気相ゾーラの発生挙動と生体影響に関する基礎的研究	1,000	800	1,800
25	東京大学	教授	工藤 徹一	スチコロニソグ法による有機伝導性薄膜の形成と特性に関する研究	1,000	800	1,800
26	東京農工大学	教授	小山 昇	電解重合法による高分子半導体薄膜——金属界面の創製とその応用	1,000	800	1,800
27	東京工業大学	助教	小国 正晴	非晶性超有機伝導体における伝導性ゾーラの秩序化過程	1,000	1,000	2,000
28	東京工業大学	教授	福長 脩	機能性積層有機伝導膜の合成に関する研究	1,000	800	1,800
29	東京工業大学	助教	岩本 光正	ガス電極を用いた水面上の有機単分子膜の配向制御と有機非線形光学材料の開発	1,000	1,000	2,000
30	東京工業大学	助教	秋鹿 研一	CO ₂ の酸素を利用したメタノの酸化カップリング反応の研究	1,000	800	1,800
31	東京都立大学	教授	馬場 宣良	非晶質酸化物薄膜の機能化	1,000	800	1,800
32	慶応義塾大学	教授	竜田 邦明	ポリマー由来抗生物質の生物有機化学的合成	1,000	1,000	2,000
33	慶応義塾大学	教授	橋本 芳一	多孔質ポリトリメチロシレン(PTPS)チューブを使用した多種類の大气污染防治ガスの選択的捕集とその自動連続測定装置の実用化	1,000	800	1,800
34	上智大学	教授	杉森 彰	機能性を有する含カルゲン有機金属錯体の合成とその応用	1,000	1,000	2,000
35	成蹊大学	教授	戸谷洋一郎	過酸化脂質の分子種分析法の開発とその応用に関する研究	1,000	800	1,800
36	東京理科大学	助教	小中原猛雄	有機イ素反応剤を用いる新規β-アルコキシ置換複素環化合物の合成	1,000	600	1,600
37	早稲田大学	教授	上江洲由晃	空間変調構造をもつ高変換効率非線形光学素子の開発と評価	1,000	800	1,800
38	横浜国立大学	教授	仁木 克己	生体物質と直接電子授受をすす機能電極の設計	1,000	800	1,800
39	横浜国立大学	教授	若尾 法昭	超臨界溶媒の溶解力を利用した固体面上への被膜形成や微粒子製造の研究	1,000	800	1,800
40	新潟大学	助教	谷口 正之	膜濾過型バイオリアクターによる生体活性蛋白質の生産に関する生物工学的研究	1,000	600	1,600
41	長岡技術科学大学	教授	松下 和正	高温超伝導酸素セミアノキスの作製と特性評価	1,000	800	1,800
42	金沢大学	教授	沢田 達郎	二段式爆砕装置によって分解されたバイオマスのアルコール発酵と樹脂化	1,000	800	1,800

43	信州大学	教授	近藤 慶之	多機能性を有する新しいバイオマテリアルの設計と開発	1,000	800	1,800
44	岐阜大学	教授	村松 広重	トリメチルシリル基をもつ複素環を置換基とするアセチレン類の合成	1,000	800	1,800
45	名古屋大学	教授	沢木 泰彦	一電子酸化による結合開裂反応の制御に関する研究	1,000	800	1,800
46	名古屋大学	教授	守末 利弥	電気溶接プロセスおよび無接触溶融プロセスの最適制御のコンピュータシミュレーションによる研究	1,000	1,000	2,000
47	名古屋工業大学	教授	津田 和一	アゾ光阻担持高分子触媒の合成、および触媒活性と構造との関連に関する研究	1,000	600	1,600
48	豊橋技術科学大学	助教授	逆井 基次	耐火断熱材料の耐熱衝撃性に関する破壊力学的基礎研究	1,000	800	1,800
49	三重大学	教授	藤沢 有	生化学反応における選択性の化学的制御とキラル素子の合成	1,000	800	1,800
50	京都大学	教授	竹内 賢一	炭素陽イオン反応を利用する多環式化合物の新合成法の開発	1,000	800	1,800
51	京都大学	助教授	山本 雅英	高分子固体中におけるドープイオン分子の二光子光イオン化によるホログラム	1,000	1,000	2,000
52	京都大学	助教授	小久見 善八	プロセスマテリアルを用いたイオン交換性薄膜の作製	1,000	600	1,600
53	京都大学	教授	宮本 武明	セルロースのキリチン-利用する新材料の開発	1,000	600	1,600
54	大阪大学	教授	大城 芳樹	超高速電子伝達触媒としての複素多環系ホトキリチン類の設計と機能開発	1,000	800	1,800
55	大阪大学	助手	今中 信人	リチウムイオン伝導体を用いた炭酸カセソド	1,000	800	1,800
56	大阪大学	教授	畑田 耕一	リビング重合による立体規則性ポリカルボン酸エステル共重合体の合成と機能材料への応用	1,000	1,000	2,000
57	大阪大学	教授	新原 皓一	酸化物系ナノ複合ヒミックスの開発	1,000	1,000	2,000
58	大阪府立大学	教授	岩倉 千秋	ニッケル-水系電池用負極材料としての水系吸蔵合金の表面処理	1,000	800	1,800
59	大阪府立大学	教授	大津 隆行	イソプロピルアルコールから新規剛直ビニルポリマーの合成とキリチン-の研究	1,000	800	1,800
60	関西大学	教授	松本 昭	多官能ビニル化合物の三次元化機構と新規三次元ポリマーの開発に関する研究	1,000	800	1,800
61	神戸大学	教授	芦田 道夫	リチウム/金属ナトリウム-金属錯体薄膜の光電変換特性	1,000	800	1,800
62	広島大学	助教授	岡井 秀雄	水溶性アクリル化剤、p-ベンゾチオフェニルを用いた水溶液中でのAATP合成ならびに蛋白質の化学修飾	1,000	800	1,800
63	九州大学	教授	諸岡 成治	気相反応法による複合微粉体のドライプロセス	1,000	800	1,800
64	九州大学	教授	新海 征治	アクリル液体晶化合物の合成と認識機能に関する研究	1,000	1,000	2,000
65	九州大学	教授	小林 宏	非極性有機溶液相における金属イオンのLewis酸性の定量的評価の研究	1,000	800	1,800

66	佐賀大学	助教授 大和 武彦	分子識別機能をもつ有機物質の合成に関する研究	1,000	600	1,600
計	本年度新規分	56件		56,000	45,000	101,000

(奨励研究助成)

No.	受 領 者 所 属	職 者 職名・氏名	研 究 テ ー マ	助成金額 (千円)		計
				本年度	次年度	
67	山形大学	教授 都田 昌之	天然トコト原石を用いた水素の透過・分離に関する研究	1,000	1,000	2,000
68	山形大学	助教授 大嶋 重利	MOCVD法による新酸化物超電導体の合成と超電導デバイスへの応用	1,000	1,000	2,000
69	群馬大学	助教授 荘司 顕	固体高分解能NMRによるホムパフの構造研究	1,000	1,000	2,000
70	東京大学	助手 小林 昭子	超伝導性金属錯体の合成とその伝導機構の解明	1,000	1,000	2,000
71	東京大学	助手 嶋田 一夫	NMRを用いた生理活性ペプの生体膜およびレクターとの相互作用の解析	1,000	1,000	2,000
72	東京大学	助教授 保立 和夫	共振方式による小型高精度光ファイバの研究	1,000	1,000	2,000
73	長岡技術科学大学	助手 手塚 育志	新規シリカ/ポリピリレンを用いる多元・多相高分子合成/AFMの開発	1,000	1,000	2,000
74	大阪大学	助教授 井筒 雅之	縮退四光波混合を用いた光導波型双安定素子の研究	1,000	1,000	2,000
75	大阪府立大学	講師 安藤 繁	固体電解質を用いた高温型水素センサーの開発	1,000	1,000	2,000
76	佐賀大学	助教授 奥野 喜裕	ブレイクダウンの診断と制御	1,000	1,000	2,000
77	長崎大学	助教授 大西 正義	遷移金属錯体の多様な酸化還元および光化学的特性を利用する触媒反応系の開発	1,000	1,000	2,000
計	本年度新規分	11件		11,000	11,000	22,000

(海外研究助成)

No.	所 属	受 領 者 職名・氏名	研 究 テ ー マ		助成金額 (千円)	
					本年度	計

タイ Chulalongkorn University

78	Dept. of Chemical Eng.	Lecturer Jirdsak Tscheikuna	Effects of Organometallic Compounds on Hydrotreating Catalyst	} 6,000	} 6,000
79	Dept. of Chemical Eng.	Assist. Prof. Chirakarn Muangnapoh	Computer Control of Cell and Butanol Concentration in a Cross-Flow Filtration-bioreactor for Abe-Permantation		
80	Dept. of Chemical Eng.	Assoc. Prof. Piyasan Prasertthdam	Enhancement of Hydrogenation Catalyst Activity by Activated Clay		
81	Dept. of Electrical Eng	Assoc. Prof. Youthana Kulvitit	A Study of Switching Power Supplies Paralleling Technique		

インドネシア Institute of Technology Bandung

82	Dept. of Chemical Eng.	Supervisor Ibrahim Sastramihardja	Studies on Preparation of New Isolate of Penicillium Chrysogenum from Indigenous Soil and Characterisation of Environmental Factors on its Capabilities in Penicillin Production	} 3,000	} 3,000
83	Dept. of Engineering Physics	Lecturer Andriano Handojo	Production Temperature Influence on the Transmission along Bent Optical Fibers		

計	本年度分	6件		9,000	9,000
---	------	----	--	-------	-------

平成3年度
(課題研究助成)

No.	受 領 者 所 属	職名・氏名	研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)		
				本年度	次年度	第3年度 計

第1分野

課題テーマ ①新しい高分子								
1	名古屋大学	教授	岡本 佳男	らせん構造を有する光学活性高分子の合成と構造ならびに応用に 関する研究	11,000	3,800	—	14,800
課題テーマ ②新しい有機合成								
2	京都大学	教授	内本喜一郎	高効率精密有機合成を 目指した高選択的有機反応の開拓	7,900	3,900	1,300	13,100

課題テーマ ③生体関連微量物質の新しい分離方法								
3	京都大学	教授	中川 照眞	薬物及び微量生体活性物質の立体選択的分離分析法の開発と肝臓局所動態解析への応用	7,400	3,700	1,200	12,300
課題テーマ ⑤新しい機能性無機材料								
4	東北大学	教授	西山 諒行	新しい炭素-金属超微粒子複合材料の開発	8,000	1,000	400	9,400
第2分野								
課題テーマ ①新しいメモリー材料とデバイス								
5	東北大学	助教授	高橋 研	超ウルトラクリーン化技術を用いての高密度薄膜記録媒体の開発とその成膜プロセスに関する研究	6,000	3,000	1,000	10,000
課題テーマ ②新しい機能性複合材料								
6	京都大学	教授	藤田 茂夫	新人工積層構造による新しい光機能性材料に関する基礎的研究	12,500	0	0	12,500
課題テーマ ③物性および材料の新しい測定法・評価法								
7	大阪大学	教授	菅 滋正	磁性体超格子とスピノン分析	8,900	4,400	1,500	14,800
課題テーマ ④新しい光情報処理技術								
8	東京工業大学	助教授	大津 元一	多様な非線形光学効果を有する素子開発による超広帯域高波数連続可変コヒーレント光源および光周波数カウンタの実現	7,500	3,800	1,200	12,500
9	名古屋大学	助教授	中村 新男	半導体超微粒子分散ガラスの光学非線形性の増大化と超高速化に関する研究	11,000	1,500	0	12,500
第3分野								
課題テーマ ②高耐久鉄筋コンクリート技術								
10	京都大学	教授	森田 司郎	新素材を用いた高性能・高耐久性コンクリート系構造法の開発に向けた基礎的研究	7,400	3,700	1,200	12,300
課題テーマ ③大規模開発等に関する都市景観、自然景観の創出に関する研究								
11	東京大学	教授	渡辺 定夫	太陽エネルギー利用から見た建物群の配置と空地構成に関する研究	7,400	3,700	1,200	12,300

計	本年度新規分	11件	95,000	32,500	9,000	136,500
---	--------	-----	--------	--------	-------	---------

〈特定研究助成〉
第1分野

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)		
	所 属	職名・氏名		本年度	次年度	第3年度
12	東京大学	教授 御園生 誠	ペロブスカイト系高性能環境触媒の設計に関する研究	4,900	2,400	800
13	東京理科大学	教授 平井 英史	省エネルギー的气体分離機能を有する高分子金属錯体に関する研究	5,900	2,900	1,000
14	横浜国立大学	助教授 米屋 勝利	窒化ケイ素系セラミックスの高精密焼結法に関する基礎研究	4,000	2,000	700
15	信州大学	教授 岡崎 光雄	タバコ細胞培養によるスコポレチン・スコポリン生産のホルモン制御	3,700	1,900	600
16	京都大学	助教授 赤坂 一之	状態相関NMR分光法による液晶構造の研究	5,900	2,900	1,000
17	大阪大学	助教授 釣本 敏樹	生化学的方法によるヒト染色体のDNA複製開始点の単離	3,900	2,000	600
18	九州大学	助教授 青柳 東彦	生体膜に作用する機能性ペプチド——モデルペプチド設計と脂質二分子膜中での挙動解析	4,900	2,400	800
計	本年度新規分	7件		33,200	16,500	5,500

〈奨励研究助成〉

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)		
	所 属	職名・氏名		本年度	次年度	計
19	東北大学	助手 高橋 康丈	電荷移動錯体光励起による一電子移動反応のための新規な反応性電子供与体の開発——有機化合物、有機金属化合物、金属錯体を中心として	1,000	600	1,600
20	筑波大学	講師 中村 潤児	酸塩基触媒反応の表面科学的研究	1,000	1,000	2,000
21	群馬大学	講師 若松 馨	レセプター様ペプチドとGタンパクとの相互作用の生化学的・物理化学的解析——レセプター/Gタンパク相互作用の解明および各種Gタンパクの選択的制御を目的	1,000	600	1,600

			して									
22	千葉大学	助手	佐藤 浩太	量子化学的プラズマ反応設計に基づく特定反応経路の選択的利用——均一なワイドバンドギャップ有機テトラアミン薄膜の合成	1,000	800	1,800					
23	東京大学	教務職員	新藤 充	有機リチウムを炭素求核剤とする新規不斉触媒反応の開発	1,000	600	1,600					
24	東京大学	助教授	民谷 栄一	生体分子-SAW複合デバイスをを用いる環境モニタリング	1,000	800	1,800					
25	東京大学	助手	内藤 哲	環境条件に反応して変化する遺伝子の発現の制御機構の研究	1,000	800	1,800					
26	東京農工大学	助教授	武田 猛	シクロブタン誘導体を利用する高選択的炭素-炭素結合生成反応の開発	1,000	1,000	2,000					
27	成蹊大学	助教授	小島 紀徳	流動層CVD法におけるモノシランからのシリコン超微粒子の生成と粒子材料合成プロセスへの応用	1,000	800	1,800					
28	東京理科大学	講師	小島 周二	カルス細胞からの再分化植物体とその二次代謝産物の動的変化の追究	1,000	600	1,600					
29	早稲田大学	助教授	平沢 泉	難溶性ヒドロキシapatiteの晶析に関する研究	1,000	600	1,600					
30	長岡技術科学大学	助教授	高田 雅介	無機非線形光学材料の研究	1,000	800	1,800					
31	金沢大学	講師	千木 昌人	アルミニウムの特性を利用した新しいカルコゲン化反応の開発	1,000	1,000	2,000					
32	京都大学	助手	小堤 保則	神経細胞認識に関与する糖鎖構造の解析	1,000	600	1,600					
33	京都大学	助手	金村 聖志	光受容性タンパク質(バクテリオロドプシン)含有導電性ポリマー膜の電気化学的挙動に関する研究	1,000	600	1,600					
34	大阪大学	助教授	田中 徹明	有機チタニウム試薬を用いるエポキシドの位置選択的開裂反応とそれを利用した新しい炭素-炭素結合形成反応	1,000	1,000	2,000					
35	大阪大学	助教授	田谷 正仁	分子選択機能に基づくバイオ生産物の高度分離プロセスに関する研究	1,000	800	1,800					
36	大阪府立大学	助手	中澄 博行	光記録用スピロピラン系ホトクロミック化合物の合成	1,000	700	1,700					
37	広島大学	助教授	西尾 尚道	脱窒・脱リン機能を有する上向流嫌気性汚泥法メタン発酵の開発	1,000	700	1,700					
38	九州大学	助教授	高原 淳	高分子材料表面の超ミクロ構造制御による生医学機能の発現機構の解明	1,000	1,000	2,000					
第2分野												
39	北海道大学	助手	佐々木 健	高感度反射吸収赤外分光法による金属表面層のその場測定	1,000	600	1,600					
40	東北大学	助手	枝松 圭一	紫外域波長可変固体レーザーの開発	1,000	1,000	2,000					

41	東北大学	助手	斎藤 栄	クラッド・チップ押出法による金属間化合物の線材化	1,000	1,000	2,000	
42	筑波大学	講師	小島 誠治	熱容量スベクトロスコピーによるフラジル・リキッドのガラス転移の研究	1,000	800	1,800	
43	東京大学	助手	乾 正知	組み立て品における誤差の伝播の代数的な処理に関する研究	1,000	800	1,800	
44	東京工業大学	助教授	小田 俊理	デジタルプロセスによる微結晶シリコンの作成と量子効果集積デバイスへの応用	1,000	800	1,800	
45	学習院大学	助手	坂井 一文	ラマン散乱トモグラフィ法による結晶内部欠陥の検出と評価	1,000	1,000	2,000	
46	慶応義塾大学	専任講師	植田 利久	触媒安定化型境界層拡散火炎の安定と構造に関する研究	1,000	600	1,600	
47	新潟大学	助教授	牧野 秀夫	盲人用単独歩行ガイドシステムの開発	1,000	600	1,600	
48	長岡技術科学大学	助教授	中川 匡弘	強誘電体配向膜を有する強誘電性高分子複合薄膜物性に関する研究	1,000	1,000	2,000	
49	静岡大学	助手	海老澤 嘉伸	材料中の非金属異物検出装置の開発研究	1,000	800	1,800	
50	名古屋大学	助手	三浦 裕一	超低温領域でのプロトンガラス相における量子二準位系	1,000	1,000	2,000	
51	名古屋大学	助手	田畑 彰守	分離励起型プラズマCVDの確立と水素化アモルファス炭化シリコンへの応用	1,000	600	1,600	
52	広島大学	助教授	末宗 幾夫	ZnSe/ZnSSe超格子構造による青色半導体レーザの研究	1,000	600	1,600	
53	九州大学	助教授	富村 寿夫	多孔性媒体を用いたガス-ガス熱交換器に関する研究	1,000	800	1,800	
第3分野								
54	北海道大学	助教授	絵内 正道	Glass Covered Spaceによる太陽エネルギーの有効利用に関する研究	1,000	600	1,600	
55	豊橋技術科学大学	助教授	松本 博	人体周辺対流の数値解析に関する基礎的研究	1,000	600	1,600	
計	本年度新規分		37件		37,000	28,600	65,600	

(総合研究助成)

No.	受 領 者 所 属	職名・氏名	研 究 テ ー マ			助 成 金 額 (千円)		
			本 年 度	次 年 度	第 3 年 度	計		
56	北海道大学 フラウンホフ立学術 研究センター	教授 前 晋爾 研究部長 ポール・デュバール (ほか2名)	9,700	7,700	5,100	22,500		

57	日本国際マングローブ協会 (JIAM) 東京大学	副会長 杉 二郎 教授 岩槻 邦男 (ほか7名)	太平洋島嶼国地域におけるマングローブ生態系保全に関する総合調査研究	18,500	4,900	-	23,400
計	本年度新規分 2件			28,200	12,600	5,100	45,900

〈海外研究助成〉

タイ Chulalongkorn University

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助成金額(千円)	
	所 属	職名・氏名		本年度	計
1	Dept. of Chemical Engineering	Chairit Sattayaprasert (ほか4名)	Catalyst for Reduction of Nitric Oxide with Ammonia	7,000	7,000
2	Dept. of Chemical Engineering	Montree Wongsri (ほか6名)	Computer Control of Distillation Column-1:Development of Simulation and Control Programs		
3	Dept. of Chemical Engineering	Lecturer Sirijutaratana Covavisaruch (ほか4名)	Fracture Processes and Fractographic Studies of Structural Polymers		
4	Dept. of Materials Science	Assoc.Prof. Preeda Pimkhaokham (ほか4名)	Study on the Processes Controlling the Rate of Glass Batch Melting		
5	Dept. of Civil Engineering	Sutat Weesakul (ほか4名)	Numerical Modeling of Current-Wave Field at River Mouth		

インドネシア Institute of Technology Bandung

6	Dept. of Chemical Engineering	L. Handojo (ほか4名)	Study on the Extraction of Vanilla Bean	4,000	4,000
7	Dept. of Chemical Engineering	Subagio Argasetya G. H.	Hydrogenation of Natural Rubber Latex in the Presence of Pd Catalyst		

7	東北大学	教授	遠藤 康夫	新しい超伝導体における量子スピントと電尚との相関の研究	6,500	3,200	1,100	10,800
8	愛知教育大学	助教授	三浦 浩治	非晶質物質の表面・界面の原子構造の迅速精密解析装置の開発及び表面反応、界面形成のその場観察への応用	8,200	3,500	—	11,700
課題テーマ ②新しい機能性材料の開発								
9	慶応義塾大学	助教授	小原 貴	真空紫外波長域の高エネルギー光子を用いた新しい機能性材料プロセスの開発	7,100	3,600	1,200	11,900
課題テーマ ④機械工学における新しい手法								
10	慶応義塾大学	教授	棚橋 隆彦	熱移動をともなう乱流の解析に適した有限要素法に関する研究	4,000	0	—	4,000
課題テーマ ⑤知的情報処理技術								
11	東京大学	教授	米澤 明憲	統合的自然言語理解システムのための基礎的研究	6,600	3,300	1,200	11,100
第3分野								
課題テーマ ③空間の大型化に伴う建築空間ならびに都市空間の安全（防災等）に関する提案								
12	東京大学	教授	村上 周三	大型アトリウム空間内の温熱空気環境と煙流動予測手法の開発	7,400	3,700	1,200	12,300
計	本年度新規分			12件	85,600	36,900	12,000	134,500

〈特定研究助成〉

(所属、職名は申請時現在)

No.	所 属	受 領 者 職名・氏名	研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)				
				本年度	次年度	第3年度		
第1分野								
13	東京大学	教授	牧島 亮男	ゾルゲル法による有機・無機ハイブリッド材料の合成とフォトケミカルホールバーニシング (PHB) に関する研究	5,200	1,100	1,100	7,400
14	東京大学	助手	西田 栄介	MAPキナーゼの細胞増殖及び細胞周期の調節因子としての機能	4,900	3,200	—	8,100
15	東京工業大学	教授	安部 明寛	重水素NMR法による鎖状分子のネマチック・コンホメーションに関する研究	3,000	2,000	—	5,000
16	横浜国立大学	教授	井上 誠一	α , β -ジフルオロオロスチルベン構造の低粘性液晶化合物の分子設計	3,200	900	—	4,100

8	Dept. of Pharmacy	(ほか4名) Mathilda B. Widianto (ほか3名)	The Evaluation of Antibacterial and Antifungal Activities of Dihydroterochrysin and the Volatile Oil Isolated from <i>Kaempferia Pandurata</i> Roxb. Rhizomes using Agar Diffusion and Cross-Stream Methods	
計	本年度分 8件			11,000 11,000

平成4年度
(課題研究助成)

No.	所属	受領者 職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)		
				本年度	次年度	第3年度

第1分野

課題テーマ ②新しい機能性無機材料						
1	京都大学	教授 小久保 正	ゲル材料の生体活性	7,000	3,500	1,200
課題テーマ ③新しい遺伝子テクノロジー						
2	京都大学	教授 本庶 佑	多クロロンのヒト抗体を産生するマウスの作製	9,000	4,500	1,500
3	大阪大学	教授 岡山 博人	分裂酵母を動物細胞の高次制御機構の研究のための生きた試験管として使用する新しい方法論の開発	5,400	2,700	900
課題テーマ ④界面の新しいアプローチ						
4	東京大学	教授 田中 度一	原子スケールで見える金属表面の化学変化-生成する表面漸物質の構造と反応性-	7,000	3,500	1,100
課題テーマ ⑤有機・無機化学の新しい接点						
5	北海道大学	教授 林 民生	有機遷移金属錯体化学に立脚した高立体選択的不斉合成反応の開発	9,000	1,200	1,200

第2分野

課題テーマ ①新しい物性現象の研究とその応用						
6	北海道大学	教授 武笠 幸一	スピノ偏極トンネル現象の研究と表面磁性分析への応用	8,400	4,200	1,400

		とその合成						
17	名古屋大学	教授	松本 邦弘	細胞増殖を制御するヒト遺伝子の機能解析	4,100	1,800	0	5,900
18	豊橋技術科学大学	教授	逆井 基次	セラミックス材料の非線形変形挙動と脆性	4,900	2,500	800	8,200
19	京都大学	教授	駒野 徹	糖転移酵素遺伝子のクローニングとそれを利用した糖鎖機能の解明	4,800	2,100	700	7,100
20	大阪大学	教授	村橋 俊一	遷移金属錯体を用いる生合成型酸化触媒反応	6,500	1,600	0	8,100
21	大阪大学	教授	杉野 明雄	出芽酵母菌をモデルとした真核細胞染色体複製開始機構の分子遺伝学のおよび酵業学的研究	6,800	700	—	7,500

第2分野

22	東北大学	教授	福田 承生	新しいレーザー、自己高調波結晶材料の開発	4,500	3,600	900	9,000
23	名古屋大学	教授	岩垂 好裕	計算機シミュレーションの高信頼化における情報理論の応用	3,000	0	0	3,000
24	大阪大学	教授	岩崎 裕	レーザービーム走査型バイオセンシング顕微鏡の開発基礎研究	4,900	1,400	700	7,000

第3分野

25	京都大学	教授	轟門 雅史	産業廃棄物の化学的安定処理による建設資材への有効利用に関する研究	3,000	1,500	500	5,000
26	長崎大学	助手	青木 孝義	ハザード・ソフティア大聖堂のドームの構造特性に関する実験的および解析的研究	3,900	1,100	600	5,600

計	本年度新規分	14件			62,200	23,500	5,300	91,000
---	--------	-----	--	--	--------	--------	-------	--------

(奨励研究助成)

(所属、職名は申請時現在)

No.	受 領 者	所 属	職名・氏名	研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)		
					本年度	次年度 計	
第1分野							
27	北海道大学	助教授	水野 哲孝	非線形光学材料としての有機-無機複合体の開発	1,000	800	1,800
28	岩手医科大学	講師	根本 孝幸	ステロイドレセプター系における90-kDa熱ショック蛋白質(HSP90)のDNA結合抑制機構および新機能の解析	1,000	800	1,800

29	東北大学	助手	鈴木 孝紀	ヘテロ環の縮合によって誘起される分子間相互作用を用いた有機物酸化還元系の結晶構造の制御	1,000	800	1,800
30	山形大学	助手	伊藤 菊一	アルドラゼーゼB遺伝子を活性化する新しい肝特異的転写因子の構造と発現	1,000	1,000	2,000
31	東京大学	助手	野々瀬 真司	金属クラスター‘表面’への気体分子の吸着機構に関する検討	1,000	900	1,900
32	東京大学	助手	茂木 立志	酸化還元共役プロトンポンプの分子構築	1,000	800	1,800
33	東京工業大学	助手	鈴木 和也	不整合積層構造を持つ新規無機層状化合物の合成とその物性研究	1,000	800	1,800
34	東京工業大学	助手	神原 貴樹	新規電子吸引力性導電性高分子化合物の分子設計と機能発現	1,000	1,000	2,000
35	東京農工大学	助教授	大野 弘幸	高分子固体溶媒中の蛋白質-電極間の電子移動過程の解析	1,000	1,000	2,000
36	早稲田大学	助教授	清水 功雄	ギ酸および一酸化炭素を利用する触媒的有機合成反応の開発	1,000	1,000	2,000
37	富山県立大学	助教授	浅野 泰久	酵素を用いる非天然型アミノ酸類の立体的選択的合成	1,000	800	1,800
38	金沢大学	助教授	中西 義信	哺乳動物における精子形成の分子機構	1,000	800	1,800
39	福井大学	助手	萩原 隆	有機金属プレカターを利用した単分散酸化超微粒子の連続プロセスに関する研究	1,000	800	1,800
40	名古屋大学	助手	木越 英夫	抗癌・発癌天然有機化合物および類縁化合物の合成と反応性	1,000	1,000	2,000
41	豊橋技術科学大学	助教授	西山 久雄	C ₆₀ 対称光学活性窒素系多座配位子を有する有機金属錯体の合成と反応性：不斉酸化触媒開発を目的として	1,000	800	1,800
42	京都大学	助手	小林 達彦	難分解性化合物の代謝機構に関する研究	1,000	1,000	2,000
43	大阪大学	助教授	巽 和行	新しい触媒機能を持つ遷移金属硫黄錯体の開発	1,000	900	1,900
44	大阪大学	助手	三浦 直行	色素性乾皮症A群蛋白(XPAC蛋白)の構造と機能に関する研究	1,000	1,000	2,000
45	大阪府立大学	講師	辰巳砂昌弘	融液超急冷による機能性メゾスコピック複合材料の創製	1,000	800	1,800
46	大阪医科大学	助教授	植野 洋志	タンパク質工学を用いたタンパク質のアロステリック機構の解明とその医学への応用-ヘモグロビンをモデルとして	1,000	800	1,800
47	広島大学	助教授	中沢 浩	遷移金属とリン間に新しいタイプの結合をもつ化合物に関する研究	1,000	1,000	2,000
48	徳島大学	助教授	田中 均	キャプトデイトイブ効果を利用した有機磁性体の開発	1,000	1,000	2,000
49	九州大学	助教授	後藤 雅宏	界面を分離場として利用した液膜法による希土類金属の新規分離プロセスの	1,000	800	1,800

				開発				
50	九州大学	助手	西田 哲明	光機能性ガラスにおける構造緩和と機能性の相関	1,500	300	1,800	
51	九州大学	助手	谷 時雄	高効率切断活性及び新規な基質特異性を持つ人工RNA酵素の合成とその機能構造に関する研究	1,000	1,000	2,000	
52	九州大学	講師	清水 宣明	多機能バイオセンサーの開発とその脳内生理活性物質動態解析への応用	1,000	800	1,800	
53	九州大学	助手	江良 正直	ラングミュアアープロジェット法を用いた二次非線形光学デバイス材料の設計	1,100	900	2,000	
第2分野								
54	室蘭工業大学	助教授	伊藤 秀範	画像処理を用いたプラズマ診断法の開発とカーボン薄膜生成に関する研究	1,000	800	1,800	
55	岩手大学	助教授	栗栖 牧生	ウラニウム化合物における圧力誘起による磁気消失の研究	1,300	600	1,900	
56	東北大学	助教授	川又 政征	多次元デジタル信号処理に基づくフラクタル画像の符号化に関する研究	1,000	900	1,900	
57	東北大学	助手	大谷 博司	NaCl型炭窒化物セラミックスの相安定性に関する研究	1,000	1,000	2,000	
58	東北大学	助手	茂木 厳	強磁場中における金属葉フラクタル成長の研究	1,500	400	1,900	
59	宇都宮大学	助教授	白石 和男	超薄層薄膜積層型人工光学異方性媒質の作製と高性能偏光分離素子への応用に関する研究	1,400	600	2,000	
60	埼玉大学	助教授	八嶋 弘幸	量み込み符号を用いた光情報通信方式に関する研究	1,000	1,000	2,000	
61	東京大学	助教授	前田 康二	モノシリック超微細引張り機構による原子間結合力の実質的非破壊測定と環境効果	1,000	1,000	2,000	
62	東京大学	助手	徳満 和人	金属水素化合物の常温・常圧作成法の開発とそのメカニズムの解明	1,000	800	1,800	
63	東京工業大学	助教授	熊沢 逸夫	集積並列ハードウェアに適したニューラルネットワーク・アーキテクチャと問題の分散表現方式に関する研究	1,000	1,000	2,000	
64	東京工業大学	助教授	吉野 淳二	有機金属分子線法によるワイドギャップカルコパイライト型化合物半導体のエピタキシャル成長	1,000	800	1,800	
65	慶応義塾大学	専任講師	佐藤 徹哉	スピニングガラスの磁気メモリーの応用に関する基礎研究	1,000	1,000	2,000	
66	東京理科大学	助手	千葉 明	高速誘導機のベアリングレスモータ化	1,400	400	1,800	
67	岐阜大学	助教授	安田 直彦	反強誘電体における電界誘起強相転移に伴う誘電物性	1,000	800	1,800	
68	名古屋大学	助教授	福永 俊晴	非固溶系の原子レベルへの物理的強制混合による新物質の創製と原子構造に関	1,300	700	2,000	

		する研究				
69	名古屋工業大学	助手	市村 正也	600	500	1,100
70	大阪大学	助手	加藤 博一	1,600	200	1,800
71	広島大学	助手	根岸 寛	1,600	-400	2,000
72	山口大学	助教授	小柳 剛	1,600	200	1,800
73	宮崎大学	助手	唐 政	1,000	800	1,800

第3分野

74	熊本大学	助教授	大本 照憲	1,200	600	1,800
75	九州大学	学生	鹿田 光一	1,000	800	1,800
76	琉球大学	助教授	山川 哲雄	1,200	600	1,800

計	本年度新規分	50件		54,300	39,300	93,600
---	--------	-----	--	--------	--------	--------

(人文・社会科学系研究助成)

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)		
	所 属	職名・氏名		本年度	次年度	計
77	北海道大学	助教授	煎本 孝	1,000	1,000	2,000
78	東北大学	教授	海野 道郎	600	1,900	2,500
79	筑波大学	教授	門脇 厚司	1,800	1,200	3,000
80	東京都立大学	教授	御厨 貴	1,000	900	1,900
81	学習院大学	教授	野村 豊弘	1,200	1,400	2,600
82	慶応義塾大学	助教授	細田 衛士	700	500	1,200
83	慶応義塾大学	教授	吉岡 充治	1,400	1,600	3,000

		たケース・スタディー							
84	駒沢大学	教授	安元 総	イギリスにおける工業化・都市化と人口変動	900	800	1,700		
85	上智大学	助教授	山崎 福寿	自然環境、都市環境の保全を目的とする土地利用規制、TDR制度が所得分配に及ぼす影響についての理論的、実証的研究	1,100	800	1,900		
86	成蹊大学	助教授	伊藤 嘉博	環境保全問題に対する管理会計システムの貢献に関する実証的研究	800	600	1,400		
87	立教大学	教授	笠原 清志	東欧諸国における経営管理機能の確立－ポーランドとハンガリーの場合－	1,300	1,300	2,600		
88	神奈川大学	助教授	永野 善子	発展途上国における農地改革の新パラダイムを求めて－フィリピン・ネグロス島の協同農場経営の経緯－	400	700	1,100		
89	愛知学院大学	教授	宇佐美大司	閉鎖性水域の沿岸地域の持続的な開発および管理システムの形成をめぐる社会科学的研究－伊勢湾沿岸域の開発を素材として－	1,200	1,100	2,300		
90	名古屋大学	教授	潮木 守一	アジア諸国における人材育成政策の現状とその問題点	1,500	1,500	3,000		
91	南山大学	助教授	杉本 良男	南インド・タミルナードゥ州のヒन्दゥー・カースト社会の構造原理に関する事例研究	1,600	500	2,100		
92	神戸大学	教授	天野 明弘	世界的二酸化炭素排出削減政策に関する数量的研究	1,400	0	1,400		
計	本年度新規分	16件			17,900	15,800	33,700		

(総合研究助成)

(所属、職名は申請時現在)

No.	受 属 所	受 領 者 職名・氏名	研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)			
				本年度	次年度	第3年度	
93	東京医科大学 富山大学	教授 友田 焯夫 助教授 小平 憲一	家畜血液を利用した環境汚染防止方法の開発	6,500	2,000	2,000	10,500
94	日本大学 School of Business Administration Georgetown Univ.	教授 阿部 竹松 Prof. James G. Abert	廃棄物処理 (リサイクルング) に関する知識と行動の日米比較研究	8,100	1,200	—	9,300
95	早稲田大学 東京農業大学	教授 高宮 信夫 教授 麻生 未雄	ピートを利用した砂漠緑化の調査研究	6,900	4,700	—	11,600

96	千葉大学 University of Montreal	教授 増田 昭三 学生 Martin Girard	現代ラテアンアメリカ青年層の環境問題への取り組みに関する調査	10,600	0	—	10,600
計	本年度新規分 4件			32,100	7,900	2,000	42,000

(海外研究助成)
タイ Chulalongkorn University (所属、職名は申請時現在)

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助成金額(千円)	
	所 属	職名・氏名		本年度	計
1	Dept. of Chemical Engineering	Sasithorn Boon-Long	Interference of Organonitrogen Compounds on Thiophene Hydrodesulfurization	1,341	1,341
2	Dept. of Electrical Engineering	Ekachai Leelarasme	A Prototype Teletext Decoder Box with Remote Controller	1,323	1,323
3	Dept. of Nuclear Technology	Assoc. Prof. Tatchai Sumitra	Defermination of Total Fluorine in Air Using the Cyclic Fast Neutron Activation Analysis Technique	1,080	1,080
4	Faculty of Science	Assoc. Prof. Suda Kiatkamjornwong	Development of Starch-Based High-Water Polymers for Agricultural Applications	1,412	1,412
5	Faculty of Medicine	Vilai Chentanez	Effect of Infrared Laser on Denervated Muscle : An Experimental Study in the Rat	1,344	1,344
6	Dept. of Biochemistry	Assoc. Prof. Piratana Tasukhowong	Erythrocyte Na, K - Activated Adenosine Triphosphatase (Na-K Pump) among Different Population Groups of Bangkok and Northeast Thailand	1,500	1,500
インドネシア Institute of Technology Bandung					
7	Dept. of Chemistry	Prof. Sjamsul Arifin Achmad	Chemical Studies of Indonesian Rainforests Plants: Phytochemistry and Bio-Activity of Cryptocarya Crassinervia Miq. (Lauraceae)	1,240	1,240
8	Dept. of Pharmacy	Sundani Nurono	Etherification of Iles Mannan to Improve Its Usage as Excipient on Pharmaceutical Technology	1,240	1,240
9	Dept. of Mining Engineering	Senior Lecturer Arief Sudarrsono	Washing and Preparation of Indonesian Coal	1,330	1,330

10	Dept. of Structural Mechanics	Widiadnyana Merati	Structural Behaviour of Very High Strength Concrete	1,190	1,190
----	-------------------------------	--------------------	---	-------	-------

計	本年度分	10件		13,000	13,000
---	------	-----	--	--------	--------

平成5年度
〈課題研究助成〉

No.	所属	受領者 職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)		
				本年度	次年度	第3年度 計

第1分野

課題テーマ ①有機・無機化学の新しい接点

1	名古屋大学	教授 山本 尚	アリル型金属化合物の反応制御法の開発とその応用	8,200	3,800	1,300	13,300
---	-------	---------	-------------------------	-------	-------	-------	--------

課題テーマ ②界面の新しいアプローチ

2	東京大学	教授 二瓶 好正	化学状態識別X線光電子回折法によるセラミック薄膜の原子層制御に関する研究	8,800	4,400	1,500	14,700
3	九州大学	教授 松尾 拓	有機超薄膜を用いる光変換機能の研究	8,200	3,800	1,300	13,300

課題テーマ ⑤生物の環境応答に関する分子生物学的研究

4	東京大学	教授 大森 正之	藻類における環境応答機構の分子生物学的研究	7,400	4,500	2,200	14,100
---	------	----------	-----------------------	-------	-------	-------	--------

第2分野

課題テーマ ①新しい物性現象の研究とその応用

5	東京大学	教授 鹿児島誠一	低次元有機導体の電子相と電子相関	7,300	4,900	1,400	13,600
---	------	----------	------------------	-------	-------	-------	--------

課題テーマ ③光エレクトロニクスの新しい技術

6	京都大学	教授 村上 正紀	ダイヤモンド半導体による高輝度青色発光ダイオードの研究・開発	6,400	5,300	1,500	13,200
---	------	----------	--------------------------------	-------	-------	-------	--------

課題テーマ ④複合材料の新しい加工成形法

7	慶応義塾大学	助教授 宗宮 詮	耐熱性短繊維強化プラスチックの創製と成形基礎技術の開発	6,200	2,400	1,100	9,700
---	--------	----------	-----------------------------	-------	-------	-------	-------

課題テーマ ⑤知的情報処理技術

8	東京大学	助教授	広瀬 啓吉	円滑なマン・マシンのコミュニケーションのための音声応答生成に関する研究	5,300	2,600	1,900	9,800
---	------	-----	-------	-------------------------------------	-------	-------	-------	-------

第3分野

課題テーマ ②都市と建築のインテリジェント化に関する研究								
9	京都大学	教授	中村 恒善	インテリジェンス指向都市施設構造物の直接型地震時応答制御設計法	3,100	1,500	—	4,600
計	本年度新規分 9件				60,900	33,200	12,200	106,300

(特定研究助成)

No.	所属	受領者		研究テーマ	助成金額(千円)		
		職名・氏名			本年度	次年度	第3年度

第1分野

10	北海道大学	教授	小林 淳一	新しい医薬資源としての海洋共生微生物の開発に関する研究	4,900	3,200	900	9,000
11	北海道大学	教授	森 美和子	遷移金属錯体を用いる多重結合間の切断及び形成反応を利用した生理活性複素環化合物の合成	4,300	2,900	800	8,000
12	東北大学	教授	内田 勇	In-situ XRDによる電池材料の電気化学インターカレーションの研究	3,900	1,700	700	6,300
13	東京大学	助教授	濱田 博司	胚幹細胞の分化を支配する遺伝子群の単離・機能解析	4,600	3,100	900	8,600
14	東京工業大学	教授	岸本 健雄	サイクリンによる細胞複製制御の分子機構	4,600	3,000	900	8,500
15	名古屋大学	教授	山根 恒夫	無細胞蛋白質合成系による蛋白質の大量生産法の開発	4,500	3,300	800	8,600
16	大阪大学	教授	黒沢 英夫	有機小分子-金属複合系活性種の構造-反応性相関の確立と選択的合成反応への応用	4,400	3,000	800	8,200
17	大阪大学	教授	山口 兆	新規・電子光機能性物質の精密分子設計とその合成	4,300	2,900	800	8,000
18	広島大学	教授	安田 源	前周期遷移金属に特異な機能と物性の解明	3,900	3,600	1,900	9,400
19	愛媛大学	教授	前川 尚	酸化物溶融体、ガラス中の金属イオンの酸化還元平衡に関する研究	2,700	2,400	—	5,100

第2分野

20	千葉大学	教授	市川 焘	抑揚情報を活用した話し言葉理解技術の基礎的研究	3,800	2,600	700	7,100
21	千葉大学	教授	岡本 紘	歪み量子井戸構造のバンドオフセットに関する研究	5,000	3,300	900	9,200

第3分野

22	東京工業大学	教授	大門 正機	廃ガラスの建設素材としての基礎物性に関する研究	1,000	4,000	—	5,000
23	東京農業大学	助教授	山寺 喜成	乾燥地帯における都市環境改善のための緑化工技術の開発に関する実験的研究	4,100	1,000	0	5,100
24	名古屋大学	教授	林 良嗣	都市の土地利用と交通がもたらす地球環境影響に関する国際比較研究	3,800	3,200	—	7,000
25	京都大学	助教授	瀬津 家久	都市における水域環境の保全と新河川工法の開発に関する総合研究	2,700	2,300	—	5,000

計	本年度新規分	16件			62,500	45,500	10,100	118,100
---	--------	-----	--	--	--------	--------	--------	---------

(奨励研究助成)

No.	所属	受領者	職名・氏名	研究テーマ	助成金額(千円)	
					本年度	次年度

第1分野

26	北海道大学	助教授	稲辺 保	水素結合相互作用による新しい機能性電荷移動錯体の開拓	1,000	900	1,900
27	北海道大学	助教授	渡辺 雅彦	遺伝的および実験的神経入力異常が及ぼすNMDA型グルタミン酸受容体遺伝子の発現変異に関する研究	1,000	1,000	2,000
28	東北大学	講師	関根 勉	包接化合物を用いる分子ロケット反応の研究	1,000	900	1,900
29	秋田大学	助手	後藤 猛	人工脂質ベシクルを介した膜在性酵素のアガロースゲルへの固定化とそのバイオリアクター系への応用	1,000	1,000	2,000
30	東京大学	助教授	北森 武彦	微小空間におけるレーザー誘起光熱変換効果・化学反応・分離効果に基づく少数分子の化学計測法の開発と実生体試料の超微量分析法への応用	1,000	1,000	2,000
31	東京大学	助手	藤原 徹	植物のイオウ栄養の吸収機構及びイオウ栄養条件に対する適応機構の研究	1,000	1,000	2,000

32	東京大学	講師	加藤 隆史	分子間相互作用の精密制御による液晶性分子複合材料の開発	1,000	900	1,900
33	東京大学	助手	滝口 雅文	HLAクラスI分子結合ペプチドの解析	1,000	1,000	2,000
34	東京工業大学	助手	谷口 泉	スプレードライ法を用いた半乾式脱硫酸に関する基礎的研究	1,000	900	1,900
35	東京工業大学	助教授	高田十志和	重合反応の制御を目的とする潜在性触媒の開発と概念の確立	1,000	1,000	2,000
36	東京工業大学	助教授	永田 恭介	ウイルス抵抗性を支配する細胞遺伝子産物の機能解析	1,000	1,000	2,000
37	東京工業大学	助教授	石野 史敏	哺乳類のゲノミック・インプリンティング遺伝子群の解析	1,000	900	1,900
38	慶應義塾大学	専任講師	鈴木 孝治	高性能光ファイババイオセンサー（オプトード）の開発と臨床医学への応用	1,000	1,000	2,000
39	慶應義塾大学	助手	須貝 威	生理活性を有するオリゴ糖鎖の酵素的合成に関する研究	1,000	1,000	2,000
40	東京理科大学	助教授	山登 一郎	生体エネルギー変換系タンパク質の構造と機能	1,000	1,000	2,000
41	東京理科大学	助手	牧野 公子	pHとイオン強度に応答したポリ(L-リジン-al-L-テトラロイル)マイクロカプセルからの薬物放出制御	1,000	1,000	2,000
42	新潟大学	助手	青木 俊樹	光学活性アセチレンポリマー膜による光学分割	900	1,100	2,000
43	富山大学	助教授	宮本 真敏	環状シクロドワレア類の開環重合に基づく新規光学活性ポリウレア類、及びポリリアミン類の合成	1,000	900	1,900
44	岐阜大学	助教授	辻 康之	高活性遷移金属錯体触媒を用いる新規有機ケイ素化合物の合成に関する研究	1,000	900	1,900
45	名古屋大学	助教授	入谷 英司	中空糸膜モジュールによるタンパク質溶液の効率的濃縮プロセスの開発	900	1,000	1,900
46	名古屋工業大学	助教授	細野 秀雄	ガラスへのイオン注入に関する基礎的研究 —— 注入効果の解明と新しいフォトリソグラフィの試み ——	1,000	1,000	2,000
47	豊橋技術科学大学	助手	藤本 忠蔵	同軸キャピラリー構造を用いる調製用電気泳動システムの構築	1,000	800	1,800
48	京都大学	助手	幸塚 広光	ゾルーゲル法による金属微粒子/酸化物透明複合体の合成ならびに複合体の非線形光学特性に関する研究	1,000	1,000	2,000
49	大阪大学	助教授	平尾 俊一	バナジウムの特異的電子移動に基づく効率的酸化還元系の構築	1,000	1,000	2,000
50	大阪大学	助教授	今川 正良	遺伝子発現を自ら制御する転写因子の解析	1,000	900	1,900
51	大阪府立大学	助手	河野 健司	膜融合活性を有するポリペプチドの開発とそのドラッグデリバリーシステムへの応用	1,000	900	1,900

52	広島大学	教授	大竹 久夫	細菌Pseudomonas属の環境認識および行動的応答の分子機構解明とそれを利用した行動測定型バイオセンサーの開発に関する研究	1,000	1,000	2,000	
53	山口大学	助教授	今村 速夫	新しいラウタニウム系金属触媒の調製とその触媒機能に関する研究	1,000	900	1,900	
54	九州工業大学	助教授	坂本 順司	神経系カルシウムチャネルの精製、サブユニット構成および機能的再構成	1,000	800	1,800	
55	長崎大学	助教授	清水 康博	半導体型ガスセンサーのインテリジェント化 ― ガスの反応性と拡散性の制御	1,000	1,000	2,000	
56	鹿児島大学	助教授	肥後 盛秀	半導体薄膜の表面及び界面の非弾性電子トンネル分光法による状態分析	1,000	900	1,900	
第2分野								
57	東北大学	助手	馬場 一隆	マルチスレションルド方式による超高密度波長多重3次元光ディスクの研究	1,000	900	1,900	
58	東北大学	助教授	富樫 敦	通信プロトコル自動合成のための時制論理に基づいた新しい方法論の開発と実験システムの試作	1,000	700	1,700	
59	東京大学	助手	吉澤 雅幸	擬一次元共役高分子励起状態の主鎖構造緩和	1,000	1,000	2,000	
60	東京大学	助教授	満洲 邦彦	遠赤外光透過ファイバ、およびそれを用いたサーマルイメージングの開発とその医学・生物学領域の応用に関する研究	1,000	1,000	2,000	
61	東京都立大学	助手	朽久保文嘉	パルスコロナ放電プラズマによる有害ガス処理のモデリング	1,000	900	1,900	
62	東京理科大学	助手	本田 智	螺旋カム機構を用いた指関節用小型アクチュエータの試作研究	1,000	700	1,700	
63	慶應義塾大学	助手	小尾晋之介	非定常乱流のモデリングに関する研究	1,000	900	1,900	
64	長岡技術科学大学	助教授	中川 匡弘	反強誘電性液晶を用いたカオティックアソシアトロンに関する研究	1,000	1,000	2,000	
65	静岡大学	助手	坂口 浩司	超高速光励起変調機能を持つ新しい非線形光学材料の開発	1,000	1,000	2,000	
66	名古屋大学	助手	高橋 功	X線回折を用いた極低温におけるf電子化合物の価電子状態と物性	1,000	1,000	2,000	
67	豊橋技術科学大学	助手	横山 誠二	低温度の反応性ガス気流中での溶融金属の蒸発速度と凝縮粒子性状制御に関する基礎研究	1,000	800	1,800	
68	大阪大学	助手	田原 弘一	リッジ型空洞共振器を用いた電磁界制御大型口径BORイオン源の開発とガラスクリーニングへの応用	1,000	1,000	2,000	
69	広島大学	助手	森 弘之	銅酸化物超伝導体における磁気構造とキャリアダイナミクスの関わり	1,000	800	1,800	
70	九州大学	助教授	福田 晃	超並列処理のためのシステム・ソフトウェアに関する基礎研究	1,000	900	1,900	

71	九州工業大学	助教授	大越 正敏	エキスマレーザー・アプリケーションによる機能性人工格子の開発	1,000	800	1,800
第3分野							
72	千葉工業大学	専任講師	片山 律	歴史的都市における都市景観の変容と評価及び保全に関する研究 ——京都市・奈良市・鎌倉市を事例として——	1,000	900	1,900
73	東京大学	助教授	野村 卓史	建設系構造物を対象とした数値風洞開発に関する基礎的研究	1,000	1,000	2,000
74	富山県立大学	助教授	楠井 隆史	下水道放流水の毒性評価と制御に関する基礎的研究	1,000	1,000	2,000
計	本年度新規分 49件				48,800	45,900	94,700

〈人文・社会科学系研究助成〉

No.	所 属	受 領 者		研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)		
		職名・氏名			本年度	次年度	計
〈特定研究助成〉							
75	筑波大学	助教授	安田八十五	飲料容器のリサイクルシステムの開発	700	700	1,400
76	東京大学	教授	山影 進	交易離散共同体組織のあり方と環境要因の研究	1,400	1,600	3,000
77	東京大学	助教授	伊藤 元重	日本的企業組織の機能とその構造変化に関する研究	900	800	1,700
78	慶應義塾大学	助教授	杉浦 章介	地理的情報を用いた景観ヴィジュアル・プレゼンテーションに関する研究	1,000	900	1,900
79	東京女子大学	教授	広瀬 弘忠	地球環境リスクについての専門家と一般市民の認知と態度に関する研究	1,700	1,700	3,400
80	早稲田大学	教授	数下 史郎	安定的・効率的金融システムに関する理論・実証研究	500	500	1,000
81	神奈川大学	教授	和氣 洋美	低視力者の視環境整備に関する研究	1,200	1,200	2,400
82	国際大学	助教授	渡辺 聰子	在外日本企業における組織内のコミュニケーション・ギャップに関する国際比較研究 ——アメリカ、イギリスおよびドイツにおける現地社員の意識調査を中心として——	1,500	1,500	3,000
83	京都府立医科大学	教授	植木 哲	土壌汚染の浄化と法的規制のあり方に関する研究	1,100	1,000	2,100
84	大阪大学	教授	友田 泰正	学校週五日制実施後の地域教育システムのあり方についての研究	1,500	1,500	3,000

85	九州大学	教授	徳永正二郎	ASEAN進出日本企業の地域ロジスティック戦略と国際公共性 ——経済地域主義と企業内人的資源・R&D、物流、決済システムの国際 的開発との相互作用に関する実証的研究——	1,900	1,800	3,700
〈奨励研究助成〉							
86	明治学院大学	助教授	西澤 由隆	21世紀における新しい民主主義の可能性 ——市民運動型の政治参加の日米比較——	700	700	1,400
87	早稲田大学	助手	榎尾 直樹	フランス都市におけるアフリカ系移民の宗教行動に関する文化人類学的研究 ——日系新宗教への参加にみるエスニシティの持続と変化を中心として——	700	600	1,300
88	聖徳学園岐阜教育 大学	専任講師	長谷川 清	環境変化と文化的適応——雲南および大陸東南アジア・メコン水系域における タイ系民族の事例研究——	1,300	1,300	2,600
89	京都大学	助教授	田中 雅一	スリランカの漁民社会組織への民族紛争の影響について——社会変化と海洋 資源利用の関係についての文化人類学的研究——	800	700	1,500
計	本年度新規分		15件		16,900	16,500	33,400

〈総合研究助成〉

No.	受 属 所	受 領 者		研 究 テ ー マ	助 成 金 額 (千円)			
		職名・氏名			本年度	次年度	第3年度	
90	東京理科大学 国立がんセンター	教授 部長	上野 芳夫 藤木 博太	水の富栄養化に伴うヒトの肝臓癌発生の問題とその環境改善に関する研究	10,100	3,000	—	13,100
91	早稲田大学 広島大学	教授 助教授	大島 康行 中根 周歩	冷温帯夏緑林—土壌—大気間の相互作用系の解明	10,000	3,300	600	13,900
92	新瀉大学 The Beijer International Institute of Ecological Economics, Sweden	教授	宇澤 弘文 Executive Director Karl-Goran Maler	地球環境と持続的開発；その理論的、実証的、制度的研究	5,800	2,500	0	8,300

93	京都大学 Universidade Federal do Rio de Janeiro, Brasil	教授 竹原善一郎 Professor A. Claudio Habert	地球環境に配慮した高機能性膜を用いた効率的な燃料合成に関する研究	10,300	3,900	--	14,200
計	本年度新規分	4件		36,200	12,700	600	49,500

〈海外研究助成〉

タイ Chulalongkorn University

(所属、職名は申請時現在)

No.	受 領 者		研 究 テ ー マ	助成金額(千円)		
	所 属	職名・氏名		本年度	計	
1	Dept. of Materials Science	Assoc.Prof. Preeda Pinkhaokham	Study of the Local and Temporal Distribution of Temperature, Oxygen Activity and Liquid Phase Formation in a Melting Batch Blanket	1,480	1,480	1,480
2	Dept. of Chemical Engineering	Suphot Phatanasri	Methanol Conversion to Light Olefins on Silicoaluminophosphate Catalysts	550	550	550
3	Dept. of Clinical Microscopy	Assoc.Prof. Pornthep Tiensiwakul	Application of Polymerase Chain Reaction (PCR) Assay for the Diagnosis of HIV-1 and HIV-2 Infections	1,500	1,500	1,500
4	Dept. of Pharmacognosy	Khanit Suwanborirux	Study on Bioactive Natural Products from Thai Marine Invertebrates	1,490	1,490	1,490
5	Dept. of Mechanical Engineering	Assoc.Prof. Pramote Dechaumphai	Analysis and Design of Glass Windows for Sky-High Buildings Subjected to Heating/Cooling and Wind Pressure	1,480	1,480	1,480
6	Faculty of Medicine	Boonart Laisitsarekul	Holistic Approach Training for Thai-Japanese Health Professions	1,500	1,500	1,500
インドネシア Institute of Technology Bandung						
7	Dept. of Chemical Engineering	Instructor Tri Partono Adhi	Development of a Novel Electrofiltration Unit for Proteins Fractionation and Purification	1,170	1,170	1,170
8	Dept. of Pharmacy	Sundani Nurono	Standardization and Application of Mannan Ether on Developing Pharmaceuticals Formulas	1,240	1,240	1,240
9	Dept. of Biology	Sri Nanan Widiyanto	In Vitro Selection and Production of Rice Plantlets Tolerant to the Blast-toxin	840	840	840

10	Dept. of Mathematics	Head of the Dept. Maman A. Djauhari	Stochastic Modelling for Fatality in Traffic Accidents by Using Generalized Poisson-quasi Binomial Case Study : Fatality in Traffic Accidents in Bandung and Jakarta	940	940
11	Dept. of Civil Engineering	Krishna Suryanto Priyadi	Laboratory Evaluation of Porous Concrete for Use as Low-Traffic Road Pavement Material	810	810
計	本年度分	11件		13,000	13,000

図3-3 研究助成金受領者の所属別分布

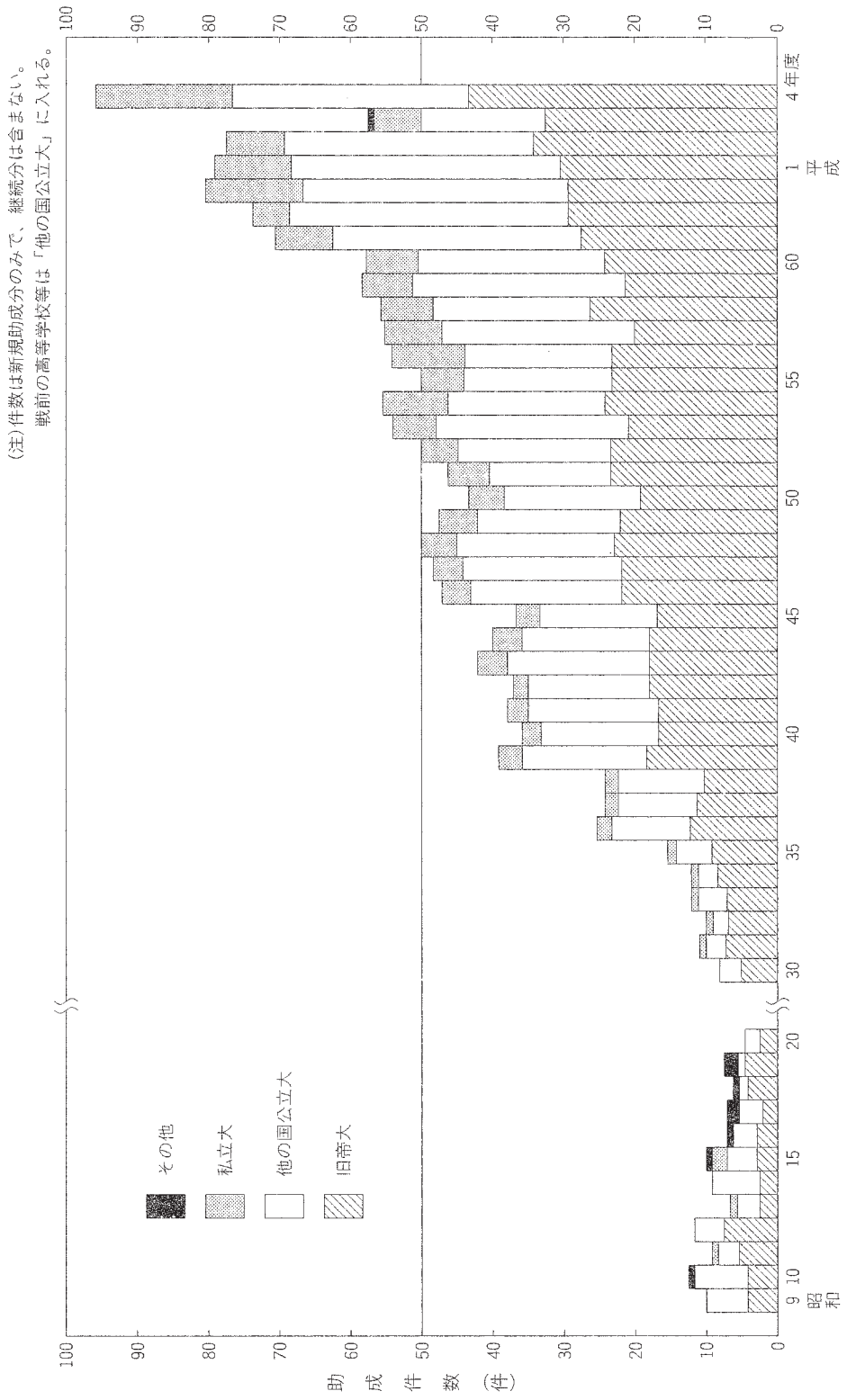


図3-4 研究助成金受領者の職名別分布

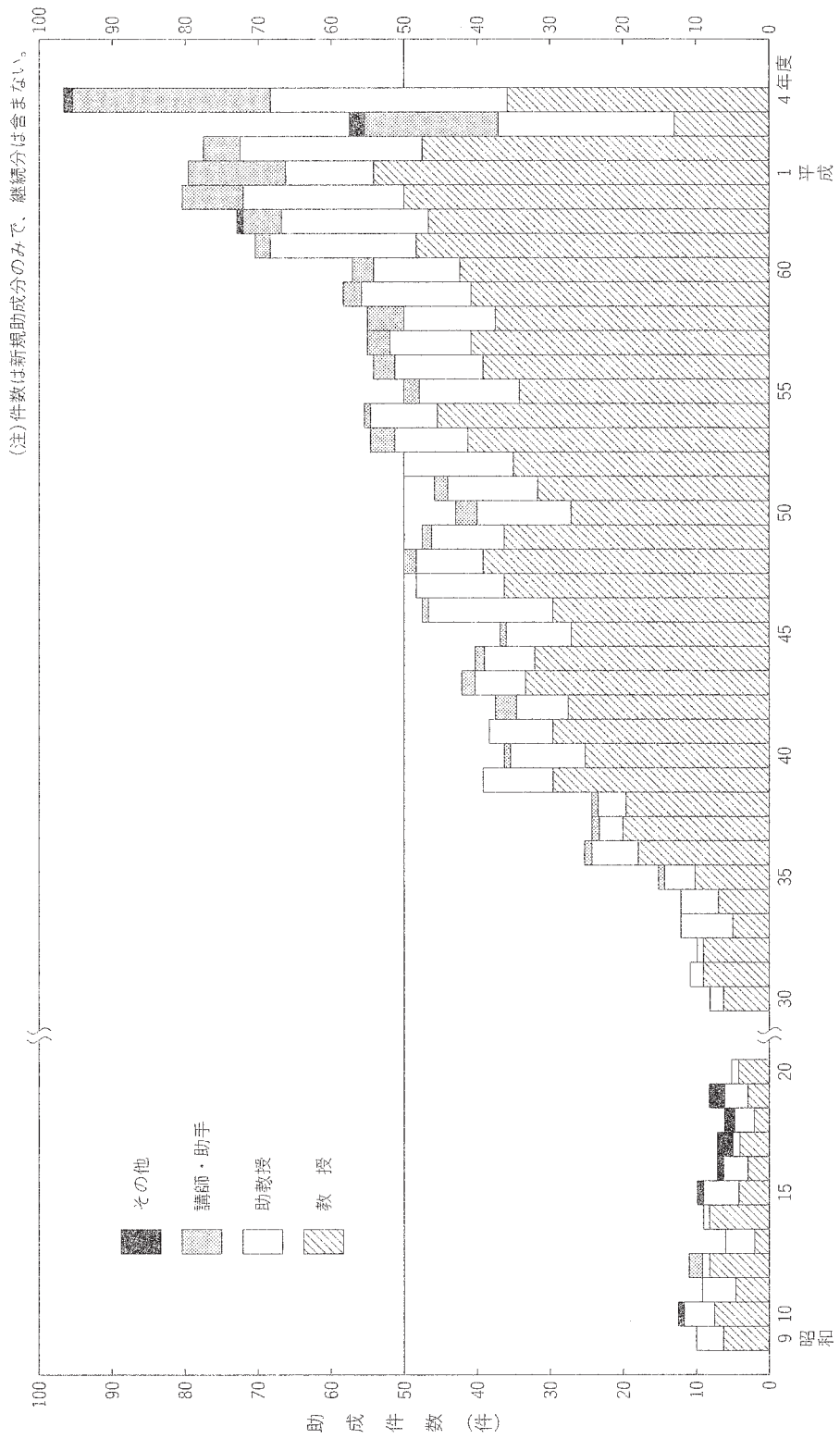
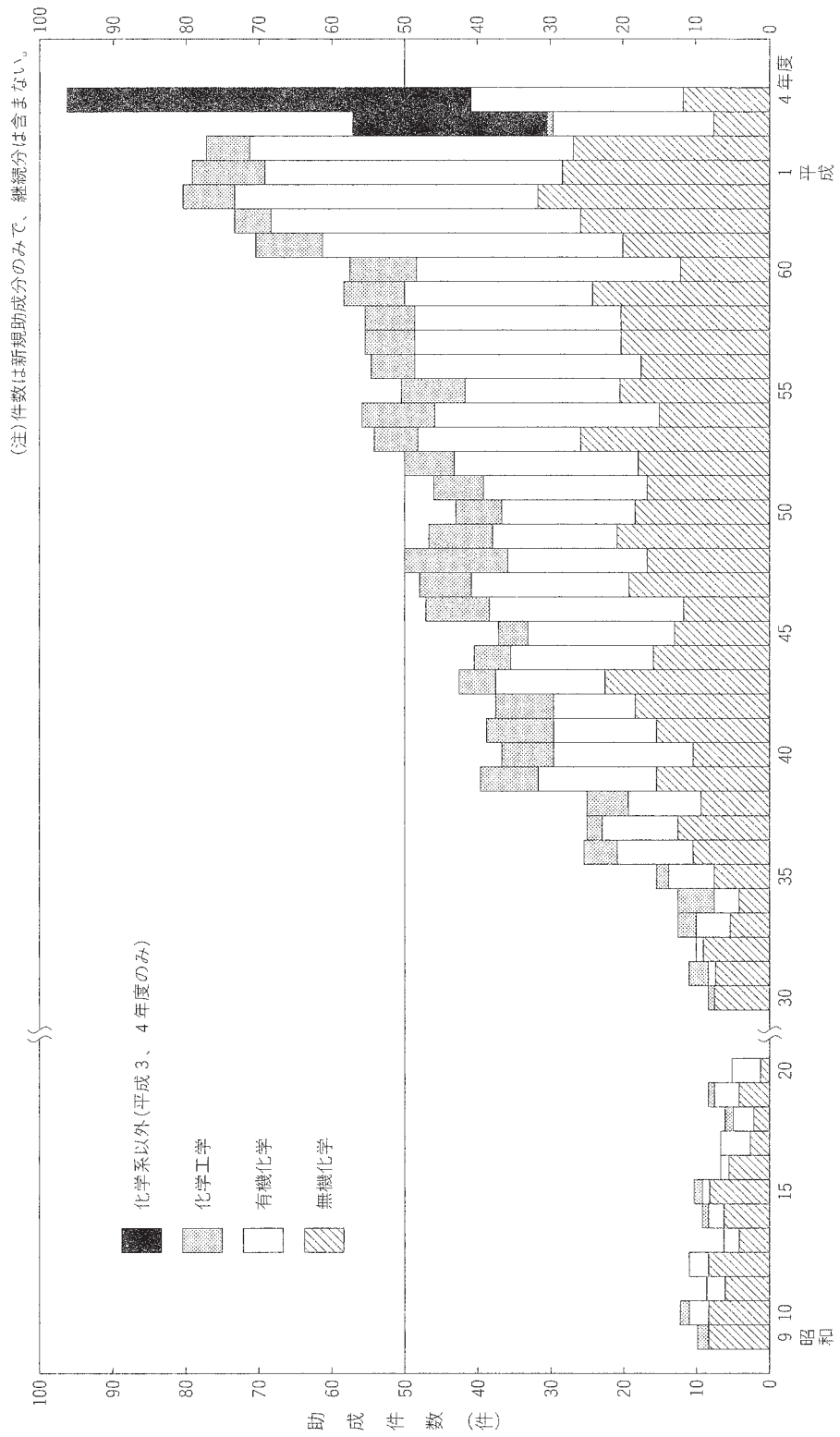


図3-5 研究助成テーマの分野別分布



3. 研究助成と学協会賞等受賞

1) 研究助成金受領者の学協会賞等受賞状況

昭和9年度から平成4年度までの研究助成金受領者について、各学協会賞等の受賞者を以下の表に示した。主に応用化学系の主要学協会等の賞を対象とし、原則として助成後に学協会賞等を受賞したものをカウントした。

表3-6 に賞別に受賞件数を示した。

表3-6 研究助成金受領者の学協会賞別受賞数一覧

学協会等	賞	*1 延べ件数	受賞後*2 の延べ件数
日本化学会	学会賞・学術賞・進歩賞・オーエンスレーガー賞 (昭和23年～平成3年)	154	83
日本セミックス協会	協会賞(学術、論文、功労、進歩)・セミックス大賞 (昭和17年～平成3年)	97	60
電気化学協会	協会賞(論文賞、技術賞、研究奨励賞、進歩賞、 功績賞、学術賞) (昭和27年～平成4年)	66	40
高分子学会	学会賞(科学部門)・科学功績賞 (昭和40年～平成3年)	57	35
化学工学会	学会賞(論文賞、学術賞、学会賞、研究賞、奨励賞) (昭和41年～平成3年)	53	28
日本分析化学会	学会賞・技術功績賞・奨励賞 (昭和46年～平成4年)	23	12
有機合成化学 協会	協会賞・奨励賞・研究企画賞 (昭和34年～平成3年)	23	12
日本学士院	学士院賞(恩賜賞、学士院賞) (昭和9年～平成4年)	8	7
井上春成賞	(昭和51年～平成4年)	1	0
計		482	277

*1) 助成時と受賞時を考慮しない受賞延べ件数

*2) 上記のうち、とくに助成後に受賞した延べ件数

2) 各分野における研究助成と受賞

以下、化学の分野を無機化学(物理化学、分析化学も含めて)、有機化学(高分子化学、生物化学も含めて)、化学工学の3つの分野に荒分けして、表3-7-1、表3-7-2、表3-7-3にそれぞれの分野における受賞状況を示した。なお、所属・職名は最近助成時点のものであり、助成が複数回数の場合の表示したテーマは下線を付した助成年度のものである。

表3-7-1 無機化学分野における研究助成と受賞一覧

物理化学関係
物理化学
東京工業大学 斎藤進六助教授
「Cr-O含有系の相平衡的研究」(昭和36年度助成)、昭和59年日本セミックス協会

学術賞

- 北海道大学 永山政一教授
「多価金属イオンの加水分解機構に関する研究」(昭和39年度助成)、昭和60年電気化学協会論文賞
- 東京工業大学 宇田川重和助教授
「ゲルマニウム酸塩の結晶化学的研究」など(昭和42、45年度助成)、昭和49年日本セラミックス協会学術賞
- 京都大学 渡辺信淳教授
「フッ化水素を含む系の分光学的および熱的測定に関する研究」など(昭和43、45、47、49、51、55年度助成)、昭和55年日本化学会学会賞
- 東京工業大学 小松和蔵教授
「酸化物における表面拡散に関する研究」(昭和48年度助成)、昭和51年日本セラミックス協会学術賞
- 東京工業大学 大滝仁志教授
「液体中の分子配列に関するX線構造解析ならびに量子力学的アプローチ」など(昭和49、57年度助成)、平成2年電気化学協会論文賞
- 東京工業大学 春山志郎教授
「固体酸化物の化学溶解に関する研究」(昭和50年度助成)、昭和63年電気化学協会論文賞
- 固体構造・キャラクタリゼーション
- 東京大学 笹木和雄助教授
「希土類酸化物の格子欠陥の化学」(昭和47年度助成)、昭和54年電気化学協会論文賞
- 東京大学 合志陽一教授
「高分解能X線分光法による状態分布」など(昭和56、60年度助成)、昭和60年日本化学会学会賞
- 東京工業大学 丸茂文幸教授
「アパタイト型結晶における陽イオン置換に関する研究」(昭和58年度助成)、昭和60年日本セラミックス協会学術賞
- 破壊力学
- 京都大学 宮田昇助手
「セラミックスの靱性向上機構に関する基礎的研究」(昭和58年度助成)、昭和63年日本セラミックス協会学術賞
- 材料設計
- 東京大学 安井至助教授
「非晶質薄膜の構造と材料設計」など(昭和59、63年度助成)、平成3年日本セラミックス協会学術賞
- 材料・状態
- 粉体・超微粒子
- 九州大学 加藤昭夫教授
「気相反応法による超微粒子セラミックスの合成に関する研究」など(昭和46、54、63年度助成)、昭和54年日本セラミックス協会学術賞
- 東京工業大学 小坂丈予助教授
「軟珪石を原料とした数種の粘土鉱物の水熱合成の研究」(昭和48年度助成)、昭和56年日本セラミックス協会学術賞
- 単結晶
- 名古屋大学 野田稲吉教授
「無機化合物の高温に於ける結晶現象に関する研究」など(昭和9、33年度助成)、昭和52年日本セラミックス協会功労賞
- 名古屋大学 平野真一教授
「光学素子用カルサイト単結晶の水熱育成と評価」など(昭和61、平成元年度助成)、昭和63年日本化学会学術賞
- 薄膜
- 九州工業大学 桑原誠助教授
「真空蒸着法によるセラミックス薄膜の組成と物性に関する基礎的研究」(昭和50年度助成)、昭和62年日本セラミックス協会学術賞
- 大阪大学 金丸文一教授
「無機固体薄膜の作製と評価」(昭和60年度助成)、昭和61年日本セラミックス協会学術賞

プロセス

焼結・固相反応

東京工業大学 井関孝善助教授

「希土類酸化物の焼結に関する研究」(昭和50年度助成)、平成2年日本セラミックス協会
学術賞

京都工芸繊維大学 若松盈教授

「セラミックス焼成時の還元雰囲気セラミックス表面の色調に与える影響に関
する研究」など(昭和55、63年度助成)、平成2年日本セラミックス協会学術賞

東北大学 島田昌彦教授

「セラミックスの固相接合に関する研究」(昭和59年度助成)、平成元年日本セラミ
ックス協会学術賞

水熱合成

九州大学 清山哲郎教授

「結晶電析における核発生と結晶成長の研究」など(昭和34、38、49年度助成)、昭
和47年日本化学会学術賞

金属関係

北海道大学 佐藤教男教授

「エリプソメトリーによる金属材料の耐食性向上に関する研究」など(昭和45、55
58年度助成)、昭和53年電気化学協会論文賞

無機薬品関係

京都大学 吉沢四郎教授

「弗素および過弗化物製造に関する研究」など(昭和34、36、37、39、41、43、45、46、
49年度助成)、昭和35年電気化学協会技術賞

希土類関係

希土類元素

大阪大学 塩川二期教授

「二価のユウロピウムイオンを含む複合酸化物の合成とその物性に関する研究」
など(昭和35、37、41、43、45、47、49、51、58年度助成)、昭和56年日本化学会学術賞
、昭和56年電気化学協会論文賞

セラミックス

京都高等工芸学校 青武雄教授

「珪酸塩類の水熱式焼成法に関する研究」など(昭和10、12年度助成)、昭和40年日
本セラミックス協会論文賞

東京工業大学 山内俊吉助教授

「アルミナ及高アルミナ質耐火物の研究」(昭和16年度助成)、昭和18年日本セラミ
ックス協会学術賞

東京工業大学 田賀井秀夫教授

「高温融液の分離研究」など(昭和35、41年度助成)、昭和41年日本セラミックス協会学術
賞

京都工芸繊維大学 中沢泰朗教授

「熔融ガラスの耐火物侵食機構の基礎的研究」など(昭和37、39、41、43、49、57年度
助成)、昭和49年日本セラミックス協会学術賞

東京工業大学 鈴木弘茂助教授

「ジルコニウムカーバイトに関する基礎的研究」(昭和37年度助成)、昭和42年日
本セラミックス協会学術賞

東北大学 田中弘文助教授

「セメントの水和に及ぼす薬剤添加の影響」(昭和40年度助成)、昭和48年日本セラ
ミックス協会学術賞

横浜国立大学 大塚淳教授

「無機顔料(ピリジアン)の基礎的研究」など(昭和43、51、62年度助成)、昭和59
年日本セラミックス協会学術賞

東京工業大学 浜野健也教授

「活性化焼結による高密度酸化物セラミックスの製造」など(昭和44、57年度助成)
昭和48年日本セラミックス協会学術賞

東京工業大学 佐多敏之教授

「セラミック高温材料の蒸発に関する研究」(昭和45年度助成)、昭和47年日本セラ
ミックス協会学術賞

京都工芸繊維大学 西川友三教授

「酸化物焼結体の機械的性質に関する研究」など(昭和46、56、平成元年度助成)、

- 昭和50年日本セラミックス協会学術賞
 東京大学 柳田博明教授
 「多孔質セラミック半導体の研究」など(昭和51、61年度助成)、昭和59年日本化学
 会学術賞
 東京工業大学 宗宮重行教授
 「リン酸塩系新材料の水熱条件下における合成と安定性」(昭和56年度助成)、昭
 和61年日本化学会学術賞
 東京工業大学 沢岡昭教授
 「非酸化物セラミックスのダイナミックコンパクション」(昭和59年度助成)、平
 成3年日本セラミックス協会学術賞

ガラス

- 横浜国立大学 高橋健太郎教授
 「非珪酸塩ガラス構造の赤外線による研究」など(昭和36、47年度助成)、昭和47年
 日本セラミックス協会学術賞
 慶応義塾大学 武井武教授
 「酸化チタンを結晶成長剤とする低アルカリ強化ガラスの研究」(昭和36年度助成
)、昭和37年電気化学協会論文賞
 東京大学 今岡稔教授
 「G e S系を中心としたカルコゲナイドガラスの製造と物性」など(昭和39、44年
 度助成)、昭和42年日本セラミックス協会学術賞
 京都工芸繊維大学 井原将昌教授
 「ガラス化できる結晶の構造の研究」など(昭和43、51、59年度助成)、昭和47年日
 本セラミックス協会学術賞
 九州大学 大石行理教授
 「溶融ガラス中の酸素イオンの自己拡散に関する研究」など(昭和43、53年度助成)
 昭和48年日本セラミックス協会学術賞
 慶応義塾大学 吉田哲郎教授
 「ガラスの中の多量の遷移金属イオンの挙動とその物性」など(昭和45、51、57年度
 助成)、昭和49年日本セラミックス協会学術賞
 東京都立大学 金沢孝文教授
 「固体縮合燐酸塩ポリマーの熱的および高分子の性質」など(昭和45、54、63年度助
 成)、昭和50年日本セラミックス協会学術賞
 京都大学 曾我直弘教授
 「ガラスの弾性的・熱的性質の異常性とガラス構造との関連に関する研究」など
 (昭和50、54、58年度助成)、昭和53年日本セラミックス協会学術賞
 京都大学 小久保正教授
 「配向性強誘電性多結晶体の製造研究」など(昭和55、62、平成4年度助成)、昭和56
 年日本セラミックス協会学術賞
 東京工業大学 山根正之助教授
 「赤外透過性ハロゲン化物ガラスの作製に関する基礎研究」(昭和56年度助成)、
 平成元年日本セラミックス協会学術賞
 三重大学 神谷寛一教授
 「ゾル・ゲル法によるガラスおよびセラミックス繊維の製造に関する研究」(昭和
 61年度助成)、昭和63年日本セラミックス協会学術賞
 名古屋工業大学 高津学教授
 「炭化ケイ素およびアルミナ焼結体の振動疲労特性について」(昭和62年度助成)、
 平成3年日本セラミックス協会学術賞

セメント

- 横浜国立大学 永井彰一郎教授
 「混合セメントの研究」など(昭和9、30年度助成)、昭和17年日本セラミックス協会学術
 賞

触媒

- 東京工業大学 杉野喜一郎助教授
 「非ニッケル系触媒特に銅触媒を用ふる有機化合物の高圧接触還元に関する研究
 (昭和17年度助成)、昭和28年電気化学協会論文賞
 北海道大学 岡本剛教授
 「ヴァナジウム触媒担体用珪酸質に関する研究」など(昭和30、31、42年度助成)、
 昭和32年電気化学協会論文賞
 北海道大学 小林晴夫教授

- 「メタノールリフォーミング反応とその触媒に関する研究」など(昭和33、52年度助成)、昭和58年日本化学会学会賞
- 東京大学 米田幸夫教授
「不均一系酸化物触媒の酸化力測定による触媒設計の研究」など(昭和37、47年度助成)、昭和55年日本化学会学会賞
- 北海道大学 田部浩三教授
「固体の塩基性とその触媒作用の研究」(昭和43年度助成)、昭和53年日本化学会学会賞
- 九州大学 山添 昇教授
「接触酸化におけるヘテロポリ酸塩および欠陥ペロプスカイト型酸化物の触媒機能の解明」(昭和57年度助成)、平成元年日本化学会学会賞
- 京都大学 乾智行教授
「新規なメタロシロケートの合成とその触媒性能の開発に関する研究」(昭和59年度助成)、平成元年日本化学会学会賞
- 九州大学 荒井弘通教授
「担持超微粒子金属触媒の調整と触媒作用」(昭和60年度助成)、平成2年日本触媒学会学会賞

電気化学関係

- 京都大学 岡田辰三教授
「電導滴定に依る珪酸及礬土の定量」など(昭和10、11、14、15、17、31、32年度助成)、昭和28年日本化学会学会賞
- 東京帝国大学 亀山直人教授
「交流電解に依る酸化及還元機構の研究」(昭和12年度助成)、昭和20年日本学士院賞
- 北海道大学 岡本剛教授
「腐蝕金属の表面状態の電気化学的研究」など(昭和30、31、42年度助成)、昭和35年日本化学会学会賞
- 大阪大学 田村英雄教授
「絶縁性薄膜を介する電極反応に関する研究」など(昭和33、39、42、44、46、48、57年度助成)、昭和58年電気化学協会論文賞
- 京都大学 吉沢四郎教授
「溶融塩電解による塩化アンモニウムから塩素、アンモニア、水素の回収に関する研究」など(昭和34、36、37、39、41、43、45、46、49年度助成)、昭和53年日本化学会学会賞
- 東北大学 外島忍教授
「半導体電極と電解質水溶液間の界面物性に関する研究」など(昭和37、42、50、57年度助成)、昭和43年電気化学協会論文賞
- 山梨大学 本尾哲教授
「燃料電池用電極の研究——チタンを母金属とする貴金属合金電極」など(昭和38、44、50、52、56年度助成)、昭和51年電気化学協会論文賞
- 九州大学 石橋信彦教授
「 LiAlH_4 ・THF電解浴化からの金属電着の研究」など(昭和41、51、58年度助成)、昭和49年日本分析学会学会賞
- 山梨大学 早川保昌教授
「低融点溶融塩の開発」など(昭和47、53年度助成)、昭和48年電気化学協会論文賞
- 東京大学 長哲郎助教授
「金属錯体の存在下における酸素の電気化学的還元種の挙動」(昭和49年度助成)、昭和62年電気化学協会論文賞
- 大阪府立大学 田中雅美教授
「超イオン伝導ガラスの開発とその伝導機構」など(昭和53、57年度助成)、昭和57年日本化学会学会賞
- 京都大学 林秀考助手
「金属酸化物の溶融塩中における電極材料への応用」(昭和59年度助成)、昭和62年電気化学協会進歩賞
- 長岡技術科学大学 横山友教授
「酸化タンゲステン膜のエレクトロクロミック反応生成物の深さ分布の光音響分光測定法」(昭和63年度助成)、平成2年日本分析化学会学会賞

電子材料関係

- 慶応義塾大学 山口喬教授
「部分沈澱法による酸化物系電子材料の製造と固体反応の解析」など(昭和49、54

	年度助成)、昭和58年日本セラミックス協会学術賞
光関係 蛍光体	大阪大学 田村英雄教授 「放射線励起無機蛍光物質の製法とその特性に関する研究」など(昭和33、39、42、44、46、48、57年度助成)、昭和54年電気化学協会技術賞
太陽電池	京都大学 本多健一教授 「光電極反応を用いる太陽エネルギー変換の研究」など(昭和52、54、61年度助成) 昭和55年電気化学協会論文賞
分析化学	名古屋大学 武内次夫教授 「プラズマジェットを光源とする分光分析の研究」など(昭和39、51年度助成)、昭和40年日本分析化学会学会賞
	東京大学 仁木栄次教授 「無機元素分離分析用高温ガスクロマトグラフ装置の試作研究」など(昭和41、49、52年度助成)、昭和46年日本分析学会学会賞
	東京大学 田中誠之教授 「赤外分光法による新しい分析法の開発と応用に関する研究」など(昭和43、52、56年度助成)、昭和60年日本化学会学会賞
	名古屋工業大学 中川元吉助教授 「分析化学における錯体生成反応の平衡論および速度論的研究」(昭和43年度助成)、昭和54年日本分析化学会学会賞
	東北大学 四ッ柳隆夫教授 「オンカラム、選択分解分離方式による超微量金属イオンの高速液体クロマトグラフィ」など(昭和54、61年度助成)、平成3年日本化学会学術賞
	九州大学 小川禎一郎教授 「レーザー多光子イオン化を利用した超高感度分析の開発」(昭和58年度助成)、昭和59年日本化学会学術賞

表3-7-2 有機化学分野における研究助成と受賞一覧

有機合成	大阪大学 戸倉仁一郎教授 「非水溶液とアセチレンを利用する芳香族化合物の合成に関する研究」など(昭和31、45、47、49年度助成)、昭和48年日本化学会学会賞
	九州工業大学 平尾一郎教授 「液相におけるフェノール類のカルボキシル化反応」など(昭和33、36、42年度助成)、昭和57年日本化学会学会賞
	九州大学 清山哲郎教授 「有機化合物の液相触媒酸化反応」など(昭和34、38、49年度助成)、昭和47年日本化学会学会賞
	九州大学 柘植乙彦教授 「石炭タールの未利用多環芳香族化合物の開発に関する研究」など(昭和39、48、61年度助成)、昭和59年度日本化学会学会賞
	名古屋大学 石井義郎教授 「第4族有機金属化合物を用いる開環反応の研究」(昭和41年度助成)、昭和47年有機合成化学協会協会賞
	早稲田大学 土田英俊教授 「高分子金属錯体触媒の開発——特に酸化還元触媒としての応用」など(昭和42、49、56、59、平成2年度助成)、昭和60年日本化学会学術賞
	横浜国立大学 佐藤菊正教授 「 π -アリアル型遷移金属錯体の有機合成への応用」など(昭和44、49、54年度助成)、昭和61年有機合成化学協会協会賞
	九州大学 村上幸人教授 「含窒素複素環型配位子を用いた金属錯体の触媒化学的研究」など(昭和44、52、60

年度助成)、昭和62年日本化学会学会賞
名古屋大学 佐々木正教授
「ヘテロ環化学の基礎的研究」など(昭和44、54年度助成)、昭和54年日本化学会
会賞
東京工業大学 山本明夫教授
「有機遷移金属錯体による二酸化炭素の固定」(昭和47年度助成)、昭和60年日本
化学会学会賞
東京工業大学 辻二郎教授
「ブタジエンテロマーを用いる有機合成反応の研究」など(昭和54、57年度助成)、
昭和63年有機合成化学協会協会賞
京都大学 庄野達哉教授
「高度活性新亜鉛化合物を触媒とする有用生理活性化合物の新合成法」など(昭和
55、58年度助成)、昭和60年日本化学会学会賞
京都大学 野崎一教授
「有機ケイ素・アルミニウム化合物を用いる選択的合成」など(昭和56、59年度助
成)、昭和48年日本化学会学会賞、昭和61年日本学士院賞
三重大学 藤沢有教授
「ハロイミニウム塩を用いる高選択的有機合成反応の開発」など(昭和57、平成2年
度助成)、昭和62年有機合成化学協会協会賞
広島大学 小倉文夫教授
「プロパノン-1, 3-ジスルホン酸誘導体の有機合成反応への利用」(昭和57年
度助成)、平成3年日本化学会学術賞

高分子化学

九州大学 田中武英教授
「ポリウレタン系ゴム合成に関する研究」など(昭和20、35、40、50年度助成)、昭和
52年高分子学会高分子科学功績賞、昭和56年日本化学会オーエンスレーガー賞
成蹊大学 岩倉義男教授
「反応性高分子に関する研究」など(昭和33、39、53年度助成)、昭和42年日本化学
会学会賞
名古屋工業大学 浅見柳三教授
「立体特異性アニオン重合反応に関する研究」など(昭和33、39年度助成)、昭和
58年日本化学会学術賞
早稲田大学 篠原功教授
「重合体の化学構造と静電気現象に関する研究」など(昭和33、44、52、56年度助成
)、昭和52年高分子学会高分子科学功績賞
東京大学 御園生晃教授
「アルデヒド類の選択的低重合」など(昭和35、43年度助成)、昭和44年日本化学
会学会賞
九州大学 高柳素夫教授
「高分子の結晶延伸方式に関する研究」など(昭和36、44、53年度助成)、昭和54年
日本化学会学会賞、昭和54年高分子学会高分子科学功績賞
北海道大学 相馬純吉教授
「E S Rによる弗素樹脂の機械的破壊で生じた有機基に関する研究」など(昭和
36、48、60年度助成)、昭和59年高分子学会高分子科学功績賞
信州大学 松崎啓教授
「C-13 NMRスペクトロメトリーによる高分子化合物の構造に関する研究」
など(昭和38、48、61年度助成)、昭和58年高分子学会高分子科学功績賞
横浜国立大学 垣内弘教授
「環状化合物の開環重合に関する基礎研究」など(昭和39、43、47、53、56年度助成)、
昭和60年高分子学会高分子科学功績賞
東京工業大学 畑敏雄教授
「接着剤への応用を目的とする高分子メルトの物性研究」(昭和40年度助成)、昭
和51年高分子学会高分子科学功績賞
東京大学 浅原照三教授
「塩化ビニルのオリゴマーの研究」など(昭和41、45年度助成)、昭和46年日本化学
会学会賞
東京大学 鶴田禎二教授
「炭酸ガスを直接原料とする新高分子材料の合成研究」など(昭和41、46年度助成
)、昭和51年日本化学会学会賞
東京工業大学 山崎升教授
「無水有機溶媒中の電解還元とアニオンの重合活性」など(昭和41、51、53年度助成

-)、昭和57年高分子学会高分子科学功績賞
 北海道大学 金子元三教授
 「高分子の溶媒効果の研究」(昭和41年度助成)、昭和58年高分子学会高分子科学功績賞
 東京工業大学 大河原信教授
 「高分子反応による高分子の改質研究」(昭和41年度助成)、昭和60年高分子学会高分子科学功績賞
 金沢大学 金子曾政教授
 「熱硬化性樹脂の硬化過程の研究」(昭和41年度助成)、昭和52年高分子学会高分子科学功績賞
 東北大学 村上謙吉教授
 「グラフトおよびブロック高分子の動的粘弾性」など(昭和44、58年度助成)、昭和62年高分子学会高分子科学功績賞
 名古屋大学 永沢満教授
 「星型高分子の合成と溶液物性およびその粘弾性」など(昭和45、46年度助成)、昭和54年高分子学会高分子科学功績賞
 名古屋大学 山下雄也教授
 「共重合に関する研究」など(昭和47、59年度助成)、昭和58年日本化学会学会賞
 金沢大学 隅田弘教授
 「光学活性イオン交換樹脂の合成とそれによるラセミ体の光学分割」(昭和47年度助成)、昭和61年高分子学会高分子科学功績賞
 東京工業大学 池田朔次教授
 「二酸化炭素および二硫化炭素を一成分とする共重合反応」(昭和50年度助成)、昭和56年高分子学会高分子科学功績賞
 東京大学 井上祥平教授
 「新触媒による分子量の制御された高分子の合成」など(昭和51、58、61年度助成)、平成2年日本化学会学会賞
 京都大学 稲垣博教授
 「濃厚溶液中における異種高分子の相互作用に関する研究」(昭和57年度助成)、昭和61年高分子学会高分子科学功績賞
 京都大学 橋本竹治助教授
 「高分子アロイの相分離構造に関する分子論的研究並びにその機能性高分子膜開発への応用に関する研究」など(昭和58、62年度助成)、昭和60年高分子学会学会賞
 東京工業大学 曾我和雄教授
 「エチレン-プロピレンゴムの新規製造方法」(昭和58年度助成)、昭和60年高分子学会学会賞
 東京工業大学 遠藤剛助教授
 「非収縮性モノマーの合成と反応性に関する研究」(昭和59年度助成)、平成2年日本化学会学術賞
 東京工業大学 中浜精一教授
 「活性シリル基を含む新しいブロック共重合体の合成と有機-無機界面接合への応用」(昭和62年度助成)、昭和63年高分子学会学会賞
 岩手大学 森邦夫教授
 「複合化を目的としたフッ素ゴムの新架橋系の開発」(平成2年度助成)、平成3年日本化学会オーエンスレーガー賞

機能性材料

- 東京工業大学 鈴木周一教授
 「生物電気化学センサーの開発に関する基礎研究」など(昭和45、51年度助成)、平成3年電気化学協会功績賞、昭和54年日本化学会学会賞
 九州大学 国武豊喜教授
 「フルオロアルキル二分子膜の合成とその応用」など(昭和49、57、60年度助成)、昭和53年高分子学会学会賞
 東京大学 妹尾学教授
 「分子配向性材料の合成と機能開発に関する研究」など(昭和51、61年度助成)、昭和63年日本化学会学会賞
 京都大学 清水剛夫助教授
 「選択的輸送能、電導能ならびに可視光増感触媒能を有する機能分子」など(昭和55、60年度助成)、昭和62年日本化学会学術賞
 早稲田大学 西出宏之助教授
 「高分子希土類元素錯体の合成と磁氣的性質に関する研究」(昭和59年度助成)、

平成元年高分子学会学会賞
九州大学 梶山千里教授
「液晶特性を利用した高分子-液晶複合薄膜の分子篩機能に関する研究」(昭和61年度助成)、平成2年日本化学会学術賞

生物化学

慶応義塾大学 梅沢純夫教授
「環状アミノ酸類の合成」(昭和43年度助成)、昭和55年日本学士院賞
東京大学 三浦謹一郎教授
「タンパク質合成の効率化の研究」など(昭和59、62年度助成)、昭和63年日本学士院賞
長崎大学 砂本順三教授
「リボソームの人工細胞としての機能向上に関する研究」など(昭和59、62年度助成)、昭和60年日本化学会学術賞

表3-7-3 化学工学分野における研究助成と受賞一覧

京都大学 水科篤郎教授
「管内流れにおける非定常輸送現象の研究」ほか9件(昭和33, 35, 36, 38, 40, 42, 44, 46, 48, 53年度助成)、昭和60年受賞
東北大学 大谷茂盛教授
「乾留過程における石炭層の熱物性値測定」ほか4件(昭和38, 43, 49, 51, 59年度助成)、昭和63年受賞
東京大学 宮内照勝教授
「塩類水溶液における水結晶の生長速度に関する研究」ほか3件(昭和38, 43, 47, 54年度助成)、昭和63年受賞
東京大学 国井大蔵教授
「充填層反応装置の温度分布と安定性」ほか4件(昭和39, 44, 49, 52, 55年度助成)、昭和60年受賞
東京大学 井上博愛教授
「反応装置の過渡応答ならびに周波数応答に関する研究」ほか3件(昭和40, 50, 56, 63年度助成)、昭和43, 平成元年受賞
北海道大学 田中達夫教授
「粉粒体供給流量自動制御装置の試作研究」(昭和40年度助成)、昭和62年受賞
東北大学 只木積力教授
「化学蒸気析出反応器に関する基礎的研究」ほか2件(昭和41, 45, 56, 63年度助成)、平成2年受賞
名古屋大学 白戸紋平教授
「ニュートン流体および非ニュートン流体系固液混合物の濾過・圧搾に関する工学的研究」ほか2件(昭和41, 50, 54年度助成)、昭和61年受賞
東北大学 斎藤正三郎教授
「重合反応器の化学工学的研究」ほか3件(昭和42, 48, 52, 58, 平成2年度助成)、平成元年受賞
早稲田大学 平田彰教授
「高温反応に関する化学工学的研究」ほか3件(昭和42, 49, 57, 平成元年度助成)、昭和47年受賞
名古屋大学 神保元二教授
「粉体付着力の測定方法の開発」ほか2件(昭和43, 53, 63年度助成)、平成元年受賞
京都大学 佐田栄三教授
「異相間の物質移動に付随する界面攪乱およびその物質移動速度への影響」ほか2件(昭和46, 54, 60年度助成)、平成2年受賞
早稲田大学 豊倉賢教授
「反応晶析装置設計法の開発に関する研究」ほか2件(昭和46, 54, 61年度助成)、平成3年受賞
東京都立大学 平田光穂教授
「水素を含む系の高圧気液平衡関係」ほか1件(昭和46, 55年度助成)、昭和60年受賞

東京大学 河添邦太郎教授
「多孔性触媒に関する反応工学的研究」(昭和48年度助成)、昭和61年受賞

九州工業大学 東谷公講師
「非ニュートン流体流動物性の基礎的研究」(昭和49年度助成)、昭和58年受賞

早稲田大学 酒井清孝助教授
「火炎の吹き替え限界に及ぼすスワラの影響」(昭和50年度助成)、平成3年受賞

横浜国立大学 若尾法昭教授
「超臨界溶媒の溶解力を利用した固体面上への被膜形成や微粒子製造の研究」ほか1件(昭和53,平成2年度助成)、平成3年受賞

京都大学 桐栄良三教授
「食品の噴霧乾燥における芳香成分の散失と品質劣変の解析と防止」(昭和56年度助成)、昭和60年受賞

九州大学 村上泰弘教授
「高粘度系掻取り型薄膜蒸留装置の流動特性」(昭和57年度助成)、平成元年受賞

京都大学 高松武一郎教授
「回分式化学プロセスの電算機援用設計および操作に関する研究」(昭和58年度助成)、昭和62年受賞

大阪大学 片山俊教授
「静電液液抽出装置の研究」(昭和62年度助成)、平成元年受賞

大阪大学 伊藤龍象教授
「電気泳動による希土類連続分類法の開発」(平成元年度助成)、平成2年受賞

4. その他事業

表3-8-1に旭硝子工業技術奨励会の、表3-8-2に旭硝子財団の国際会議助成一覧を示した。名称は、昭和36年度～52年度においては「寄付金」、昭和53年度～平成元年度においては「施設助成」、平成2年度以降において「国際会議助成」と変遷した。

表3-9-1に旭硝子工業技術奨励会の、表3-9-2に旭硝子財団の海外研究発表助成一覧を示した。名称は、昭和36年度～53年度においては「海外調査費」、昭和54～平成2年度においては「調査助成」、平成3年度以降においては「海外研究発表助成」である。

表3-10に旭化学工業奨励会から旭硝子工業技術奨励会、旭硝子財団までの研究報告の発刊一覧を示した。

表3-8-1 国際会議助成一覧（旭硝子工業技術奨励会）

昭和36年度

No.	助成年月日	件名
1	36. 8. 8	秋田大学鉱山学部50周年記念事業鉱物博物館設立資金
2	37. 1. 20	東京大学浜田教授還暦記念事業費
計		2件 250千円

昭和37年度

No.	助成年月日	件名
1	37. 4. 30	北海道大学工学部拡充寄付金
2	38. 3. 11	成蹊学園創立50周年記念事業
3	38. 3. 12	早稲田大学創立80周年記念事業
計		3件 13,500千円

昭和38年度

No.	助成年月日	件名
1	38. 9. 6	九州大学50周年記念会
2	38. 9. 30	横浜国立大学工学部施設拡充資金
3	38.11. 1	成蹊学園工学部新設資金
4	39. 3. 31	東京大学機械工学部拡充資金
計		4件 20,000千円

昭和39年度

No.	助成年月日	件名
1	39. 4. 1	神戸大学工学部施設拡充資金
2	39. 7. 11	東京大学応用化学系教室拡充資金
3	39. 7. 14	東京大学工学部建設三学科拡充後援会資金
4	39. 8. 31	日本極地研究センター設立基金
5	39.10. 8	東京工業大学総合研究館建設事業
6	39.10.19	東京大学機械工学科拡充後援会
7	40. 1. 29	青山学院90周年記念事業理工学部新設寄付金
計		7件 8,250千円

昭和40年度

No.	助成年月日	件名
1	40. 6. 11	1966年国際ガラス会議(第1回寄付金)
2	40. 7. 1	日本化学会教育委員会カミセシ-援助金
3	40. 8. 30	1966年国際ガラス会議(第2回寄付金)
4	40. 9. 20	東京工業大学総合研究館建設事業資金
5	41. 3.	東京大学機械工学科拡充後援会
計		5件 6,100千円

昭和41年度

No.	助成年月日	件名
1	41. 6. 2	京都大学理学部化学教室創立70周年記念
2	41. 6. 27	山梨大学工学部40周年記念
3	41. 9. 20	桐蔭学園
計		3件 3,000千円

昭和42年度

No.	助成年月日	件名
1	42. 6. 14	計測自動制御学会国際会議参加費補助
2	42. 7. 1	大阪大学基礎工学部設備充実資金
3	42. 9. 29	国際基督教大学創立15周年記念
計		3件 1,540千円

昭和43年度

No.	助成年月日	件名
1	43. 5. 31	大阪大学工学部応用化学科施設整備費
2	43. 6. 29	東京大学生産技術研究所応用化学系研究室施設拡充費
3	43. 6. 29	京都工芸繊維大学学部統合整備費

4	43. 7. 19	名古屋大学工学部応用化学科 教育設備拡充費
5	43. 8. 20	大河内記念会15周年記念事業 費
6	43. 10. 14	日米セミナー(窯業協会基礎科学 部会主催)
計		6件 4,050千円

昭和44年度

No.	助成年月日	件名
1	44. 4. 16	北海道大学応用物理科研究室 整備費
2	44. 11. 29	京都大学創立70周年記念事業 賛助費
計		2件 5,500千円

昭和45年度

No.	助成年月日	件名
1	45. 5. 22	貿易研修センター基金援助費
2	45. 6. 25	仁科記念財団事業拡充賛助費
3	45. 7. 30	ISNA国際会議
4	45. 12. 15	日本ドクメンテーション協会創立20周 年記念事業賛助費
5	46. 3. 10	慶応義塾大学工学部日吉復帰 再建資金援助費
計		5件 9,100千円

昭和46年度

No.	助成年月日	件名
1	46. 5. 14	材料国際会議
2	46. 8. 9	粘土有機複合体に関する日米 セミナー
3	47. 2. 3	日米セミナー(窯業協会基礎科学 部会主催)
計		3件 1,200千円

昭和47年度

No.	助成年月日	件名
1	47. 5. 9	第5回国際金属腐食会議
計		1件 300千円

昭和48年度

No.	助成年月日	件名
1	49. 3. 12	第4回結晶成長国際会議
2	49. 3. 12	第15回国際燃焼シンポジウム
計		2件 500千円

昭和49年度

No.	助成年月日	件名
1	49. 7. 19	日米電気化学セミナー(電気化学 協会主催)
計		1件 100千円

昭和50年度

No.	助成年月日	件名
1	50. 6. 20	1975年ミシシッピ国際会議(日本 学術振興会主催)
2	50. 12. 4	第8回国際弗素化学シンポジウム (日本学術振興会主催)
計		2件 1,650千円

昭和51年度

No.	助成年月日	件名
1	51. 5. 31	井上春成賞寄付金
2	51. 6. 7	第8回国際炭化水素シンポジウム (日本学術振興会主催)
3	51. 12. 23	第5回国際超高压電子顕微鏡学 会議(日本学術振興会主催)
4	52. 1. 24	第5回国際熱分析学会議(日本 学術振興会主催)
5	52. 1. 7	窯業協会特別基金初年度分担 金
計		5件 5,800千円

昭和52年度

No.	助成年月日	件名
1	52. 4. 22	井上春成賞寄付金(前年分)
2	52. 7. 25	第26回国際純正応用化学連合 化学会議(日本学術振興会主 催)
3	52. 12. 2	セラミックスのキャラクター-ション研究連 絡委員会
4	53. 1. 20	窯業協会特別基金第2年度分 担金
5	53. 1. 24	第16回窯業基礎討論会(窯業 協会主催)
6	53. 3. 16	井上春成賞寄付金(本年分)
7	53. 3. 29	焼結国際会議「酸化物、非 酸化物系セラミックスのち密化焼 結の諸因子の研究」
8	53. 3. 29	第3回日米電気化学セミナー(電気 化学協会主催)
9	53. 3. 29	粉状体力学日米セミナー(日本学 術振興会主催)
計		9件 7,250千円

昭和53年度

No.	助成年月日	件名
1	53. 8. 8	第1回液体微粒化国際会議
2	53. 8. 22	第6回国際生物物理学会議
3	53. 10. 10	東京地学協会創立100周年記念事業
4	53. 12. 27	筈業協会特別基金第3年度分
5	54. 3. 22	第4回井上春成賞寄付金
計		5件 5,500千円

昭和54年度

No.	助成年月日	件名
1	54. 5. 31	第3回量子化学会議
2	54. 11. 20	第3回固体電解質国際会議
3	54. 12. 25	筈業協会特別基金(第4回)
4	55. 2. 8	現地教科書発行費の一部寄付(国際学術振興会)
5	55. 2. 13	第7回CODATA国際会議
6	55. 3. 14	第5回井上春成賞寄付金
計		6件 6,050千円

昭和55年度

No.	助成年月日	件名
1	55. 5. 16	第15回半導体国際会議(日本物理学会主催)
2	55. 12. 23	第6回国際酵素工学会議
3	56. 2. 5	筈業協会特別基金
4	56. 3. 12	第6回井上春成賞寄付金
計		4件 5,450千円

昭和56年度

No.	助成年月日	件名
1	56. 4. 22	第9回国際原子分光学会議/第22回国際分光学会議
2	56. 6. 1	粉体工学国際会議
3	56. 6. 18	日本材料学会創立30周年記念事業
4	56. 11. 11	第5回年代・同位体国際会議
5	56. 12. 16	高分子学会設立30周年記念事業
6	57. 2. 22	水熱反応国際会議
7	57. 3. 15	第7回井上春成賞寄付金
計		7件 1,390千円

昭和57年度

No.	助成年月日	件名
1	57. 5. 4	第4回有機合成化学国際会議(日本化学会主催)
2	57. 5. 4	第1回溶融塩化学・技術に関する国際会議

3	57. 5. 4	(電気化学協会主催)第7回井上春成賞寄付金(追加分)
4	57. 7. 21	九州大学国際ソポゾウム「有機反応機構の現状と将来」
5	57. 7. 21	第6回溶質溶媒相互作用に関する国際会議(日本分析学会主催)
6	57. 8. 16	国際人間工学会第8回国際
7	57. 11. 18	第4回国際流動層会議(化学工学協会主催)
8	58. 2. 8	第3回アイソトープ国際会議
9	58. 2. 18	吉沢四郎先生退官記念事業会募金
10	58. 3. 1	第10回フェルマッスおよび液体半導体国際会議(日本物理学会主催)
11	58. 3. 7	化学センター国際会議
12	58. 3. 15	第8回井上春成賞寄付金
13	58. 3. 18	第3回日ソソ素化学セミナー(ソ素化学懇談会主催)
計		13件 2,550千円

昭和58年度

No.	助成年月日	件名
1	58. 4. 28	第3回国際電気泳動学会
2	58. 6. 30	水素イソトープソ素国際ソポゾウム(水素イソトープソ素研究会主催)
3	58. 6. 30	第4回水-岩石相互作用国際集会
4	58. 10. 20	日中心臓病ソポゾウム(日本民間学術振興財団主催)
5	58. 12. 22	第4回国際乾燥工学ソポゾウム(化学工学協会主催)
6	59. 1. 19	第3回国際天文学連合ソポゾウム太平洋地域会議
7	59. 1. 26	第14回国際希薄気体力学ソポゾウム
8	59. 3. 15	第9回井上春成賞寄付金
9	59. 3. 19	第7回国際有機ソ素化学会議(日本化学会主催)
計		9件 2,000千円

昭和59年度

No.	助成年月日	件名
1	59. 4. 23	古川淳二先生叙勲祝賀講演会
2	59. 5. 10	高分子研究助成会運営資金援助
3	60. 2. 6	第2回日中放射線化学ソポゾウム(日本放射線化学会主催)
4	60. 2. 20	第3回有機合成指向有機金属化学国際会議
5	60. 3. 1	第4回ソポゾウム太平洋防食会議
6	60. 3. 5	東京工業大学工業材料研究所創立50周年記念事業寄付金
7	60. 3. 20	第10回井上春成賞寄付金
計		7件 1,850千円

昭和60年度

No.	助成年月日	件名
1	60. 6. 20	窯業協会基礎科学部会創立20周年記念講演会
2	60. 6. 20	第3回リチウム電池国際集会(電気化学協会主催)
3	60. 7. 18	第3回世界化学工学会議(化学工学協会主催)
4	60. 7. 24	公益法人協会税制対策事業活動協力金
5	61. 1. 8	第4回ケルゲルガラス結晶化ガラス国際ワークショップ
6	61. 2. 13	合成金属の科学と技術に関する国際会議
7	61. 3. 13	第5回均一系触媒国際会議(近畿化学協会主催)
8	61. 3. 13	有機電解合成国際会議(日本化学会主催)
9	61. 3. 13	第11回井上春成賞寄付金
計		9件 2,520千円

昭和61年度

No.	助成年月日	件名
1	61. 4. 1	山内俊吉先生の米寿を祝う会
2	61. 6. 9	第6回非晶体物理国際会議
3	61. 8. 1	第3回ソビエトの科学と技術の国
4	61. 9. 19	第3回日ソ分析化学シンポジウム
5	61. 11. 10	国際生物学賞基金寄付金
6	62. 3. 9	第1回ヘロ原子化学国際会議
7	62. 3. 16	第12回井上春成賞寄付金
8	62. 3. 18	第18回低温物理学国際会議
9	62. 3. 20	第2回耐火物国際会議(耐火物協会主催)
計		9件 3,000千円

昭和62年度

No.	助成年月日	件名
1	62. 4. 13	助成財団資料センター寄付金
2	62. 9. 17	第5回フログラフ国際会議
3	62. 10. 19	第23回 Dr. G. Wagener Memorial Lecture
4	63. 1. 25	国際シンポジウム"Fast Excitation Processes"
5	63. 1. 25	第5回ハイトガラス国際シンポジウム
6	63. 2. 22	第40回国際電気化学会
7	63. 3. 2	"Richard M. Fulrath Pacific Award" 基金
8	63. 3. 2	新素材パックス国際シンポジウム
9	63. 3. 14	国際シンポジウム「大型光学系赤外望遠鏡とその技術開発」
10	63. 3. 14	"Phase Equilibria Program" (The American Ceramic Society, Inc. 主催)
11	63. 3. 14	助成財団資料センター-法人化基金寄付金
計		11件 4,205千円

昭和63年度

No.	助成年月日	件名
1	63. 5. 6	第6回界面およびコロイド科学国際会議
2	63. 5. 16	第13回井上春成賞寄付金
3	63. 9. 13	国際シンポジウム「半導体の欠陥の認識と画像処理」
4	63. 9. 21	助成財団資料センター-寄付金
5	63. 10. 5	第37回高分子討論会
6	63. 10. 5	第4回エレクトロニクス国際ワークショップ
7	63. 10. 11	第2回人工心臓国際シンポジウム
8	63. 10. 11	第10回国際酵素工学会議
9	63. 10. 12	第40回国際電気化学会
10	63. 10. 20	日中CO ₂ 利用シンポジウム
11	63. 12. 13	"Phase Equilibria Program" (The American Ceramic Society 主催) (第2年度分)
12	1. 2. 6	第6回国際不動態会議「金属および半導体のハッチャーソフに関する国際会議」
13	1. 3. 3	第9回結晶成長国際会議
14	1. 3. 16	第14回井上春成賞寄付金
計		14件 4,387千円

平成元年度

No.	助成年月日	件名
1	1. 5. 30	第7回固体イオン国際会議(国際科学振興財団主催)
2	1. 6. 21	第1回機能性色素化学国際会議
3	1. 8. 8	国際太陽エネルギー会議1989神戸
4	1. 10. 5	生産科学研究奨励会賛助会費
5	1. 10. 24	国際シンポジウム「集積反応場の多元機能の開発」
6	1. 11. 24	日中助成財団セミナー
7	1. 11. 25	"Topical Meeting on Glass for Optoelectronics" (日本セラミックス協会主催)
8	2. 2. 7	第3回日英最先端研究討論会「均一系触媒と有機金属化学」
9	2. 3. 5	第4回疲労国際会議(FATI-GUE 90)
10	2. 3. 5	国際シンポジウム「微細孔を有する結晶の化学(CMPC)」
11	2. 3. 13	第15回国際炭水化合物シンポジウム
12	2. 3. 13	トレスアナリクス国際シンポジウム
13	2. 3. 19	第15回井上春成賞寄付金
14	2. 3. 19	第13回IUPAC光化学会議(日本化学会主催)
計		14件 2,550千円

表3-8-2 国際会議助成一覧(旭硝子財団)

国際会議助成の記載年度は、平成4年度までである。

平成2年度

No.	助成 年月日	助成先代表者		件 名	
		所 属	職名・氏名	開催日・開催地	会 議 名
(物質・材料)					
1	2. 6. 25			3. 7. 15~17 フラインセミックスセンター	第5回セミックスの破壊力学国際会議
2	2. 7. 6			2. 7. 16~21 京都私学会館	国際溶媒抽出会議
3	2. 7. 30			2. 9. 24~29 京都市平安会館	第5回高分子機能・反応国際会議
4	2. 8. 14			2. 8. 20~22 東京KKR竹橋	日米科学協力事業セミナー(高度機能性セミックス等)
5	2. 8. 19			2. 11. 7~9 久留米リサーチセンター	第4回国際エラストマーセミナー
6	2. 10. 30			2. 11. 15~16 後楽園会館	「異種材料界面および接合」シンポジウム(日中科学技術交流協会主催)
7	2. 11. 8			2. 12. 3~7 東京工大百年記念館	先端材料の固体化学に関する国際シンポジウム
8	2. 11. 8			2. 11. 26~30 都ホテル	第5回太陽光発電国際会議
9	2. 11. 19			2. 12. 13~14 川崎KSPホール	国際シンポジウム「非晶質シリカ系材料中の不完全構造」
10	2. 12. 19	東京工業大学工学部電子工学科	教授 高橋 清	3. 7. 14~17 名古屋国際会議場	第7回気相成長・エピタキシー国際会議
11	3. 2. 15			3. 4. 15~19 大阪サンパレスホテル	慣性核融合用エネルギーデバイスに関する技術会議
12	3. 3. 4	京都大学工学部合成化学科	講師 中条 善樹	3. 11. 30~12. 1 都ホテル	新しい高分子に関する国際会議(IUPAC主催)
13	3. 3. 14	東北大学工学部電子工学科	助教授 高橋 研	3. 3. 5~8 仙台ホテル佐勘	3d遷移金属-半金属薄膜国際シンポジウム
14	3. 3. 25	東京大学工学部工業化学科	教授 合志 陽一	3. 8. 25~31 幕張メッセ	1991国際分析科学会議(IUPAC主催)
(ライフサイエンス)					
15	2. 9. 4			2. 9. 13~22 大阪城ホール	第15回国際微生物学会議
16	2. 9. 18			2. 9. 26~27 京大会館	第6回日独酵素工学ワークショップ
17	3. 2. 15	東京大学海洋研究所海洋生物部門	教授 平野 哲也	3. 8. 25~30 都立大新キャンパス	第3回国際比較生理生化学会議

18	3. 3. 25	東京大学工学部 化学工学科	教授 古崎新太郎	4. 4. 12~15 横浜市	77太平洋生物化学工学会議
(環境)					
19	3. 3. 25	千葉大学	名誉教授 鈴木 伸		大気汚染に関する日中シンポジウム (日中科学技術交流協会主催)
(人文社会)					
20	2. 10. 31	(財)ヒューマンハーバ-	小田 全宏	2. 12. 1~2 幕張メッセ	第1回地球・人間リソース会議
21	3. 2. 15	東京大学医学部 公衆衛生学教室	教授 荒記 俊一	3. 7. 8~11 東大山上会館	ICOH-WHO-IL0第4回国際神経・精神・行動学会議
22	3. 2. 15			3. 7. 5~7 東大山上会館	国際シンポジウム「行動科学—健康問題の解明と解決に果たす役割—」
(その他)					
23	2. 7. 6				生産科学研究奨励会平成2年度賛助会費
24	2. 9. 17				公益法人協会年会費
計 24件 5,872千円					

平成3年度

No.	助成 年月日	助成先代表者		件 名	
		所 属	職名・氏名	開催日・開催地	会 議 名
(物質・材料)					
1	3. 4. 22	大阪大学 (議長)	名誉教授 小泉 光恵	3. 6. 10~14 大阪	第3回H I P (熱間等方加圧圧縮法) 国際会議
2	3. 5. 27	東京工業大学 (世話人)	教授 鯉沼 秀臣	軽井沢	International Workshop on Chemical Designing and Processing of High Tc Superconductors
3	3. 6. 25	東京大学工学部 (実行委員長)	助教授 河本 邦仁	横浜	(社)日本セラミックス協会創立100周年記念事業
4	3. 8. 2	東北大学理学部 (組織委員長)	教授 鈴木 謙爾	仙台	第5回非結晶物質の構造に関する国際会議
5	3. 8. 28	東京大学工学部 (組織委員長)	教授 金原 燦	東大	第1回原子スケール制御表面・界面国際シンポジウム
6	3. 8. 28	近畿大学 (組織委員長)	教授 石橋 信彦	熊本	第5回フローアナリシス国際会議
7	3. 9. 11	九州大学 (組織委員長)	教授 谷口 宏	九大	第4回物理有機化学九州国際会議
8	3. 10. 2	西東京科学大学 (日本MRS会長)	理工学部長 宗宮 重行	川崎	MRS-Japan Meeting on Advanced Ceramics IV

9	3.10.2	東北大学 (会議代表)	教授 松田 実	仙台国際センター	第5回日本・ベルギー高分子科学セミナー
10	4.3.6	北海道大学 (組織委員長)	教授 市川 勝	アカデミー市ヶ谷	第7回均一系不均一系国際触媒会議
11	4.3.6	東北大学 (実行委員長)	教授 小松原武美	仙台	f電子系の重い電子物理と強相関物性の国際会議
12	4.3.6	東京大学理学部 (組織委員長)	教授 黒田 晴雄	神戸	第7回X線吸収微細構造国際会議
13	4.3.6	東京農工大学 (運営委員長)	教授 小林 駿介	広島国際会議場	第12回ディスプレイ国際会議(JAPAN DISPLAY '92)
14	4.3.6	三重大学 (委員会代表)	助教授 森 定雄	犬山	第5回高分子分析・特性解析国際会議(ISPAC-5)
15	4.3.6	京都大学 (組織委員長)	教授 生越 久靖	京都ハイアットホテル	第7回分子認識と包接に関する国際シンポジウム第7回有機合成国際会議
16	4.3.6	相模中央研究所 (組織委員長)	所長 近藤 聖	横浜神奈川県民ホール	第7回有機合成国際会議
(ライフサイエンス)					
17	3.7.31	東北大学薬学部 (組織委員長)	教授 金子 主税	仙台	第18回核酸化学シンポジウム
18	4.1.23	東京大学 (募金委員長)	教授 濱田 博司	東京ガーデンパレスホテル	International Symposium on Gene Regulation
19	4.3.6	食品総合研究所 (募金委員長)	主任研究員 西成 勝好	横浜パシフィコ	第8回国際バイオレオロジー会議シンポジウム
20	4.3.6	京都大学 (募金委員長)	教授 上野 民夫	国立京都国際会議館	医学生物学環境化学質量分析国際会議
21	4.3.6	北里大学 (組織委員長)	教授 井村 伸正	つくば研究交流センター	第3回メタロチオネイン国際会議
(環境)					
22	3.6.7	(社)環境情報科学センター	理事長 松井 健	東京	グランドワーク日英交流プロジェクト
23	3.6.25	ワールドウッチャップン		東京	レスター・ブラウン氏の地球環境講演会
24	3.6.25	千葉大学 (実行委員長)	名誉教授 鈴木 伸	東京	大気汚染に関する日中シンポジウム
25	3.9.30			昭和女子大学	国際シンポジウム東京会議「もうひとつの冒険・・・グリーン・マウンテン」
26	4.3.6	組織委員会 (委員長)	和達 清夫	国立京都国際会議館	第29回万国地質学会議
27	4.3.6	東大海洋研究所 (組織委員長)	教授 小林 和男	東大海洋研究所	第2回アジア海洋地質会議

(人文社会)					
28	3. 9. 30	(財)国際文化会館	理事長 永井 道雄	国際文化会館	東京・ニューヨーク・パリ大都市研究会議「都市のグローバルシステム1950～2020」東京会議
計 28件 8,550千円					

平成4年度

No.	助成 年月日	助成先代表者		件 名	
		所 属	職名・氏名	開催日・開催地	会 議 名
(物質・材料)					
1	4. 5. 20	名古屋大学 理学部	教授 野依 良治	4. 7. 30～8. 2 名古屋三の丸会館	第6回日韓有機化学セミナー
2	4. 7. 24	京都大学 工学部 石油化学教室	教授 山邊 時雄	4. 9. 15～9. 18 基礎化学研究所 (京都)	第2回日中理論化学シンポジウム
3	4. 9. 25	東京大学 理学部	教授 岩村 秀	4. 10. 25～10. 30 日本化学会化学会 館ホール	分子性磁性体の科学国際シンポジウム
4	4. 9. 25	京都大学 化学研究所	教授 作花 濟夫	4. 10. 28～10. 30 京都私学会館	ガラスの構造と生成に関する日中国際セミナー
5	4. 12. 3	名古屋大学	名誉教授 白戸 紋平	5. 5. 18～5. 21 名古屋国際会議場	第6回世界濾過会議
6	5. 2. 24	東京大学 理学部	教授 田隅 三生	5. 3. 23～3. 25 東京大学山上会館	先端赤外分光国際シンポジウム
7	5. 2. 24	神奈川科学技術アカデミー	専務理事 額田 健吉	5. 5. 31～6. 4 パシフィコ横浜	第2回化学安全国際会議
8	5. 3. 16	東京工業大学 工学部 電気・電子工学科	教授 高橋 清	5. 6. 7～6. 10 パシフィコ横浜	第7回固体センサ国際会議
9	5. 3. 16	九州大学 工学部 応用物質化学科	教授 村上 幸人	5. 6. 6～6. 10 福岡サンパレス	第2回国際生物有機化学シンポジウム
(ライフサイエンス)					
10	4. 7. 24	岡崎国立研究機構 基礎生物学研究所	教授 村田 紀夫	4. 8. 30～9. 5 名古屋国際会議セ ンター	第9回国際光合成会議
11	4. 12. 25	金沢大学 医学部	教授 東田 陽博	5. 1. 12～1. 15 早稲田大学国際会 議場	ニューヨーク科学アカデミー東京会議
12	5. 1. 30	横浜国立大学 工学部	教授 矢野 俊正	5. 5. 23～5. 27 日本コパ・ソニック 国際会議場(幕張)	第6回国際食品工学会議

13	5. 2. 24	東京工業大学 生命理工学部	教授 星 元紀	5. 4. 6～4. 12 神奈川県民ホール	第1回卵外被と胚外被の分子生物学と細胞生物学国際シンポジウム
14	5. 3. 16	東京大学 農学部 農芸化学科	教授 高木 正道	5. 6. 13～6. 17 大学セミナーハウス (八王子市)	第2回微生物と植物のチトクロームP450に関する国際シンポジウム
15	5. 3. 16	京都大学 医学部 附属免疫研究施設	教授 中西 重忠	5. 4. 5～4. 7 京都国際会館/ 京大会館	京都ハイサイエンス・シボジウム：第7回神経と細胞の情報伝達分子生物学
(情報)					
16	4. 7. 10	九州産業大学 理学部	教授 伊藤 正美	4. 8. 25～8. 28 京都産業大学神山 ホール	第2回語、言語および組み合わせ論国際研究集会
(環境)					
17	4. 9. 25	お茶の水女子大学 理学部	教授 内嶋善兵衛	4. 10. 13～10. 17 研究交流センター (つくば市)	変動気候下での緑資源と食糧生産に関する国際シンポジウム
18	4. 10. 30	(社)社会経済国民 会議	常務理事 斉藤祐四郎	4. 11. 17～11. 18 東京・ドイツ文化 会館	国際環境・エネルギーシンポジウム — One Future World —
19	5. 3. 16	国立環境研究所	総合研究官 佐竹 研一	5. 3. 8～3. 12 つくば研究交流セ ンター	酸性雨国際ワークショップ
(人文・社会)					
20	4. 9. 25	東京大学 教養学部	助教授 広瀬 久和	4. 11. 11～11. 12 竹橋会館(東京) /清風荘(京都)	オランダ改正民法典国際シンポジウム
21	4. 10. 30	明治学院大学	教授 武者小路 公秀	4. 11. 9～11. 10 山形県長井市ハイマ クスタイル	日本・EC長井国際会議 — EC 統合と日本 —
22	4. 12. 25	早稲田大学 教育学部	教授 鈴木 慎一	5. 1. 8～1. 10 早稲田大学国際会 議場	国際シンポジウム：現代化と教育 改革 — 課題と21世紀へ展望 —
計		22件		8,800千円	

表3-9-1 海外研究発表助成一覧（旭硝子工業技術奨励会）

昭和36年度

No.	助成 年月日	受領者	
		所属・職名	氏名
1	36. 7. 11	東京工業大学 助教授	鈴木 弘茂
2	36. 7. 14	東京大学 教授	牧島 象二
3	36. 7. 17	京都大学 助教授	渡辺 信淳
4	37. 3. 29	東北大学 教授	藤田
計		4件 500千円	

昭和37年度

No.	助成 年月日	受領者	
		所属・職名	氏名
1	37. 5. 10	東京大学 助教授	今岡 稔
2	37. 5. 10	横浜国立大学 教授	高橋健太郎
3	37. 5. 15	横浜国立大学 助教授	桃木 弘三
4	37. 5. 16	東京大学 助教授	吉川 貞雄
5	37. 7. 10	北海道大学 教授	岡本 剛
6	37. 8. 14	東京大学 教授	矢木 栄
7	37. 9. 3	東京工業大学 教授	河嶋 千尋
8	38. 9. 12	東京工業大学 教授	藤岡
9	38. 1. 19	東京工業大学 教授	志田 正二
計		9件 1,200千円	

昭和38年度

No.	助成 年月日	受領者	
		所属・職名	氏名
1	38. 7. 3	九州大学 教授	高柳 素夫
2	38. 7. 22	北海道大学 教授	岡本 剛
3	38.11.12	東京大学 助教授	岸谷 孝一
4	39. 2. 18	理化学研究所 研究員	難波 進
計		4件 450千円	

昭和39年度

No.	助成 年月日	受領者	
		所属・職名	氏名
1	39. 4. 1	東京大学 教授	浅原 照三
2	39. 4. 1	横浜国立大学 教授	篠田 耕三
3	39. 4. 2	京都大学 教授	吉沢 四郎
4	39. 4. 20	東北大学 教授	亀井
5	39. 5. 6	東京大学 教授	淵田
6	39. 6. 1	京都大学 教授	日根 文夫
7	39. 7. 11	東京大学 教授	神山
8	39. 8. 4	東北大学 教授	玉井 康勝
9	39. 8. 31	東京大学 助教授	今岡 稔
10	39.11.12	大阪大学 教授	小泉 光恵
11	39.11.18	東京大学 助教授	湊
計		11件 1,400千円	

昭和40年度

No.	助成 年月日	受領者	
		所属・職名	氏名
1	40. 5. 7	神戸大学 教授	土橋 正二
2	40. 5. 19	東京工業大学 教授	田中 郁三
3	40. 5. 26	東京工業大学 教授	森谷
4	40. 5. 31	東京大学 教授	向坊 隆
5	40. 7. 12	千葉大学 講師	加藤
6	40. 8. 9	資源科学研究所	松井 健浩二
7	40. 9. 22	東京工業試験所 課長	田原
8	41. 3. 24	東京大学 教授	向坊 隆
9	41. 3. 30	北海道大学 教授	岡本 剛
計		9件 1,500千円	

昭和41年度

No.	助成 年月日	受領者	
		所属・職名	氏名
1	41. 5. 18	東京大学 助教授	内田 祥哉
2	41. 6. 2	東京大学 教授	大島 恵一
3	41. 6. 2	東京工業大学 教授	素木 洋一
4	41. 6. 20	東京大学 講師	中平 光興
5	41. 8. 3	東京大学 教授	牧島 象二
6	41. 8. 3	早稲田大学 教授	佐藤 常三
7	41. 8. 12	京都大学 助教授	神野 博
8	41.10.25	東京大学 教授	浅原 照三
9	41.11.29	大阪大学 教授	戸倉仁一郎
10	42. 3. 28	東京大学 教授	山辺 武郎
計		10件	1,450千円

昭和42年度

No.	助成 年月日	受領者	
		所属・職名	氏名
1	42. 6. 7	京都大学 教授	渡辺 信淳
2	43. 2. 12	千葉大学 教授	波多野一郎
3	43. 3. 11	東京大学 助教授	田畑 米穂
4	43. 6. 5	東京工業大学 教授	畑 敏雄
計		4件	1,250千円

昭和43年度

No.	助成 年月日	受領者	
		所属・職名	氏名
1	43. 4. 6	东北大学 教授	岩崎 広次
2	43. 4. 16	東京大学 教授	大島 恵一
3	43. 6. 5	大阪大学 教授	小泉 光恵
4	43. 7. 2	東京工業大学 教授	畑 敏雄
5	43. 9. 2	和光大学 助教授	剣持 日令
6	43.10. 3	東京工業大学 助教授	長滝 重義
7	44. 2. 8	東北大学 助教授	松田 実
計		7件	1,320千円

昭和44年度

No.	助成 年月日	受領者	
		所属・職名	氏名
1	44. 4. 10	東京工業大学 助教授	鈴木 弘茂
2	44. 7. 11	京都大学 教授	渡辺 信淳
3	44. 9. 20	東京工業大学 助教授	近藤 連一
4	44.10. 7	九州大学 教授	三角 省三
計		4件	550千円

昭和45年度

No.	助成 年月日	受領者	
		所属・職名	氏名
1	45. 8. 7	大阪大学 教授	小泉 光恵
2	45. 9. 18	東京工業大学 助教授	宗宮 重行
計		2件	400千円

昭和46年度

No.	助成 年月日	受領者	
		所属・職名	氏名
1	46. 8. 3	東京工業大学 教授	鈴木 弘茂
2	46. 8. 24	横浜国立大学 教授	篠田 耕三
計		2件	250千円

昭和47年度

No.	助成 年月日	受領者	
		所属・職名	氏名
1	47. 6. 9	東京工業大学 助教授	宇田川重和
2	47. 9. 1	京都大学 助教授	竹原善一郎
計		2件	350千円

昭和48年度

No.	助成 年月日	受領者	
		所属・職名	氏名
1	48. 6. 14	京都大学 教授	渡辺 信淳
2	48. 8. 8	東京工業大学 教授	鈴木 弘茂
3	48. 8. 25	東京工業大学 教授	近藤 連一

4	48.12.26	東京工業大学 助教授	宗宮 重行
計		4件	750千円

昭和49年度

No.	助成 年月日	受 領 者	
		所属・職名	氏名
1	49. 5. 7	名古屋大学 教授	白戸 紋平
2	49. 8. 21	京都大学 教授	渡辺 信淳
計		2件	300千円

昭和50年度

No.	助成 年月日	受 領 者		件 名	
		所属	職名・氏名	開催地	出席会議・調査項目
1	50. 7. 4	横浜国立大学	教授 篠田 耕三		コロイド、界面科学の現状と将来
2	50. 7. 18	東京工業大学	教授 岩井 津一		欧州における高温結晶学の現況
3	50. 7. 31	東京工業大学	教授 山本 明夫		欧州における有機金属化学研究の現況
4	51. 2. 3	京都大学	助教授 伊藤 靖彦		溶融塩の工業化学的応用
計		4件			800千円

昭和51年度

No.	助成 年月日	受 領 者		件 名	
		所属	職名・氏名	開催地	出席会議・調査項目
1	51. 4. 1	横浜国立大学	教授 篠田 耕三		欧米各国の界面活性剤の展望
2	51. 4. 27	東京工業大学	助教授 井関 孝善		原子力関係における高温材料の調査
3	51. 4. 27	山梨大学	教授 本尾 哲		燃料電池と電極触媒の現況と将来像の調査
4	52. 1. 17	神戸商船大学	教授 近藤 五郎		油による海洋汚染防止調査
計		4件			650千円

昭和52年度

No.	助成 年月日	受 領 者		件 名	
		所属	職名・氏名	開催地	出席会議・調査項目
1	52. 5. 19	九州大学	教授 上野 景平		ブリヂル国際錯塩会議
2	52. 8. 25	京都大学	助手		含フッ素無機高分子の研究動向

			中島 剛		
3	52. 9. 26	京都工芸繊維大学	教授 山下 晋三		ゴム状弾性体に関する日米セミナーにおける合成ゴムビニックス
4	52. 11. 16	東北大学	教授 岡部泰二郎		エネルギー-転換会議の実状
5	53. 2. 15	東京工業大学	教授 石川 延男		含フッ素エポキシのファイバガラスへの応用
6	53. 2. 24	東京工業大学	教授 鈴木 弘茂		機材用高強度エポキシの米国における技術開発
7	53. 3. 22	東北大学	助教授 小倉 協三		ガラスを担体とした酵素固定化とその応用による長鎖イソプレノイド化合物の工業的応用
計		7件 1,256千円			

昭和53年度

No.	助成 年月日	受領者		件名	
		所属	職名・氏名	開催地	出席会議・調査項目
1	53. 5. 29	東北大学 工学部	助教授 鈴木 睦	米国	乾燥国際会議 工業的乾燥技術の現況
2	53. 5. 31	九州大学 工学部	教授 国武 豊喜	米国	ゴードン研究会議 水溶性高分子触媒・機能性高分子の研究動向
3	53. 7. 10	京都大学 理学部	教授 大杉 治朗	フランス	国際高圧科学技術協会実行委員会 世界における高圧化学の現況
4	53. 7. 11	千葉工業大学 工学部	教授 田賀井秀夫	英国	第3回医学及び生物学に用いる材料に関する会議 生体用材料の現状と今後の動向
5	53. 8. 4	東北大学 非水溶液化学研究所	教授 吉越 昭	ブルガリア	IUPAC生理活性天然有機化合物の研究動向
6	53. 10. 27	東北大学 薬学部	助教授 藤平 正道	スペイン	国際生物化学センサー学会 生物化学センサーの研究開発動向
7	54. 2. 23	京都大学 農学部	教授 上久保 正	スイス	国際ビタミン12会議 生化学分野における最近の研究動向
8	54. 3. 5	横浜国立大学 工学部	教授 篠田 耕三	スウェーデン	第3回界面コロイド科学国際会議 新しい界面活性剤開発の現況
9	54. 3. 5	京都大学 工学部	教授 福井 三郎	米国	第5回酵素国際会議 酵素工学における最近の研究動向
10	54. 3. 22	福井大学 工学部	助教授 埜村 守	米国	ポリマーコロイドに関するゴードン研究会議 ポリマーコロイドに関する研究の現況
11	54. 3. 22	三重大学 工学部	教授 作花 濟夫	米国	第5回ガラスの科学国際会議 ガラスの電氣的、磁氣的、光学的諸特性に関する研究
計		11件 2,100千円			

昭和54年度

No.	助成 年月日	受領者		件名	
		所属	職名・氏名	開催地	出席会議・調査項目

1	54. 7. 19	上智大学 理工学部	教授 佐藤 弦	ルウェー ントハイム	電気化学会 電気化学分野、特 に電気化学的エネルギー転換に関す る研究動向
2	54. 10. 24	九州大学 工学部	教授 山藤 馨	ポーランド	Autumnal School on Metal Physics 核融合炉における材料開発の現状
3	55. 1. 28	東京工業大学 工学部	教授 辻 二郎	中国 北京	第1回日中米3ヶ国有機金属化学セミ ナール 中国における触媒化学・有 機合成化学の基礎および応用研 究の現状調査
4	55. 3. 7	横浜国立大学 工学部	教授 佐藤 菊正	フランス カンヌ	第8回国際精油会議 新合成香料 開発動向および香料分析技術の 進歩の調査
5	55. 3. 17	名古屋大学 工学部	教授 水池 敦	オーストリア グラーツ	第8回国際微量化学シンポジウム 材料科学分野における微量分析 法の現状および微量分析装置と その自動化の現状調査
6	55. 3. 17	京都大学 工学部	教授 吉田 善一	米国 マシソン	第3回有機合成化学国際会議 最近におけるスーパーフェイナミカ の研究動向
7	55. 3. 22	群馬大学 工学部	助教授 関 春夫	オーストリア ゼーフェルト	第8回IUPAC国際光化学会議 最近の光化学の研究動向
8	55. 3. 22	東京工業大学 工業材料研究所	教授 斎藤 安俊	西ドイツ ハイデル	第6回国際熱分析会議 高温固体 化学における最近の研究動向
計	8件 2,000千円				

昭和55年度

No.	助成 年月日	受領者		件名	
		所属	職名・氏名	開催地	出席会議・調査項目
1	55. 6. 10	東京理科大学 工学部	教授 吉野 善弥	カナダ トロント	第10回IAWPR(水汚染研究国際協会) 国際会議 水質保全技術の現状
2	55. 6. 19	東京工業大学 原子炉工学研究所	教授 鈴木 弘茂	西ドイツ バーデン	第3回国際カーボン会議 原子力発電関連のセラミックス材料の現 状および炭素繊維の現状
3	55. 7. 23	分子科学研究所	教授 吉原経太郎	米国 サントジョセ	レーザー光化学反応に関する国際会 議 レーザー光の化学反応への応用 の現状と将来
4	56. 2. 2	名古屋大学 工学部	教授 山下 雄也	米国 アトランタ	熱可塑性プラスチックシンポジウム 米国におけるエンジニアリングプラスチッ クの動向
5	56. 2. 2	京都工芸繊維大学 工芸学部	助教授 西村 淳	米国 アトランタ	環状構造を有する高分子国際会議 最近の高分子合成のトピックス 一特に環化重合に焦点をあてて
6	56. 3. 10	京都大学 化学研究所	教授 稲垣 博	英国 ゲームズ	高分子特性解析の進展に関する国 際会議 高分子の構造と物性に関 する研究動向
7	56. 3. 10	九州大学 工学部	教授 村上 幸人	カナダ バンクーバー	第28回IUPAC「酵素タンパク質および生 体機能化学」国際会議 生体機能 の化学に関する最近の研究動向
計	7件 1,900千円				

昭和56年度

No.	助成 年月日	受 領 者		件 名	
		所属	職名・氏名	開催地	出席会議・調査項目
1	56. 5. 20	東京大学 工学部	助教授 菅原 進一	ヨーロッパ ロンドン、フランクフルト	欧州諸国視察 欧州における無石綿建材の動向
2	56. 7. 20	当会	事務局長 岡村 恒夫	東南アジア	大学調査
3	56. 7. 21	名古屋大学 工学部	教授 中 重治	スウェーデン ウプサラ	第8回国際高圧力会議／第19回 ヨーロッパ高圧力会議 ヨーロッパにおける結晶合成の動向
4	56. 8. 12	群馬大学 工学部	助教授 渡辺 浜夫	ハンガリー ブダペスト	第6回有機ケイ素化学国際会議 有機ケイ素化学に関する最近の研究 動向
5	56. 9. 10	横浜国立大学 工学部	助教授 中西 和美	米国 ニューヨーク	Rensselaer Polytechnic Institute 無機および有機複合 系半導体の最近の研究動向
6	56. 9. 16	三重大学 工学部	教授 作花 済夫	イタリア パドヴァ	第1回“ゲルからのガラスおよび結晶 化ガラスの調製”国際会議 ゲルからのガラスの調製に関する最 近の研究動向
7	57. 2. 23	横浜国立大学 工学部	教授 篠田 耕三	スウェーデン ルンド	界面活性物質の溶液物性に関する 国際会議 界面活性剤溶液物性研 究の現状と工業への応用
8	57. 2. 23	京都大学 工学部	教授 曾我 直弘	フランス モンペリエ	第5回非晶質物理国際会議 非晶 質固体の物性に関する研究動向
9	57. 3. 15	北海道大学 工学部	教授 鈴木 章	米国 ミッドランド	第14回アメリカ化学会中西部地区会議 有機化学の研究動向
10	57. 3. 15	群馬大学 工学部	助教授 大沢善次郎	スイス ルツェルン	第3回高分子劣化と安定化国際会 議 高分子の劣化と安定化の研究 状況
11	57. 3. 19	上智大学 理工学部	教授 緒方 直哉	米国 マサチューセツ	第28回高分子国際会議 機能性高分子の研究動向
計		11件 3,668千円			

昭和57年度

No.	助成 年月日	受 領 者		件 名	
		所属	職名・氏名	開催地	出席会議・調査項目
1	57. 6. 18	横浜国立大学 工学部	教授 垣内 弘	フランス リヨン	有機化学におけるポリマー固定化試 薬に関する国際会議 有機反応に おける高分子固定化触媒に関する 研究動向
2	57. 6. 21	九州大学 工学部	教授 大石 行理	フランス クレマ	不定比化合物中の物質輸送国際会 議 無機材料中におけるイオンの拡 散に関する最近の研究動向
3	57. 9. 6	九州大学 工学部	教授 谷口 宏	フランス モント	第2回日仏医薬精密化学国際会議 精密合成化学の今後の動向
4	57. 9. 13	九州大学 工学部	教授 加藤 昭夫	米国 ノースカロライ	第19回セミックの化学に関する国際 会議 セミック微粉体合成技術にお ける気相反応法の利用

5	57.10.18	当会	常任理事 尾野 勇雄	中国	訪中學術調査団 中国科学院 関係大学および研究所の調査
6	57.12.13	京都大学 工学部	助手 橋本 竹治	米国 ワシントン	アメリカ化学会特別シンポジウム—高分子 の小角散乱の精密測定評価技術と その応用に関する最近の研究
7	57.12.13	九州大学 工学部	教授 高柳 素夫	米国 ロサンゼルス	1983年アメリカ物理学会高分子物理賞 受賞招待講演 多相系高分子の構 造と物性に関する最近の研究動向
8	58. 1. 6	東京薬科大学 薬学部	教授 小林 義郎	米国 デトロイト	Winter Fluorine Conference 含フッ素医薬・農薬の研究開発動向
9	58. 2. 24	東京大学 生産技術研究所	教授 熊野谿 従	ギリシア アテナ	第9回有機皮膜の科学と技術に関 する国際会議 機能性塗料(耐候 性塗料など)の研究開発動向
10	58. 3. 15	三重大学 工学部	助教授 富岡 秀雄	米国 マイアミ	第11回光化学に関する国際会議 光化学反応に関する最近の研究 動向
11	58. 3. 15	京都大学 農学部	教授 上久保 正	アイルランド ダブリン	第6回食品の科学および工学に関 する国際会議 バイオテクノロジーに関 する工業技術の動向
計		11件 4,200千円			

昭和58年度

No.	助成 年月日	受 領 者		件 名	
		所属	職名・氏名	開催地	出席会議・調査項目
1	58.10. 4	東京大学 工学部	教授 岸谷 孝一	米国 ワシントン	UJNR防火専門部会第7回日米合同 会議 防火建材に関する最近の研 究開発動向
2	58.11.21	京都大学 工学部	助手 小林 四郎	米国 セントルイス	開環重合・機構および合成に関 する国際会議 新しい高分子の合成 および応用に関する研究動向
3	59. 2. 9	東京大学 医学部	助手 井街 宏	米国 ワシントン	第2回国際ハイマテリアル学会 人工臓器の開発動向
4	59. 3. 8	九州大学 工学部	教授 村上 幸人	ニュージーランド オークランド	第7回IUPAC物理有機化学に関する 会議 有機合成反応に関する最近 の研究動向
5	59. 3. 19	東京大学 工学部	教授 御園生 誠	フランス リヨン	CNRS主催酸塩基触媒国際会議 酸塩基触媒に関する最近の研究 動向
6	59. 3. 19	三重大学 工学部	教授 伊沢 康司	スイス インターラク	第10回IUPAC光化学シンポジウム 有機光化学に関する最近の研究 動向
7	58. 6.	日本民間學術振興 財団			昭和58年5月中国科学院學術交流 調査団来日時寄付
計		7件 1,831千円			

昭和59年度

No.	助成 年月日	受 領 者		件 名	
		所属	職名・氏名	開催地	出席会議・調査項目
1	59. 5. 16	三重大学 工学部	教授 高橋 彰	米国 アトランタ	高分子物理に関するゴードン研究会 会議 各種物質表面における高分子

					薄膜に関する最近の研究動向
2	59. 5. 16	九州大学 工学部	助教授 安藤 健	米国 フィラデルフィア	第3回不定比化合物の輸送に関する国際会議 セラミックスに関する新技術の最近の動向
3	59. 5. 25	大阪大学 薬学部	教授 三浦 喜温	アイルランド ガルーエイ	第4回国際ハイブリッド・バイオテクノロジー学会 遺伝子工学の最近の動向
4	59. 6. 13	日本大学 工学部	教授 一色 尚次	中国 上海	第2回スターリングエンジン国際会議 7ドバイ・オーストラリアの熱機関への応用 状況と今後の展望
5	59. 7. 5	東京工業大学 工業材料研究所	教授 宗宮 重行	米国 ソルトル	日米窯業基礎科学センター 7ドバイ・オーストラリアに関する最近の研究 開発動向
6	59. 7. 20	群馬大学 工学部	教授 中村 好雄	英国 ロンドン	セルロース、およびその誘導体の化学 生化学および天然および合成高分子 膜の生体適合性に関する最近の 研究動向
7	59. 7. 23	岩手大学 工学部	教授 久保田徳昭	フランス パリ	第9回国際工業晶析シンポジウム 工業晶析に関する最近の研究動向
8	59. 10. 30	大阪大学 産業科学研究所	教授 林 晃一郎	タイ バンコク	777諸国間高分子科学シンポジウム 東南アジアにおける高分子科学の 研究動向
9	60. 2. 25	京都大学 工学部	助教授 小久見善八	デンマーク オデンセ	第12回有機電気化学に関する オデンセ会議 有機電気化学の 学術的および工業的進展について
10	60. 3. 4	名古屋大学 工学部	教授 水池 敦	西ドイツ ガムニッシュ・ハルテンキ ルヒェン	第24回国際分光学会議 無機超微量成分分析に関する 研究動向
11	60. 3. 11	慶応義塾大学 理工学部	教授 渡部 康一	米国 ボルダー	第9回熱物性シンポジウム 熱流体物性に関する最近の研究 動向
計		11件	4,250千円		

昭和60年度

No.	助成 年月日	受 領 者		件 名	
		所属	職名・氏名	開催地	出席会議・調査項目
1	60. 4. 16	長崎大学 工学部	教授 砂本 順三	イタリア カプリ	第2回医用高分子に関する国際会 議 医用高分子、特に人工細胞に 関する最近の研究動向
2	60. 6. 10	名古屋大学 理学部	助教授 林 博司	ルウェー ベルゲン	薬剤設計の基礎としてのS-777 メソンの生化学国際会議 遺伝子 工学分野における最近の研究動向
3	60. 6. 20	高知大学 理学部	教授 満塩 博美	米国 エンバーク・シティパーク	第2回水熱反応国際シンポジウム 水熱反応に関する最近の研究動向
4	60. 6. 24	横浜国立大学 工学部	教授 篠田 耕三	米国 シカゴ	米国化学会シンポジウム一界面活性剤 系における多相平衡 界面活性剤 に関する最近の研究動向
5	60. 7. 12	東京工業大学 工業材料研究所	教授 吉村 昌弘	米国 妹工	第5回固体イオン国際会議 水熱合成反応に関する最近の研究 動向
6	60. 7. 12	京都大学 工学部	助教授 伊藤 靖彦	米国 ラスベガス	米国電気化学会大会第5回国際溶 融塩シンポジウム 溶融塩化学に関

					する最近の研究動向
7	60. 7. 26	神奈川歯科大学 歯学部	教授 山崎 升	中国 上海、北京	日本ゴム協会主催中国ゴム工業調査団 中国におけるゴム工業の現状
8	60.11.22	大阪大学 基礎工学部	教授 畑田 耕一	米国 ニューヨーク	7-メチル重合の最近の進歩に関する国際会議 7-メチル重合に関する最近の研究動向
9	61. 2. 10	お茶の水女子大学 理学部	助教授 福田 豊	ギリシア アテネ	第24回配位化学国際会議/第11回大環状化合物国際会議 多様な機能を有する金属錯体の研究動向
10	61. 2. 10	三重大学 工学部	教授 山本 治	ソガポール	固体イオン国際研究集会 固体イオンに関する最近の研究動向
11	61. 3. 14	東京工業大学 工業材料研究所	助手 田辺 靖博	西ドイツ バーデン・バーデン	1986年国際炭素会議 炭素材料および炭素複合材料の最近の研究動向
12	61. 3. 14	京都大学 工学部	教授 庄野 達哉	スイス ビュルグストック	第6回電気化学に関するEUCHEM会議 有機電気化学に関する最近の研究動向
計		12件	3,960千円		

昭和61年度

	助成 年月日	受領者		件名	
		所属	職名・氏名	開催地	出席会議・調査項目
1	61. 4. 7	東京工業大学	名誉教授 鈴木 弘茂	英国 ロンドン	1990年代の新材料技術に関する国際討論会 ニュースピックスとセミック複合材料の最近の研究動向
2	61. 4. 18	名古屋工業大学 工学部	教授 日根 文男	米国 カーブランド、ホーストン	ケイムスタク大学電気化学研究会議 米国におけるカーボン・アルカリ工業の研究動向
3	61. 4. 21	早稲田大学 理工学部	教授 酒井 清孝	米国 アハイム	米人工臓器学会年会 米国における人工臓器に関する研究動向
4	61. 5. 26	東京大学 工学部	助教授 菅原 進一	米国 ウスター	米国ウスター工科大学講演会・討論会 窯業系新建材、特に無石棉系素材に関する最近の研究動向
5	61. 6. 2	東京工業大学 原子炉工学研究所	教授 井関 孝善	イタリア ミラノ	ハイテクセラミクス国際会議 ハイテクノロジーセラミクスの最近の研究動向
6	61. 6. 11	三重大学 工学部	教授 森 定雄	フランス パリ	第16回カマトグラーフ国際シンポジウム 欧米のカマトグラーフ研究の現況と今後の動向
7	61. 6. 26	富山大学 工学部	助教授 山口 信吉	米国 ホーストン	第5回国際乾燥シンポジウム 収縮を伴う材料の乾燥に関する最近の研究動向
8	61. 7. 9	東京大学 工学部	教授 長谷川正木	ポルトガル リスボン	第11回IUPAC光化学シンポジウム 光化学分野における最近の研究動向
9	61. 7. 21	大阪大学 薬学部	教授 三浦 喜温	米国 ヒューストン	国際生物化学工学会議/国際植物組織培養会議 生物化学工学の最近の研究動向
10	61. 8. 6	名古屋工業大学 工学部	教授 阿部 良弘	西ドイツ ホッ	第10回国際リチウム化学会議 リチウム化学に関する最近の研究動向

11	61. 8. 6	京都大学 工学部	教授 曾我 直弘	ソ連 モスクワ	ソ連科学アカデミー酸塩化学研究所 研究会 ソ連における酸塩化学 の研究動向
12	61. 9. 19	長岡技術科学大学 工学部	教授 松下 和正	中国 杭州	日中合同熱測定ソポジウム 熱化学および熱分析に関する最近 の研究動向
13	62. 2. 9	京都大学 工学部	助教授 橋本 竹治	米国 ニューヨーク	米国物理学会年会 高分子の構造と物性の関連性に関 する最近の研究動向
計	13件 5,000千円				

昭和62年度

No.	助成 年月日	受 領 者		件 名	
		所属	職名・氏名	開催地	出席会議・調査項目
1	62. 6. 2	金沢大学 医学部	教授 久住 治男	スウェーデン ストックホルム	泌尿器癌共同研究プログラム会議 腫瘍マーカーに関する最近の研究動向
2	62. 6. 19	東京工業大学 工学部	助教授 井上 隆	東ドイツ ベルリン	第31回IUPAC高分子討論会 多成分系高分子の構造と物性に関 する最近の研究
3	62. 6. 22	東京大学 工学部	助教授 氏平 祐輔	オーストリア メルボルン	メソポーア効果の応用に関する1987 年度国際会議 メソポーア効果の応 用に関する最近の研究動向
4	62. 6. 22	関西大学 工学部	助教授 浦上 忠	東ドイツ ベルリン	第31回IUPAC高分子討論会 高分離機能膜に関する最近の研究 動向
5	62. 7. 1	東京工業大学 工学部	助手 柿本 雅明	西ドイツ ゲッチンゲン	第3回LB膜に関する国際会議 有機薄膜に関する最近の研究動向
6	62. 7. 6	東京工業大学 工学部	教授 藤平 正道	西ドイツ、ゲッチン ゲン、ハンガリー、ブダ ペスト	第3回LB膜国際会議／第13回光化 学国際会議 光機能性有機薄膜に 関する最近の研究動向
7	62. 7. 6	東京理科大学 理学部	教授 飯村 一賀	フランス ボルドー	高分子液晶国際会議 高分子液晶に関する最近の研究動 向
8	62. 7. 6	京都大学 工学部	助教授 清水 剛夫	西ドイツ、ゲッチン ゲン、米国、アトラン タ	第3回LB膜国際会議／ゴートン国際 研究会議 機能性有機薄膜に関す る最近の研究動向
9	62. 7. 7	岩手大学 工学部	助教授 熊谷 直昭	オランダ マーストリヒト	第38回国際電気化学会 電気化学分野の新材料に関する最 近の研究動向
10	62. 7. 29	東京工業大学 工業材料研究所	教授 斎藤 安俊	西ドイツ ガムニッシュ・ハルテン キルヒェン	第6回固体イオン国際会議 高温固体イオンに関する最近の 研究動向
11	62. 7. 29	大阪大学 基礎工学部	教授 笛野 高之	ハンガリー ブダペスト	国際理論有機化学者会議 有機分子の構造と化学反応性に 関する最近の研究
12	62. 7. 29	大阪大学 産業科学研究所	助手 吉川 信一	西ドイツ ガムニッシュ・ハルテン キルヒェン	第6回固体イオン国際会議 固体電解質に関する最近の研究 動向
13	62. 8. 10	東京工業大学 工学部	助教授 川副 博司	チェコスロバキヤ プラハ	第12回非晶質・液体半導体国際会 議 非晶質半導体に関する最近の 研究動向

14	62. 2. 10	岩手大学 工学部	助教授 佐藤 潤	デンマーク オーデンセ	第13回有機硫黄化学国際シンポジウム 有機硫黄化学分野における最近の研究動向
15	62. 2. 10	京都大学	名誉教授 渡辺 信淳	カナダ トロント	第3回北米化学会フッ素セミナー討論会 フッ素セミナーに関する最近の研究
計		15件 5,850千円			

昭和63年度

No.	助成 年月日	受領者		件名	
		所属	職名・氏名	開催地	出席会議・調査項目
1	63. 4. 4	九州大学 工学部	教授 石橋 信彦	米国 ラスベガス	Flow Analysis IV フローアナリシスおよびそれらの応用に関する最近の研究動向
2	63. 4. 18	京都大学 工学部	助教授 中島 剛	フランス、米国 パリ、サンクトル	第12回国際フッ素化学会議 フッ素およびフッ素化合物とフッ素 化合物に関する最近の研究動向
3	63. 4. 18	岡山理科大学	教授 辻 二郎	フランス パリ	パリ大学その他7大学にて講演・ 討論 遷移金属化合物を用いる 新しい有機合成プロセスに関する最 近の研究動向
4	63. 5. 11	大阪市立工業研究 所 有機化学第2課	研究主任 西口 郁三	デンマーク サンドバーグ	14th Sandbjerg Meeting on Organic Electrochemistry 有機電気化学に関する最近の研究 動向
5	63. 6. 9	大阪大学 基礎工学部	助手 山口 学	ソ連 モスクワ	国際溶媒抽出会議'88 溶媒抽出に関する最近の研究動向
6	63. 6. 10	岩手大学 工学部	助教授 森 誠之	米国 ワシントン	1988 Gordon Research Conference on Tribology 金属およびセラミックスの潤滑化学に関 する最近の研究
7	63. 6. 10	東京工業大学 理工学国際交流セン ター	教授 新山 浩雄	カナダ カルガリー	第9回国際触媒会議 不均一系触媒に関する最近の研究 動向
8	63. 6. 10	富山大学 工学部	教授 宮下 尚	中国 広州	伝熱促進と省エネルギー-国際シンポジウム 伝熱促進に関する最近の研究動向
9	63. 6. 15	神奈川歯科大学 歯学部	教授 久武 慶蔵	カナダ バンクーバー	4th Joint MMM-Intermag Conference 酸化物磁性材料の光 誘起磁気効果に関する最近の研究 動向
10	63. 6. 15	名古屋大学 工学部	助教授 高木 克彦	米国 プリンストーンアカデミ	電子移動部会ジョイント研究集会 有機光反応に関する最近の研究動 向
11	63. 6. 15	九州大学 工学部	教授 梶山 千里	米国 ニュートン	ジョイント会議 液晶高分子に関する最近の研究動 向
12	63. 7. 11	筑波大学 構造工学系	教授 松島 皓三	イギリス エディン	Ro-man-sy' 88 ロボット工学に関する最近の研究動 向
13	63. 7. 11	大阪大学 基礎工学部	助教授 奥山 格	デンマーク、オーデンセ 西ドイツ、レーゲンス ブルグ	第13回硫黄の有機化学に関する国 際シンポジウム/第9回IUPAC物理有機 化学国際会議 極性有機反応に関 する最近の研究動向

14	63. 7. 13	群馬大学 工業短期大学部	助教授 荘司 顕	米国 ウイソッソ州マデソ ン	13th International Conference on Magnetic Resonance in Biological Systems 生体高分子 の構造と物性に関する最近の研究 動向
15	63. 8. 2	筑波大学 応用生物化学系	助教授 宗像 英輔	西ドイ チュ-ヒンゲン	第20回ヨーロッパ・フト・ソボジウム 生理活性・フト・フトに関する最近の 研究動向
16	63. 8. 2	東京工業大学 工学部	助教授 水本 哲弥	イギリス ブライトン	第14回光通信に関する欧州国際会 議 集積型光回路素子に関する最 近の研究動向
17	63. 8. 3	東京農工大学 工学部	教授 平戸 瑞穂	中国 北京	第3回中日流動層学術会議 石炭のガス化に関する最近の研究 動向
18	63. 8. 3	京都工芸繊維大学 工芸学部	助手 池田 裕子	米国 ソシナイ	米国化学会ゴム部門第134回研究集 会 医用エラストマーの最近の研究動向
19	63. 8. 3	九州大学 工学部	教授 村上 幸人	米国 ワシントン	包接現象および分子認識に関する 第5回国際ソボジウム 分子認識に 関する最近の研究動向
20	63. 10. 7	長岡技術科学大学 電気系	助教授 高田 雅介	米国 国立標準局	第4回日米誘電体・圧電体セミナ ー 高温超伝導セミナに関する 最近の研究動向
計		20件	7,400千円		

平成元年度

No.	助成 年月日	受 領 者		件 名	
		所属	職名・氏名	開催地	出席会議・調査項目
1	1. 4. 1	長岡技術科学大学 工学部	助教授 伊藤 義郎	西ドイ ハットナウム	第3回セミナ、ガスと金属の接合 に関する国際会議 金属-セミナ の接合に関する研究動向
2	1. 4. 1	東京大学 工学部	教授 北沢 宏一	米国 サテイク	Materials Research Society, Spring Meeting 酸化物超伝導体 に関する最近の研究動向
3	1. 4. 1	東京大学 工学部	教授 牧島 亮男	米国 ワシントン	アメリカセミナ協会第91年会 ニューガスの合成と特性に関する最 近の研究動向
4	1. 4. 14	名古屋工業大学 工学部	教授 日根 文男	米国 ロスアンゼルス	工業電解における電極の性能ソボ ジウム 酸化物被覆電極の理論背景 と工業的利用
5	1. 4. 24	広島大学 工学部	助教授 内池 平樹	米国 ボルネ	SID(情報ディスプレイ)国際会議 発光型ディスプレイの最近の研究開発 動向
6	1. 5. 16	群馬大学 工学部	教授 中村 厚三	西ドイ ケルン	第5回工学と食品に関する国際会 議 超臨界流体利用技術の最近の 研究動向
7	1. 5. 26	京都大学 工学部	教授 伊勢 典夫	米国 ワシントン	第63回コロト および表面科学ソボ ジウム コロト 科学の現状と今後の 展望
8	1. 6. 1	京都工芸繊維大学 工芸学部	助教授 糊谷 信三	フランス、ストラスブル ワリア、シエ	カチン重合国際会議/第2回高分子 固体電解質会議 機能性エラストマーの 最近の動向

9	1. 6. 14	岡山大学 工学部	教授 三浦 嘉也	ソ連 モスクワ	第15回国際ガス会議 機能性ガスに関する最近の研究動向
10	1. 6. 26	東京工業大学 工学部	助教授 岡畑 恵雄	米国 ワシントン	1989 Gordon Conferenc on the Chemistry of Supramolecules and Assemblies 機能性カプセル膜の最近の研究動向
11	1. 6. 26	京都大学 工学部	教授 砂本 順三	米国 ワシントン	1989 Gordon Conferenc on the Chemistry of Supramolecules and Assemblies 人工細胞工学の 最近の進展に関する調査
12	1. 7. 4	横浜国立大学 教育学部	教授 栗原 良枝	ルーマニア ブカレスト	味覚と嗅覚に関する国際ソポゾウム 味覚修飾物質の最近の研究動向
13	1. 8. 2	東北大学 工学部	助教授 三橋 博三	ギリシア アテネ	繊維補強セメントおよびコンクリートの最近 の発展に関する国際会議 繊維補 強セメントおよびコンクリートの最近の発展 に関する研究動向
14	1. 8. 2	金沢大学 工学部	教授 長田 勇	イタリア ヴェネチア	第5回CODATAソポゾウム/第5回IUPA ワークショップ 相平衡に関する最近の研究動向
15	1. 8. 2	佐賀大学 理工学部	教授 白浜啓四郎	ギリシア アテネ	NATO Advanced Study Institute on Structure, Dynamics and Equilibrium Properties of Colloidal Systems 両親媒性物質の溶解状態の研究 動向
16	1. 8. 4	高知大学 理学部	教授 山崎 伸道	ソ連 モスクワ	第3回水熱反応国際ソポゾウム 水熱反応利用技術に関する最近の 研究動向
17	1. 9. 11	東京工業大学	名誉教授 宗宮 重行	ソ連 モスクワ	第3回水熱反応国際ソポゾウム 水熱反応利用技術に関する最近の 研究動向
18	1. 10. 27	東京大学 工学部	助教授 河本 邦仁	中国 北京	電子部品および材料国際会議 セラミック電子材料の研究動向
19	1. 11. 24	東京工業大学 工業材料研究所	助教授 高木 喜樹	米国 ワシントン	1989環太平洋国際化学会議 微構造から見たセラミック超伝導体の 化学
20	1. 11. 24	三重大学 工学部	教授 神谷 寛一	米国 ワシントン	1989環太平洋国際化学会議 ソルゲル法の最近の研究動向
21	2. 3. 20	東京大学 農学部	教授 茅野 充男	米国 ワシントン	土・水・植物・動物における重金 属に関する国際会議 植物の重金 属耐性に関する研究
計		21件	8,000千円		

表3-9-2 海外研究発表助成一覧(旭硝子財団)

海外研究発表助成の記載年度は、平成4年度までである。

平成2年度

No.	助成 年月日	受領者		件名	
		所属	職名・氏名	開催地	出席会議・調査項目
1	2. 6. 7	筑波大学 化学系	助教授 赤坂 健	米国 ウォルホーロー	「1990年ハワイ州・ドーン会議」 光酸化反応に関する最近の研究動向
2	2. 6. 13	大阪大学 薬学部	助手 平田 収正	オランダ アムステルダム	「第7回国際植物組織培養会議」 ニチウキ葉器官培養におけるアロパイト 生産に対する光照射の影響
3	2. 6. 20	東京工業大学 工業材料研究	教授 橋爪 弘雄	フランス ボルドー	「第15回国際結晶学会議および総会」 結晶学の最近の動向と材料科学への 寄与に関する調査
4	2. 7. 18	千葉大学 工学部	教授 堀 善夫	チェコスロバキア プラハ	「第41回国際電気化学会—ハイロフスト-10 0年記念ボロフア学会/第41回国際電 気化学会」 二酸化炭素の電気化学還元
5	2. 7. 18	岡崎国立共同 機構 分子科 学研究所	教授 大滝 仁志	米国・トロイ、 カナダ・サリ、ドイツ ・ケルン	「IUPAC主催溶液化学関係国際会議」 電解質溶液の構造とダイナミクス
6	2. 8. 14	東京理科大学 理学部	教授 植木 正彬	スペイン アラバトアロ	「第21回欧州アブド・ソボジウム」 アブド・ソボ研究の動向
7	2. 8. 29	日本工業大学 工学部	教授 早川 一也	スイス チューリッヒ	「10th International Symposium on Contamination Control」ガスおよ び液中の粒子除去用としてのマイクロ ・メトリック(MPG)の応用
8	2. 9. 4	東京大学 薬学部	講師 嶋田 一夫	イギリス ワーウィック大学	「XIV International Conference on Magnetic Resonance in Biological Systems」核磁気共鳴法による蛋白 質の立体構造解析
9	2. 10. 8	環境庁自然保 護局	室長補佐 薄木 三生	タイ バンコク	「ESCAP(国連アジア太平洋経済社会委員 会)アジア太平洋地域の環境と開発に関 する大規模会議」アジア太平洋地域にお ける地球環境問題の現状
10	2. 10. 11	環境庁企画調 整局	室長 加藤 久和	フランス パリ	「OECD(経済協力開発機構)経済財政 と環境ハイレベル専門家会合」 ヨーロッパにおける地球環境問題の現状
11	2. 10. 15	富山大学 工学部	助手 高橋 隆一	米国 サンディエゴ	「第35回磁性理論・磁性材料会議」 磁気薄膜に関する最近の研究動向
12	3. 3. 25	東京大学 物性研究所	教授 田中 虔一	ドイツ ベルリン	「日独表面セミナー」 表面化学と表面物理の最近の進歩に関 する動向調査
計		12件 4,427千円			

平成3年度

No.	助成 年月日	受領者		件名	
		所属	職名・氏名	開催日・開催地	出席会議・発表論文
1	3. 5. 7	国立環境研究所	主任研究員 佐竹 研一	米国、ハワイ州、 ホノルル	「XVII Pacific Science Congress」 Distillation of Aquatic Bryophytes

					in Relation to Water Chemistry of the Acid Rivers, Japan.
2	3. 5. 7	無機材質研究所	主任研究官 田中 高穂	米国、カリフォルニア州 スタンフォード大学	「第12回結晶成長学会」 Growth and Characterization of YB66: A New Soft X-ray Monochro- mator Crystal for Synchrotron Radiation
3	3. 5. 27	筑波大学 物理学系	助教授 長 照二	ドイツ、ベルリン ユージュスタティア、 ドーフローニク	「第18回制御核融合及びプラズマ物 理に関するヨーロッパ会議」 Recent Upgraded Tandem Mirror Experiments in GAMMA 10 第5回放射線物理に関する国際シンポ ジウム X-ray Detection Characterization and Application to Plasma Researches
4	3. 6. 7	東京大学 教養学部 化学教室	助手 鳥海 弥和	米国、ニューハンプシャー州、ウルフボロ	「Gordon Conference on Liquid Crystals」 1D and 2D Time-Resolved FT-IR Analyses of Liquid Crystal Reorientation Dynamics
5	3. 6. 10	東京都立大学 理学部	教授 和田 正三	米国、ニューハンプシャー州、アンドーバー	「ゴートソフワリス（植物及び菌類の細 胞骨格に関する細胞・分子生物学）」 Preprophase Band Development and its Control in Adiantum Protonema
6	3. 6. 25	京都大学 ウイルス研究所	助教授 佐竹 正延	英国、ケンブリッジ、 チャーチル大学	「第7回DNA腫瘍ウイルス学会」 ①Polyomavirus Enhancer Core Binding Protein, PEBP2/PEA2, is an MuLV Enhancer Core Binding Protein ②cDNA and Genomic Cloning of the α and β Subunits of Polyomavirus Enhancer Core Binding Protein, PEBP2/PEA2
7	3. 6. 25	東北大学 理学部化学教室	教授 山本 嘉則	米国、ニューハンプシャー州	「Gordon Research Conference on Organic Reactions and Processes」 Imine Activation — New Synthesis of Amines, Amino Acids and Dipeptides
8	3. 7. 16	新潟大学 経済学部	教授 宇澤 弘文	ザンビア、ルサカ	「Regional Workshop on Solar Radiation, Environment, and Climate Change」 The Theory of Imputation and Global Warming
9	3. 7. 31	大阪大学 薬学部 薬品製造工学講 座	助手 八木 清仁	カナダ、ケベック州、 モントリオール	「第8回国際人工臓器学会大会」 Effect of Non-Parenchymal Liver Cells on Liver Function in Immobilized Hepatocytes
10	3. 8. 2	東北大学 反応化学研究所	助教授 大塚 康夫	米国、アイダホ州、 アイダホフォールズ	「高硫黄石炭の処理と利用に関する第 4回国際会議」 In Situ Sulfur Capture during the Calcium-Catalyzed Gasification of Illinois No. 6 Coal
11	3. 8. 2	西東京科学大学 電子情報科学科	教授 桑原 尚夫	フランス、アキザンブ・ロバ ンス	「国際音声科学学会」 Voice Conversion Method and its Application to Pathological Voices
12	3. 8. 28	西東京科学大学 経営工学科	教授 宮津 隆	フランス、パリ スイス、ジュネーブ	「ISO/TC 69（統計的方法の応 用）国際会議」 Intermediate Measures of Precision of a Test Method

13	3. 8. 28	金沢大学 がん研究所	助手 野中 勝	英国、ケンブリッジ	「XIV International Complement Workshop」 Molecular Cloning of Lamprey C3.
14	3. 9. 11	京都大学 農学部	助手 福沢 秀哉	米国、アリゾナ州、 ツーソン	「第3回国際植物分子生物学会議」 Gene Expression of Carbonic Anhydrase in Chlamydomonas ReinhardtII Regulated by Enviromental CO ₂ and Light
15	4. 2. 24	立命館大学 理工学部 土木工学科	研究員 三輪 浩	ドイツ、カールスルーエ、 カールスルーエ大学	「5th International Symposium on River Sedimentation」 Sorting Mechanism with Development of Sand Waves
16	4. 3. 6	順天堂大学 医学部 脳神経外科	講師 新田 泰三	イタリア、オスツニ	「3rd International Conference on Bispecific Antibodies and Targeted Cellular Cytotoxicity」 ①Chemical Conjugation of Bispecific Antibody ②Clinical Application of Bispecific Antibody for Cancer Patients
17	4. 3. 6	大阪府立成人病 センター研究所	主任研究員 新貝 清子	米国、サンディエゴ	「Annual Meeting of the American Association for Cancer Research」 Tumor Invasion Inhibiting Factor-2 Primary Structure and Inhibiting Effect on in Vitro and Pulmonary Metastasis
計		17件 5,800千円			

平成4年度

No.	助成 年月日	受 領 者		件 名	
		所 属	職名・氏名	開催日・開催地	出席会議・発表論文
(物質・材料)					
1	4. 6. 10	新潟大学 理学部	助教授 加賀 裕之	4. 6. 28～7. 3 カリフォルニア州 サンタバーバラ	「量子系の相移転国際会議」 Antiferromagnetic Correlations and Magnetic Phases in the 2D and 3D Hubbard Models
2	4. 7. 24	九州大学 工学部 応用物質化学科	教授 村上 幸人	4. 8. 9～8. 14 ミナソト	「第17回マクロ環化学国際シンポジウム」 Molecular Recognition by Novel Cage-Type Azaparcyclophanes Bearing Chiral Binding Sites in Aqueous Media
(情報)					
3	4. 6. 10	京都大学 経済研究所	助教授 岡田 章	4. 7. 13～7. 24 ニューヨーク州立大学	「ゲーム理論に関する国際会議」 Noncooperative Bargaining and the Core of an N-person Characteristic Function Game
(環境)					
4	4. 6. 10	国立環境研究所	主任研究員 村野健太郎	4. 6. 22～6. 24 ノルウェー、リストルム	「第2回地球規模の大気汚染物質発生源ワークショップ」 Anthropogenic Emissions of SO ₂ and NO _x in Asia: Emission Inventories
計		4件 1,450千円			

表3-10 研究報告刊行一覧

区分	年度	研究報告
旭化学工業奨励会	昭和	
	9年度(1934)	第1輯
	10年度(1935)	第2輯
	11年度(1936)	第3輯
	12年度(1937)	第4輯
	13年度(1938)	第5輯
	14年度(1939)	第6輯
	15年度(1940)	第7輯
	16年度(1941)	第8輯
	17年度(1942)	“
	18年度(1943)	
	19年度(1944)	(休刊)
	20年度(1945)	
	30年度(1955)	第1巻
	31年度(1956)	第2巻
	32年度(1957)	第3巻
	33年度(1958)	第4巻
	34年度(1959)	第5巻
	35年度(1960)	第6巻

区分	年度	研究報告	
旭硝子工業技術奨励会	昭和/平成		
	36年度(1961)	第7巻	
	37年度(1962)	第8巻	
	38年度(1963)	第9巻	
	39年度(1964)	第10巻	
	40年度(1965)	第11巻	
	41年度(1966)	第12巻	
	42年度(1967)	第13巻	
	43年度(1968)	第14巻	
	44年度(1969)	第15巻	
	45年度(1970)	第16巻、第17巻	
	46年度(1971)	第18巻、第19巻	
	47年度(1972)	第20巻、第21巻	
	48年度(1973)	第22巻、第23巻	
	49年度(1974)	第24巻、第25巻	
	50年度(1975)	第26巻	
	51年度(1976)	第27巻、第28巻	
	52年度(1977)	第29巻、第30巻	
	53年度(1978)	第31巻、第32巻	
	54年度(1979)	第33巻、第34巻、第35巻	
	55年度(1980)	第36巻、第37巻	
	56年度(1981)	第38巻、第39巻	
	57年度(1982)	第40巻、第41巻	
	58年度(1983)	第42巻、第43巻	
	59年度(1984)	第44巻、第45巻	
	60年度(1985)	第46巻、第47巻	
	61年度(1986)	第48巻、第49巻	
	62年度(1987)	第50巻、第51巻	
	63年度(1988)	第52巻、第53巻	
	元年度(1989)	第54巻、第55巻	
	旭硝子財団	2年度(1990)	第56巻、第57巻
		3年度(1991)	第58巻、第59巻
		4年度(1992)	第60巻、第61巻
		5年度(1993)	助成研究成果報告1993

年 表

昭和8年(1933)

12月11日 旭硝子株式会社の創立25周年を記念して同社より50万円の寄付を受け、「財団法人旭化学工業奨励会」を設立。理事長に山田三次郎、常任理事に大野政吉就任。

昭和9年(1934)

2月1日 主務官庁、商工省(現通商産業省)より財団法人設立の認可を得る。
事務所は東京市麹町区丸ノ内二丁目六番地 旭硝子株式会社内。
4月1日 研究助成事業開始。第1回は10件12,485円贈呈。
5月25日 旭硝子株式会社から寄付50万円を受ける。
8月11日 基本金50万円を100万円に増額。

昭和10年(1935)

10月5日 「研究報告」第1輯(昭和9年度版)を発刊し、全国の団体、学校、官庁、図書館等に寄贈。

昭和12年(1937)

5月28日 寄附行為を一部改訂し、理事の定員5名ないし7名を7名ないし11名に変更。

昭和14年(1939)

6月23日 理事長山田三次郎死去。
7月 理事長に大野政吉就任。

昭和15年(1940)

4月27日 研究補助金受領者による第1回学術講演会開催。講師は東工大教授近藤清治、東工大助教授清水誠、大阪帝大教授上野誠一、大阪帝大教授鉛市太郎の4名。

昭和16年(1941)

5月3日 第2回学術講演会開催。講師は早大教授小栗捨藏、京都帝大教授亀井三郎、京都帝大助教授岡田辰三の3名。

昭和18年(1943)

5月1日 第3回学術講演会開催。講師は東北帝大教授原龍三郎、東京帝大教授桑田勉、東工大教授内田俊一、九州帝大教授奥野俊郎の4名。

昭和19年(1944)

4月25日 理事長に池田亀三郎就任。
4月25日 住居表示法実施により、事務所所在地は東京都麹町区丸ノ内二丁目六番 旭硝子株式会社内となる。

昭和21～25年(1946～1950)

昭和20年度研究補助金支出後一切の活動休止。

昭和24年(1949)

3月 戦後初の決算諸表作成。基本金100万円に対し、当期欠損金847,902円となり、存続か解散か問題提起される。

昭和26年(1951)

11月15日 事業再開に向けて、戦後初の評議員会開催(於旭硝子本社)。
12月8日 戦後初の理事会開催(於旭硝子本社)。理事長に森本貫一、常任理事に倉田元治就任。

昭和30年(1955)

4月1日 主務官庁、通商産業省企業局企業第1課との折衝を終え、正式に事業再開。
4月18日 常任理事に生野稔就任。
5月20日 事業再開による戦後初の研究補助金受領者を決定(8件80万円)。
6月27日 事務所を東京都中央区銀座四丁目壱番地 旭硝子株式会社内に移転。

昭和32年(1957)

5月30日 事務所を東京都千代田区丸ノ内貳丁目拾六番地 旭硝子株式会社内に移転。

昭和34年(1959)

3月15日 戦後初の「研究報告」第1巻発行。

昭和35年(1960)

3月31日 基本金100万円を1億円に増額。

昭和36年(1961)

5月22日 常任理事に倉田元治就任。

6月26日 (財)旭化学工業奨励会から、(財)旭硝子工業技術奨励会に名称変更。同時に目的を「工業並びに工業技術の進歩発展に資するを以て目的とし、左の事業を行う」に変更

6月26日 主務官庁が通商産業省工業技術院調整部調整課となる(従来は通商産業省軽工業局)。

昭和38年(1963)

2月1日 事務所を東京都千代田区丸ノ内式丁目拾四番地 旭硝子株式会社内に移転。

昭和39年(1964)

4月1日 基本金1億円を3億円に増額。

昭和40年(1965)

4月20日 基本金3億円を5億円に増額。

昭和43年(1968)

4月26日 審附行為を一部改訂、理事の定員7名ないし11名を10名ないし15名に変更。

昭和44年(1969)

4月28日 理事長森本貫一、理事および理事長を辞任(ただし、評議員は留任)。理事長に倉田元治、常任理事に植村四郎就任。

昭和45年(1970)

1月1日 住居表示法実施により、事務所所在地は東京都千代田区丸の内二丁目1番2号 旭硝子株式会社内となる。

4月1日 「多額研究助成」発足。第1回は1件160万円。

4月27日 研究助成金贈呈式開始。第1回を東京商工会議所において開催。

昭和46年(1971)

3月26日 常任理事に松崎錠三就任。

昭和47年(1972)

4月1日 多額研究助成を改称した「特別研究助成」発足。第1回は3件880万円。

昭和50年(1975)

3月26日 常任理事に吉田四郎就任。

昭和51年(1976)

10月1日 常任理事に尾野勇雄就任。

11月26日 助成申請の審査機関として工業技術審査専門委員会(委員長尾野勇雄)を設置。

昭和52年(1977)

7月 助成対象大学への訪問、実情調査開始(以降毎年継続実施)。

8月4日 新たに「月度報告」を作成、7月度より報告開始。

昭和53年(1978)

4月21日 基本金5億円を15億円に増額。

5月31日 新たに「年報」を発刊、「昭和52年度年報」を関係先に贈呈。

12月4日 主務官庁、通商産業省工業技術院総務部技術振興課による業務・財務監査実施。

昭和54年(1979)

9月26日 前理事長森本貫一死去、享年91才。

12月1日 工業技術審査専門委員会を改組し、選考委員会及び助成研究調査専門委員会を設置。

昭和55年(1980)

2月14日 選考委員長に山内俊吉就任。

5月19日 窯業協会創立90周年記念式典において、同協会への過去5年間にわたる寄付金にたいし感謝状を受ける。

昭和57年(1982)

4月1日 東南アジア発展途上国への助成として「海外研究助成」発足。第1回はタイのチラーロンコーン大学へ2件500万円贈呈。

9月 助成効果についてのアンケート調査実施。

昭和59年(1984)

4月10日 基本金15億円を20億円に増額。

昭和60年(1985)

4月1日 募集方法に関して、本年度から、応用化学講座のある国立大学全校を指定校とする。

昭和61年(1986)

3月3日 主務官庁、通商産業省工業技術院総務部技術振興課による業務・財務監査実施。

4月1日 「奨励研究助成」発足。第1回は6件600万円贈呈。

6月17日 選考委員長に牧島象二就任。

昭和62年(1987)

4月1日 事務所を東京都千代田区丸の内一丁目4番2号 東銀ビル内に移転。

6月1日 常任理事に岡村恒夫就任。

6月17日 選考委員長に村井資長就任。

昭和63年(1988)

4月1日 海外研究助成先を従来の外に加えてインドネシアも加え、同国パシヤ工科大学へ2件200万円贈呈。

6月1日 選考委員長に古川淳二就任。

平成元年(1989)

3月19日 理事長倉田元治死去、享年87才。

4月1日 「冠講座助成」により米国カリフォルニア大学に旭硝子冠講座を創設。(平成元年度、2年度にわたり支出)。

6月1日 理事長に山下秀明、常任理事に中山淳就任。

6月27日 選考委員長に岩倉義男就任。

平成2年(1990)

2月15日 基本金20億円を32億円に増額。

4月2日 審附行為を変更し、名称を「財団法人旭硝子財団」とし、認可を得る。主務官庁が通商産業省産業政策局総務課となる。

4月2日 「課題研究助成」および「総合研究助成」を新設。

5月29日 自然科学系第2分野選考委員長に木下是雄就任。

6月1日 副理事長に岩崎寿男就任。

6月2日 自然科学系第1分野選考委員長に前田四郎就任。

6月11日 自然科学系第3分野選考委員長に内田祥哉就任。

平成3年(1991)

4月1日 研究助成の新制度開始。対象分野を、自然科学系第1分野(工・理・農・薬・医学部の化学系、生物化学系)、同第2分野(工学部の物理・電子・情報・金属・機械系、理学部の物理・情報系)、同第3分野(工学部の建築・都市工学系)に拡大(従来は工学部応用化学系のみ)。

4月1日 「特定研究助成」発足。

4月10日 顕彰・学術賞選考委員長に奈須紀幸、同・推進賞選考委員長に近藤次郎就任。

4月25日 自然科学系第1分野選考委員長に鎌田仁就任。

5月30日 人文・社会科学系選考委員長に坂本朝一就任。

6月11日 審附行為を一部改訂。理事および評議員の定員を10人以上25人以内に変更し、専務理事、常務理事を設けることを可能にする。

6月 新規事業の顕彰事業「ブループラネット賞」を内外に公表。

平成4年(1992)

1月24日 専務理事に白神修就任。

4月1日 「人文・社会科学系個別研究助成」発足。

6月8日 ブラジル・リオデジャネイロのリベントロコソパシヤンセンターで第1回ブループラネット賞の受賞者を発表。

9月24日 ブループラネット賞表彰式典並びに祝賀パーティを帝国ホテルで開催。

9月25日 ブループラネット賞受賞者記念講演会並びにシンポジウムを芝浦コートホテルで開催。

平成5年(1993)

2月26日 タイ、チュロンゴソ大学において、同大学主催にて研究助成成果発表会を開催。

3月31日 基本財産を50億円に増額。

9月24日 国連大学国際会議場において国内第1回研究助成成果発表会を開催。

11月2日 第2回ブループラネット賞表彰式典並びに祝賀パーティを帝国ホテルで開催。

11月3日 第2回ブループラネット賞受賞者記念講演会並びにシンポジウムを国連大学で開催。

12月15日 インドネシア、ジャカルタ、ラジズントホテルにおいてパシヤ工科大学主催で研究助成発表会を開催。

平成6年(1994)

1月14日 タイ、チュロンゴソ大学において同大学主催にて第2回研究助成成果発表会を開催。

参考文献

1. 故岩崎俊彌氏伝記編纂会『岩崎俊彌』昭和7年、(非売品)。
2. 旭硝子株式会社臨時社史編纂室『社史 旭硝子株式会社』昭和42年、(非売品)。
3. 旭硝子株式会社『旭硝子の歩みとともに』昭和43年、(非売品)。
4. 旭硝子株式会社『第2編ソーダ事業』昭和32年、(未定稿)。
5. ダイヤモンド社『産業フロンティア物語、ガラス<旭硝子>』昭和42年、ダイヤモンド社。
6. ダイヤモンド社『現代のプロメテウス「旭硝子物語」』昭和35年、ダイヤモンド社。
7. 岩崎家傳記刊行会『岩崎小彌太傳』昭和35年、(非売品)。
8. 三菱創業百年記念事業委員会『三菱の百年』昭和45年、(非売品)。
9. 三菱化成工業株式会社総務部臨時社史編集室『三菱化成社史』昭和56年、(非売品)。
10. 西川庸吉博士記念出版会『西川庸吉博士追想録』昭和26年、(非売品)。
11. 広重徹『科学の社会史』昭和48年、中央公論社。
12. 原現吉『科学研究費——その成立ちと実績』昭和57年、科学新聞社。
13. 林雄二郎、山岡義典『日本の財団』昭和59年、中央公論社。
14. トヨタ財団『これからの民間助成財団』昭和61年、東洋経済新報社。
15. 助成財団資料センター『助成団体要覧』平成4年。
16. 助成公益法人協会『日本の企業財団'92』平成4年。
17. 竹内宏『昭和経済史』昭和63年、筑摩書房。
18. 伊丹敬之+伊丹研究室『日本の化学産業、なぜ世界に立ち遅れたのか』平成3年、N T T出版(株)。
19. 黒岩俊郎『現代技術史論』昭和62年、東洋経済新報社。
20. 電通総研『企業の社会貢献』平成3年、日本経済新聞社。
21. 寺西俊一『地球環境問題の政治経済学』平成4年、東洋経済新報社。
22. 化学技術研究所『化学技術研究所80年史』昭和55年、(非売品)。
23. 日本科学者会議『化学技術政策史年表』昭和51年、大月書店。
24. 旭硝子株式会社研究開発部「はざわ」昭和59年12月号。
25. 旭硝子株式会社「あさひ」平成5年9月号。
26. 助成公益法人協会「公益法人」平成2年7月号。

年史編纂にあたって

専務理事 白 神 修

当財団は、民間企業の出捐による研究助成型財団の先駆者として、60年の足跡をもちながら、今日に至るまで正式の年史の刊行をみることがありませんでした。それは、設立以来約半世紀に及ぶ活動が地味で、助成対象が大学工学部の応用化学系の教官や研究者の研究に限られてきたということにあります。このため、その助成分野に限ってみれば、当財団の知名度は高く、その研究発展にいささかなりとも貢献してきたものと考えております。

ところで、平成2年度（1990）から、これまでの事業活動を一新し、研究助成対象を自然科学全般に拡大することはもちろん、人文・社会科学をも含めることとし、加えて顕彰事業も発足することとなりました。ここに至って、当財団活動を日本国内のみならず、海外に及ぶ研究助成対象者、および顕彰対象者に、広く知っていただくと共に、世間一般の理解と協力を得る必要が一段と高まりました。

そこで、60周年記念事業の一つとして、正確な資料の記録、客観的な事実の記述、ならびに財団関係者の運営関与に基づく事業回顧と事業指針、研究助成金受領者の研究体験に基づく客観的な助成効果と評価などを、集大成しておくことを企画いたしました。

ここに、ようやくその体裁を整えて発刊する運びとなりましたが、この間、財団関係元役員、現役員ならびに研究助成金を贈呈した多数の方々から、ご多忙中のところ、まことに興味深い貴重な随想文を頂戴いたしました。ここにご寄稿いただいた方々に、衷心より感謝申し上げます。

この年史を通観して、まず感じますことは、今日でこそフィランソロピー（企業の社会貢献活動）についての論議が活発ですが、この社会貢献活動の一端を当財団が既に昭和8年（1933）以来実践してきたことであります。このことについての先輩各位の先駆的な発想と、事業遂行の努力と精進に、敬意を表したいと思います。また、戦後のあの混乱期に、いち早く財政基盤を確立し、事業を再開した、先見の英知と勇氣に感動を禁じ得ません。また、助成金を受領された方々が、その助成効果を述べられるのに加え、学協会賞等を受賞された記述などに接すると、当財団活動が直接あるいは間接に貢献できたことが理解できて、榮譽を痛感した次第であります。これも、選考委員をつとめられた各位が、研究助成の選考を適切かつ公平厳正に行われた賜であります。さらに、助成金を受領された方々の助成に対する評価と希望は、これからの財団活動のあり方に関する助言として傾聴に値するところが大でありました。

こうして、本書は当財団の生きた記録資料となることはもちろん、前向きな活動への一指針として役立てたいと考えております。さらに本書が、わが国財団史のひとつまとして、財団関係者はもとより、学会その他に参考資料を提供することになれば、望外の喜びであります。

あとがき

年史編纂に着手したのは、平成3年10月のことでした。平成2年4月旭硝子財団と名称変更が行われ、新規事業の具体化にとりかかりましたが、そこでまず痛感したのは、当財団のこれまでの蓄積した資料を整理し、評価する必要性でした。丁度60周年にタイミングが合い、これまでのデータを年史にまとめることが決定されました。

戦後の混乱期を経たにもかかわらず、研究助成に関する資料は、「研究報告」とともに全て保存されてありました。実績を表すするには、データを中心とし、それに解説を付加してまとめる形が、最もふさわしいと考えました。

そこで年史の構成は、所蔵資料に基づく客観的な記述を第1編、財団関係者および助成金受領者の寄稿を第2編、それに資料編の3本立てといたしました。

寄稿については、財団に関係された方々、研究助成金を受けられた方々に依頼いたしましたが、ご多忙にもかかわらずどなたも快く引き受けていただいて感謝に堪えません。貴重な資料として関係各位に参考にしていただければ幸いです。

本書編纂の直前及び編纂中の、平成元年（1989）3月に倉田元治前理事長、また平成2年（1990）1月に岡村恒夫元常任理事、さらに平成3年（1991）12月に中山淳前常務理事が、相次いで死去されました。また、平成5年（1993）2月に大来佐武郎理事が死去されました。同氏の寄稿が親しく口述されたものであっただけに、感慨ひとしおのものがああります。

また、助成テーマの技術的分析については、旭硝子出身の技術者に執筆を依頼しました。無機化学分野の技術的総括については鈴木由郎氏に多忙の中を快く引き受けていただきました。謝意を表します。

㈱三菱総合研究所の鈴木安三氏、宮川隆泰氏には年史編集のアドバイザーと第1編の文章執筆を担当願いました。

最後にこの年史が、単に過去を記録するだけでなく、今後の当財団の新しい活動を考える上で何らかの役に立つであろうことを念じております。今回は、60周年という節目の出版でしたが、今後75周年、あるいは100周年にどのようなものが出されるかを楽しみにして筆をおきます。

年史編纂担当

増 田 泰 士
福 井 基 雄
後 藤 春 光

財団60年のあゆみ

1994年3月15日発行

(非売品)

編集 財団法人 旭硝子財団
発行

〒100 東京都千代田区丸の内1-4-2 東銀ビル12F
Tel (03) 3285-0591

印刷 凸版印刷株式会社

〒110 東京都台東区台東1-5-1

©1994